

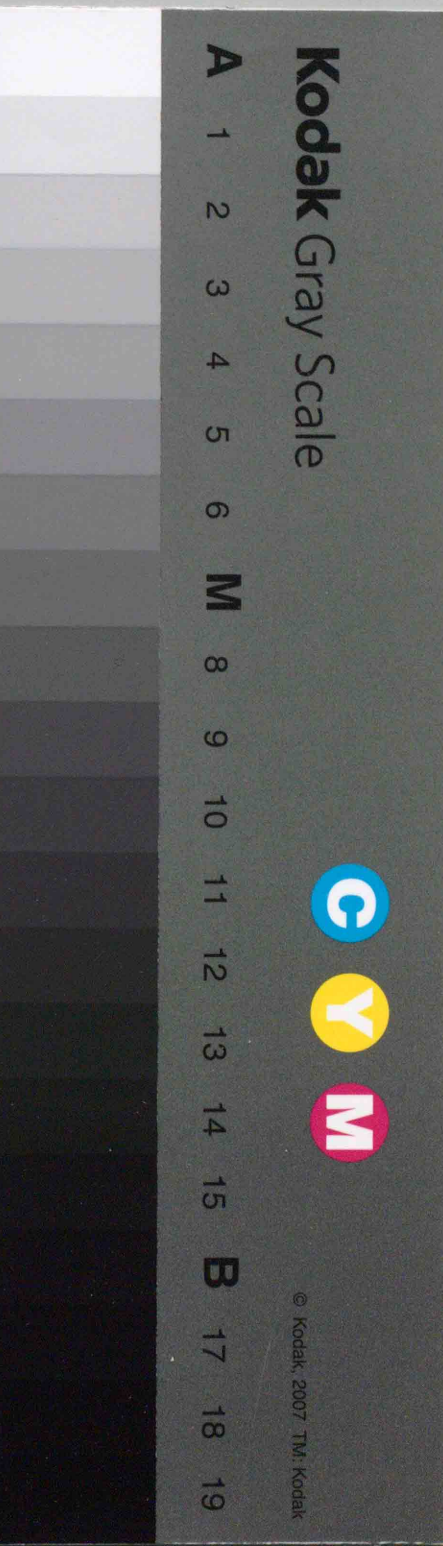
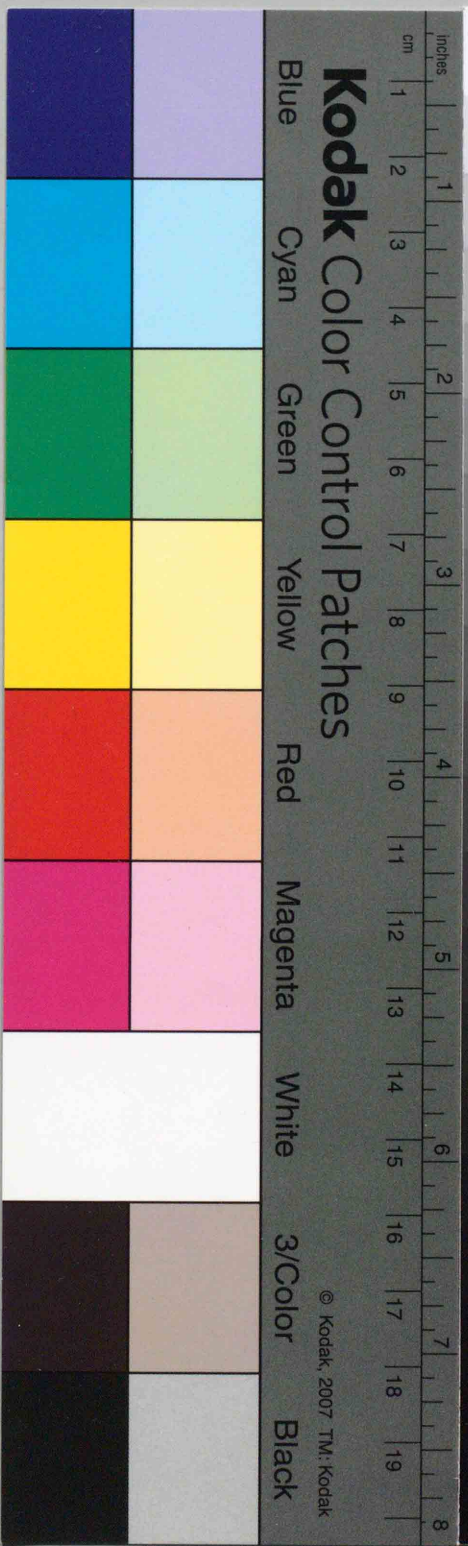
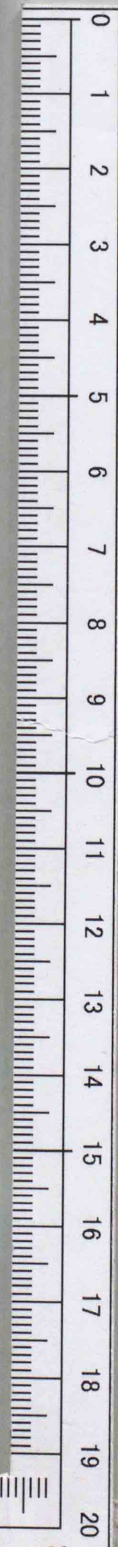
3759  
Chi8  
資料室

纂編會志同授敘理地  
制 新  
理地國帝  
(版年八)



教科  
5  
20

社會式株  
院書國帝



43424

教科書文庫

4  
291  
51-1932  
20000  
51692







## 度量衡換算表

度 1.			度 7.		
杆	哩	里	平方米	平方碼	坪
/	=0.6214	=0.2546	/	=1.1960	=0.3025
1.6093	=/	=0.4098	0.8361	=/	=0.2529
3.9273	=2.4403	=/	3.3058	=3.9537	=/
度 2.			量 1.		
米	碼	間	立	ガロン	升
/	=1.0936	=0.5500	/	=0.2642	=0.5544
0.9144	=/	=0.5029	3.7854	=/	=2.0985
1.8182	=1.9884	=/	1.8039	=0.4765	=/
度 3.			量 2.		
米	呎	尺	立方椀	立方吋	立方寸
/	=3.2808	=3.3000	/	=0.0610	=0.0359
0.3048	=/	=1.0058	16.3871	=/	=0.5889
0.3030	=0.9942	=/	27.8265	=1.6981	=/
度 4.			衡 1.		
椀	吋	寸	佛噸	英噸	貫
/	=0.3937	=0.3300	/	=0.9842	=266.667
2.5400	=/	=0.8332	1.0161	=/	=270.95
3.0303	=1.1930	=/	0.0038	=0.0037	=/
度 5.			衡 2.		
平方杆	平方哩	平方里	疋	封度	貫
/	=0.3816	=0.0648	/	=2.2046	=0.2667
2.5900	=/	=0.1679	0.4536	=/	=0.1210
15.4235	=5.9550	=/	3.7500	=8.2672	=/
度 6.			衡 3.		
アール	エーカー	畝	瓦	オンス	匁
/	=0.0247	=1.0083	/	=0.0353	=0.2667
40.4680	=/	=40.8060	28.350	=/	=7.5600
0.9917	=0.0245	=/	3.7500	=0.1323	=/

### 例 言

一、本書は昭和七年三月制定せられた新教授要目に準據し、我が師範學校に於ける外國地理科用の教材として編纂したものである。

一、本書の編纂上、特に意を用ひた要點は、概ね次の如くである。

1. 最近の移動事實に順應して、記事を厳選し、現代に於ける我が國勢發展の狀態を知らしめるやうに努めた。
2. 地理教育の出發點が、郷土である事に鑑み、郷土中心主義によつて、處誌を府縣單位に記述した。
3. 關東州南洋諸島は、世界地理中に於て詳説してあるが、矢張り帝國地理の學習に於ても、必要なることと信じて、之を略述した。
4. 斷片的記事の羅列を避けて、因果的有機的に記述するやうに留意し、特に國定教科書と同一教材を取扱ふ際は、内容を適當に深めて、初等教育との連絡に努めた。
5. 挿繪挿圖に就ては、細心の注意を拂ひ、最も適當鮮明なるものを多數に加へ、以て趣



味の喚起、考察力の養成に努力した。  
6. 地文方面に於ては、重要な地區のレリーフマップその他の地形圖を挿入した。又人文方面にあつては、成るべく産業に關する分布圖を増加して、多數の最新統計表を加へた。

7. 専門的、非實用的記事挿圖を排して、内容の常識的、日用的ならん事を期し、且つ學者の自學自習に便する爲、能ふ限り字句の平易簡潔を旨とした。

8. 本文中には、各都邑の人口を記入せず、附録として之を卷末に纏め、第二回國勢調査の結果による人口表を添附した。

一、斯くて編者は、他の類書の比及を許さぬ迄に努力を拂つたが、尙ほ魯魚錯覺の點も多かるべしと思惟する。されば爰に、大方教官諸賢に對して、本書を完璧たらしめるやう、指教を垂れ給はんことを懇請する次第である。

昭和七年十月

編者謹識

### 新制 帝國地理 (八年版)

#### 目次

緒論……………一

第一編 地方誌……………五

第一章 關東地方……………五

  第一節 地文誌……………五

  第二節 人文誌……………八

  第三節 處誌……………一三

第二章 奥羽地方……………一四

  第一節 地文誌……………一四

  第二節 人文誌……………一七

  第三節 處誌……………二〇

第三章 本州中部地方……………二五



第一節	地文誌	三
第二節	人文誌	三
第三節	處誌	四
第四章	近畿地方	五
第一節	地文誌	五
第二節	人文誌	五
第三節	處誌	六
第五章	中國地方	七
第一節	地文誌	七
第二節	人文誌	七
第三節	處誌	七
第六章	四國地方	八
第一節	地文誌	八
第二節	人文誌	八
第三節	處誌	八
第七章	九州地方	九

第一節	地文誌	九
第二節	人文誌	九
第三節	處誌	九
第八章	臺灣地方	一〇
第一節	地文誌	一〇
第二節	人文誌	一〇
第三節	處誌	一〇
第九章	北海道地方	一一
第一節	地文誌	一一
第二節	人文誌	一一
第三節	處誌	一一
第十章	樺太地方	一二
第一節	地文誌	一二
第二節	人文誌	一二
第三節	處誌	一二
第十一章	朝鮮地方	一三



第一節	地文誌	三
第二節	人文誌	三
第三節	處誌	三
第十二章	關東州南洋諸島	三
第二編	總括	四
第一章	自然地理	四
第一節	地勢	四
第二節	海洋	四
第三節	氣候生物	四
第二章	人文地理	五
第一節	產業	五
第二節	交通	五
第三節	住民	五
第四節	政治	五
結論		六
附錄	人口一覽	六





て隔を場廣の前驛で驛京東は中央略の圖 るあで圖瞰鳥たしと心中を驛京東は圖 るるでん並立が物築建大な壯宏で帶地物築建大の一第國が我は内の丸市京東 瞰鳥の近附驛京東  
 るるてえ見にか徴が物築建大の等屋松・越三・倉片で瞰鳥の帶一座銀は方左の驛 るるてえ見が等局便郵中央京東ヤグンヂルビ内の丸に側右て



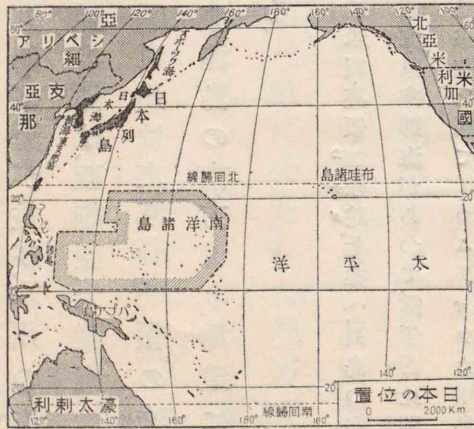
新帝國地理 (八年版)

緒論

境域 我が大日本帝國は、亞細亞洲の東部、太平洋の北西隅に位置して、日本列島と朝鮮半島とより成立ち、別に租借地の關東州と、委任統治地の南洋諸島とがある。

日本列島は、北東より南西に亘つて、花綵狀を呈し、其の長さ約四千八百軒に及んでゐる。北海道本島、本州、四國、九州の四大島を中心として、北に樺太島(半南)

極東	東經一五六度三二分 (千島占守島東端)
極西	東經一八九度一八分 (臺灣花嶼西端)
極北	北緯五〇度五六分 (千島阿賴度島北端)
極南	北緯二度四五分 (臺灣北星岩南端)

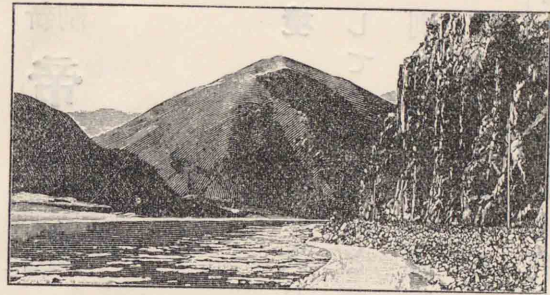


緒論

Handwritten notes in Japanese, including a list of items with circles next to them, possibly a checklist or index. The text is somewhat faint and difficult to read in detail.



我が領土は、北東に千島列島があり、西には琉球列島、臺灣が並び、本州の遙か南方に、小笠原諸島が連つてゐる。朝鮮半島は、亞細亞大陸東岸の一大半島で、其の長さ約一千軒ある。關東州は、支那(中國)領の遼東半島の南西端を占め、南洋諸島は、小笠原諸島の南方より赤道に至る間に散在してゐる。



豆滿江(右)手は日本で對岸は滿洲

東方は太平洋を隔てて遙かに米國英領加奈陀を控へ、列島の内側には、オホーツク海、日本海、黄海、東支那海があつて、露領西比利亞、滿洲と對する。千島は千島海峽を隔ててカムチャツカ半島(露領)と臺灣は、バシ海峽を挟んで比律賓群島と相對してゐる。また樺太島は、北緯五十度を境として露領と朝鮮は、鴨綠江、豆滿江によつて滿洲シベリアと陸続きになつてゐる。かくて我が帝國の主要部は、北温帯に位して大陸に接近し、緣邊部は、太平洋の殆ど中央まで進出してゐる。かゝる良好の位置を占有する我が國は前途、實に多望多幸である。

帝國面積内譯 (單位方軒)  
 本州 三〇、〇〇〇  
 四國 一、七、七、七  
 九州 四、四、八、〇  
 北海道 八、八、六、六  
 小計 三八、二、〇、四  
 臺灣 五、九、七、四  
 樺太 一、〇、〇、〇  
 朝鮮 二、〇、七、七  
 關東州 三、四、四、二  
 南洋諸島 二、四、九、〇  
 小計 二、九、八、四、六  
 總計 六〇、〇、〇、〇

**面積・人口** 我が國は、明治時代以來、著しく領土が擴張して、今や總面積六十八萬方軒(四萬四千方里)に近く、人口は九千萬を超えるに至つた。本州・四國・九州・北海道等は、古くより、我が領土であつたので、これ等を内地と呼び、明治時代以後、我が領土となつた地方は、植民地と呼ばれる。我が國の總面積・總人口を、世界列強(米・英・佛)に比較するに、尙ほ及ばない處が多いが、本國(内地)に就てのみ見れば、面積は、米・佛・獨に次いで第四位、人口は、米・獨に次いで第三位にある。

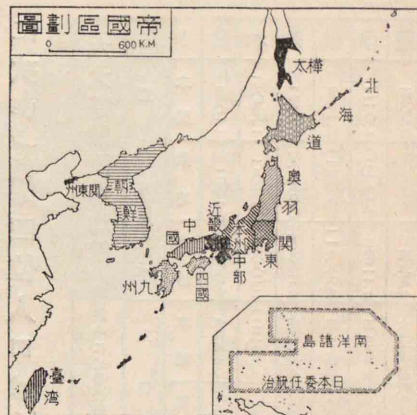
六大強國國勢比較 (領地中には委任統治地を含む)

國別	面積 (單位千方軒)		人口 (單位万人)	
	本國	領地	本國	領地
獨	四六八七	—	六三九三〇	—
伊	三二〇一	二二二五	四一八五	二〇六
佛	五五二〇	一一四八五	四〇四四	六〇六〇
英	二四二七	三九六〇	四四二〇	四一七二
米	七六三九	一八四三	一四五三	三三三三
日	三八二一	二九二八	二六〇七	九〇四六

**區分** 内地は、もと八十五箇國又は畿内、八道に分たれた地方で、現今は、行政上、一道・三府・四十三縣に分け、之を治めるに、道に道廳、府に府廳、縣に縣廳がある。その他、朝鮮・臺灣に總督府、樺太・關東州・南



關東地方

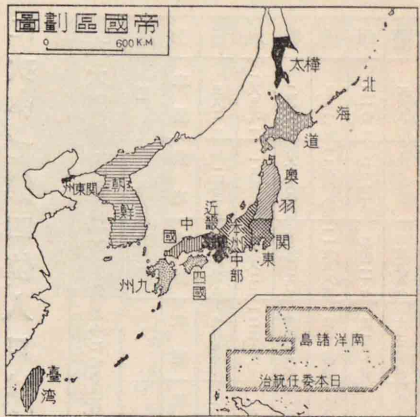
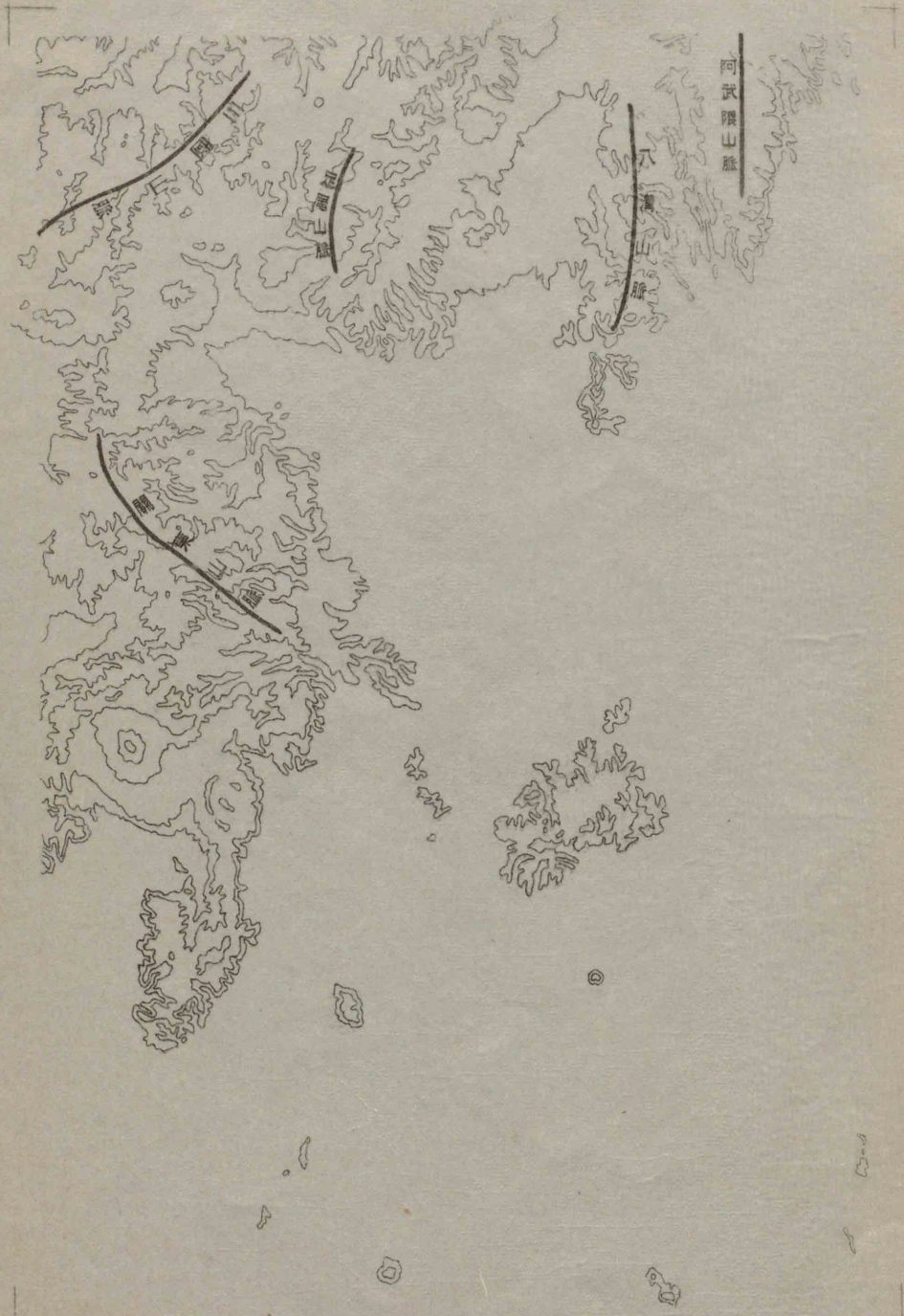


緒論

洋諸島に、夫々廳がある。而して之れ等の諸官廳は、我が中央政府によつて總轄されてゐる。

本書は、全領域を、關東・奥羽・本州中部・近畿・中國・四國・九州・北海道・臺灣・樺太・朝鮮・關東州・南洋諸島の十三地方に分けて、記述することとした。





洋諸島に、夫々廳がある。而して之れ等の諸官廳は、我が中央政府によつて總轄されてゐる。

本書は、全領域を、關東・奧羽・本州中部・近畿・中國・四國・九州・北海道・臺灣・樺太・朝鮮・關東州・南洋諸島の十三地方に分けて、記述することゝした。







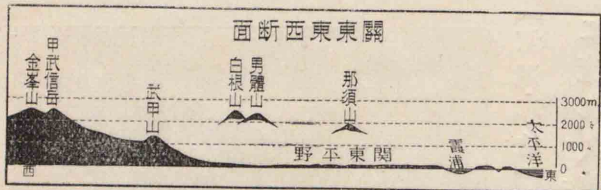
# 第一編 地方誌

## 第一章 關東地方

### 第一節 地文誌

**地域** 關東地方は、古の關八州の地で、本州の略、中央部に位し、東京府と神奈川・千葉・埼玉・群馬・栃木・茨城の六縣とがある。面積は狭いが、帝都があつて、人口が多く、文化が開けて、生産に富み、極めて重要な地方である。

**地勢【山地】** 西部より北部にかけて、山岳が相重なり、これより東・南に向つて、我が國最大の關東平野が開けてある。西部の關東山脈に續いて、北西に三國山脈、北に帝釋山脈タイシヤンが連り、北東部に、低い阿武隈山脈の南端





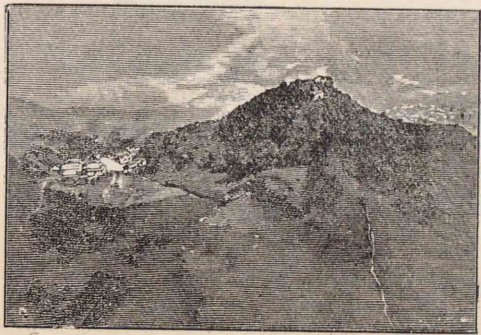


湖ノ蘆根箱  
てし出突に方右處るあの址所關舊で元根箱るす通の道街舊は町の前手  
るあで岳ヶ駒の丘口火央中はの時に岸湖 るあが宮離はに島塔すなを島半小



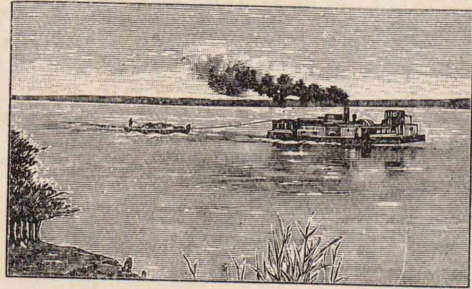
宮照東光日  
齊國は部大く高名に界世は麗華の物築建で社幣官格別る祀を康家川徳  
るあでさし美の近附(央中面正)門明陽な名有も最は圖 るみてつたと

【圖解】(上)飛行機より見たる筑波山  
(下)利根川下流(満々たる水量に注意せよ)



が延びて、筑波山が峙つてゐる。北部を那須火山脈が走つて、那須・男體・赤城・榛名・浅間の諸山を起し、又南西部に、富士火山脈に屬する箱根山がある。之れ等の山脈は、交通上、障害となり、古は、要所に關所を設けられ、又著名な峠が、幾つもあるが、風光の美しい處や、温泉の湧出る處も多く、又益地も開けてゐる。

【河湖平地】地勢上、主な河流は、南東に向つて緩かに流れ、久慈川・那珂川・利根川は太平洋に、荒川・多摩川は東京灣に、相模川は相模灣に入る。利根川は、本地方の大動脈で、坂東太郎の異名を持ち、三國山脈より出て、數多の支流を容れ、關東平野を斜





1 二五七〇軒(内地第二)

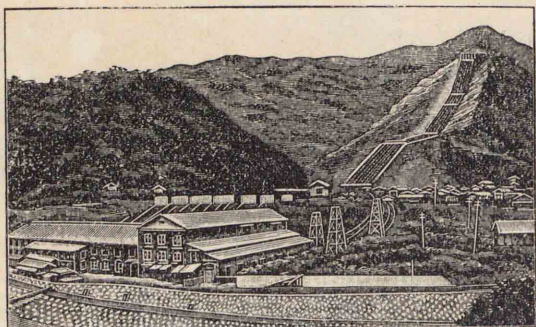
2 航路里程

本流 二七五軒  
支流 八五三軒

鬼怒川の電力は東京相模川の電力は京濱に送られる

鬼怒川上流の発電所

古歌で有名な武蔵野は關東平野の一部である



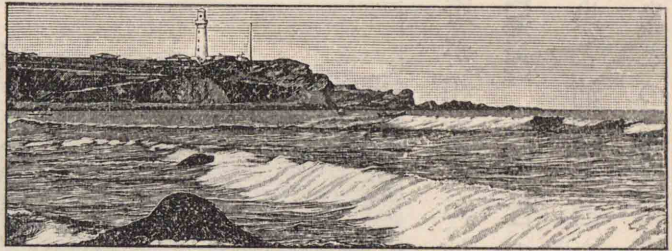
野が相交るが、地味が肥沃で、田畑がよく開け、氣候も温暖である。

【海岸】 丘陵性の房總半島は、南東の太平洋をかぎり、小さい三浦半島と、浦賀水道を挟んで、東京灣を抱いてゐる。又三浦半島は、伊豆半島との間に、相模灣を入れてゐる。東京灣は、浅いが波が穏か



犬吠崎

犬吠崎

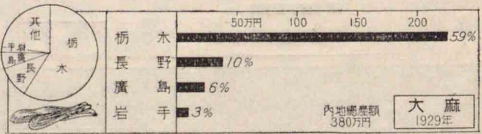
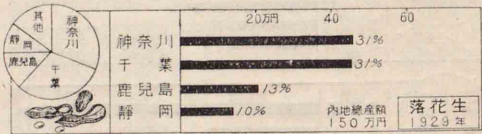
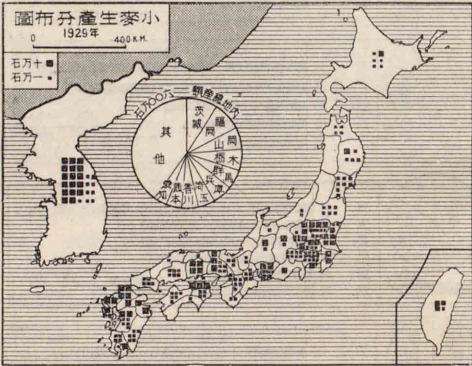
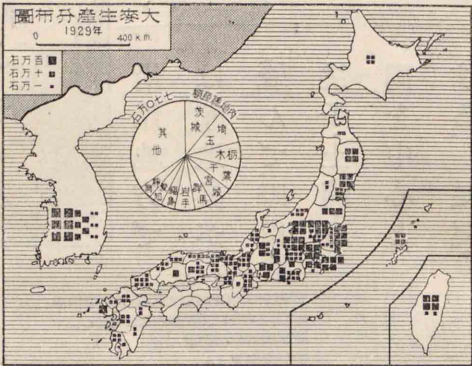
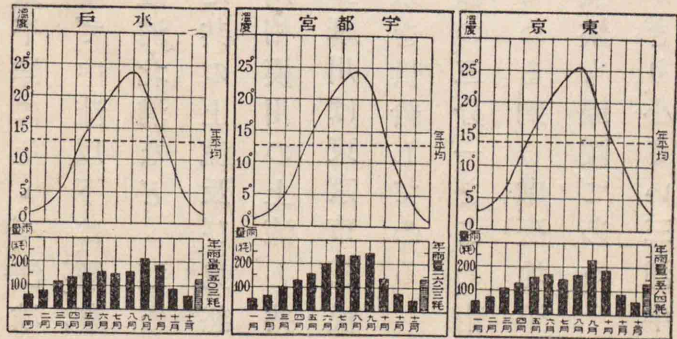


房總半島沿岸には、避暑避寒地が甚だ多い。

第二節 人文誌

通が頻繁である。相模灣の沿岸は、概ね砂濱である。東海岸には、犬吠岬が突出して、其の南北に、九里濱・鹿島浦の孤狀の砂濱が連つてゐる。かくて之れ等の沿岸は、房總半島の海岸と共に、良港に乏しい。

氣候 北部・西部の山地は、寒風を防ぎ、南東は、暖流に洗はれる。従つて氣候は溫和で、雨量多く、産業發達の一原因となつてゐる。特に湘南地方



産業 帝國最大の消費地たる京濱地方を控へ、且つ地

1 低地は水田が開けて米の産に富み、臺地は往々灌漑の便少なく麥・大豆の産が多い。千葉・神奈川二縣は畜産加工品を産する。

味・氣候の關係上、農業が頗る榮えて、關東平野殊に千葉・埼玉・茨城の三縣が盛んである。麥・米・大豆・蔬菜・落花生・甘藷を主産物とし、麥は、全國總産額の四分之一を産する。栃木・茨城・神奈川の三縣は葉煙草、栃木縣は大麻を産する。北部より西部にかけては、養蠶製絲が榮え、群馬・埼玉の二縣が最も著しい。従つて前橋の如き繭・生絲の集散地や、



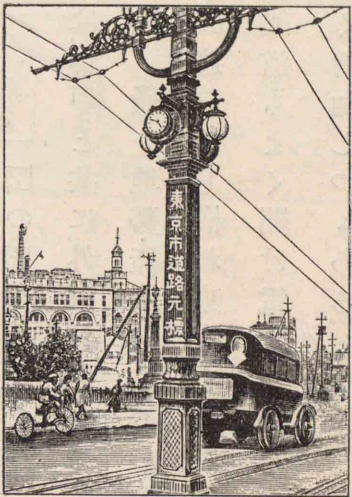




東京を中心とする幹線鐵道は近年漸次電化して来た。東京日本橋上の道路元標（日本の道路の元標である）

清水隧道を利用して一回旋して越えるこれをループ線といふ

東京を起點として銚子・房總半島・伊豆半島・三浦半島・小笠原諸島に至る定期航路がある。新潟に至るものは郵便物のみで他は旅客・郵便物を運んでゐる



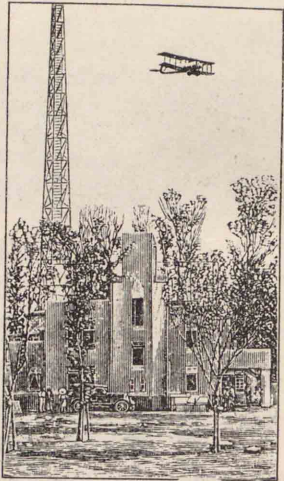
鐵道の連絡培養線の主なものである。上越線（新前橋・宮内間）は清水隧道によつて、三國山脈を貫き、越後平野との捷路をなし、東海道線は箱根の嶮を避け今は南方に、丹那隧道を開鑿して、新線を建設中である。東京附近には官私の電車軌道が十數條あつて、東京市外及び近縣各地との交通が極めて便利である。

海上交通は、横濱を起點として、内外各地に航路を通じ、絶えず内外の汽船が出入する。航空路（羽）は、東京より大連・大阪・清水・新潟に通じて、定期輸送が行はれてゐる。郵便・電信・電話は、東京を中心として、各地に通じ、海底電線は、小笠原諸島の父島にて、米國線と接續して

1 原町・富岡・小山・福岡は北米・南洋方面との外國通信を檢見川・船橋・岩槻は内國通信を扱ひ東京の本局とは有線によつて採縦されてゐる

（上）東京放送局（下）荒川下流の水運

管轄 武藏南部・伊豆七島・小笠原諸島



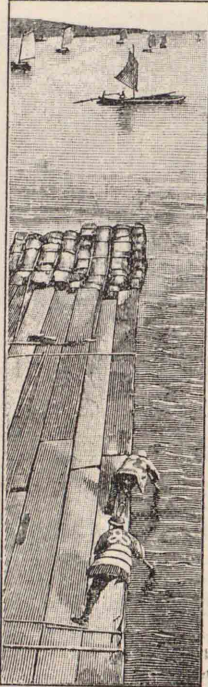
無線電信局は、東京（送信 福島縣原ノ町・千葉縣見川・船橋受）銚子・横濱・父島箱根に、ラヂオ放送局は、東京（放送所は埼玉縣新郷）にある。

第三節 處誌

關東地方は、我が國屈指の人口稠密地であつて、人

口一萬以上の都會が、一百四十に及び、その大部は關東平野に分布され特に、人口五萬以上のものは概ね其の縁邊にある。

人口	全國	内地	關東地方	東京府	神奈川	千葉	埼玉	群馬	栃木	茨城	人口
1000000以上	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	1000000以上
500000以上	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	500000以上
100000以上	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	100000以上
50000以上	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	50000以上
10000以上	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10000以上
5000以上	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	5000以上
1000以上	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	1000以上
500以上	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	500以上
100以上	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	100以上
50以上	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	50以上
10以上	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	10以上
5以上	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	5以上
1以上	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	1以上

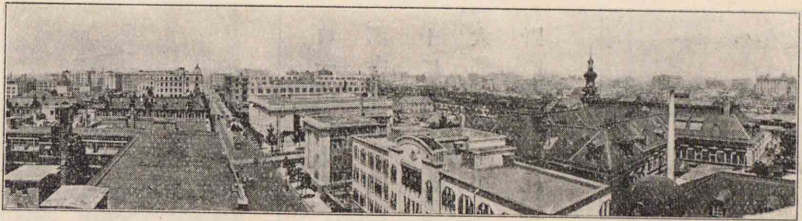


東京府 西境には、關東山脈がある。武藏野臺地は、其の麓より、東方に低下してゐる。秩父山地

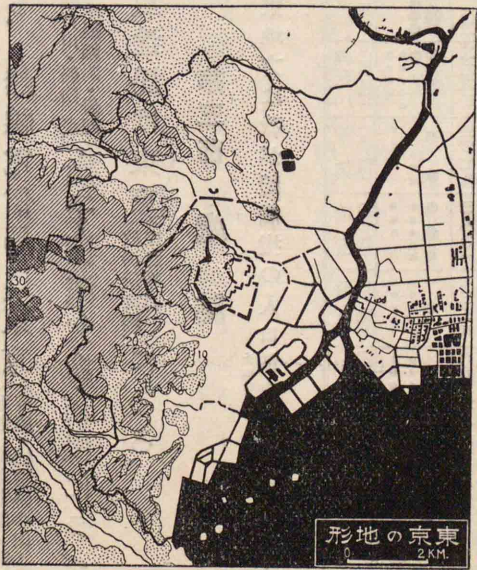


1 麴町・神田・日本橋・京橋・芝・麻布・赤坂・四谷・牛込・小石川・本郷・下谷・淺草・深川・本所

2 東京市の大觀(丸の内より北東方を望んだものでビルヂングが林立してゐる)



より流れる荒川(下流は隅田川)は、東京市を貫流して、水運に利用され、府の西境の多摩川は、東京市に上水を送る。東京市は、我が國の首府で、武藏野臺地の南東端に位置し、東京灣に臨む。市街は、宮城を略中央とする。最近接續都市を合せて、三十五區となつた。宮城附近には、内閣諸官廳、帝國議會、議事堂など、政治上の中央機關が集り、諸外國の大公使館も、亦其の附近に多い。帝國大學を始め、官公私立の各種



1 宮城附近の丸の内にも多い

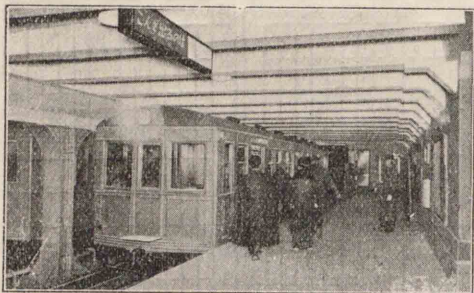
2 (上) 東京市内地下鐵道 (下) 立川飛行場

接續町村中には人口十萬以上のもの四箇町、五萬以上のもの十七箇町ある

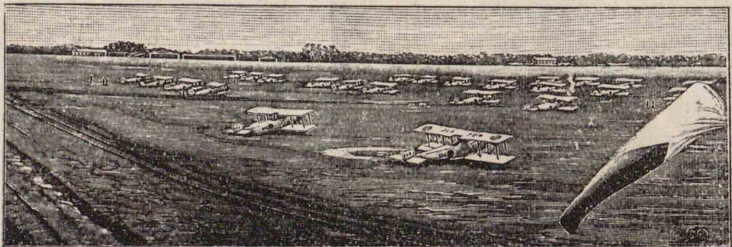
東京灣岸の羽田には國際大飛行場がある

學校博物館・圖書館・美術館があつて、學術・文藝の中心となつてゐる。

西半は臺地性で、山、手と呼ばれ概ね住宅地で、官衛兵營學校社寺などが其の間に散在する。東半は低地で、下町といはれ、其の隅田川以西の地は、商業區をなして、所謂ビルヂングが多數建設され、主な會社は、之を根據として事業を經營する。隅田川以東は、工業區で、工場が多く、市の北部、南西部附近の大工業地帯と共に、織物類、毛絲、諸機械、印刷物、綿絲、肥料、化粧品等の製造が行はれる。最近郊外には、田園都市文化住宅地が經營され、荏原ニハラ、西巢鴨ニシスガモ、澁谷、瀧野川等の大接續町村が發達して、これ等を含む所謂大東京は、人口實に五百萬に近い。今や大震災後の復興事業は殆ど完成して、面目を一新し、市内に高架鐵道地下鐵道が通じて、電車自動車の往來も忙しく、多くの文化的、社會的施設が備はり、世界強國の首府とし



社會的施設が備はり、世界強國の首府とし







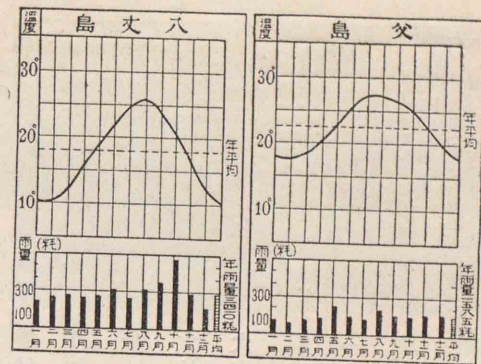
明神宮 東京市西代木に鎮座し内境は廣潤森嚴で國民崇敬の的となつてゐる  
毎年十一月三日に大祭が行はれる 圖は社正門より望んだ眞實であらう



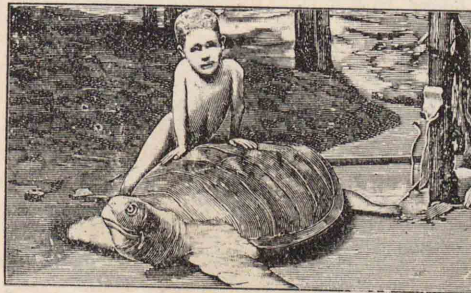
横濱港の埠頭 遠洋航路の巨船を横にけつるなど所であらう 大正二十年の大震災に全に破壊され、復興の間も越す種々の設備が完成されたる

五日市・青梅地方は養蠶・機業が行はれる

小笠原諸島の大海龜  
1 住民には歸化人が多いため風習に特異の點がある  
2 海底電線が南方の米領グアム島に通じてゐる



て、恥かしくない都市となつた。中央線に沿ふ立川には、陸軍飛行聯隊がある。八王子市は、絹織(絲織)が榮え、又横濱線の分岐點である。その西方丘陵上に、多摩陵がある。南方諸島 伊豆諸島(伊豆七島)・小笠原島・硫黄列島には、富士火山脈が通つてゐる。伊豆諸島の大島には、三原活火山があり、椿油を産する。又近海は、漁業が盛んである。八丈島は、八丈絹・木炭を産する。小笠原諸島は、高温で鳳梨・甘蔗・林投樹が生育し、大蝙蝠・海龜の産がある。父島の二見は、諸島の最良港で、交通上の要地である。南鳥島は、珊瑚島で、信天翁が棲息する。





管轄 相模・武蔵南部

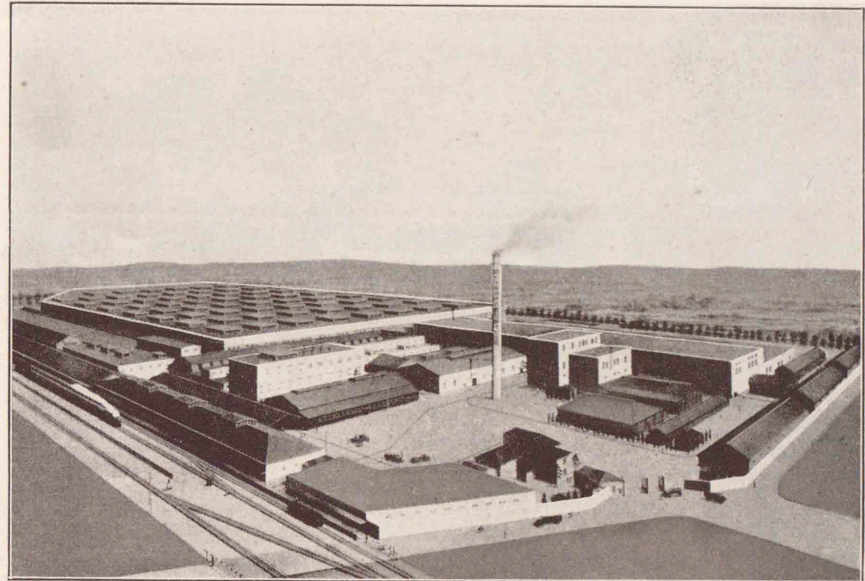
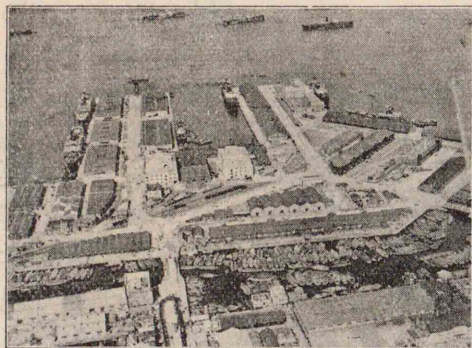
1 行政上鶴見・神奈川・中・保土ヶ谷・磯子の五區に分れ縣廳・高工・高商がある  
鶴見に曹洞宗總本山の總持寺がある  
2 輸出を主とする

飛行機より見たる横濱港の岸壁

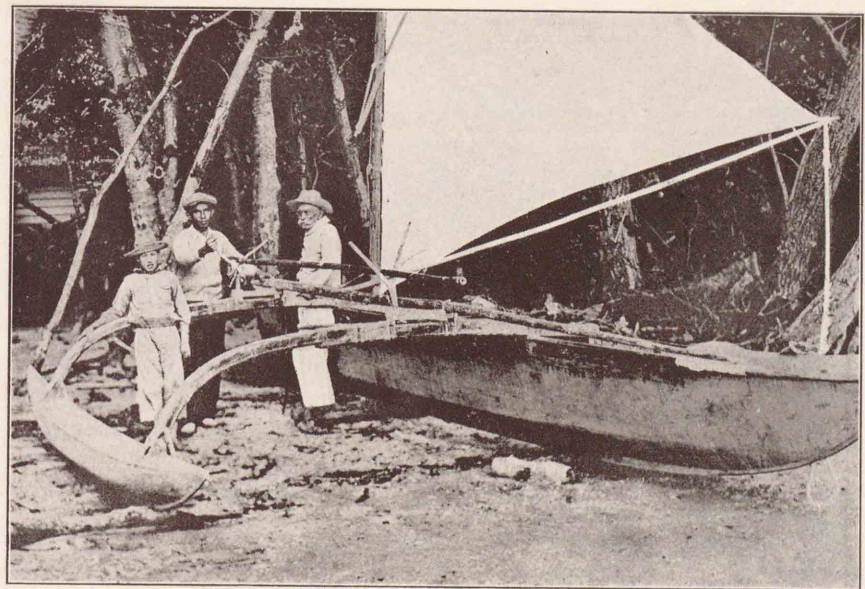
追濱に海軍航空隊長浦に航海學校がある  
夏島は憲法草案を起稿した處



出入する。主に生絲絹織物(縮緬・羽二重・富士絹)等を輸出し機械類クラフツ・線綿等を輸入する。近年種々の工業も發達した。川崎市は京濱工業地帯の一部をなし、麥粉カウケツ・鋼管・精糖・電氣器具等を産する。横須賀市は第一海軍區の軍港として發達し、鎮守府海軍工廠がある。浦賀は造船地で、附近



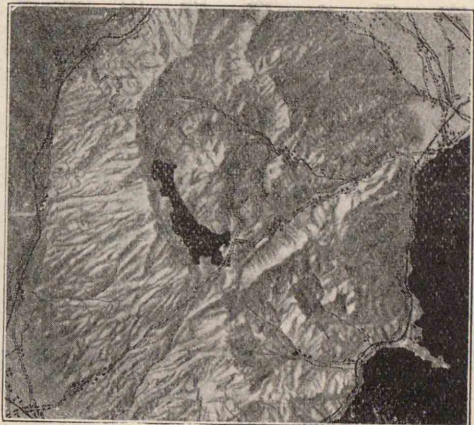
社會本 るあで場工一たし備完も最の社會油醬田野るあ稱の一本日 場工油醬田野  
ぶ及に軒萬十年一高造釀てし擁を人百五千三員業従とるす合を場工るあに地各の



に獵漁み住餘人百に島父在現で孫子の者たし着漂は又住移く古 人化歸の島原笠小  
るあで船木獨の有特島本は船の眞寫 るあてけ受を扱取の一同と人地内てし事従



箱根山の鳥瞰模型圖(上) 千葉縣の漁場(下)



に、久里濱の史蹟がある。相模灣岸地方は湘南と呼ばれる。鎌倉は、史蹟に富んで、且つ逗子・葉山・茅崎・平塚市・大磯・小田原等と共に別荘地帯・保養地帯をなしてゐる。秦野は、葉煙草の産地として名高い。

箱根山は、二重式火山で、湯本塔・澤宮、下等の温泉が多

く、火口原には蘆湖が湛へて、風光描くが如く、湖畔に、離宮關址がある。小田原より電車を通じて、よき遊覽地である。

管轄 安房・上總・下總大部

千葉縣 南半は、丘陵性の房總半島で、鋸山に石材を産し、清澄山に模範林がある。海岸には、鰻で名高い九十九里濱等の漁場が多くて、水産が



飛行機より見たる成田不動堂附近 三里塚は御料牧場の所在地で、櫻の名所である。館山に海軍航空隊がある。

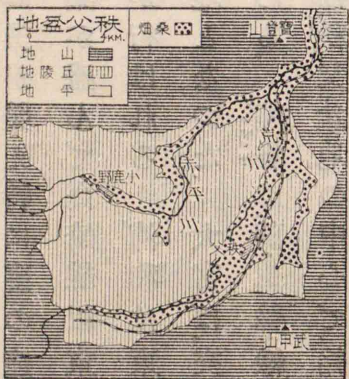


縣廳・醫大の所在地 下志津に陸軍飛行學校がある。

管轄 武藏北部

れる。千葉市は、交通の要地で、附近に、陸軍氣球隊がある。佐倉習志野・國府臺附近は、軍事地として知られ、成田は、不動堂のある處、佐原は伊能忠敬の出身地である。埼玉縣 西半は、關東山地で、中央に秩父盆地がある。東半は、關東平野の一部で、荒川・江

多く、又保養に適する。北部には、低地と臺地とがある。低地は、灌漑がよくて、農産が多く、近年園藝が発達した。流山・野田・銚子(以上、醤油)・佐原(醤油)等は、醸造地帯をなし、味噌・醤油の産額が、國內第一である。臺地は、概ね原野で、牧畜・練兵(砲兵・騎兵・交通兵・鐵道隊)に利用さ

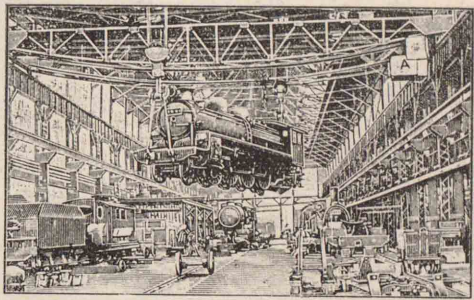




川口は米を集散し  
鑄物・麥酒を産す  
る  
1 縣廳・高校の所  
在地  
2 秩父往來の要地  
で吉見の百穴に近  
い

米の取引も多い

管轄 上野



蠶機業の中心で、附近に、甘藷の産が多い。

群馬縣 利根川の上流を占め、山地が多く、森林が深い。縣の中部には赤城・榛名の二火山が聳え、西部の妙義山と共に、上野の三山と呼ばれ、何れも風景が美しい。附近には、伊香保・草津を始めとして、温泉が多い。火山の裾野地方は桑園、山麓は養蠶が發達し、平野には、製

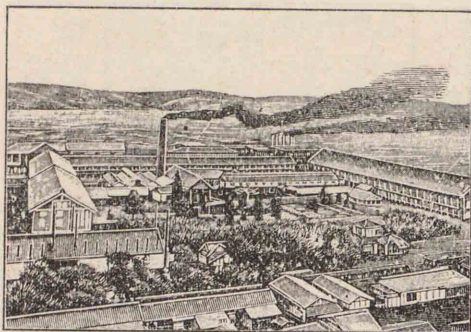
1 縣廳所在地

2 高工の所在地

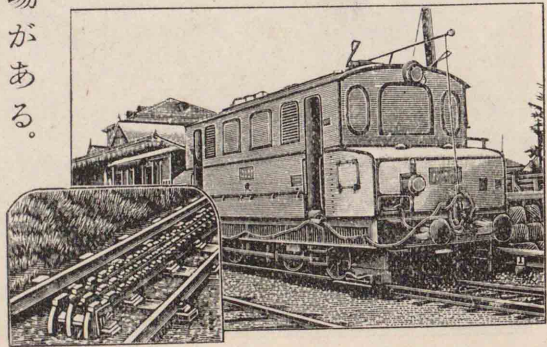
3 我が國での器械  
製絲の創業地

(下) 碓氷峠  
のアプト式軌道と  
電気機關車  
(上) 富岡製絲工場

管轄 下野



紙織物業が盛んである。高崎市は、交通の中心で、又前橋市と共に、繭生絲の市場である。信越線は、高崎市より西に向ひ、アプト式軌道により、碓氷峠を越える。兩毛線沿線は、機業地帯をなし、伊勢崎(銘仙・絲織)・桐生市は、絹織で著は

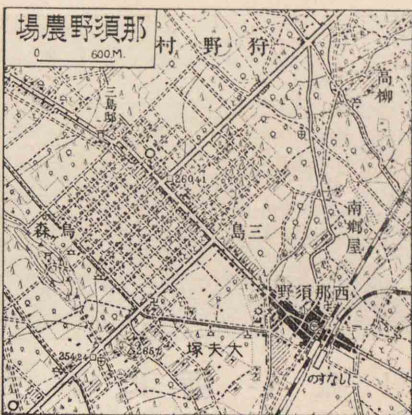


れ、富岡は製絲で名高い。太田には、飛行機製作所がある。南東隅の館林(カネバヤシ)には、製粉・モスリンの工場がある。  
栃木縣 西部より北部にかけて、地勢が峻しいが、その間に、日光等の勝地、那須・鹽原等の温泉地、足尾の鑛業地がある。那須山麓の那須野は、開墾が進んできた。南東部の那珂川流



- 1 烏山・茂木が中心地
- 2 鹿沼が中心地
- 3 縣廳・第十四師團司令部・高農の所在地

日光附近の鳥瞰模型圖



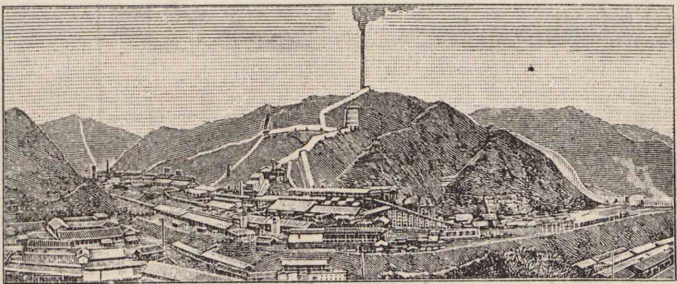
利市は絹綿交織物の大産地で、佐野は、綿織物の産地である。

日光山中は、中禪寺湖華嚴瀧等の自然美と、東照宮等の人工美とが調和して、一大遊園をなし、我が國の代表的遊覽地の一である。また電氣製銅所がある。

茨城縣 北部の阿武隈山地には、日立鑛山が



- (上) 日立鑛山全景(下) 煙草の栽培と乾燥
- 1 徳川氏親藩の舊城下町で縣廳・高校の所在地
- 柿岡に地磁氣觀測所阿見に海軍航空隊館野に高層氣象臺がある



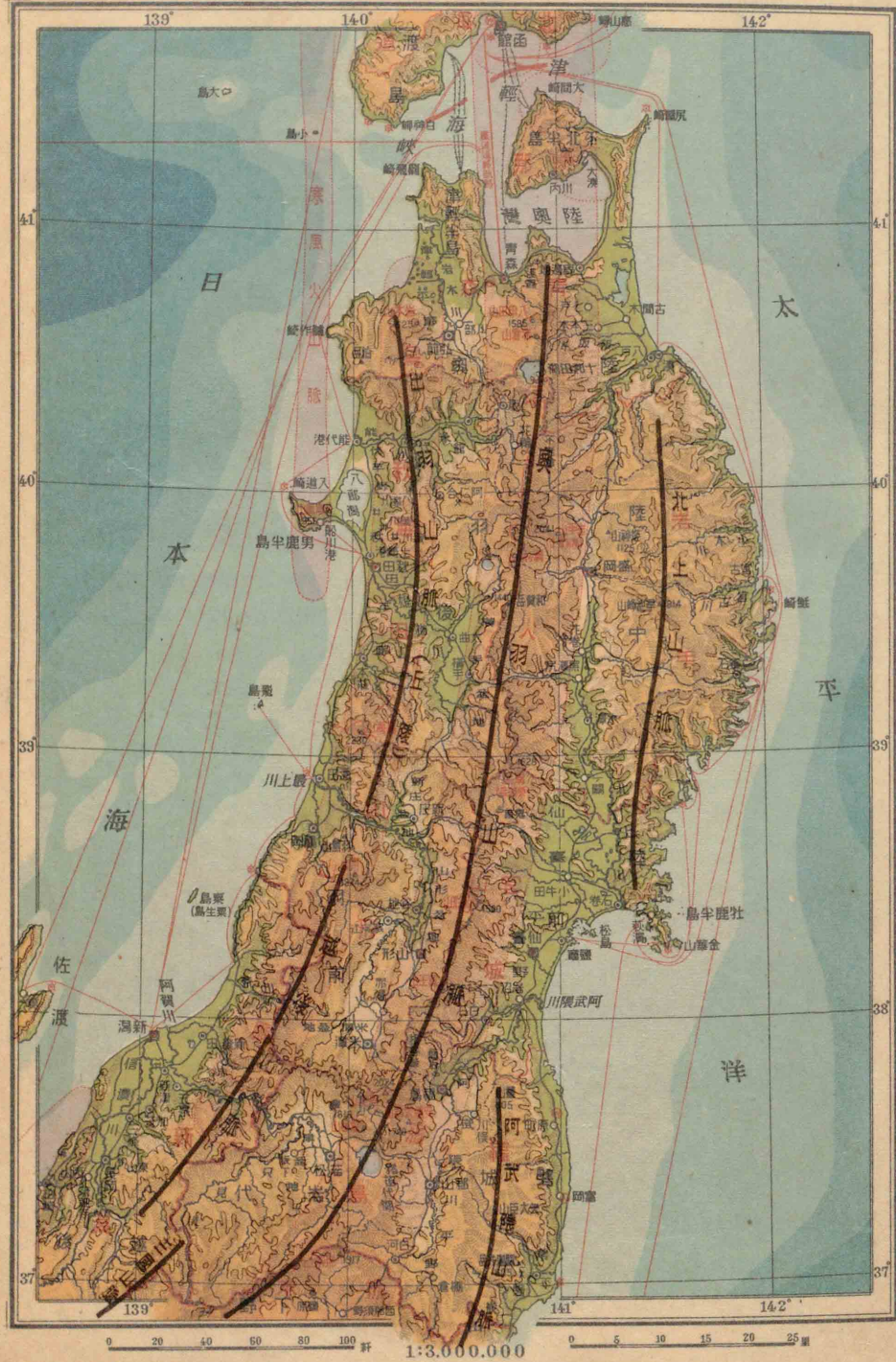
て、世に名高い。土浦は醬油、石岡は清酒の醸造地である。

ある外、石炭・大理石を産し、又葉煙草を栽培する。海岸には、漁港・保養地がある。南部は、低平で湖沼が多く、米麥等の農産に富んで、醸造業も行はれ、都會が多い。筑波山は、平野中に聳えて眺望がよく、頂上に、氣象觀測所がある。水戸市は、那珂川に沿ひ、交通・商業の要地で、弘道館・常磐公園がある。水戸線上の結城下館は、古來、紬・木綿の産地として、

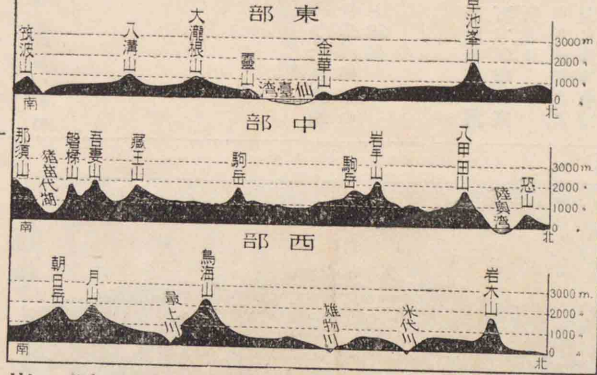




奥羽地方



奥羽地方南北断面



昔は勿來關・白河關・鼠ヶ關が奥羽の出入口であつた

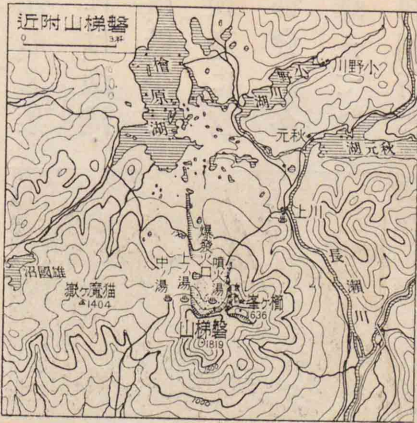
地方誌 奥羽地方地文誌

第二章 奥羽地方

第一節 地文誌

**地域** 古の陸奥・出羽の地で、東北地方ともいはれ、福島・宮城・岩手・青森・秋田・山形の六縣である。面積は廣いが、位置が偏在し、山地が多く、氣候も稍寒いので、文化の發達が稍後れ、人口が少い。

**地勢【高地】** 三條の山脈が、縦走してゐる。中央の奥羽山脈は、磐梯・吾妻・岩手・八甲田の諸火山を起せる那須火山脈と重なり、本地方の大分水嶺をなしてゐる。東部の山脈

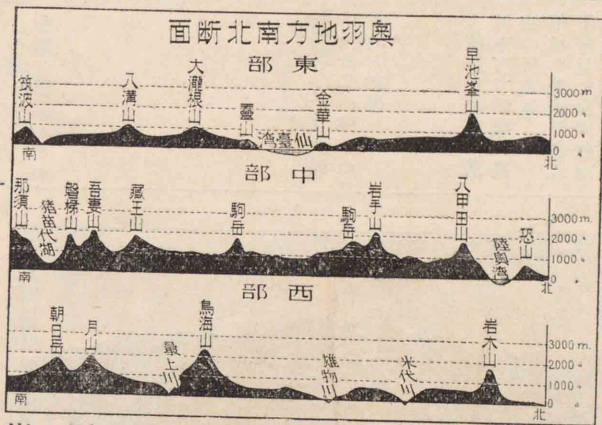




## 第二章 奥羽地方

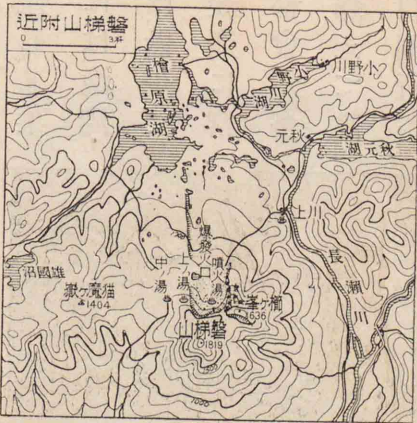
### 第一節 地文誌

昔は勿來關・白河關・鼠ヶ關が奥羽の出入口であった



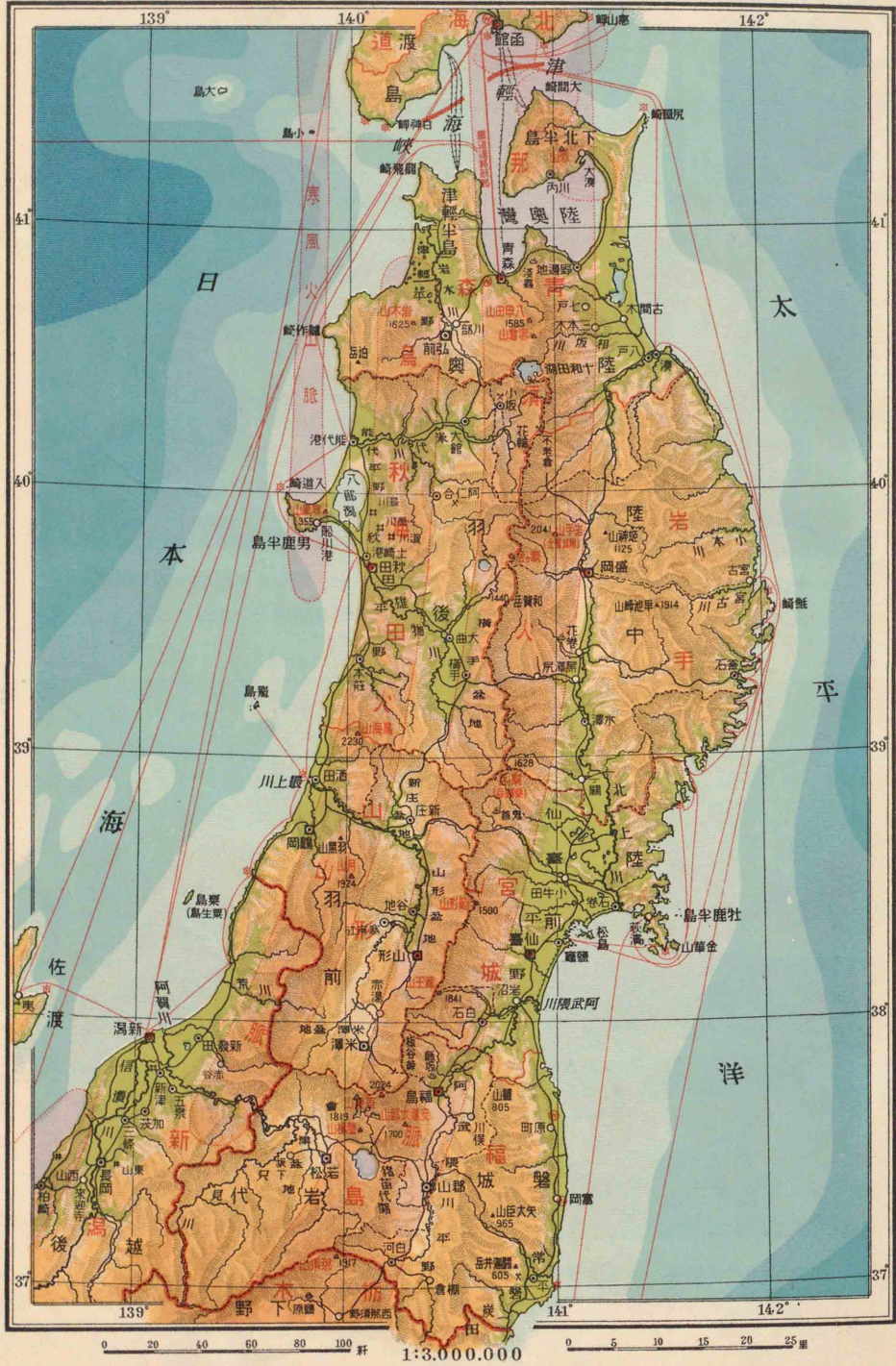
**地域** 古の陸奥・出羽の地で、東北地方ともいはれ、福島・宮城・岩手・青森・秋田・山形の六縣である。面積は廣いが、位置が偏在し、山地が多く、氣候も稍寒いので、文化の發達が稍後れ、人口が少い。

**地勢【高地】** 三條の山脈が縦走してゐる。中央の奥羽山脈は、磐梯・吾妻・岩手・八甲田の諸火山を起せる那須火山脈と重なり、本地方の大分水嶺をなしてゐる。東部の山脈





奥羽地方





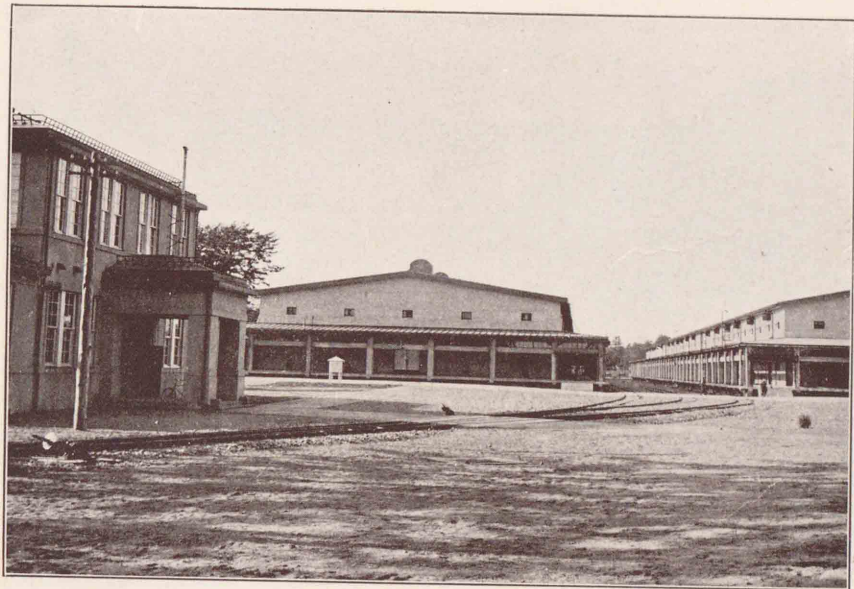


湖田和十 我が國に於ける代表的景勝の湖を紺碧の水を繞つて原始林が茂る外圍の  
別天地をすなはて鱒の養魚が行はるる一養魚場の近景の觀るであ

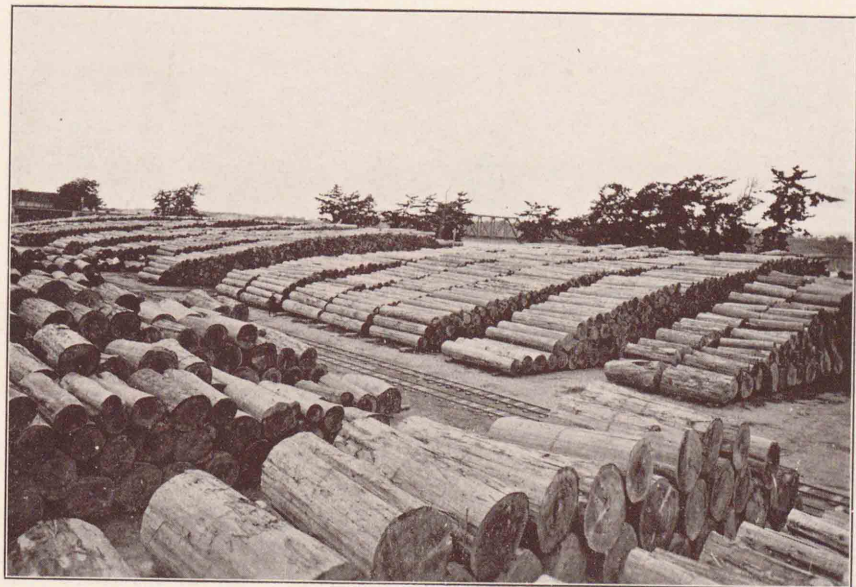


男鹿半島の勝奇 男鹿半島の西岸は火山の岩の作用に爲るに奇岩・洞窟・絶壁の  
奇勝の眞寫は南端のすなを觀るであ 寫眞は盡し難い 壯觀の筆紙に盡し難い 奇勝の形作ら





酒田の立米倉庫 酒田の古來より莊内米の集散地として知られる奥羽商業の中心  
 であつても往來の船舶が榮る賑が引取の穀米を置き置設が立國庫も今



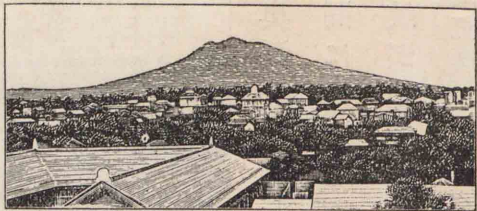
能代港の木材集積 秋田木材會社の貯木場の觀景 能代川の流上の大森林は  
 多くに積集をせしめて秋田杉の名を以て廣く内地に供給をせしめて



岩木山

北部の津輕平野は  
 岩木川が灌漑する

電力は附近の工  
 場に使われ又東  
 京に送られて電  
 工場に用ひられ  
 る深さ四五米

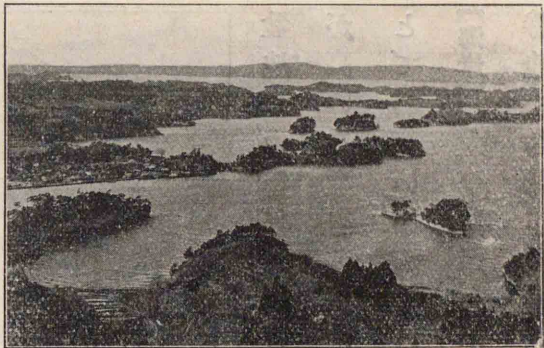


は、稍低い高原で、仙臺平野及び仙臺灣で、阿武隈北上の二山脈に分たれ、中央大分水嶺との間に、細長い平地がある。阿武隈北上の二川が、これを灌漑して太平洋に入る。西部の山脈は、處々に平地を抱いて、低い數個の山塊に分れ、出羽丘陵といはれる。併し最上川以南には、稍高い越後山脈がある。この西部山脈にも、亦鳥海火山脈が通じ、月山・鳥海山・岩木山等の火山を起してゐる。阿賀最上雄物(御)米代(能)の諸川は、夫々は、稍低い高原で、仙臺平野及び仙臺灣で、阿武隈北上の二山脈に分たれ、中央大分水嶺との間に、細長い平地がある。阿武隈北上の二川が、これを灌漑して太平洋に入る。西部の山脈は、處々に平地を抱いて、低い數個の山塊に分れ、出羽丘陵といはれる。併し最上川以南には、稍高い越後山脈がある。この西部山脈にも、亦鳥海火山脈が通じ、月山・鳥海山・岩木山等の火山を起してゐる。阿賀最上雄物(御)米代(能)の諸川は、夫々は、盆地の水を集めて、日本海に入る。猪苗代湖は、風景が勝れ、又水面が高い爲、灌漑發電に利用される。十和田湖は、風景の美と鱒の養殖とで名高い。田澤湖は、我が國の最深湖である。

【海岸】 太平洋岸の中部には、牡鹿半島があつて、仙臺灣を抱き、更に勝地松島灣が灣入してゐる。仙臺灣以北の鋸齒狀(スリ)海岸には、

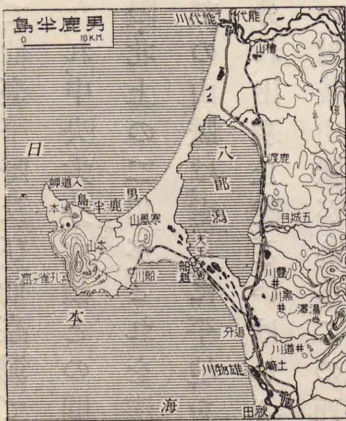


松島

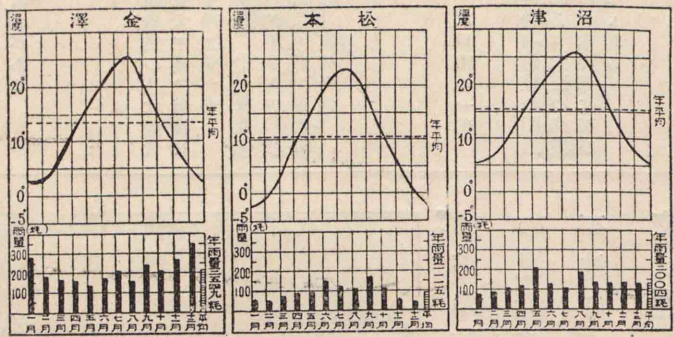


奥灣を抱き、北海道本島との間には、交通上、重要な津軽海峡がある。  
【氣候】 本州中で、最も低温で

良港が多いが、北上山脈が海に迫つてゐて、陸上の交通が不便である。また産業も振はぬ爲、釜石の外は殆ど商港がない。日本海岸は、中部の男鹿半島・八郎潟が著しく、その他は概ね砂濱で、良港が乏しい。北部には、下北(南)津軽の二半島があつて、陸



福島附近の櫻桃園



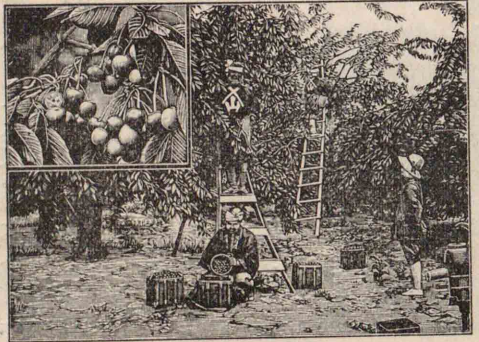
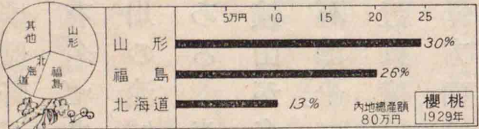
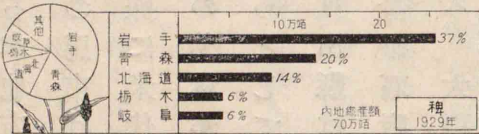
阿武隈川最上川の流域では、養蠶が行はれ、又製絲・絹織が

第二節 人文誌

ある。東岸は、寒流に洗はれて氣温が低く、屢濃霧に蔽はれる。西岸は、暖流季節風の影響により、冬季に、積雪が深い。

産業 農業が、主産業であるが、耕地・氣候の關係上、割合に産額が少い。米は、主要の農産で、各平地に産し、殊に東

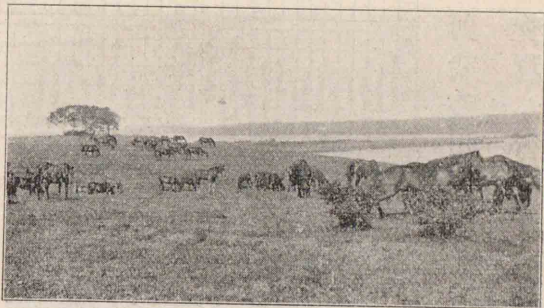
部には、麥・大豆・稗、青森岩手の二縣には、馬鈴薯の産が多い。又青森縣は、苹果、山形・福島二縣は、櫻桃を産する。





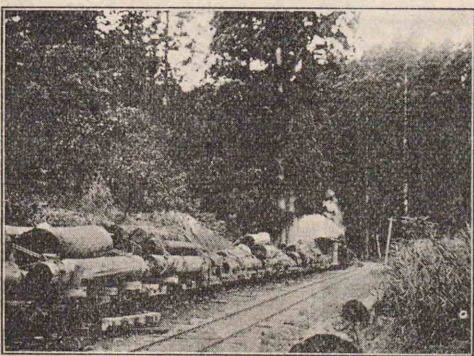
1 白河馬・仙臺馬・南部馬・三本木馬の名がある

絹織業の外は近代式大工業は發達せず手工業が多い  
2 八戸市の一部  
近時羽越線の開通により大阪の商圏が日本海岸に延びつゝある



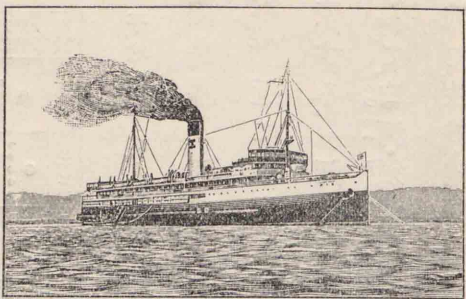
山沖の鯨・鰹・鮪の漁獲が著はれ、氣仙沼・宮古・鮫の漁港がある。商業は、東京の商圏に屬し、各平地に、夫々中心市場がある。

交通 地勢上、道路鐵道は、先づ縦貫線が發



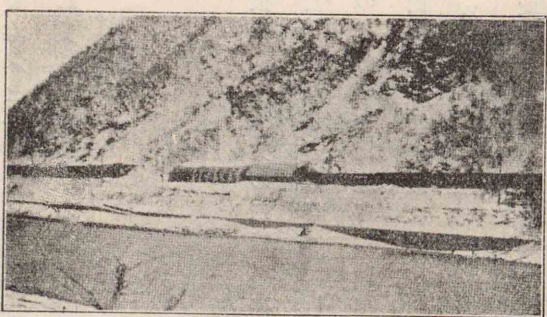
青森・函館間の鐵道連絡線は一航海に約四時間半を要する

秋田にも放送局が設けられた  
3 秋田にも放送局が設けられた  
4 (上)青函連絡船(下)磐越線の雪覆



達し、横斷線が後れてゐる。海上交通は、良港が少いので、船舶の往來が少く、又冬季は、風雪に妨げられることが多い。青森は、本地方主要の開港で、北海道との連絡上、重要な位置を占めてゐる。

無線電信局は富岡・原町(以上一部)のラヂオ放送局は仙臺にある。重要道路は、濱・奥羽・陸羽・北國の四街道で、何れも南北に走り、東西には、處々に、奥羽山脈を越える峠がある。鐵道系も、殆どこれ等と一致してゐる。





て、新津で信越線に接続する。常磐線は、濱街道にかゝつて、南東海岸を岩沼に来て、東北線に接続する。磐越線(平・新)陸羽線(小・牛・田・新)横黒線(黒・澤・尻)は、縦貫線を連絡する横断線で、何れも開通が新し。

第三節 處誌

面積	人口	方	方	方
度	密	度	密	密
口	人	口	人	人
全	●●●	全	●●●	全
内	●●●	内	●●●	内
奥	●●●	奥	●●●	奥
羽	●●●	羽	●●●	羽
福	●●●	福	●●●	福
島	●●●	島	●●●	島
宮	●●●	宮	●●●	宮
城	●●●	城	●●●	城
岩	●●●	岩	●●●	岩
手	●●●	手	●●●	手
青	●●●	青	●●●	青
森	●●●	森	●●●	森
秋	●●●	秋	●●●	秋
田	●●●	田	●●●	田
山	●●●	山	●●●	山
形	●●●	形	●●●	形

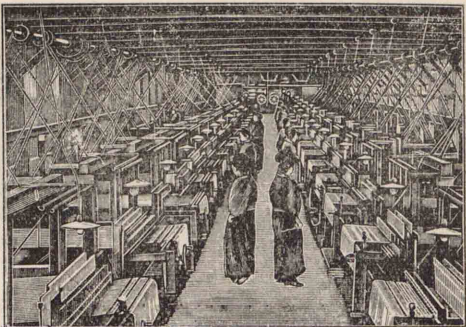
平地のみは、人口が比較的密で、都邑が集り、交通が稍、便利である。

面積は、關東地方の二倍以上を占めてゐるが、人口は僅にその二分の一に過ぎない。ただ山脈間の盆地又は海岸の

管轄 岩代・磐城 大部  
1 水産物も集散する  
2 縣廳・高商の所在地

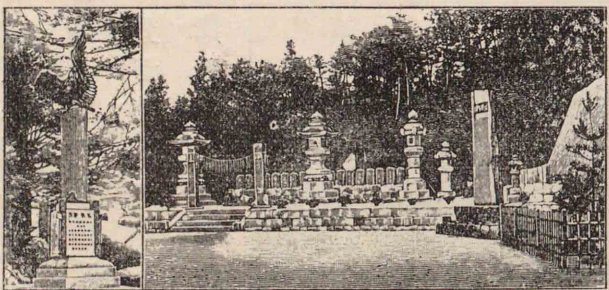
福島縣 阿武隈山脈東斜面の海岸平地(通)は、常磐線が通じ、南部の平附近には、炭田がある。北部の中村は、相馬地方の中心で、相馬焼を産する。阿武隈川流域(通)は、養蠶牧畜が發達し、製絲羽二重織が盛んで、白河須賀川三春は、馬の市場である。郡山市は、交通・商工業の要地で、生絲綿絲を産する。福島市は、奥羽線の分岐點で、繭生絲を集

二本松は製絲保原は眞綿で知られる  
1 北東方の飯盛山に白虎隊の墓がある南東の東山は温泉場である  
2 (上)川俣の羽二重工場(下)飯盛山上白虎隊の墓(左は伊太利より贈られた記念碑)  
管轄 磐城一部・陸前大部  
高田鑛山は銀・鉛・亜鉛の産が多い



散し、川俣と共に、羽二重を産する。西半は、概ね山が深く、中に會津盆地がある。一般に、養蠶が行はれ、又米の産が多い。若松市は、盆地の中心で、會津塗・清酒を産出する。その北西に、絹織地の喜多方がある。

に、温泉牧場が多い。牡鹿半島の西岸には、名産荻濱がある。金華山附近には、漁獲が多い。仙臺平野は、北上川下流と、湖沼との灌漑によつて、米産が多く、河口の石巻は、維新前、陸前米の輸送で賑はつた。縣内は、一般に養蠶が行はれる。仙



2 伊達侯の舊城下で縣廳・第二師團



司令部・控訴院、東北帝大・高工・高校の所在地、木細工を名産とする

管轄 陸前・陸奥の各一部、陸中大部

（上）仙臺市 大淵（下）小岩井農場の綿羊飼養

中尊寺の金色堂が最も名高い



臺市は、奥羽第一の都市、政治・軍事・交通・學術の中心で、生絲・仙臺平を産する。鹽釜は、仙臺市の外港で、鐵道を通じ、その前面に、松島の絶景がある。  
岩手縣 東半部の北上山脈は、東岸との連絡を妨げ、宮古・釜石・大船渡等の良港灣も、利用し難い。釜石は、内地第一の鐵山を控へて、製鐵が行はれ、近海は、水産業が稍盛んである。  
北上・馬淵二川の上流は、馬鈴薯・稗の産が多く、牧畜も盛んで、岩手山麓には、大規模の小岩井農場がある。一關は縣の南門、平泉は史蹟地で、水澤には、緯度觀測

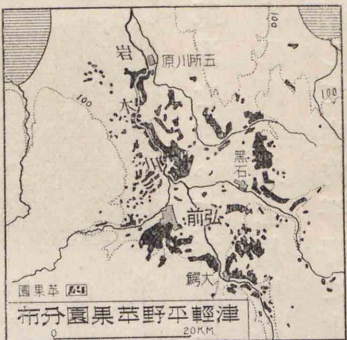


縣廳・高農林あり

管轄 陸奥の大部

縣廳所在地で函館・室蘭・小樽・大泊・真岡に航路を通ずる  
第八師團司令部・高校がある  
管轄 羽後大部・陸中一部

縣廳・鐵專の所在地



所がある。盛岡市は、南部馬の市場で、南部鐵瓶を産する。

青森縣 東部は、平野が廣くて、牧馬が榮え、八戸市三本木は、その中心地をなしてゐる。西部の津輕平野は、耕地が廣く、米・苹果の産が多い。中部・南西部の山地、津輕下北の兩半島には、深い森林がある。青森市は、開港で、水陸交通の要地に當り、製材・罐詰製造が行はれる。弘前市は、津輕平野の中心で、清酒・津輕塗・木通細工を産し、米・苹果・木材を集散する。

秋田縣 山岳が、三面を掩ひ、中央にも、山地が蟠つてゐる。米代川本支流の流域には、杉の良材を産し、河口の能代港で製材する。又小坂・尾去澤・不老倉・阿仁等の鑛山があつて、銅・銀・金の産が多い。雄物川の流域は、米産が多く、又荒川等の鑛山より、銅・銀を産する。秋田

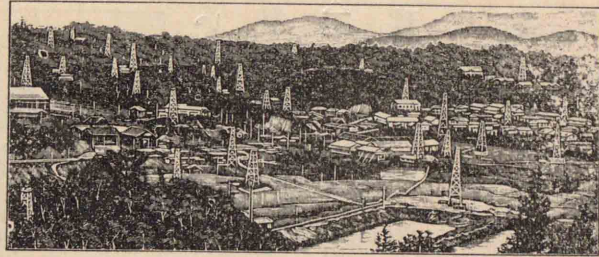


方地部中



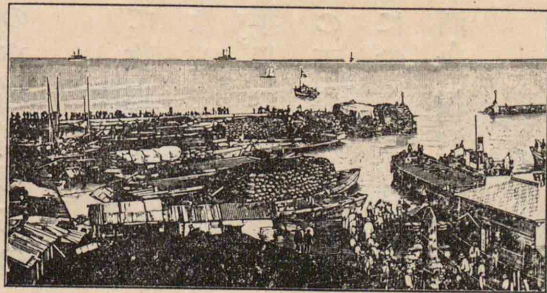
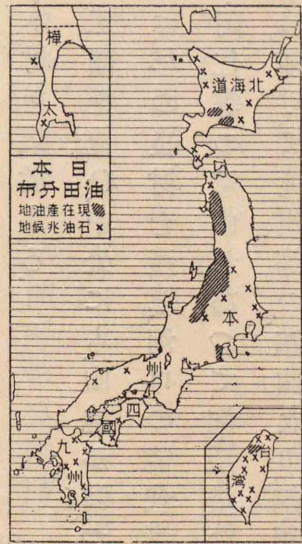
1 寒風山が聳え日本海岸に高嶺がある  
 管轄 羽後一部・羽前  
 2 山脈中の羽黒山・月山・湯殿山を

（上）秋田縣の油田（下）船川港の米穀積出し



郎瀉を抱いて、奇勝に富んでゐる。  
 山形縣 最上川は、奥羽越後兩山脈間の諸盆地を潤して、庄内平野に出て、日本海に入る。その流域の

る。秋田市附近には道川・豊川・黒川等の油田が多く、其の外港の土崎港は製油業が盛んで、男鹿半島の開港船川を補助港として、石油米を積出す。男鹿半島は、内に八



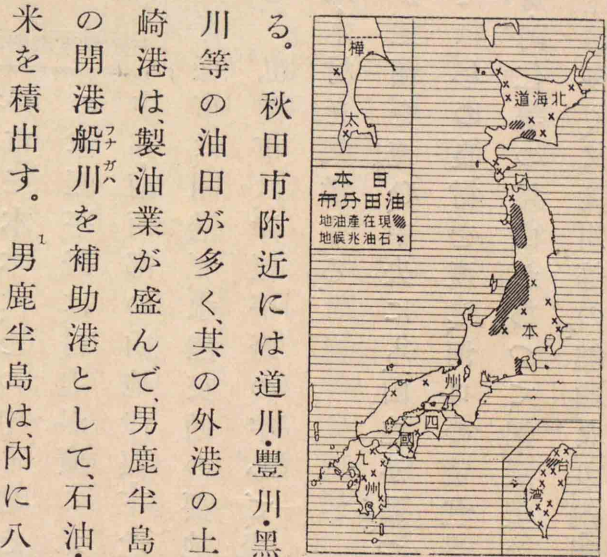
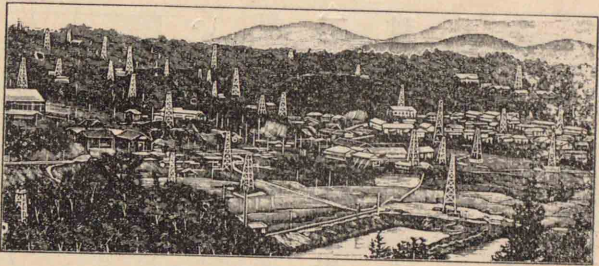
市は、交通の要地で、絹織物を産出し、又大曲・横手と共に米を取引す



圖解 (上) 秋田縣の油田(下) 船川港の米穀積出し

1 寒風山が聳え日本海岸に高作穀がある

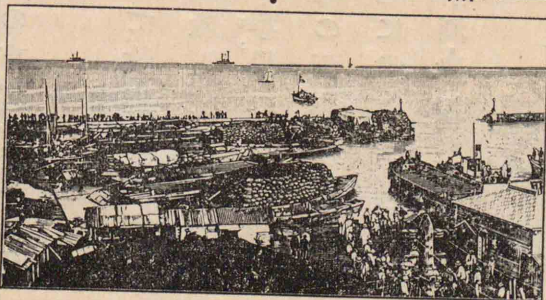
管轄 羽後一部・羽前  
2 山脈中の羽黒山・月山・湯殿山を



る。秋田市附近には道川・豊川・黒川等の油田が多く、其の外港の土崎港は、製油業が盛んで、男鹿半島の開港船川を補助港として、石油米を積出す。男鹿半島は、内に八郎瀉を抱いて、奇勝に富んでゐる。

山形縣 最上川は、奥羽越後兩山脈間の諸盆地を潤して、庄内平野に出て、日本海に入る。その流域の

市は、交通の要地で、絹織物を産出し、又大曲・横手オホマカリと共に、米を取引す





方地部中



0 20 40 60 80 100 1:3,400,000 0 5 10 15 20 25 里



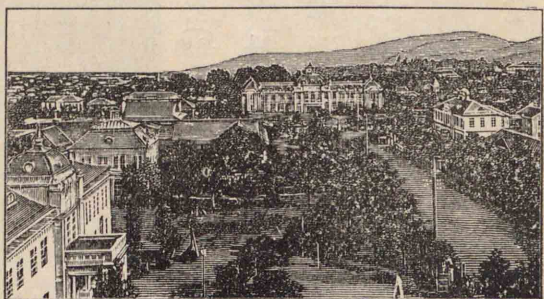


出羽三山といふ

一、縣廳・高校の所在地

圖解 山形市街(縣廳前通)

古來東西交通の要路にあり南・北の文化が接觸し融合した地方である



平地は縣下の主要産業地である。米澤市は、置賜地方(盆地)の中心で、養蠶機業(特産)が榮え、山形市は、村山地方(山地)の中心市場で、銅鐵器・綿織物を産する。新庄は、最上地方(新庄盆地)の中心、交通の要地で、庄内平野の鶴岡市は、羽二重米を集散する。酒田は、米の倉庫を有し、その大集散地である。

### 第三章 本州中部地方

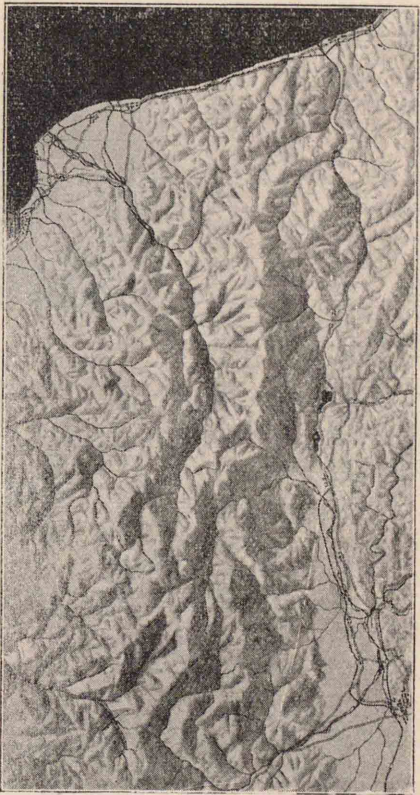
#### 第一節 地文誌

地域 中部地方は、本州中、幅の最も広い地域を占め、山梨・静岡・愛知・岐阜・長野・新潟・富山・石川・福井の九縣がある。古來、南北日本の接續點となり、殊に南部は所謂東海の地で、史上活動の舞臺であつた。  
地勢【山地】 飛驒・木曾・赤石の三山脈が、略並走し、地勢が極めて



登山口は多いが大町口・鳥ヶ口が著名である上高地の眺望は最も雄大である

飛驒山脈の鳥瞰模型圖

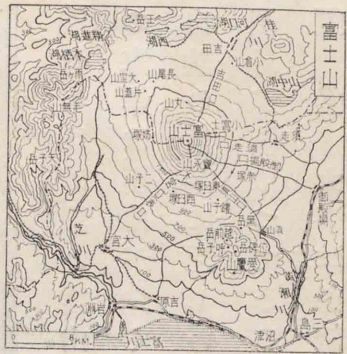


岳<sup>燒</sup>等の火山がある。これ等の山脈は高さ三千米内外に達し、眺望が最も雄大である。飛驒山脈の西は、本州最高の飛驒高地に續く。赤石山脈は、その雄大さ、殆ど飛驒山脈に遜らない。之れ等の山脈と、東境の關東・越後兩山脈との間に、富士火山脈が通じて、天城・富士八嶽<sup>ナツタケ</sup>・立科<sup>タテカ</sup>・飯綱<sup>イヒツナ</sup>等の諸火山を起してゐる。西方の近畿地方との境には、伊吹<sup>イブキ</sup>山脈がある。

復雜<sup>フツゾク</sup>である。飛驒山脈は、本州最高の山脈で、鎗岳<sup>ヤリダケ</sup>・穂高岳<sup>ホトカケ</sup>・白馬岳<sup>シロウマ</sup>等の峻峰<sup>シユン</sup>が峙<sup>ソバダ</sup>ち、乗鞍<sup>ノボダ</sup>火山脈、その中を通じて、御嶽<sup>ミツタケ</sup>・乗鞍岳<sup>ノボダ</sup>立山<sup>タテヤマ</sup>・硫黄<sup>リウウ</sup>

飛驒山脈を北アルプス・木曾山脈を中アルプス・赤石山脈を南アルプスといふ

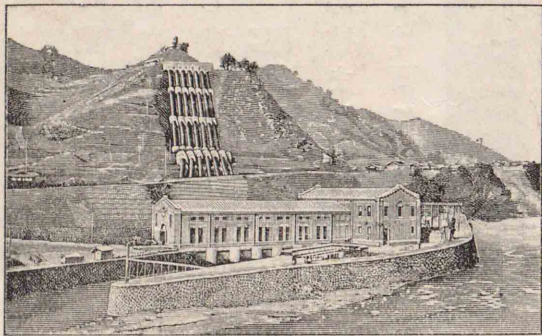
山梨縣桂川上流の發電所



富士山は、高さ三千七百七十六米<sup>（峯）</sup>あり、<sup>（峯）</sup>尖圓錐形を呈して、朝は紅に映じ、夕は雲を分ち、秋は玲瓏<sup>レイロウ</sup>冬は秀麗<sup>シュレイ</sup>、仰いで氣高く、眺めて美しい。實に天下の名山たるに恥ぢない。靜岡縣の大宮御殿場須走<sup>スズセ</sup>、山梨縣の吉田等は、登山口である。

【河湖卒地】 主な河川は、中央高地を出て、南・北兩斜面に分れる。富士

大井・天龍・木曾の諸川は、南流して太平洋に、信濃<sup>シノノ</sup>・神通<sup>ツツノ</sup>・庄<sup>シラ</sup>・九頭龍<sup>クツリヌウ</sup>の諸川は、北流して日本海に注ぐ。これ等の河川の多くは、古來、舟運の便あるのみならず、上流には、寢覺<sup>ネガク</sup>、床・天龍峽<sup>テンリウキヤ</sup>等の勝地があり、又發電所が甚だ多く、下流には、平野が開展して、地方の文化を發達せしめてゐる。濱名湖は、養魚が行はれ、諏訪湖は、製氷スケートが盛んである。富







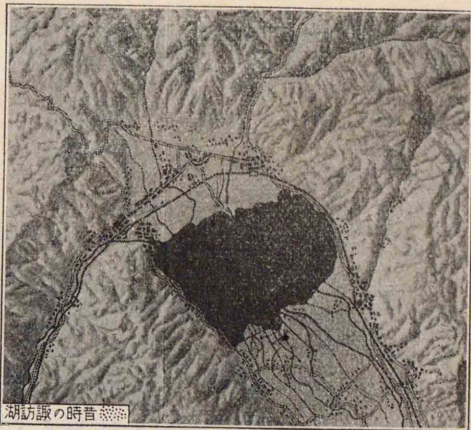
日本アルプス 飛騨山脈の雄峰 岳ヶ嶺 燕岳附近の眺りもためるあでの々々たる  
連峯と千の谷と地貌の遺憾な展開して雄大極なり



大井川 隆起地を侵蝕して悠々下流し平時は合水に少雨が期には洪水を起す  
遠景の向岸は即ち隆起地の一部で茶の栽培有る名原のあ

【圖解】 諏訪湖附近の鳥瞰模型圖  
伊勢海・若狭灣間は本州中最も幅が狭い

日本海岸には湯が多い



諏訪湖の訪湖

能登半島は、深い富山灣を抱く。その他の海岸は、屈曲が少くて、且つ砂濱が多く、自然の良港に乏しい。日本海上には、佐渡島が横はつてゐる。  
氣候 太平洋斜面は、溫和で、夏季に雨

士裾野の諸湖は、何れも風光がよろしく、附近に、キャンピングの好適地もある。  
【海岸】 太平洋方面は、伊豆半島の西に、深い駿河灣が彎入し、遠州灘沿岸は、概ね遠浅の砂濱である。渥美・知多の二半島間に、渥美灣・三河灣が挟まれ、西に、伊勢海がある。日本海岸では、西に、リアス式の若狭灣がある。



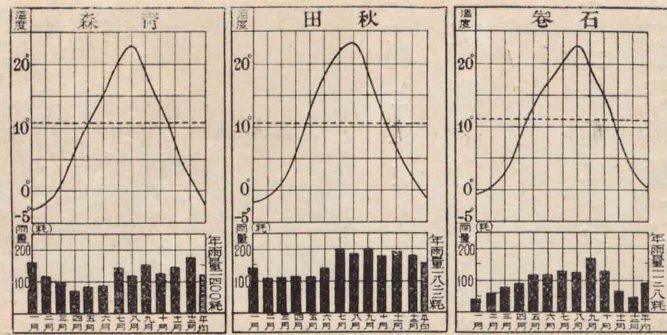


1 輕井澤・富士見  
高原等

越後濃尾二平野は  
内地での米の主産  
地である

静岡縣牧ノ  
原の茶摘

愛知縣は家禽の飼  
育が盛んである

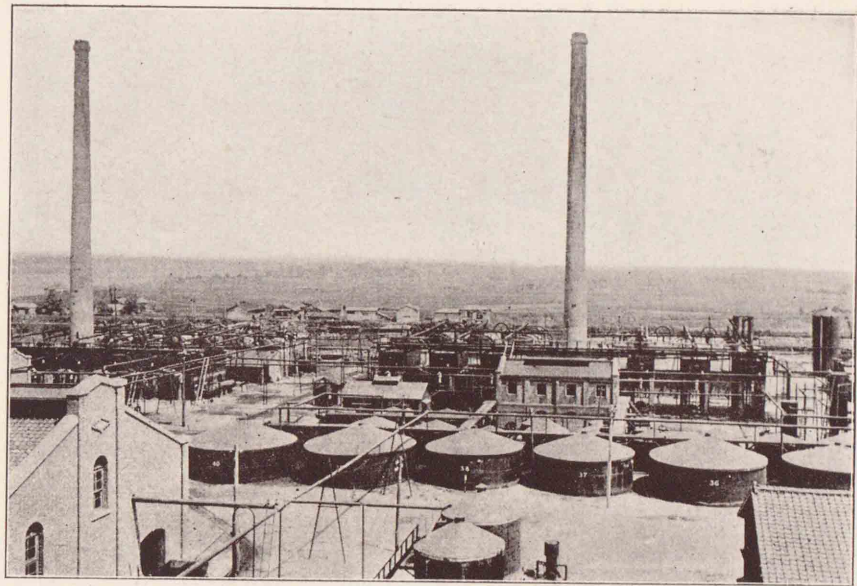
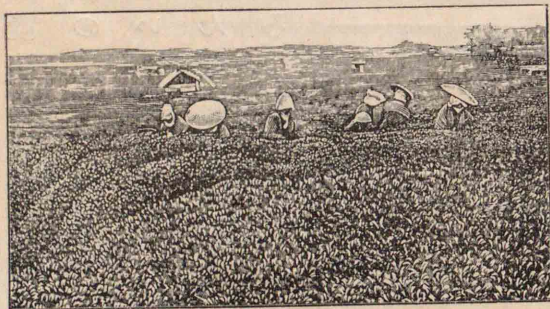
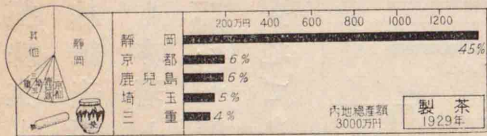


野縣は大<sup>マ</sup>麻を多く産する。養蠶業は一般に盛んで、長野縣愛知縣が特に著はれ、

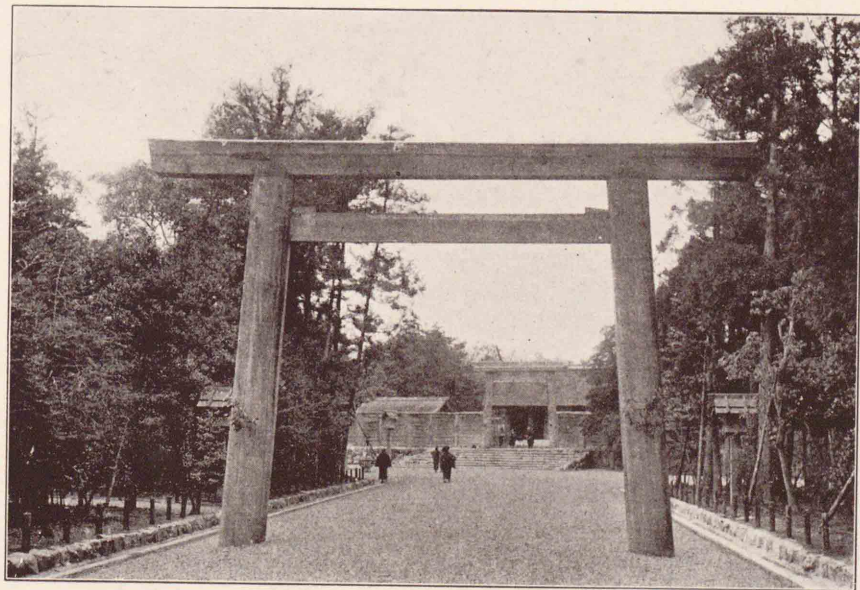
が多く、保養地が多い。中央高地は、年中乾燥して、冬寒が稍強いが、夏は、冷涼で保養に適する。日本海斜面の冬季は、北西風が強く、その深雪は、交通産業上、不便が少くない。

第二節 人文誌

産業 濃尾越後 越中越前等の諸平野は、米産が多く、又濃尾平野は、麥蔬菜の産も少くない。静岡縣は茶蜜柑梨、長岡縣は茶蜜柑梨、長



新し併 るあが所油製な大宏はに瀉新るゐてへ控を地油産の一國全 所油製の瀉新  
るあものもるゐてし止休はに中くな量油製のどほ前以は所油製の地各内縣め始を津

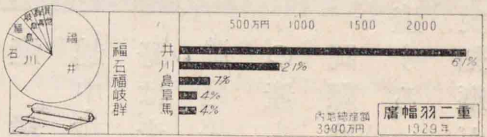


く普て次に廟大勢伊 るあてつ祀を劍薙草し座鎮に田熱部一の市屋古名 宮神田熱  
るめしき正を標ずは思てしと蒼鬱木樹てく廣だ甚は内境 る居てれら知に人



諏訪湖沿岸の岡谷は我が國製絲業の中心地である

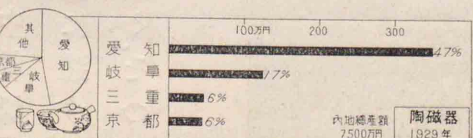
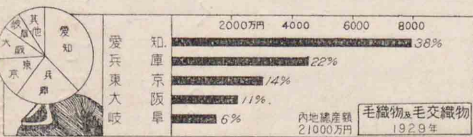
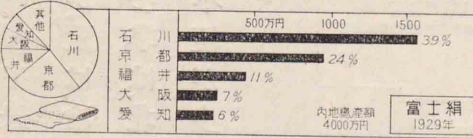
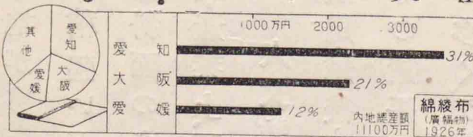
福井の絹織工場（織上つた羽二重を練つてゐる光景）



便利とにより、名古屋地方は、一大工業地帯をなし、綿絲、綿織物、絹織物、毛織物、陶器等の産が多い。富士南麓には、和洋紙の製造、製絲、紡織等が發達してゐる。その他濱

と交通の

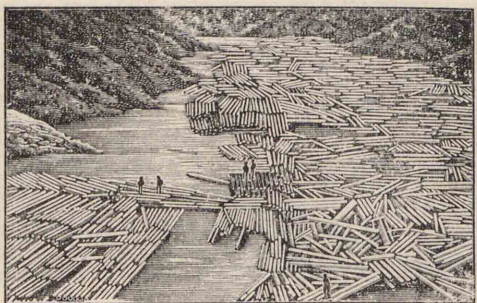
之に伴つて製絲業も發達し、殊に長野縣は、全國生絲總産額の二割半を産し、愛知縣の産も亦著しい。北西部は、概して絹織業（富士絹等）が盛んで、福井、金澤地方は、其の主要地である。動力原料の



時計・車輛等

石川縣の小松・大聖寺・山代は陶器山中は漆器を産する

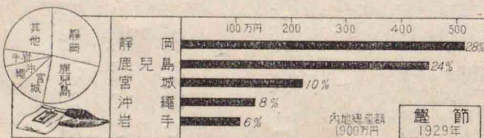
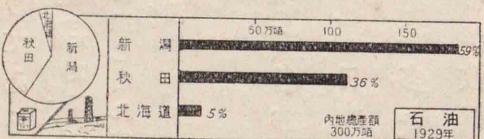
木曾川の木材集積



新潟縣は鮭の漁獲高も多く三面川の鮭は美味である

水産業は、静岡縣が最も盛んで、鰹、鰯、石花菜の産が多く、石川、新潟、愛知三縣が、これに次ぐ。商業の中心は、名古屋で、その商圏が廣い。各縣には、それ〴〵地方的商業都市がある。

交通 東海・中山・甲州・北陸・越後の諸街道は、古

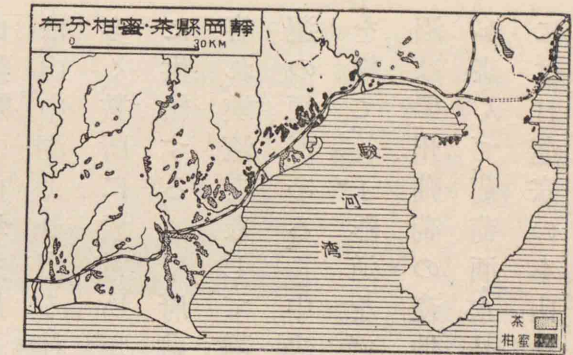








管轄 駿河・遠江・伊豆大部



三保松原・久能山附近の鳥瞰模型圖  
1 縣廳・高校の所在地で竹細工・おさび漬を名産とする  
2 高工の所在地綿織物と樂器とで名高い附近に陸軍飛行聯隊がある

水市は開港で、縣内の門戸に當り、茶を輸出する。静岡市は、茶和紙木材の市場である。島田は、木材を集散する。濱松市は、縣下第一の工業地で、商業も、亦盛んである。

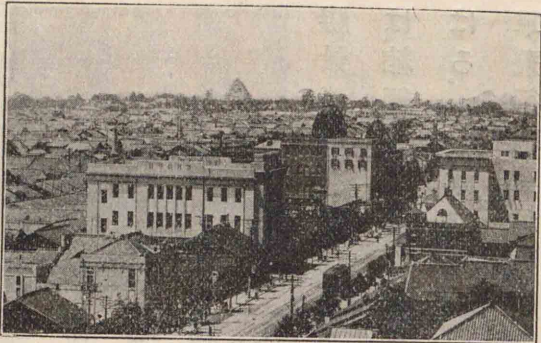


管轄 三河・尾張

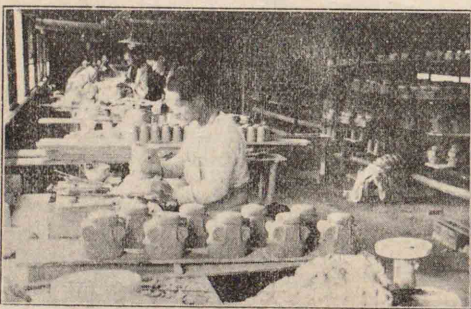
縣下には長篠・桶狭間・長久手・小牧・犬山・清洲・中村等の史蹟地がある

(上)名古屋  
市街(下)瀬戸の陶器工場

1 徳川氏親藩の舊城下町で今は中京の別名がある縣廳・第三師團司令部・控訴院・熱田神宮・醫大・八高・高工・高商の所在地  
2 絹織物・陶磁器を輸出し羊毛・小麦・綿を輸入する



常滑焼を産する。名古屋市は、國內第四の大都で、東西兩京間に發達した學術・商工業交通の要地である。其の港は、四日市港(三重縣)と共に、發達が著しい。一宮市は、製絲毛織の中心、瀬戸市は、製





管轄 美濃・飛驒

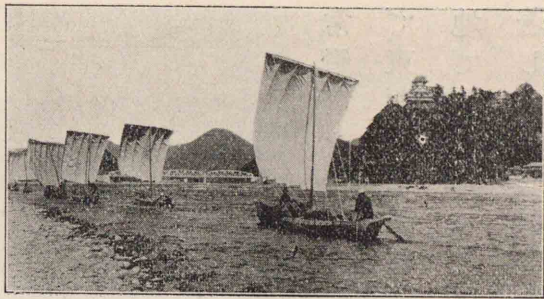
①(上)日本ライ

②(下)養老瀧

③上流は美濃紙の産地

④長野縣内にある

⑤縣廳・高等農林學校の所在地



陶地である。

岐阜縣 北部は、飛驒高地で、人口少く、交通不便で、養蠶製絲が行はれる。高山は、その中心地で、一位細工・春慶塗等の名産がある。北境に近く、神岡鑛山がある。南部は、濃尾平野に屬する米の大産地で、養蠶製絲紡織も、盛んである。木曾川は、飛驒・長良・揖斐の諸川を入れて、木材運搬・發電に利用され、又、寢覺床・日本ラインの

勝景がある。長良川に沿ふ岐阜市は、縮緬・生絲・紙製品を産し、鵜飼で著名はる。中津は、製紙地で、各務原に、陸軍飛行聯隊がある。大垣市は、綿絲



管轄 信濃

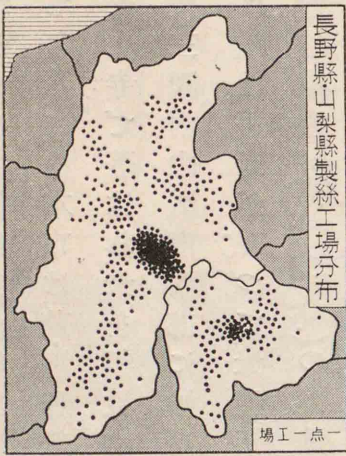
平は盆地と同じ意味である

交通線路もこれ等の盆地と溪谷とを連絡してゐる

①蠶絲専がある

②岡谷の製絲地

粗布・毛織物を産し、米を取引し、南の養老山中に、養老瀧がある。  
長野縣 高原狀の大縣で、氣候も、稍大陸性である。犀川は松本平、千曲川は佐久平を流れ、善光寺平の川中島にて會し、北流して信濃川となる。天龍川は伊那谷、木曾川は木曾谷を流れる。之れ等の流域(三盆地)は、諏訪平と共に、地味・氣候が、農桑に適し、養蠶製絲が盛んで、我が國第一の産繭・製絲地である。上田市は、紬を産し、又丸子と共に、繭蠶卵紙の市場である。浅間山麓の輕井澤は、避暑地として賑はう。諏訪平には、諏訪湖が湛へ、岡谷の外上

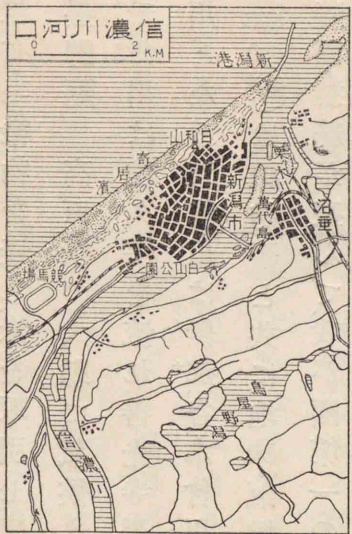




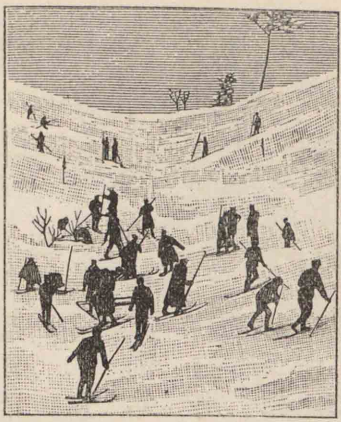
1 高校がある  
 2 縣廳の所在地  
 管轄 越後・佐渡  
 近年繭・生絲の集  
 散が盛んである

3 縣廳 醫大・高校  
 の所在地で港は信  
 濃川の吐出す土砂  
 を防ぐなど其の設  
 備が整つたが冬季  
 は北風の爲碇泊に  
 不便が多い  
 4 高工の所在地で  
 製油・織物・板紙・  
 機械類の工業が行  
 はれる

諏訪下諏訪の製絲地がある。伊那谷の飯田は米・生絲、木曾谷の福  
 島は木材の集散地である。松本市は、繭蠶卵紙の市場で、又生絲を  
 産する。長野市は、善光寺で著はれ、米を集散する。  
 新潟縣 東部に越後・三國兩山脈、南西部に妙高・燒山の二火山群が  
 あるが、海岸地方には越後平野が互つて、米産が頗る豊富で、又原油  
 産額も甚だ多い。近年、鐵道(信越・羽越・磐越)の發達は、東京方面との經  
 濟關係を益々密接にならしめた。新潟市は、古い開港で、製油・鐵工業



が榮え、米・石油の市場で、佐渡の夷  
 を補助港とする。新津は、交通の  
 要地、石油業の中心である。長岡  
 市は、商工業地で、水陸の便がよく、  
 東山油田に近い。柏崎は、西山油  
 田を控へて、製油が行はれる。三

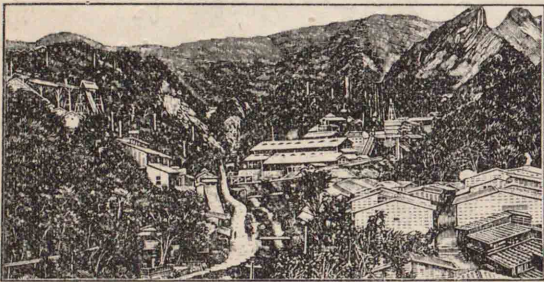


條は、又物の産地、五泉・小千谷・十日町は、機業地である。  
 高田市は、深雪とスキーとで名高く、直江津は、石油米の  
 積出地である。佐渡島は、南北二條の  
 山地が並行して、中央に平地を挟んで  
 る。金・米を産する。

管轄 越中  
 1 何れも急流で發  
 電に利用される

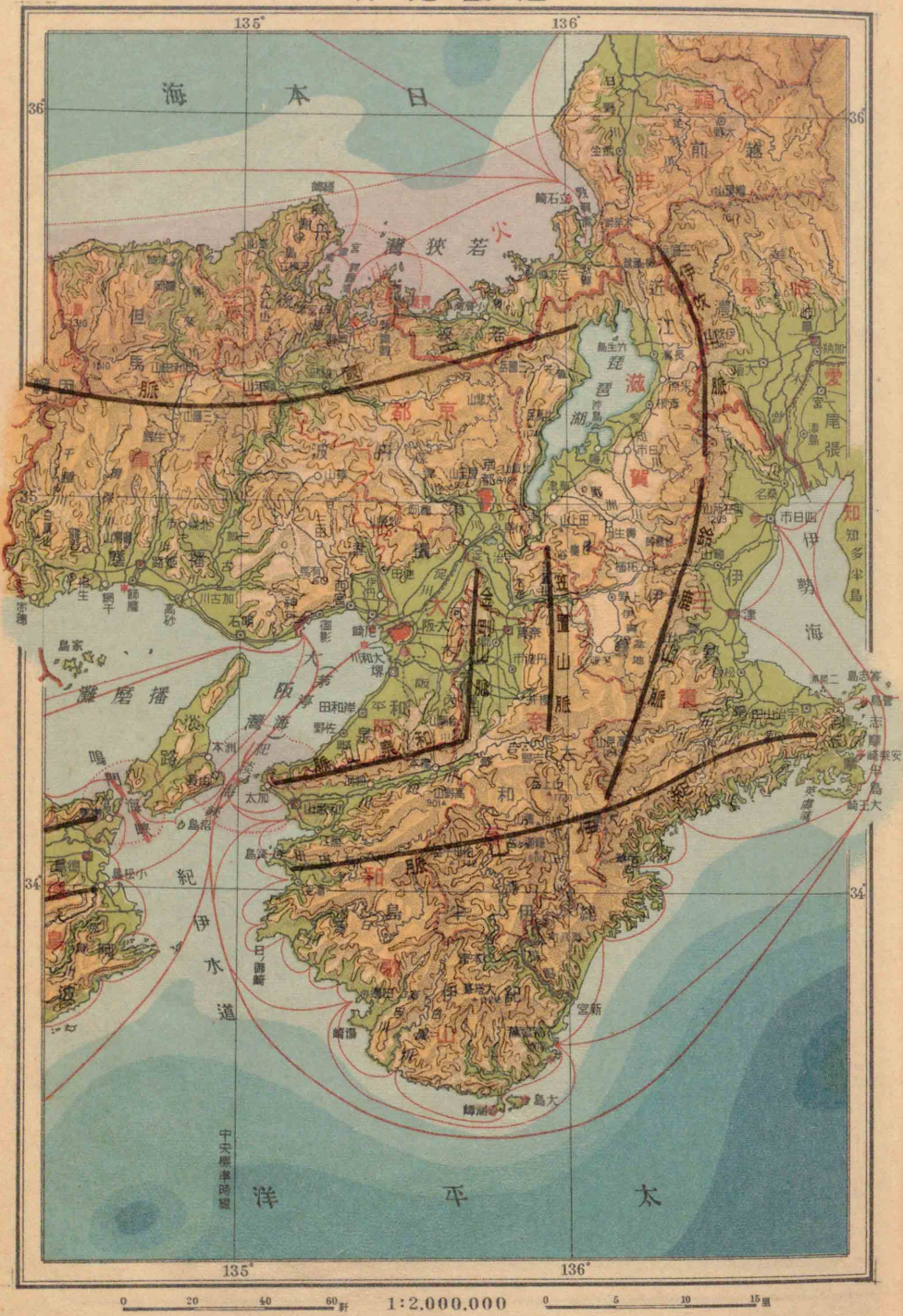
2 縣廳 (上) 高田市  
 郊外のスキー(中)  
 佐渡嶺山(下) 富山  
 の賣藥の製造と乾  
 燥  
 3 縣廳・高校・藥專  
 の所在地、米・羽二  
 重を取引する  
 4 近海は蟹氣樓と  
 蟹島賊とで名高い

地が連り、越中平野を圍み、四大川  
 (床・神通・常)が、之を潤して、人口多く、  
 産業が發達して、殊に農産が多く、  
 養蠶業・機業も盛んである。富山  
 市は、製藥が榮えて、その行商は、支  
 那・南洋にも及んでゐる。魚津滑  
 川は、漁港で、それ等の南東方に、有



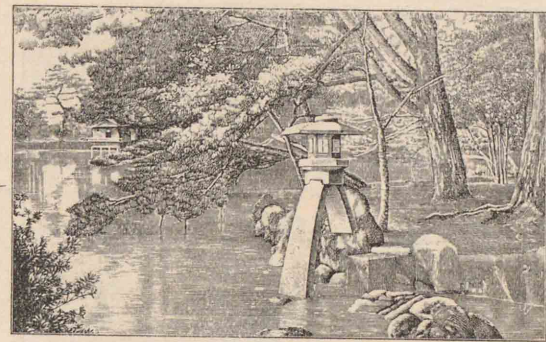


近畿地方



地方誌 本州中部地方處誌

伏木を外港とする  
管轄 加賀・能登  
前田侯の舊城下  
縣廳・九師司令部  
醫大・高工がある  
金石を外港とする  
兼六公園



名な黒部川の峡谷がある。高岡市は、縣下商工業の中心で、絹織物、漆器、銅器を取引する。

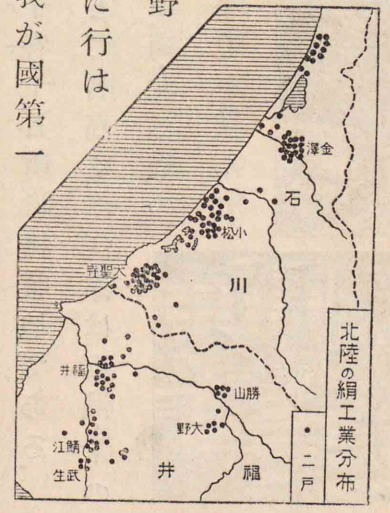
石川縣 南部は、山地が深く、高い白山が峙つ。南西の海岸平野には、砂丘・瀉が多いが、米を多く出し、陶器、絹織物(富士縮緬)を産する。丘陵性の能登半島には、漆器の産地輪島、開港七尾がある。金

澤市は、裏日本第一の大都会、兼六公園があり、美術・工芸品を産する。小松・大聖寺は、山代と共に、九谷焼の産地である。

南部の粟津・山代・山中、北部の和倉は、共に温泉地である。

福井縣 山地が多いが、九頭龍川の灌漑する廣き越前平野

が相互に、養蠶製絲業が盛んに行はれて、絹織物(珠羽・輸出)の産額は、我が國第一





1 伏木を外港とする

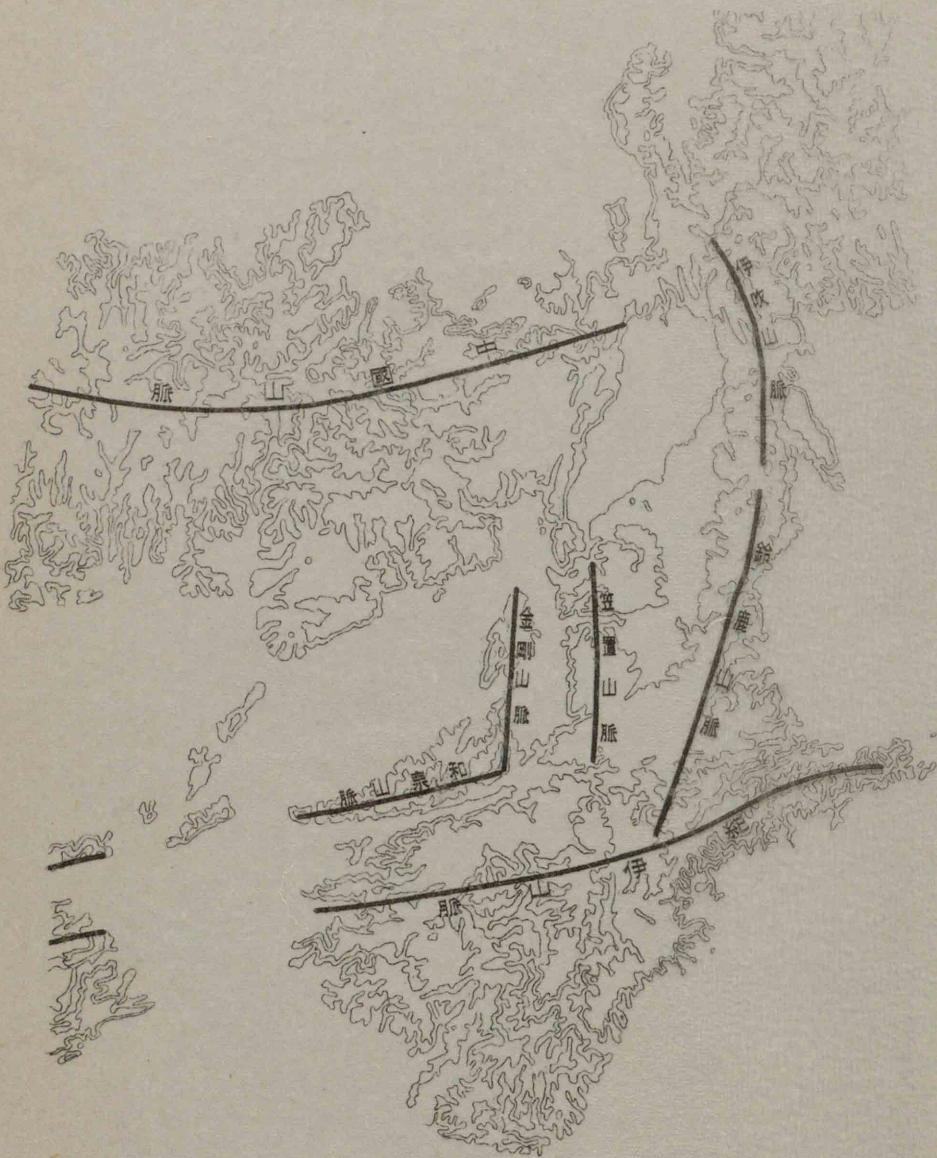
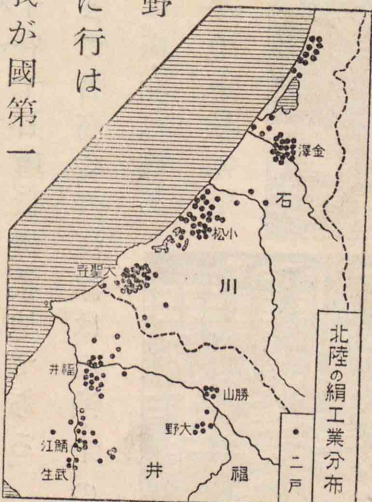
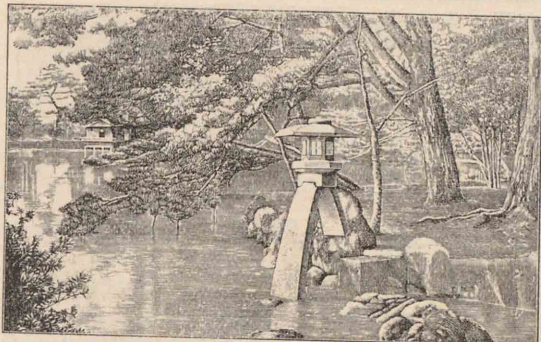
管轄 加賀・能登  
前田侯の舊城下  
縣廳・九師司令部  
野大・高工がある  
カナイハ  
金石を外港とする  
兼六公園

名な黒部川の峡谷がある。高岡市は、縣下商工業の中心で、絹織物、漆器・銅器を取引する。

石川縣 南部は、山地が深く、高い白山ハクサンが峙つ。南西の海岸平野には、砂丘シヤキウ・瀉シヤキウが多いが、米を多く出し、陶器・絹織物（富士・絹・羽）を産する。丘陵性の能登半島には、漆器の産地輪島、開港七尾がある。金

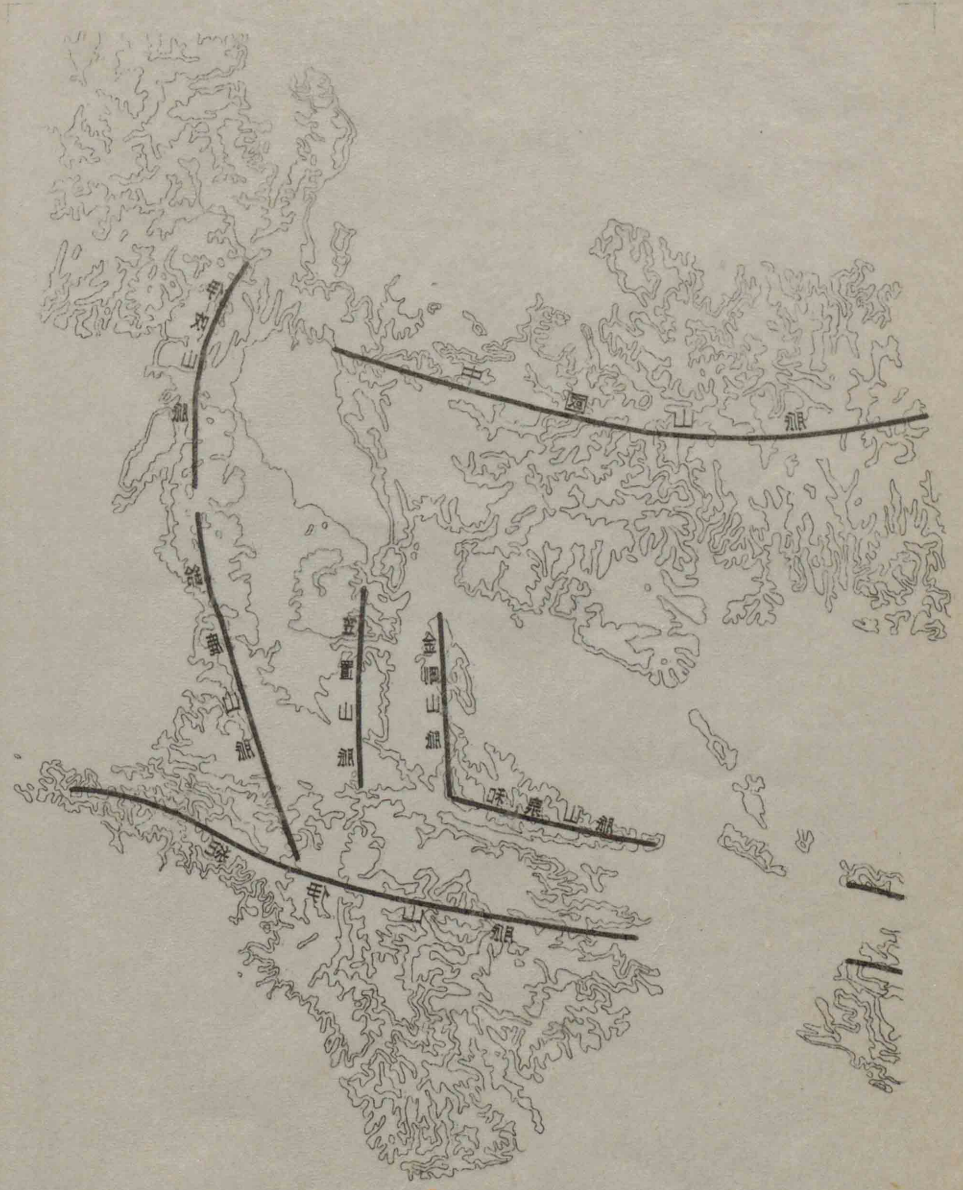
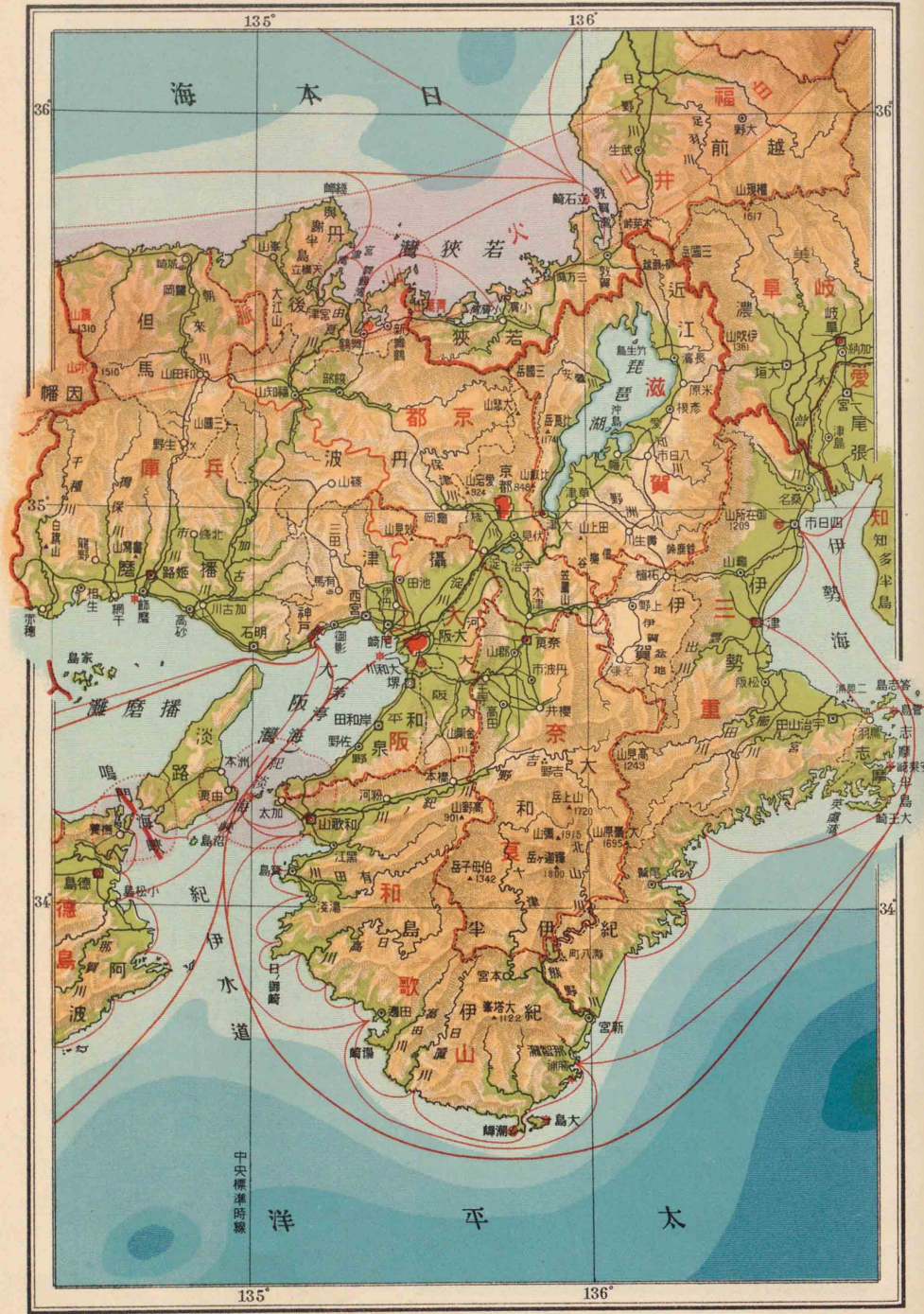
澤市は、裏日本第一の大都会、兼六公園があり、美術・工藝品を産する。小松・大聖寺は、山代ヤマノと共に、九谷焼の産地である。南部の栗津山代・山中、北部の和倉は、共に温泉地である。

福井縣 山地が多いが、九頭龍川の灌漑する廣き越前平野が相互り、養蠶製絲業が盛んに行はれて、絹織物（殊に輸出）の産額は、我が國第一






方地畿近





管轄 若狭・越前  
1 縣廳・高工の所  
在地で三國を外港  
とし東方に曹洞宗  
の總本山永平寺が  
ある

 敦賀港

といはれ、米の産額も亦少くない。福井市は、商工業の中心で、特に羽二重・富士絹の産を以て著はれる。大野は、生絲・羽二重・武生は、和紙・麻蚊帳を出す。若狭は、山勝ちで、海岸は、出入に富み、敦賀・小濱の良港がある。敦賀は、日本海岸屈指の開港で、大陸に到るの北門である。小濱は、漁港で、若狭塗を産する。

#### 第四章 近畿地方

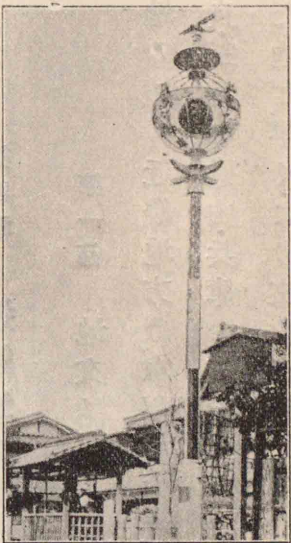
##### 第一節 地文誌

地域 近畿地方は、本州の中央を占め、京都・大阪の二府と、滋賀・奈良・三重・和歌山・兵庫の五縣に分れる。上古以來、我が國都の置かれた地で、早くより文化が著しく發達した。地勢・氣候も良好で、關東地





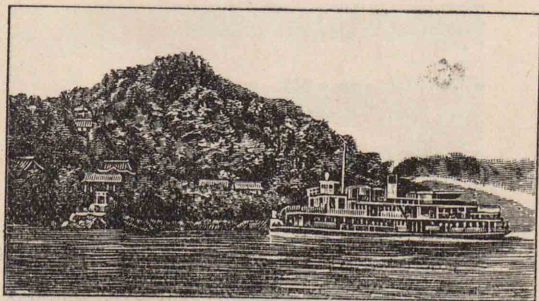
○(上)明石市にある中央標準時標(下)琵琶湖の竹生島と湖上廻遊汽船



方と共に最も重要な経済地域である。我が中央標準時線(東經百三十五度線)は、明石市を通過してゐる。地 勢【山河】北部は、中國山脈の東端で、丹波高

地、比叡山脈等に分れ、低い分水嶺となり、東境の伊吹・鈴鹿兩山脈との間に、近江盆地がある。此の山地の北邊に、白山火山脈が通つてゐる。北部山地に發する河川は、何れも短く、由良川、朝來川は、日本海に、加古川、市川は、瀬戸内海に入り、大堰川は、保津川、桂川の名を得て、淀川に合する。

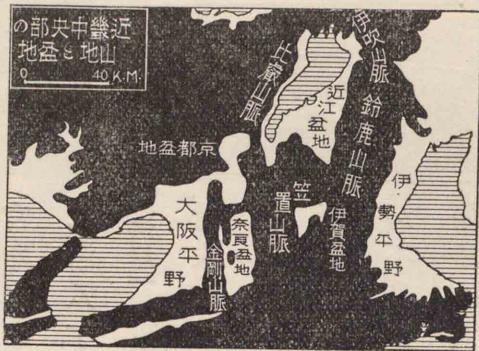
琵琶湖は、近江盆地の大部を占める我が國の最大湖で、竹生島などの四小島が浮び、北部が最も深い。多く鯉源五郎耐等を



1 海拔六米 面積 六七四方軒 最深 九五米

1 アド 安曇・姉・愛知・日野・野洲等の諸川

2 低地名 隘路 伊勢—京都 木津川 伊勢—奈良 高見峠 京都—奈良 奈良坂 京都—大阪 山崎 大阪—奈良 大和川暗峠 近江—京都 逢坂山 近江—伊勢 鈴鹿峠



産し、近江八景の勝地がある。近年は、天津を起點とする周航汽船の便が開けて、交通が至便となつた。四周の河水を入れて、沿岸地方を灌漑し、又その排水路の淀川、疏水運河(二とも京都)は、灌漑運輸發電上水(京都、大阪)に利用される。

中部では、鈴鹿・笠置・金剛等の山脈が、南北に並走して、伊賀・奈良・京都の三盆地、伊勢・大阪の二平野を劃し、又和泉山脈は、大阪平野の南部を限つてゐる。之れ等の低地は、隘路によつて

連絡し、産業・交通が發達し、都會も甚だ多い。河川に、西流する淀川・大和川、東流する鈴鹿川・雲出川があつて、何れも灌漑を助ける。

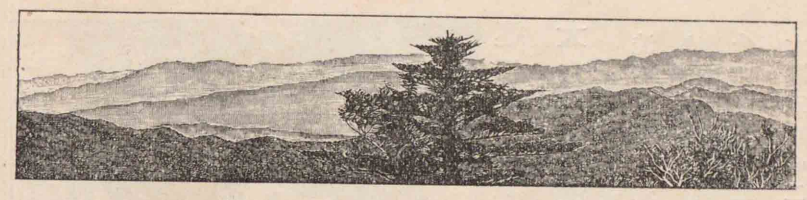
淀川は琵琶湖に發し、勢多川、宇治川の名を得て、峡谷を穿つて京都盆地に入る。こゝで桂川、木津川を併せ、山崎の隘路を切り開いて、大阪平野に出で、大阪城北で、新淀川(工)を分ち、本流は、三角洲の爲、安治川、木津川などに分流する。長さ七十九軒流域は、滋賀、京都、大阪三重の二府二縣に亘つて、古來交通の要路となり、夙に架橋舟楫が發達し、今も河船



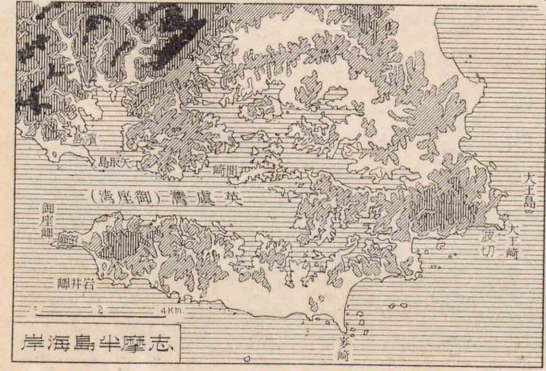
一山上岳・彌山、釋迦岳・大臺原山等  
が著しい

【紀伊山脈の遠望】

明石・紀淡兩海峽は交通の要路で紀淡・鳴門兩海峽附近は要塞地帯である



の往來するものがある。水害を防ぐ爲、石山附近と毛馬ケマとに洗堰アラシヱキ及び閘門カウモンを設けて、一は琵琶湖一は下流の水量を調節してゐる。南部には、高原状の紀伊山脈が、一大分水嶺となり、數個の山塊に分れて、東・西・南の三面に傾いてゐる。河川に、紀・川・榎田川を始め、有田・日高・熊野・宮などの諸川がある。熊野川中流に、瀬八丁セヤチヨウの奇勝がある。【海岸】東西より、伊勢海・大阪灣が彎入して、紀伊半島を造る。此の半島の東西兩岸は、リアス式である。南岸も、亦小屈曲があるが、後背地が不良で、經濟的價値が少い。淡路島は、大阪灣・播磨灘間にあつて、

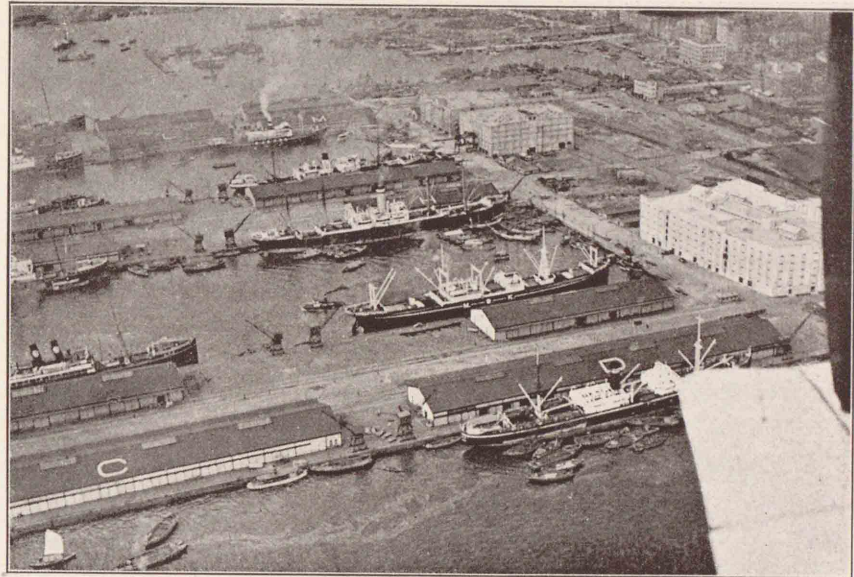


潮岬 飛行機の上より見た本州南端太平洋の怒涛砕け散る處であらう 断崖に近く燈台

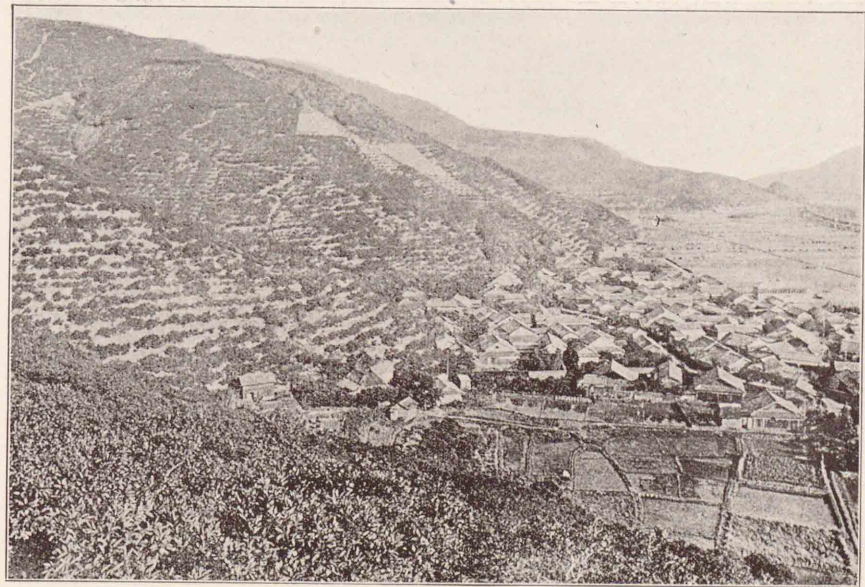


天橋立 宮津灣より謝海を劃して二軒松之蔽ふて天の下の一絶 景をなす日本三景の一に數へらるる眞寫は方北松附近より眺めたるものであ





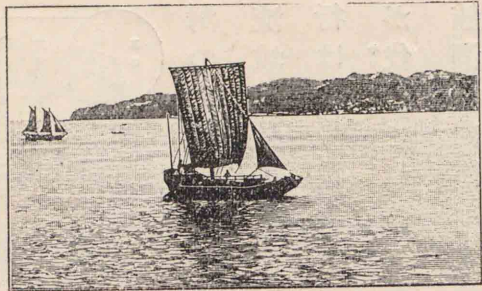
神戶港埠頭 飛行機より眺めため神戶港の中心區域の景観を以て 第三・四の突堤に並びに之に航洋の船を繋留せしむるに様は其の賑を窺ふに足る 第三・二第りよく近



有田川流域の蜜柑畑 紀州蜜柑は有田川下流の丘陵地を本場とす 葉緑の間に黄に 果実を觀るに頗る美しきと云ふ 第一本日共に實名に比して他は質品・額産するに足る

南端の潮岬は本州の最南端で無線電信局・燈臺がある

明石海峡を隔て淡路島を望む



て、森林が良く茂る。東西兩海岸地方は、溫和で適度の雨量があるが、中部の平地は、寒暑が稍著しい。北部は、冬季に雨雪が多い。

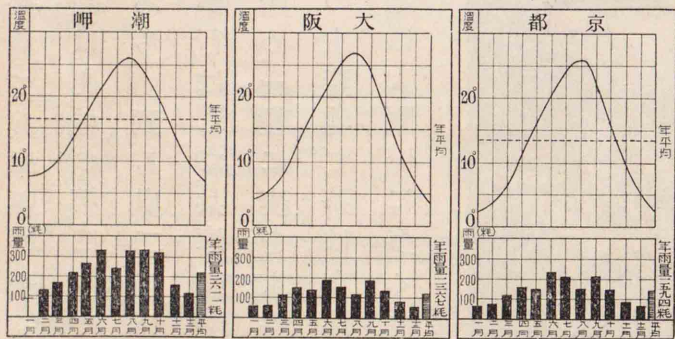
第二節 人文誌

産業 近江・伊勢・大阪・播磨の諸平野は、米の

本州との間に、北は明石海峡、東は紀淡海峡を挟み、西は、鳴門海峡を隔て、四國と相對する。紀淡

鳴門の兩海峡の南は、紀伊水道で、外海に通じてゐる。日本海岸には、與謝半島があつて若狹灣を抱き、中に舞鶴・宮津の兩支灣がある。

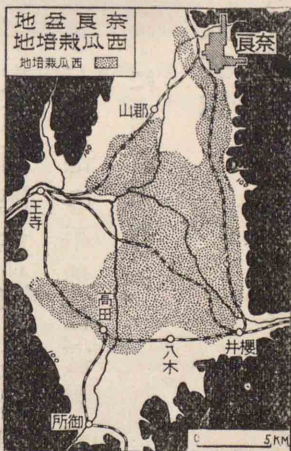
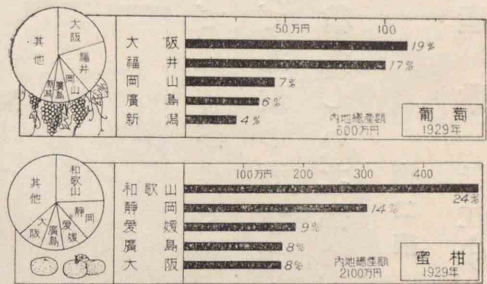
氣候 南部は、溫暖多雨





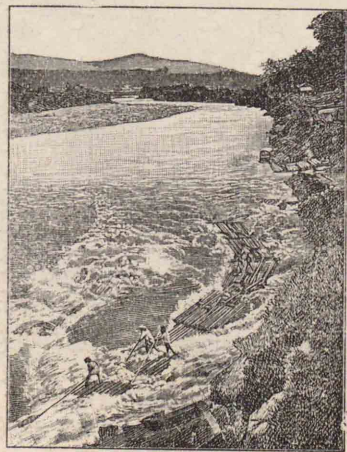
京都附近の竹材は良質を以て名高い

紀ノ川上流の筏下し



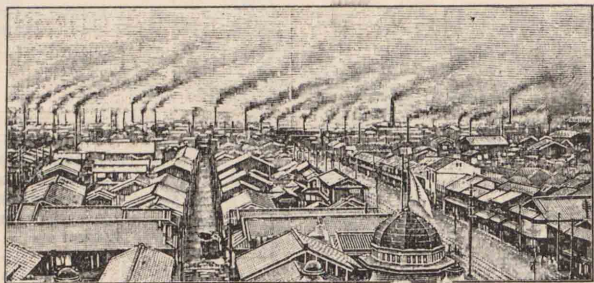
し、又滋賀・三重二縣は、菜種の主産地で、茶は京都府・三重縣、西瓜は奈良縣、葡萄は大阪府に多く産する。紀伊水道・大阪

灣の沿岸地方は、蜜柑を栽培し、有田川の流域が、最も名高い。兵庫縣には、牧牛が行はれ、紀ノ川・熊野川の流域は、數多の杉材が伐出される。紀伊半島の近海は、鰹・鰯・鮪・瀬戸内海は、鯛・鱒、日本海は、鰯・烏賊(主に鰯の原料)

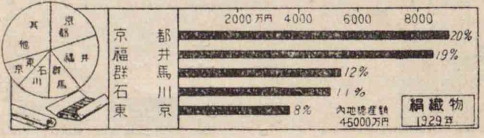
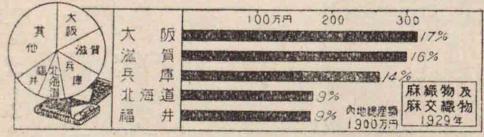
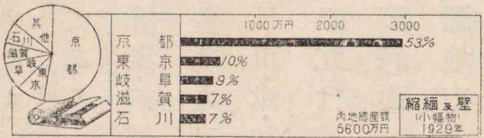
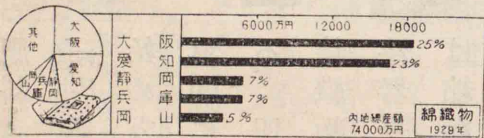


六甲山附近は花崗岩の大産地である

西は明石市南は岸和田市の南方まで連つてゐる 大阪工業都

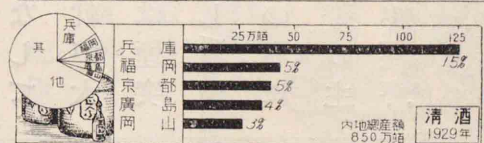
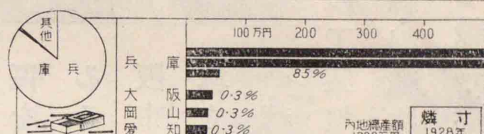
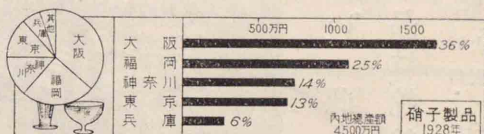
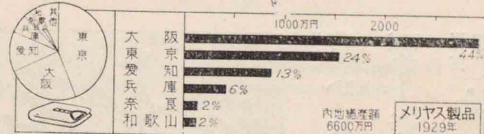
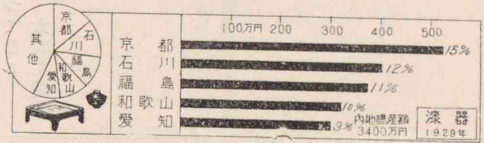


背かない。此の工業地帯の主要生産品は、綿絲・綿織物(以上大阪・神戸・尼崎)・船舶(神戸)・毛織物・機械・藥品

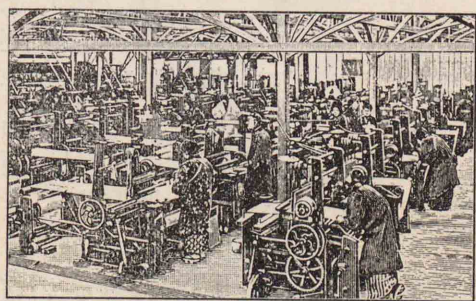


の漁獲が多い。又赤穂は製鹽、志摩半島南岸は眞珠養殖が行はれる。鑛産は、生野の銀・銅と、明延の錫とが名高い。主要工業は、中部諸平野に發達し、殊に大阪灣沿岸には、岸和田・堺・大阪・尼崎・西宮・神戸等の工業市が相接して、帝國の最大工業區をなしてゐる。就中大阪市は、煙突林立して、煙の都の名に





は清酒を産する。大阪市は、近畿以西の商業中心で、北海道とも商脈を通じ、京都・神戸・和歌山・四日市・姫路も、商況が賑はしい。開港は、神戸・大阪の二大港に次で、四日市港があり、又宮津港もある。交通 鐵道は、大阪・京都を中心としてゐる。主

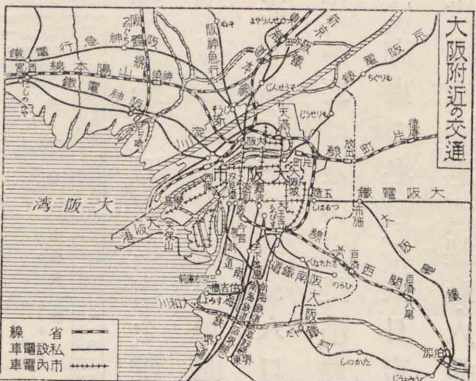


肥料・メリヤス(大阪以上)・ゴム・マッチ・麥粉(神戸以上)等である。京都は、西陣織を始め、友禪染・刺繡・清水焼・蒔繪等、世界的に優秀な美術工藝品を産する。四日市・津・和歌山・高田は綿絲、綿織物、黒江は漆器、長濱・峰山は縮緬、灘地方

京都・大阪は又多くの街道の集合點である

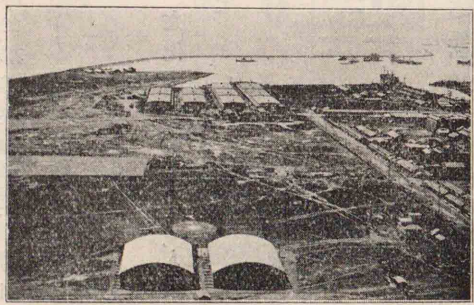
東京・大連間の定期航空機も大阪に着陸する

大阪の飛行場(木津川尻)



大阪附近の交通

要都市間は、汽車・電車の往來が頻繁で、電車の網の發達せることは、我が國第一である。神戸・大阪の二港は、内外の諸港に、航路を通じてゐる。定期航空路は、東京・大阪間の外、大阪・福岡間、大阪・松山間に開かれてゐる。電信電話は、よく發達し、大阪・潮岬・四日市・龜山(航空)局に無線電信局、また大阪にラヂオ放送局が設けられてゐる。





線(終點)を分つ。山陰線は、京都に起り、日本海岸を西走し、綾部にて舞鶴線(終點新)和田山で播但線に連絡する。

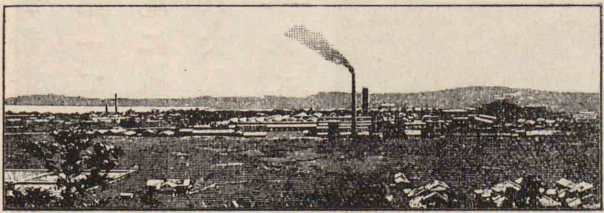
### 第三節 處誌

面積は關東地方より僅に廣く、地味が肥沃で灌漑の利が多い。文化が夙に發達し、人口も稠密で京阪神を始めとし、人口一萬以上の都邑が六十餘ある。

面積	人口	地方
六〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	全國
三、七〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	内地
三、七〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	近畿地方
三、七〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	滋賀(大津)
三、七〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	京都(京都)
三、七〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	奈良(奈良)
三、七〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	三重(津)
三、七〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	和歌山(和歌山)
三、七〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	大阪(大阪)
三、七〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	兵庫(兵庫)

**管轄** 近江 東境の伊吹山は藥草を多く産する。 大津附近の人絹工場。 八幡は日野と共に近江商人で知らる。 縣廳の所在地

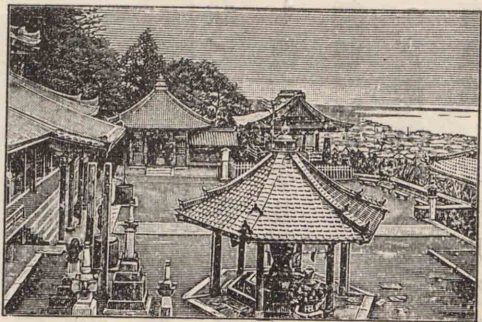
**滋賀縣** 四周に、山を繞らした大盆地で、中央に、琵琶湖がある。湖東は平野開け、交通便利で、米、菜種、繭茶を産し、商工業が榮え、人口も多いが、湖西は平地狭く、産業が振はない。長濱は、生絲、絹織物を産し、彦根、八幡は湖東の名邑で、八日市に、陸軍飛行聯隊がある。大津市は、湖港で、製麻、人造絹絲の工場がある。市の北部



石山・大津・比叡山・京都は電車、ケーブルカーで通じてゐる。

**管轄** 三井寺と琵琶湖 山城・丹波・丹波の大部

1 府廳・第十六師團司令部・京大・高校三校・府立醫大・高工藝・同志社大學・大谷大學・龍谷大學・恩賜博物館等がある。 2 上京・中京・下京・東山・左京・右京・伏見 3 修學院離宮・桂離宮もある



に起る疏水運河(三)は、長等山の隧道を過ぎ、京都に出て、賀茂川に合し、利用の途が廣い。長等山麓の三井寺(城寺)と、比叡山上の延曆寺とは、天台宗の巨刹である。

**京都府** 地勢上、京都盆地と北西山地とに分れる。京都盆地は、宇治、賀茂、桂、木津諸川の流域で、巨椋池がある。人口稠密で、産業榮え、又史蹟地として名高い。京都市は、盆地の北部に位し、賀茂川に跨る我が國第三の都市で、行政上、七區に分たれる。街路整然とし、又市の内外は、名勝と史蹟とに富み、年中、遊覽客が絶えず、實に我が國第一の歴史的遊覽都市である。

桓武天皇以來、明治初年まで帝都となり、今尙御即位の大禮、大嘗會の行はせられる地で、京都御所、二條離宮等がある。平安神宮、賀茂御祖神社、北野神社、泉涌寺、知恩院、東西本願



京都が我が國代表的遊覽地の一

①(上)京都市の大觀(下)伏見桃山御陵

②平等院等

③海軍機關學校がある

④大和



狀で、處々に盆地があつて、農蠶牧畜が榮え、交通も便利になり、都邑に、綾部・福知山・峰山がある。舞鶴灣附近は、要塞地帯で、舞鶴の海軍要港を控へ、宮津灣に、天橋立と、開港の宮津とがある。  
奈良縣 大和川流域の奈良盆地は、神武天皇以

寺等の社寺が多く、到る處に、名所舊蹟がある。市は、一千餘年間、政治・宗教・學術・技藝の中心として發達し、今尙ほ學術上の一中心地、世界の美術・工藝品製作地の一で、交通機關の發達と共に、内外の遊覽客が益々増加して來た。市の南部の伏見は、醸造地で、其の東部に伏見桃山御陵・伏見桃山東南陵がある。近年、市の郊外に、諸種の工場が設立せられ、工業地と化しつゝある。

宇治は、玉露製茶の中心で、古

來、京都に入る關門となり、史

蹟が多い。北西山地は、高原

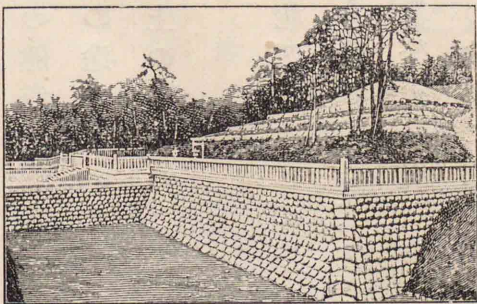
狀で、處々に盆地があつて、農蠶牧畜が榮え、交通

も便利になり、都邑に、綾部・福知山・峰山がある。

舞鶴灣附近は、要塞地帯で、舞鶴の海軍要港を控

へ、宮津灣に、天橋立と、開港の宮津とがある。

奈良縣 大和川流域の奈良盆地は、神武天皇以



①世界最古の木造建築物  
縣の北東隅に梅の名所月ヶ瀬がある  
②縣廳・女高師・皇室博物館の所在地  
蚊帳・筆・墨・根來塗・鹿角細工・奈良漬等の名産がある

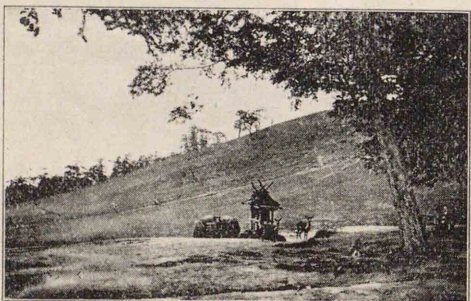
③(上)法隆寺(下)三笠山

丹波市に天理教本部がある

④昔離宮があつた處で吉野神宮・如

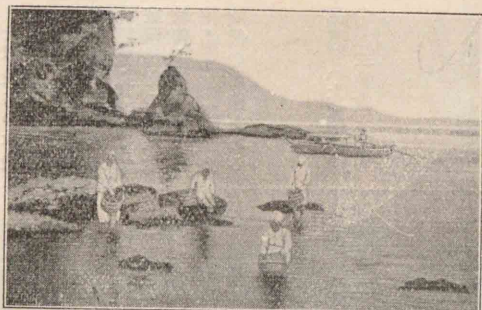


は、綿紡織が盛んで、多武峰に、壯麗な談山神社がある。南部の紀伊山脈は、大和アルプスの稱があり、山中の模範林より、吉野杉の良材を出す。十津川(熊野川)・吉野川(紀伊川)は、筏流して著はれてゐる。吉野は、吉野朝の皇居のあつた處で、史蹟と





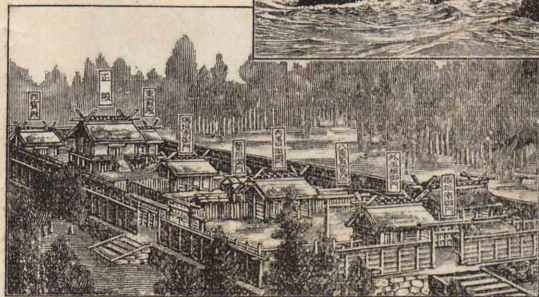
意輪寺がある  
管轄 伊賀・伊勢・  
志摩・紀伊一部  
1 伊聖松尾芭蕉の  
出身地附近より伊  
賀焼が出る  
2 内宮と  
二見浦(上)眞珠貝  
の採取



櫻花とて名高い。

三重縣 伊賀盆地は、笠置・鈴鹿の兩山脈に  
圍まれ、上野を中心とする。伊勢平野は、耕  
地が多くて、米・菜種・茶の産が多い。鈴鹿山  
地は、杉材を産する。桑名は、米・木材の集散

地、四日市市は、開港で商工業が賑ひ、綿絲・  
綿織物・電球・萬古焼を産する。津市は、綿  
紡績、人造絹絲、漁網の産地、松阪は、綿織業  
地である。明野原に、陸軍飛行學校があ  
る。宇治山田市は、一に神都といはれ、宇治に内宮(皇太)  
に外宮(神宮)があり、二見浦、朝熊山の勝地に近い。志摩半島  
には、北岸に、漁港・避難港の鳥羽、南岸に眞珠養殖地の英虞灣・  
五箇所灣がある。



吉野山の櫻 一目千本の名で知られてゐる。其は其の美観を以て、  
あゝ爛漫と咲き誇る樹の間に、往古の朝野の蹟が、  
多く残されてゐる。美観の「中千本」の一ツ



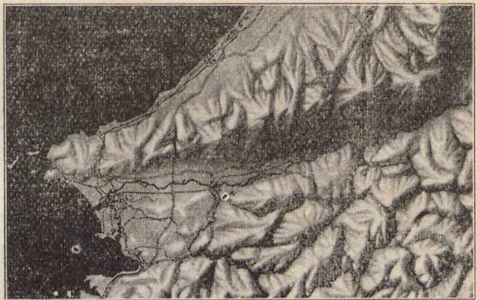
大阪市の街 商業都市としての大阪の中心ともいふべき最も敏感な北濱街  
で、右に高塔の聳る左方に、左方に高塔の聳る大阪市の廳舎



管轄 紀伊大部

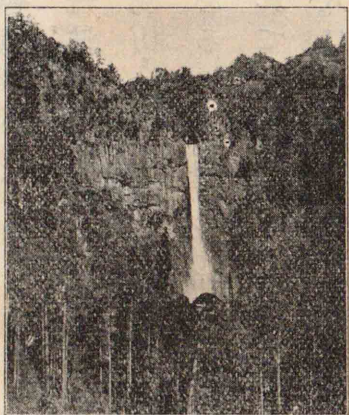
1 徳川親藩の舊城  
下町で縣廳・高商  
の所在地綿フラン  
ネルの産額が全國  
第一である  
2 (上)紀ノ川  
下流の鳥瞰模型圖  
(下)那智瀧  
3 僧空海の開いた  
もので眞言宗の大  
本山である  
湯淺は醬油田邊は  
木材を産する

\* 潮岬・大王崎間  
の沖合



島は、紀州蜜柑の積出地、串本は、捕鯨の中  
心である。潮岬は、本州の最南で、眺望が  
極めて廣く、熊野灘は、風浪は荒いが、水産  
が多い。沿岸の新宮は、木材、水産物を集散  
し、本宮、那智と共に、熊野三社を祀る。那智

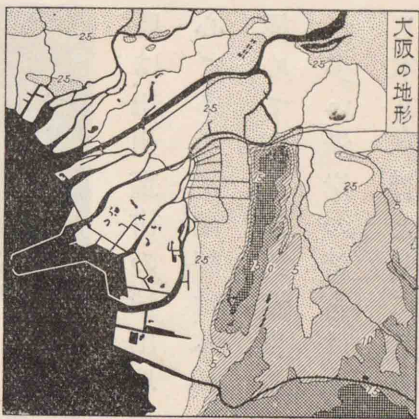
和歌山縣 紀伊半島の南西部を占め、諸川(紀、有田、日高、熊野)によつて、幾つもの山塊に分れ、高野、本宮、熊野等の大森林がある。紀川流域の外は、平地が少く、陸運が不便で、農工も發達しない。和歌山市は、商工業地で、綿絲、綿フランネル、莫大小を産出し、木材を集散する。南方に、勝地の和歌浦と、漆器の産地黒江とがある。高野は、金剛峰寺のある處で、參詣者が多い。箕





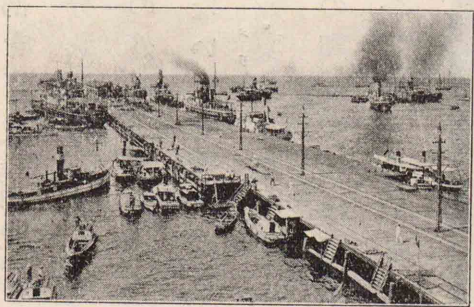
管轄 和泉・河内・攝津一部

1 府廳・控訴院・第四師團司令部・造幣局・大阪工廠・帝大・商大・工大・高専・外語・女專所在地  
大阪築港の埠頭  
2 東・西・南・北・此花・天王寺・住吉・港・浪速・西淀川・東淀川・東成・西成・大正・旭



大阪の地形

文化住宅が到る處にある。大阪市は、淀川の三角洲に跨り、大阪灣に臨む。我が國第二の大都會で、行政上、十五區に分たれてゐる。淀川の分流（安治川・木津川等）運河が、縦横に通じて、數多の橋梁が架けられ、一に「水の都」と稱へられる。大阪港は、我が國第三の開港で、安治川・木津川兩河口間に、壯大なる

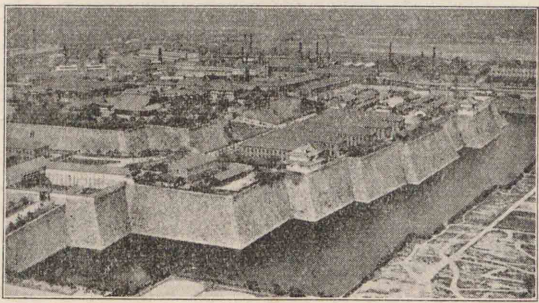


には、有名な那智瀧がある。

大阪府 北は、丹波高地の南部で、東境の金剛山脈に生駒山・金剛山、南境の和泉山脈に葛城山がある。大阪平野は、淀川・大和川に灌漑されて、米・菜種を産し、商・工業交通が発達し、人口都邑共に多く、田園都市

1 運送は旅客が主で、貨物の積卸しは水運の半に達しない

飛行機より見た大阪城（今は昔を偲ぶ天主閣の建築中である）



に、高津宮址四天王寺、大阪城址などがあつて、生國魂天滿高津の三社、中島住吉二公園は、近郊の箕面寶塚（兵庫縣）濱寺等と共に、市民行樂の地である。

防波堤を築き、天保山以東に、大棧橋上屋倉庫等が整備し、外國航路の大汽船が、自由に出入する。市は、又陸運の大中心で、東海道・關西兩線の本支線や、數多の電車軌道が集つてゐる。

大阪市は、徳川時代既に近畿以西の金融交通商業の中心となつてゐたが、神戸港を外港とするに及び、綿絲綿織物を主とする工業が起り、今や各種の工場が、市の内外に建設されて、一大工業地となつた。築港完成後の貿易額は、一時に増加したが、尙ほ神戸港を中繼として、支那朝鮮との取引が盛んである。近年各種の學校が設けられて、學術の一中心ともなつた。舊蹟に、高津宮址四天王寺、大阪城址などがあつて、生國魂天滿高津の三社、中島住吉二公園は、近郊の箕面寶塚（兵庫縣）濱寺等と共に、市民行樂の地である。

堺市は、商・工業が盛んで、足袋・セルロイドを産し、岸和田市は、新進の工業地で、綿織物・漁網の産が多い。池田は、清酒・薪炭の市場である。

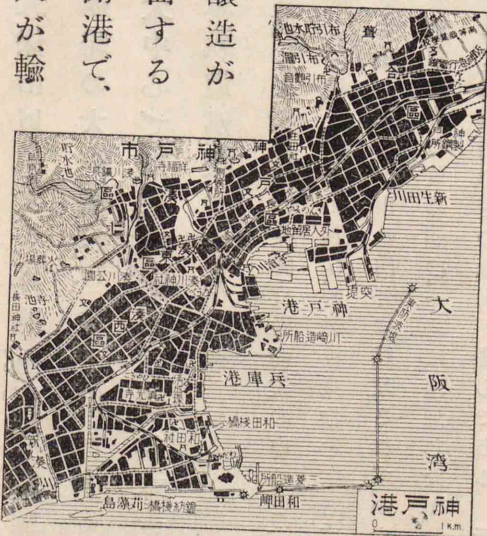


管轄 攝津・丹波  
各一部・但馬・播磨・淡路  
用石は出石焼を産する

1 綿絲・板硝子・鍊銅・亞鉛・セメント  
伊丹酒造家



業地帯の一部である。尼崎市は、急速に發達した工業都市で、綿絲板硝子を出す。西宮市附近は、灘と稱して、伊丹地方と共に、清酒の醸造が多い。神戸市は、大阪灣に面する帝國第五の大都市、第一の開港で、港灣の設備が好く整ひ、輸入が、輸

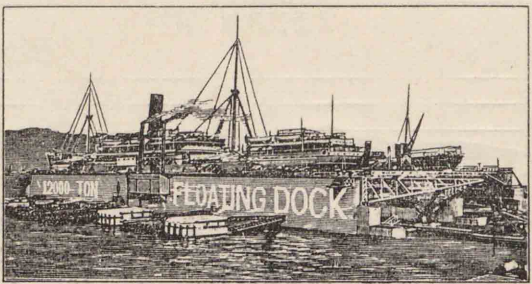


兵庫縣 高原狀の中國山脈の爲南北の兩斜面に分れる。北斜面は、人口が少く、養蠶牧牛(神戸)が行はれる。豊岡は、行李の産て名高く、附近に、城崎温泉・玄武洞の勝がある。南斜面には、加古市・揖保・千種の諸川が播磨平野を、武庫川が攝津平野(大阪平野の一部)を潤して、多量の米を産する。内海沿岸一帯は、工業が行はれ、殊に東部は、大阪灣工

六甲山には別荘が多く北麓の有馬・寶塚・平野には炭酸泉が湧出する神戸市は縣廳・高商・高工・海洋氣象臺・湊川神社がある  
1 武庫離宮がある  
2 神戸造船所の浮船渠

3 第十師團司令部・高校の所在地

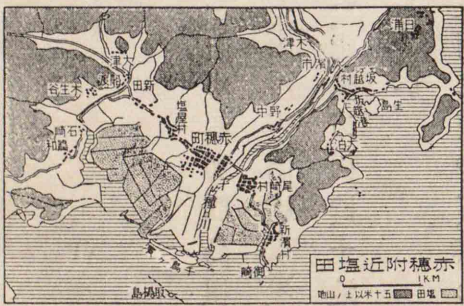
4 羊毛を梳理して篠にし梳毛機にかけて短い毛を除き長い毛だけをリボンのやうな形に揃へたもの  
5 淡路燒・綿絲を産する



出よりも多くて、生絲綿絲綿織物・富士絹を輸出し、綿羊毛機械類を輸入する。工業も亦盛んで、造船所(川崎)を始め、精糖製粉・紡績・ゴム・マッチ・樟腦精製等の大工場がある。須磨(神戸市)・舞子・明石は、風光が明媚で、別荘地・住宅地として發達した。

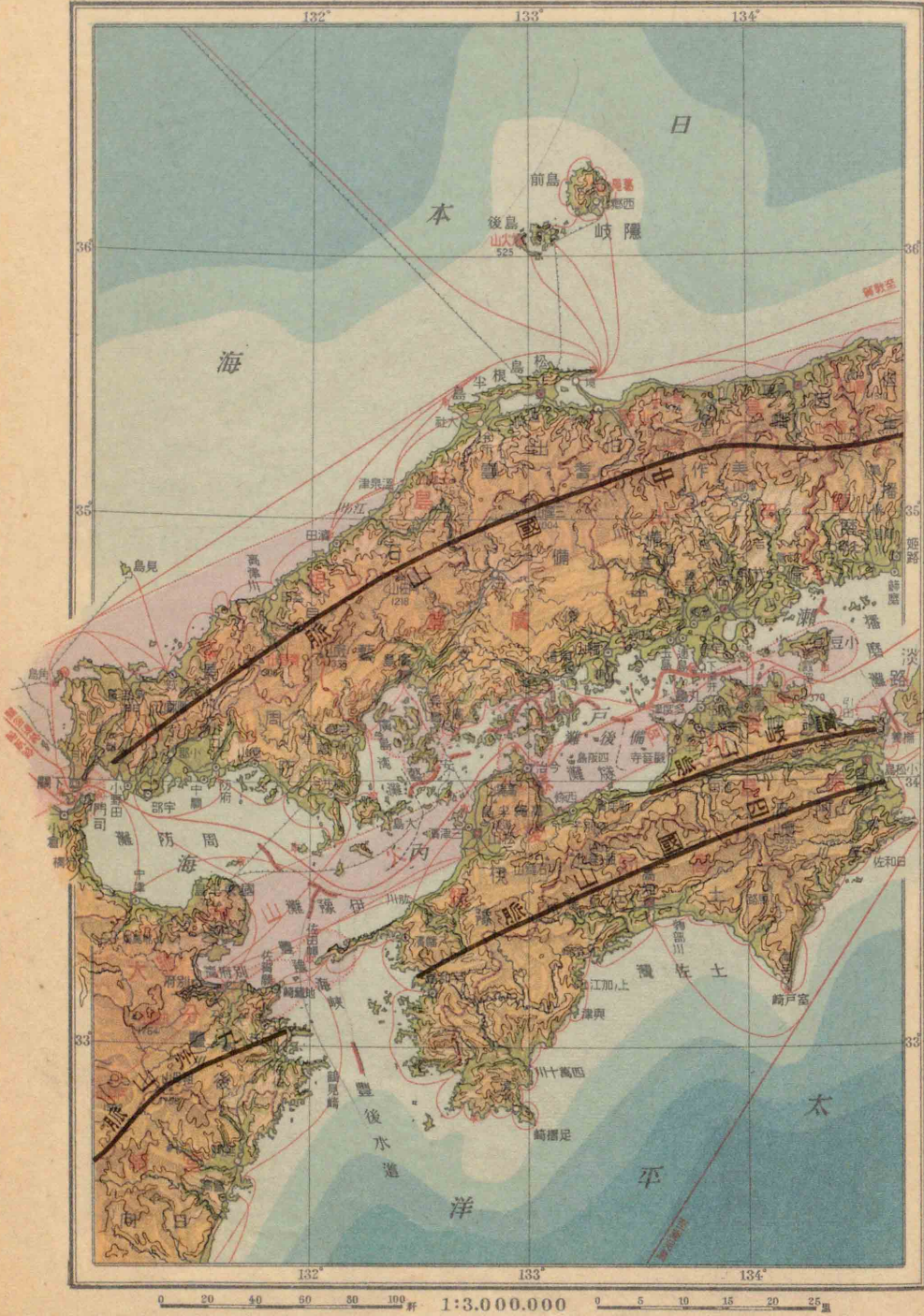
明石市は綿絲帆布・マッチを、加古川は肥料・毛織物を、高砂は綿紡績品・洋紙を産する。姫路市は、交通の要地で、米の取

引が多く、トップ毛絲・革細工を産する。龍野は醬油の産地である。赤穂は、製鹽地で、四十七士の遺蹟がある。淡路島は、山地が多いが、農牧が行はれ、洲本・福良・由良の名邑がある。





方地國四・國中



第五章 中國地方

第一節 地文誌

**地域** 中國地方は、本州の西端部を占める鳥取・島根（以上）・山口・廣島・岡山（以上）の五縣である。山陽方面は、古來、東西交通の要路で、夙に文化が開けた。山陰方面は、土地が偏在して、文化が稍遅れ、人口都邑も少い。

**地勢** 【山地】 高原狀の中國山脈が、東西に連つて、其の分水嶺が概ね北に偏つてゐる爲、山陰方面は、山陽方面よりも、平地が狭くて險しい。且つ白山火山脈が通つて、大山・三瓶山・青野山等の火山を起してゐる。

【河湖平地】 山陽方面は、吉井・旭・高梁（邊）三川の下流地方に岡山平野、大田川下流地方に廣島平野、その他諸川の

1 廣島縣では南に偏つてゐる  
2 本地方の最高峯で、伯耆富士又は出雲富士の別名がある

面断西東脈山國中





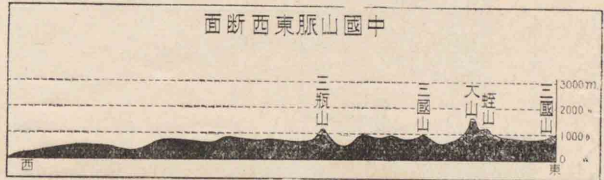
### 第五章 中國地方

#### 第一節 地文誌

**地域** 中國地方は、本州の西端部を占める鳥取・島根（山陰）・山口・廣島・岡山（山陽）の五縣である。山陽方面は、古來、東西交通の要路で、夙に文化が開けた。山陰方面は、土地が偏在して、文化が稍遅れ、人口・都邑も少い。

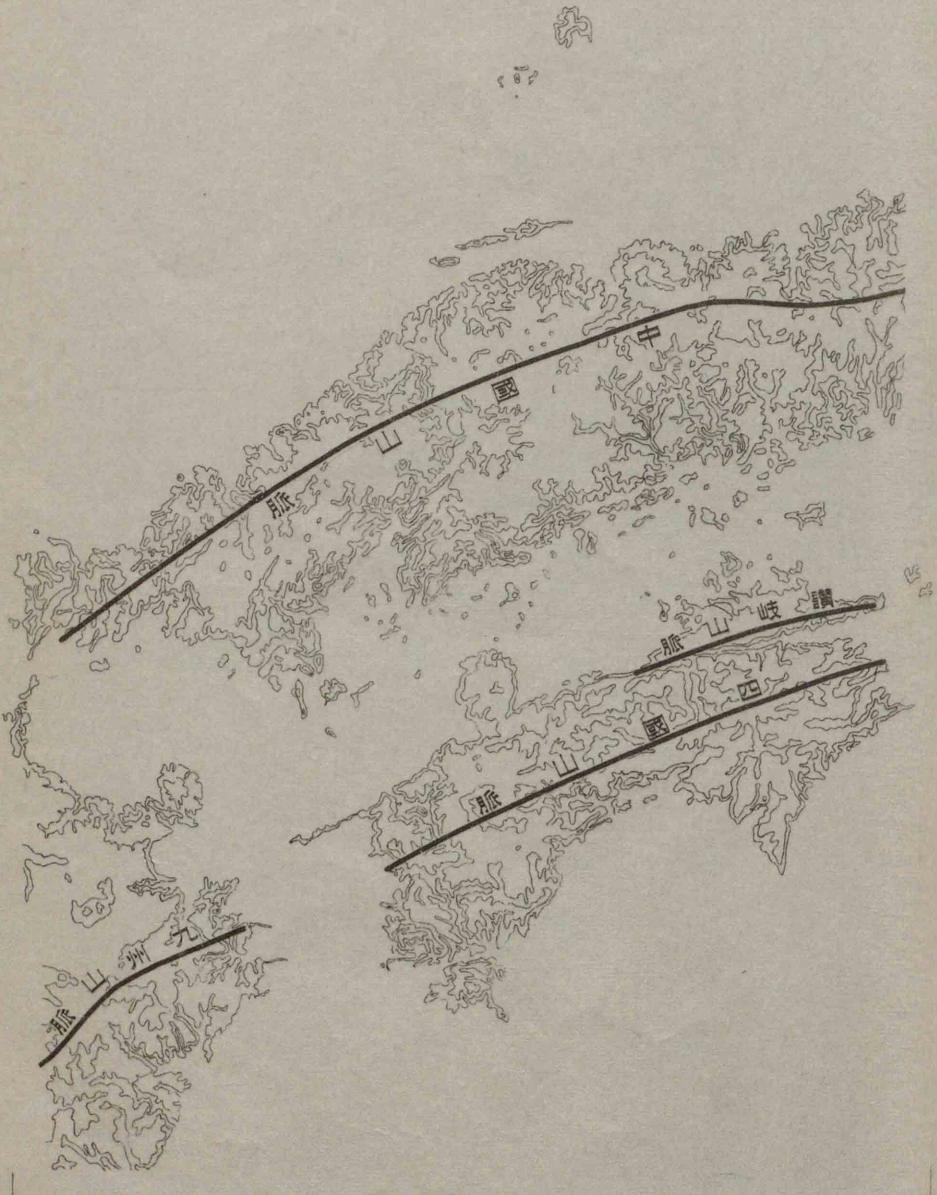
**地勢** 【山地】高原狀の中國山脈が、東西に連つて、其の分水嶺が概ね北に偏つてゐる爲、山陰方面は、山陽方面よりも、平地が狭くて険しい。且つ白山火山脈が通つて、大山<sup>ダイ</sup>三瓶山<sup>サンペ</sup>・青野山等の火山を起してゐる。

【河湖平地】山陽方面は、吉井・旭・高粱<sup>トウ</sup>三川の下流地方に岡山平野、大田川下流地方に廣島平野、その他諸川の



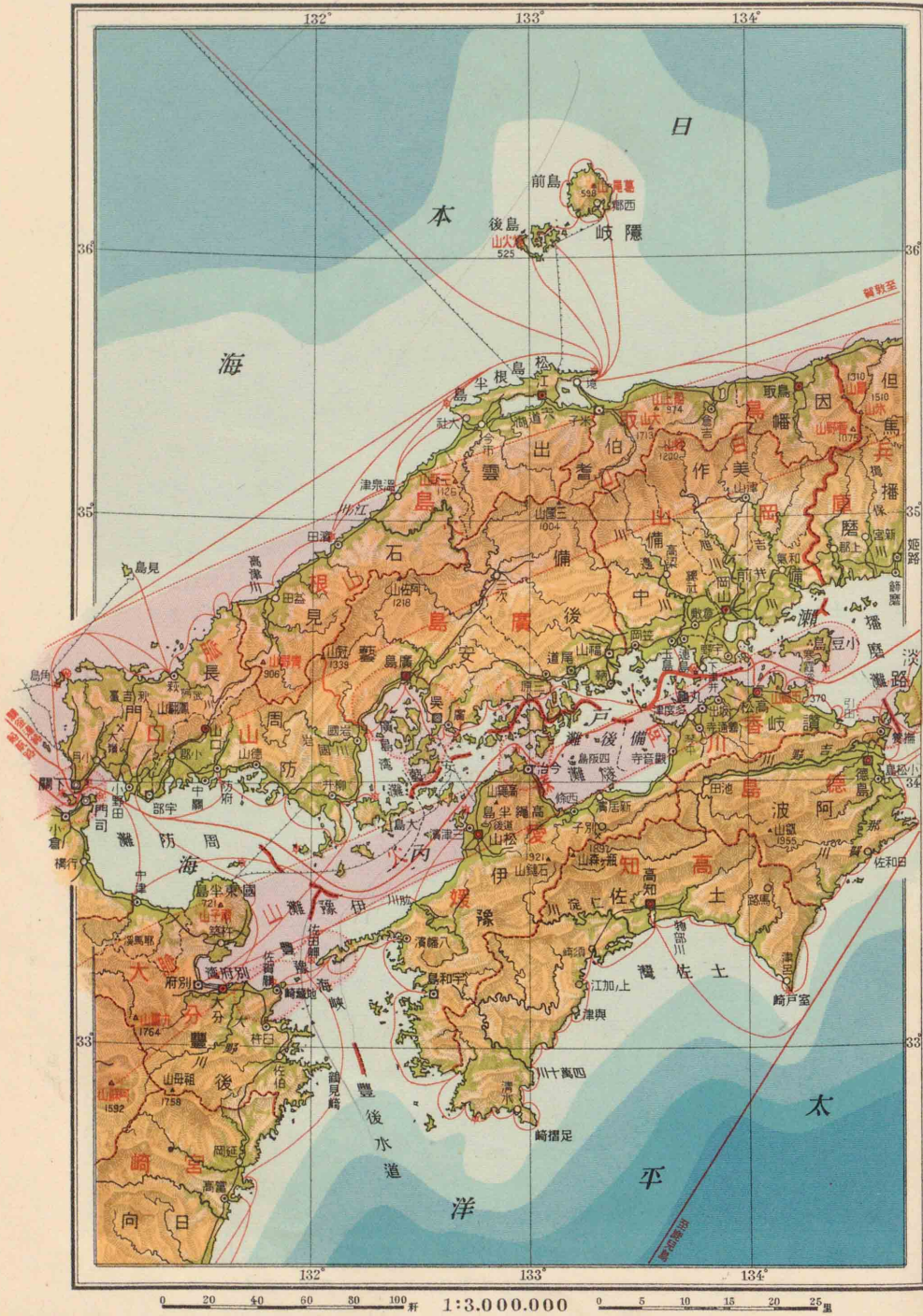
1 廣島縣では南に偏つてゐる

2 本地方の最高峯で、伯耆富士又は出雲富士の別名がある

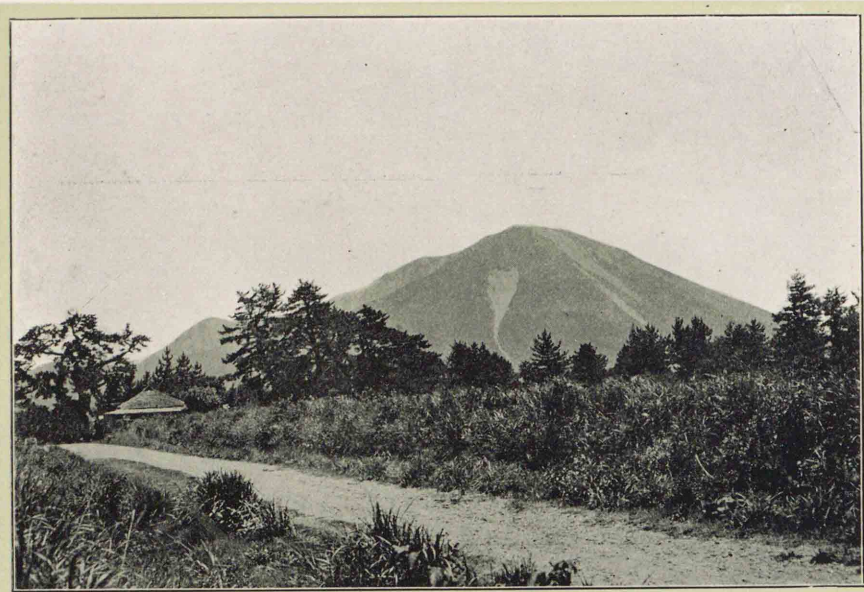




方地國四·國中







富者伯は又土富雲出で峰高の一第國中るす屬に脈山火山白米三一七一高標 山 大  
 るあでのもため眺りよ野裾の方北は圖 るあが寺山大に腹中部北 るれば呼と士

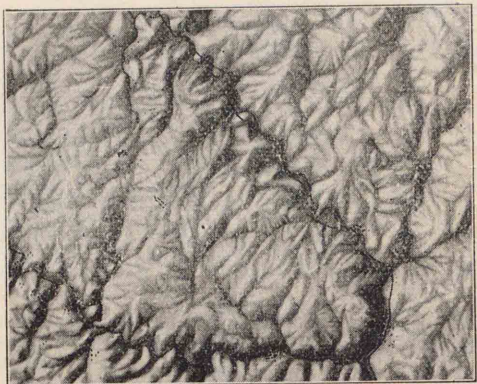


閣樓ぶ浮に上海 るあで社中幣官る祀を命姫島杵市は社神れば呼もと島宮 島 巖  
 るゐてれらへ數に一の景三本日来古てつ俟相はと美の光風の然自と美工人の



中國高原中には津山・勝山・三次等の盆地がある。湖沼に鳥取縣の湖山池がある。

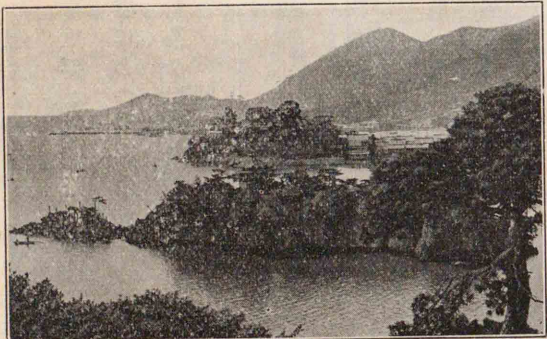
【圖解】(上)高梁川流域の鳥瞰模型圖、谷は深く海拔五百六百米の準平原面が所々に残る。(下)瀬戸内海の風光(鞆附近)



沿岸に小平地がある。山陰方面は、中國の最大河江川ガウカハも、平野を伴はず、出雲平野が、稍、廣いのみである。湖沼は、山陰方面に多くて、宍道シノビ・中海ナカノウミが名高く、共に風光が麗しい。

【海岸】日本海方面は、僅に島根半島・夜見濱ヨミガハマの二突出と、隱岐群島との外は、海岸線が單調である。之に反し瀬戸内海方面は、港灣・半島岬角が多く、無数の島嶼が散在してゐる。

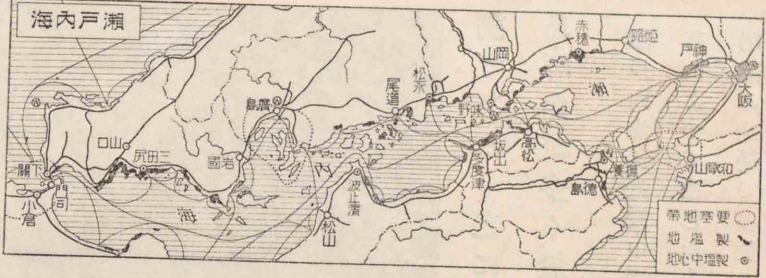
瀬戸内海は、近畿中國四國九州に圍まれてゐる。土地の陥落によつて生じたもので、其の中に散在する多數の島嶼は、陥落の殘壘で、多數の瀬戸海峡がある。外海とは、明石鳴門。





水面は播磨灘・備後灘・周防灘に分れ、其の間に備讃・藝予・播磨・備前・備中・備後・安藝・周防・長門・阿波・讃岐・伊豫

瀬戸内海沿岸は開墾が普及し灌溉排水・栽培の法が進歩してゐる

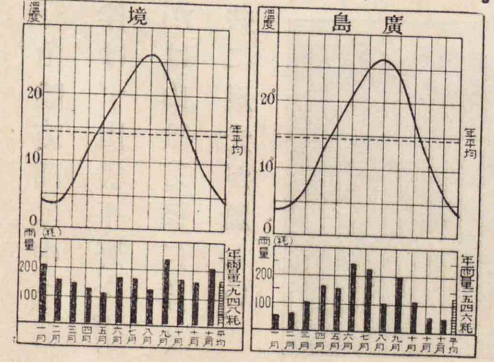


豊饒下關の四海峽によつて通じ、潮流の急激な處がある概ね天氣晴朗風波靜穩で天然の運河をなし、古來重要な交通路である。數多の島嶼、白帆が相映じ、白砂青松、到る處にあつて、海の公園の稱がある。又鯛鱒の珍珠に富み、沿岸には所謂十州の鹽田が開け、産業交通に及ぼす影響が大きい。

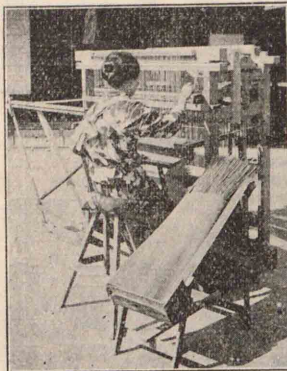
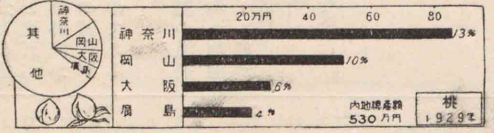
氣候 山陽方面は、中國、四國兩山脈の影響を受けて、溫和少雨で晴天が多い。山陰方面は、中國山脈、日本海の影響で、曇天が多く、冬季は、雨雪が多い。

第二節 人文誌

産業 農業は、平地の多い山陽方面に榮え、二毛作(所によ)が行はれる。作物は、米、麥を主として、岡山、廣

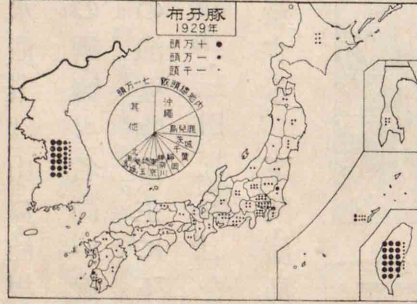
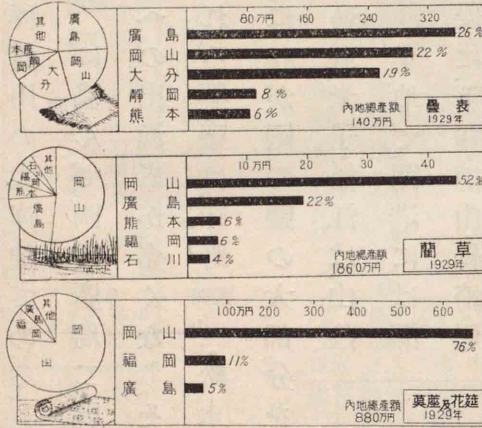


1 阪神地方に送る 2 無煙炭 3 徳山海軍燃料廠に使用する



島二縣の産が多い。蘭草は、岡山、廣島二縣、眞田用大麥は、岡山縣の特産で、瀬戸内海の沿岸、島嶼は、蜜柑、梨、桃、葡萄を栽培する。一般に、牧牛が行はれ、廣島、岡山二縣が盛んである。

鑛産物に、宇部・大嶺(以上山縣)の硫化鐵鑛、各地の花崗岩がある。岡山・福山(岡山)の銅柵原

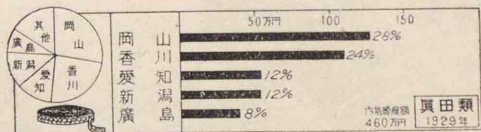


て、綿、絲、綿織物、の産、が多、く、又、豊表



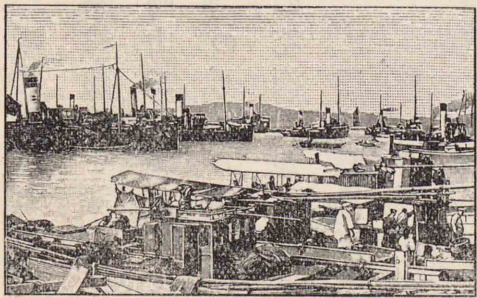
處々に人造絹絲工場が興つた

山口縣が最も多い  
この地方が製鹽に適する理由は海岸が遠淺で鹽田を設け易いこと花崗岩の砂は鹽分を多量に吸ふこと晴天が續いて作業時間が長く水分の蒸發が多いこと等である



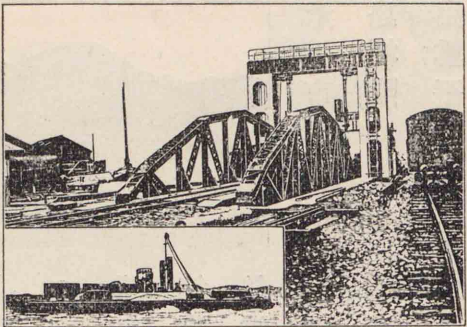
下關の漁船 (朝鮮近海へ出漁するトロール船が多い)

交通 鐵道は、山陰・山陽とも、東西の往來が便であるが、陰陽の南北連絡は、稍不完全である。瀬戸内海は古來、海上交通の要路に當り、絶えず内外國の



松江にも放送局が設けられた  
關門連絡の貨車航送

正明寺より分れる美禰線の支線と阿川で連絡する



南北の連絡がまだ完全でない。

第三節 處誌

面積	人口	全国	内地	中國地方	鳥取	島根	岡山	広島	山口
37,742	3,372,000	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●
3,489	268,180	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●	●●●●●

氣候良好、産業隆盛、交通至便な山陽方面は、人口稠密、都邑多數で、人口一萬以上の都市が三十餘あるが、山陰



管轄 因幡・伯耆

史上に名高い船上山は大山の寄生火山である

〔圖〕 (上)鳥取市 (下)松江市と宍道湖

1 縣廳・高等農林學校の所在地

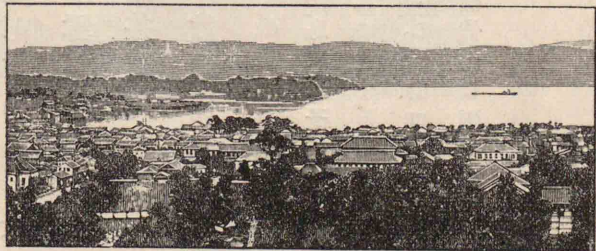
ラヂウム含有量が多いので有名

管轄 出雲・石見・隱岐

鳥根半島には美保ヶ關・日ノ御崎の勝地がある



米子市は、米の市場で、開港境に、鐵道を通ずる。  
鳥根縣 狹長て山地が廣く、平地は、斐伊川下流の出雲平野のみである。養蠶製絲牧畜が行はれ、石



方面は、六に過ぎぬ。要するに山陽山陰は、明暗を異にする感がある。

鳥取縣 平野狹く、地味稍不良で、人口も少い。千

代・天神・日野の三流域は、本縣の主要生産地で、近年

一般に養蠶業が行はれ、大山の裾

野は、牛馬の放牧が盛んで、夏季の

牛市が有名である。鳥取市は、縣

の中心地で、繭生絲紙を集散し、外

港賀露を控へ、因美北線を、岡山縣

境附近に通じてゐる。倉吉は、生

絲緋木綿を産し、三朝温泉に近い。

1 縣廳・高校の所在地で、瑠璃細工を産し、出雲焼を集散する

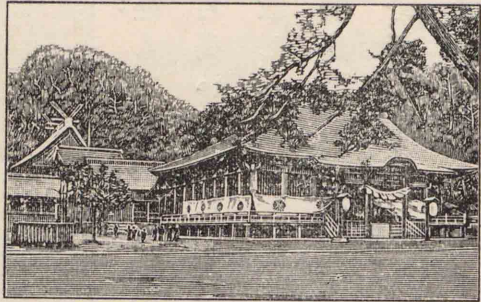
〔圖〕 出雲大社

管轄 長門・周防

2 大島・萩地方

日本海岸に須佐青海島・倭島の勝がある周防灘の祝鳥沖合は、鯛の繁殖地

3 縣廳・高商・高校の所在地で、室町時代の名都



見より和紙を産する。松江市は、宍道湖口に跨つて、眺望が勝れ、生絲を集散する。今市は、交通の要路で、大社に、出雲大社がある。開港濱田は、石見の中心である。隱岐は、島前島後に分れ、後鳥羽後醍醐二帝の遺蹟がある。漁港の西郷は、鰯を集散する。

山口縣 高原狀の山地が多く、處々に、小盆地がある。河川は、何れも短いが、比較的大きい三角

洲がある。農牧業が行はれ、特に柑橘の栽培が著れ、日本海の漁業、瀬戸内海岸の製鹽業も名高い。又瀬戸内海岸は、一帯の工業地帯

である。開港萩は、毛利氏の舊城下で、吉田松陰等の國士の出身地、夏蜜橙萩焼を名産とする。山口市は、教育地で、史蹟が多く、北西方

に、石灰岩地の秋吉臺がある。開港下關市は、水陸の便を利用して、米



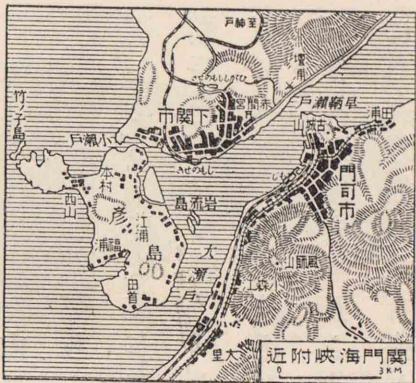
下關は對岸に門司市があるので貿易は振はない

1 煉炭製造・重油貯蔵をなす

柳井は醬油・絹木綿を産する

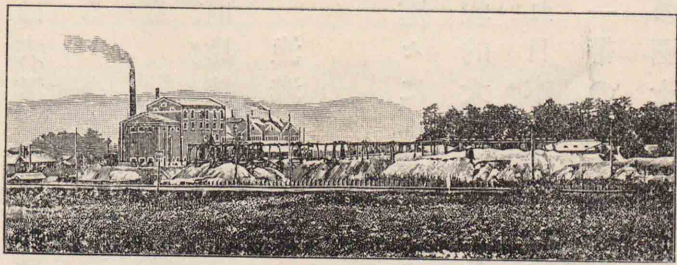
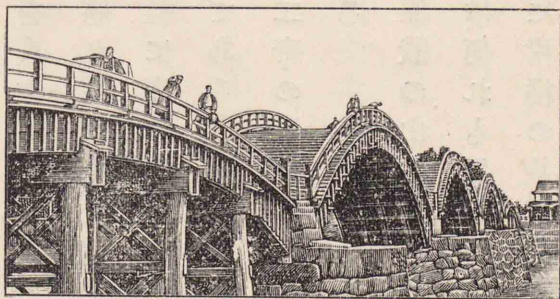
2 錦帯橋(上)徳山の海軍燃料廠

管轄 備後・安藝



肥料・水産物を取引し、壇浦の古戦場に近い。宇部市は、石炭・セメント・綿絲を産し、小野田は、セメント・硫酸を産出する。開港徳山は、海軍燃料のある處、附近の下

松も、工業地である。錦帯橋で名高い岩國は、縮・蚊帳・和紙を集散し、人造絹絲工場がある。廣島縣 大田川下流の廣島平野、江川上流の三次盆地以外は、概ね高原状を呈する。併し開墾



成羽川の上流に帝釋峽の勝がある

1 淺野侯の舊城下町で縣廳・第五師團司令部・控訴院・高師・高校・高工・泉邸・比治山公園の所在地

2 廣島灣の牡蠣養殖(上)尾道港

3 絲崎港と合して開港場である

4 保命酒を産し景色の好・仙醉島・



が進み、農牧業が榮え、海岸地方では、商工業も振ひ、又島嶼に、農漁業が營まれる。三次は、大麻作・牧牛の中心である。廣島市は、中國の最大都、軍事教育・交通上の要地で、良港宇品(陸軍運輸所)を控へ、綿紡織品・人造絹絲・針・牛肉罐詰を産する。廣島灣は、牡蠣を養殖し、灣内の嚴島(通稱)に嚴島神社、江田島に海軍兵學校がある。吳市は、軍港の爲に發達し、大規模の海軍工廠がある。市の東方の廣に、その支廠がある。尾道市は、大阪・下關・四國に商脈を通じ、肥料・疊表・水産物を集散する。福山市は、綿紡績の中心地で、鞆と共に、疊表を集散





阿武兔岬に近い  
管轄 備前・備中・  
美作

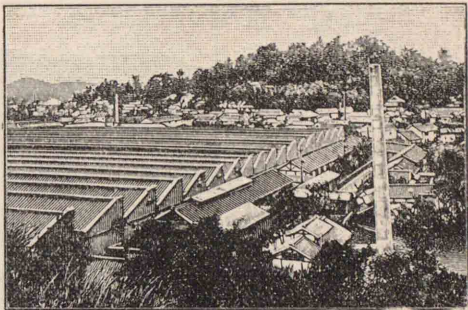
高梁川の流域に豪  
溪の勝がある

○(上)倉敷市  
の紡績工場(下)後  
樂園と岡山城

児島灣は埋立て、  
開墾中である

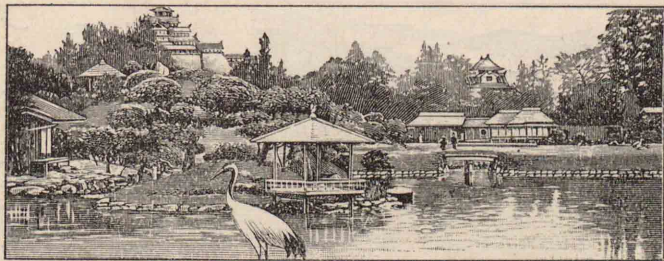
1 人絹工場がある

○縣廳・醫大・高  
校・後樂園の所在  
地

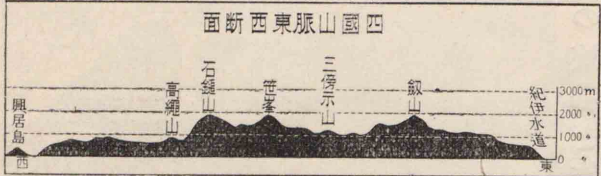


する。新市は備後緋の市場である。  
岡山縣 北部の高地には、數個の盆地が開け、牧  
牛・煙草栽培が行はれる。中部・南  
部の丘陵は、開墾が進んでゐる。  
三大川の下流地方には、中國一  
の岡山平野が開けて、多く米・蘭  
果實を産し、工業も盛んで、人口  
が密である。児島半島には、小倉

織・製鹽が行はれる。倉敷市は、玉島笠岡と共に、綿  
紡績が行はれ、蘭・花筵・疊表・麥稈・眞田・肥料・米を集散  
する。岡山市は、旭川に跨る交通の中心地で、綿紡  
績・製粉が行はれ、商業も盛んである。開港宇野は、  
岡山より鐵道を通じ、高松との間に、連絡船の便が



北邊に阿蘇火山脈  
が通じてゐる



ある。津山市は生絲板紙、伊部は備前焼、三石は耐火煉瓦を産する。

### 第六章 四國地方

#### 第一節 地文誌

地域 瀬戸内海を隔て、中國地方の南方に位し、南  
は、太平洋に洗はれる。各地方中、最小の區域を占め、徳島・  
香川・愛媛・高知の四縣に分れてゐる。山地が多いが、瀬  
戸内海方面は、よく開けて、特に北東部は、近畿地方との  
關係が、密接である。

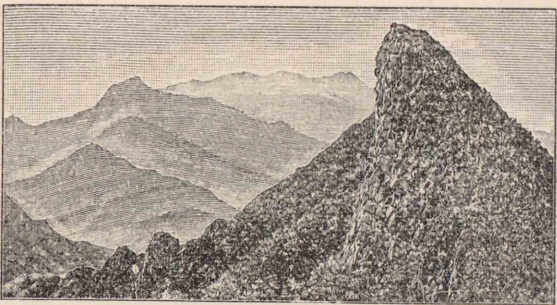
地勢 【山地】 四國山脈は、石鎚山脈を主脈とし、東部  
は、讃岐山脈・劍山山脈に分れる。石鎚山脈は、殆ど一直  
線に、北東・南西に走り、豊豫水道で海に没して、リアス式  
海岸を形成し、延びて佐田岬となる。中に四國第一の高



石鎚山は極めて峻しく登山者は三箇所、の鐵鎖にすがつて漸く頂上に達する近年行者以外の登山者も多し

石鎚山 (上) 石鎚山 (下) 大崩壊の峽流

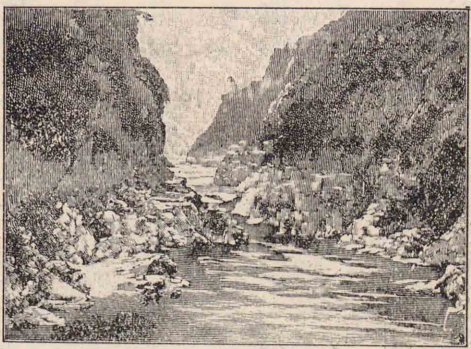
1 石鎚山に發し石鎚・劔山兩山脈間を東し高知・徳島兩縣界を北に横ぎつて大崩壊・小崩壊の險を開き銅山川・祖谷川を合せ池田附近で東に向ひ讃岐・石鎚兩山脈間の數個の小盆地及び徳島平野を灌漑し徳島市の北で紀伊水道に入る長さ二百四十軒下



峰石鎚山があり、實に本地方の大分水嶺である。讃岐山脈は、香川・徳島の兩縣界を東西に走り、劔山山脈は、劔山を主座として石鎚山脈の東南方を走つてゐる。南部には、幾つもの山塊があつて、室戸崎・蹠岬(足)岬に及び、又高繩半島には、高繩山塊がある。

【河湖平地】 吉野川は、四國

の峽谷を作る。下流の徳島平野は、廣くて四國地方中の主要産業地である。この他、仁淀川・物部川は、高知平野を灌漑して、四萬十(渡)川と共に、土佐灣に注ぎ、松山平野を西流する重信

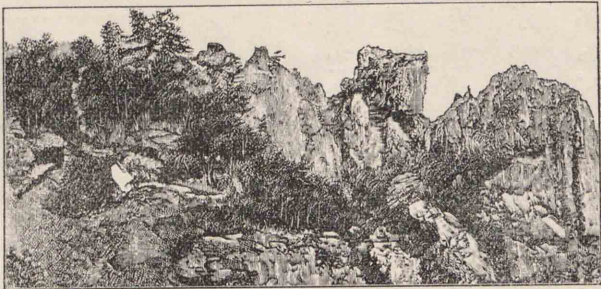


流六十餘軒の間は水運の便がある一に四國三郎といふ大河がなく降雨少き爲である

寒霞溪の奇勝がある

(上) 小豆島の寒霞溪 (下) 鳴門海峡

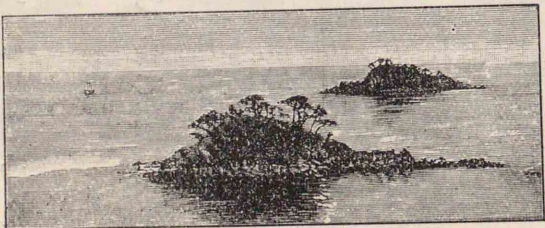
鳴門海峡の潮流は大毛島と淡路島の間に入り四國と島田島との間も亦潮流が急で小鳴門の名がある



島海峡とは、潮流の急なるによつて名高い。

氣候 内海方面は、雨少く晴天が多い。太平洋方面は、四國山脈、暖流の影響で、温暖多雨、米作が一年二

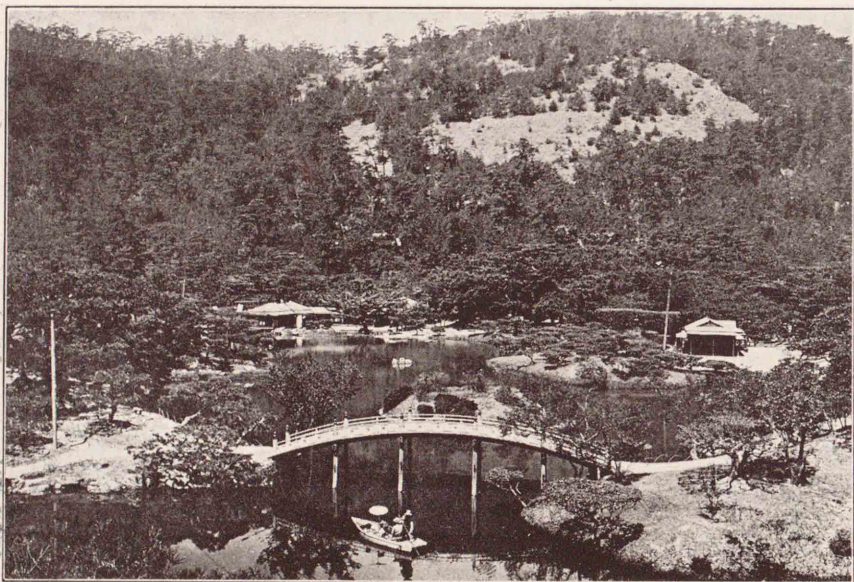
【海岸】 瀬戸内海方面は、讃岐・高繩兩半島が突出し、小豆島を始め、島嶼が多く、白砂青松の地も多い。太平洋方面は、小屈曲に乏しく、たゞ風光の勝れた室戸・蹠岬が突出して、土佐灣を劃る。紀伊・豊後兩水道は、共に海岸の出入が多い。鳴門海峡と來







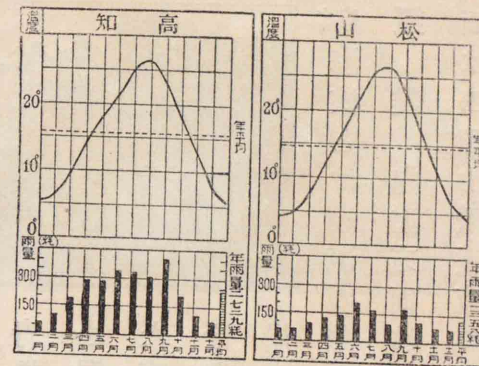
祖谷谷地方 徳島縣西南隅に位置し交通不便の地であつたが、今では美谷峽に高い



栗林公園 高松市の南方にあつた山を其のまゝ利用しての規模の大なるあ

楮をも栽培する  
高知縣の半紙の産  
額は全國第一であ  
る

高知縣伊野  
の和紙製造  
近年化學染料に  
壓倒されて産額が  
激減した

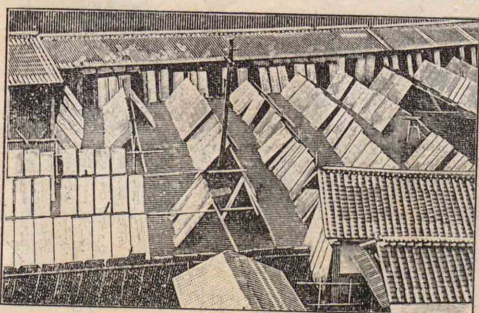
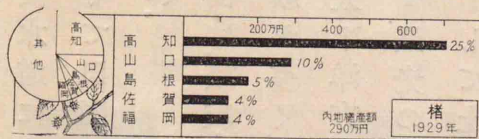
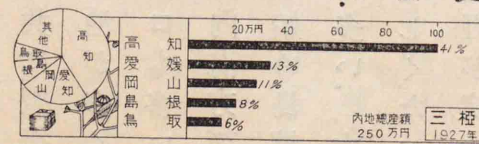


楮を栽培して、和紙を製する。又  
徳島縣の吉野川流域は養蠶が  
榮え、煙草・藍を産する。太平洋  
方面は、樹木が茂り、木材の産が  
多い。別子は、帝國屈指の銅山

同に及び、又熱帶植物の繁茂する處もある。

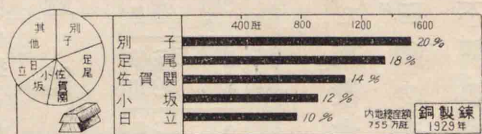
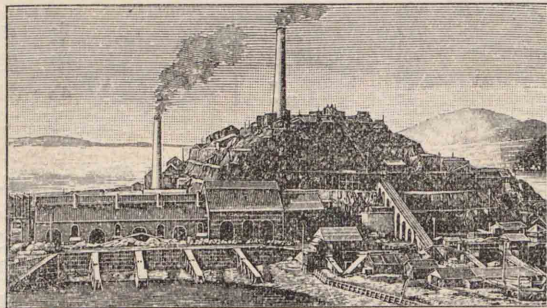
第二節 人文誌

産業 米麥の外は、地味につれて、特殊な  
農産物がある。香川縣は、甘蔗・眞田用大麥を  
栽培し、愛媛縣の三島附近・肱川流域高知縣  
の仁淀川流域は、三楮



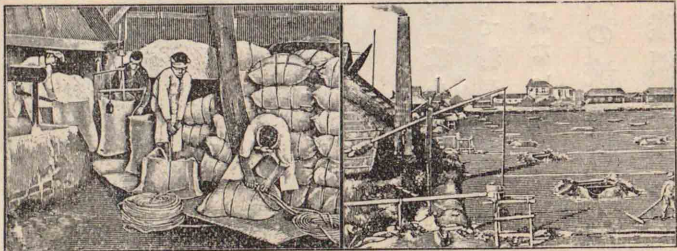
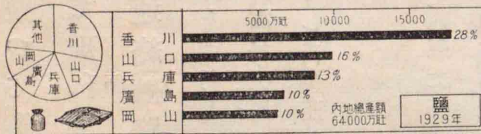


製錬(上)四坂島の製錬所(下)坂出の鹽田(左は鹽の包装)

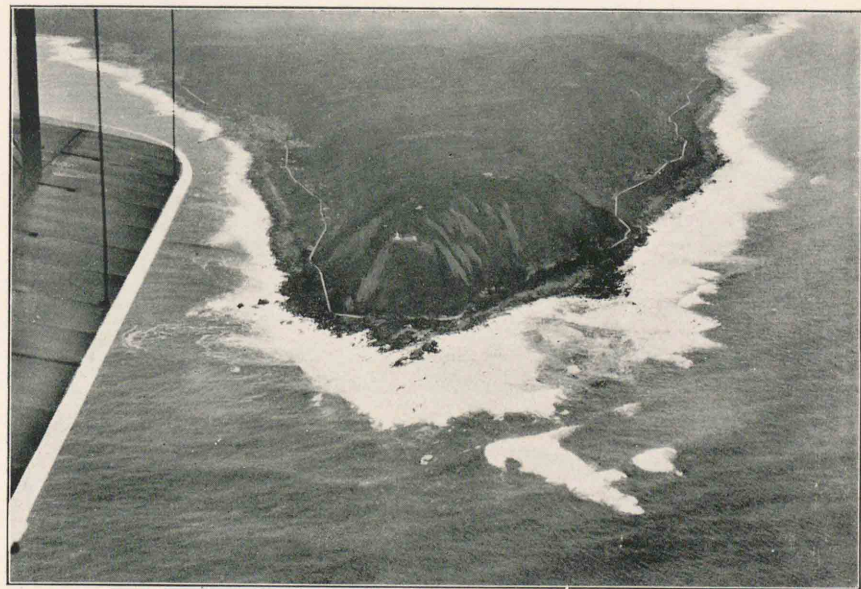


産は、和紙・麥稈・眞田(香川)の外に、愛媛・香川・徳島三縣の綿絲・綿織物がある。概ね大阪の商業圏で、高松・丸龜・今治(四國唯一の開港場)・松山等の商業地があり、徳島・高知も、地方の中心である。

は、鯉節を製造する。工  
 の海岸地方で  
 が多く、高知縣  
 は、鯛・鱈、太平洋方面  
 である。瀬戸内海  
 製錬せられる。製鹽は、坂出(讃岐)・撫養  
 (鳴門)・波止濱(高知)が盛  
 んである。瀬戸内海  
 は、鯛・鱈、太平洋方面  
 である。瀬戸内海  
 製錬せられる。製鹽は、坂出(讃岐)・撫養  
 (鳴門)・波止濱(高知)が盛  
 んである。瀬戸内海  
 は、鯛・鱈、太平洋方面  
 である。瀬戸内海



も船汽大つ且くよが絡連道鐵のと地背後がるみてつ迫が地山にち直は岸海 港濱高  
 るあでん盛が通交のと方地神阪・國中てしと戸門の野平山松でのる得し泊碇



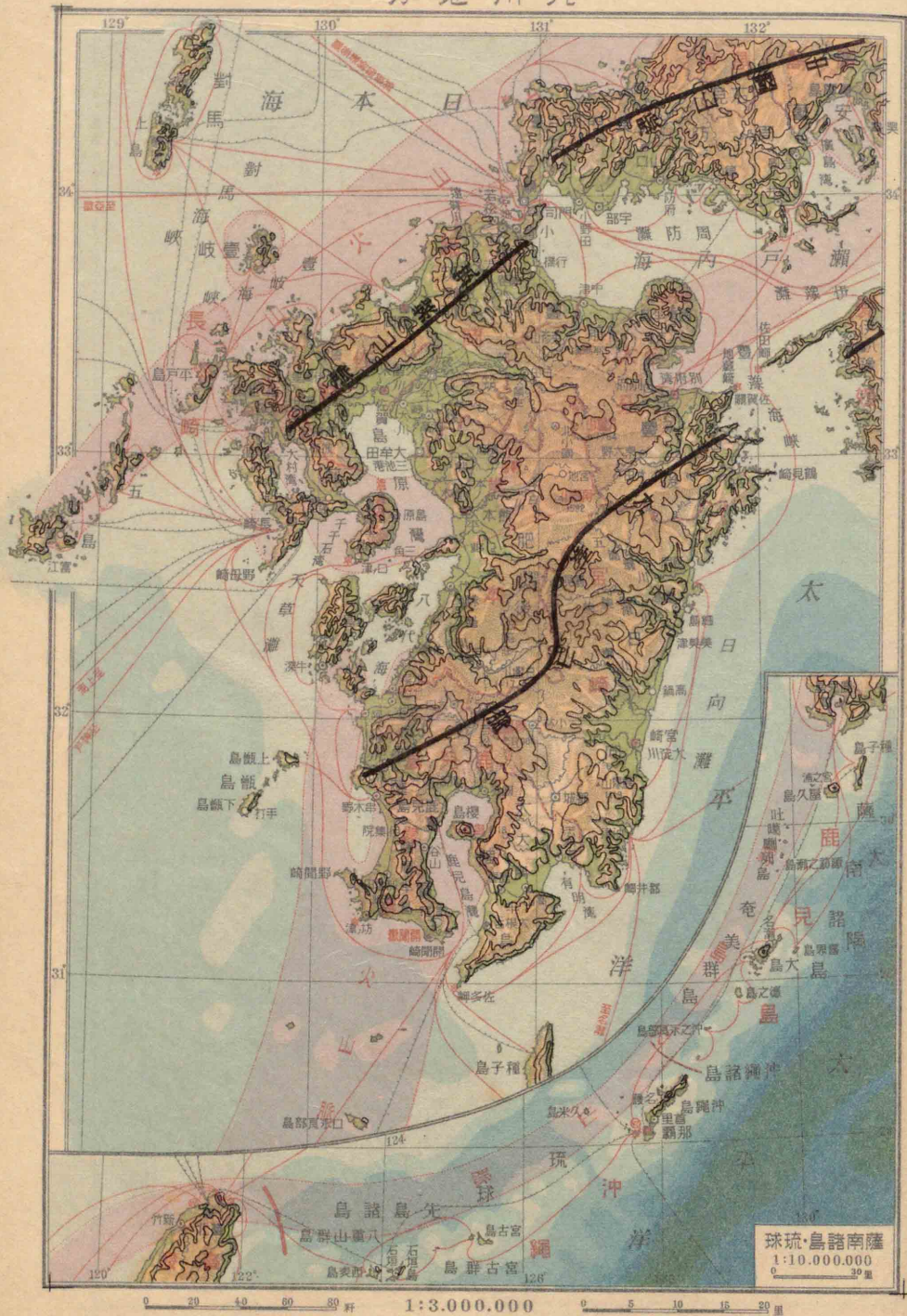
雄の濤怒ふ狂れ荒に角岩 るあで岬戸室端東南の縣知愛るた見りよ機行飛 岬戸室  
 るあが稱の一第國が我とこるたれ勝の光風てしと岸海く難し盡に舌筆はさ大



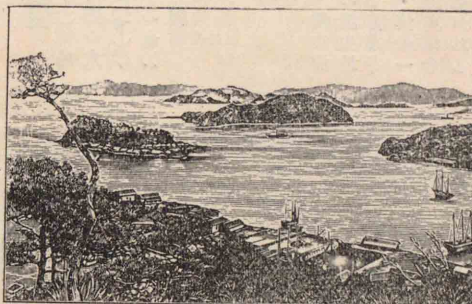




九州地方



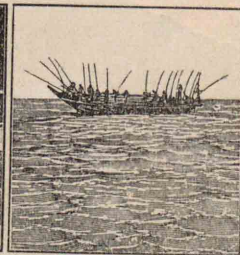
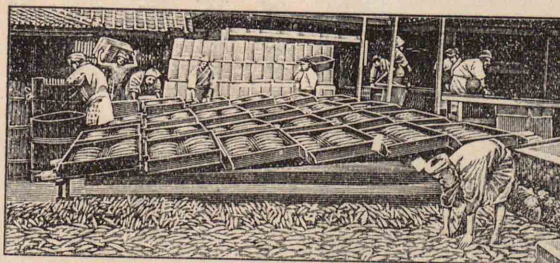
管轄 伊豫



1 縣廳・高校がある  
 管轄 土佐  
 ① (上) 來島海峡 (近景の人家は波止濱)  
 (下) 高知縣の鯉船と鯉節製造  
 ② 山内氏の舊城下  
 縣廳・高校の所在

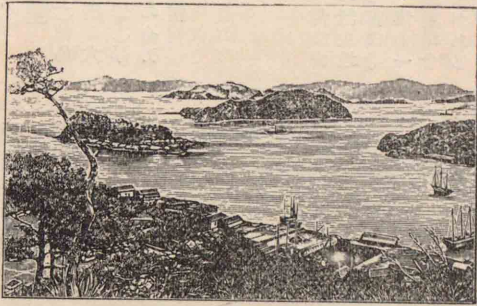
地方誌 四國地方處誌

前町である。観音寺は、水産物を集散する。寒霞溪で名高い小豆島は、醤油・石材を出す。愛媛縣 概ね山地で、松山平野の外には、著しい平地がない。來島海峡に近い今治市は、開港で、タオル・綿ネルを産する。松山市は伊豫絨・綿ネルを産し、鐵道を、高濱・三津濱温泉地の道後等に通じ、商業も盛んである。大洲は、肱川流域の中心、和紙・木臘を集散する。宇和島は、南豫の中心、大阪に航路を通じてゐる。高知縣 高知平野以外は、山岳が重疊して、森林が深く、聚落が、相隔つてゐる。海陸共に交通が不便で、従つて産業は、農林・水産と、和紙製造とが、主に行はれてゐる。高知市は、浦戸を補助港として、商工業が



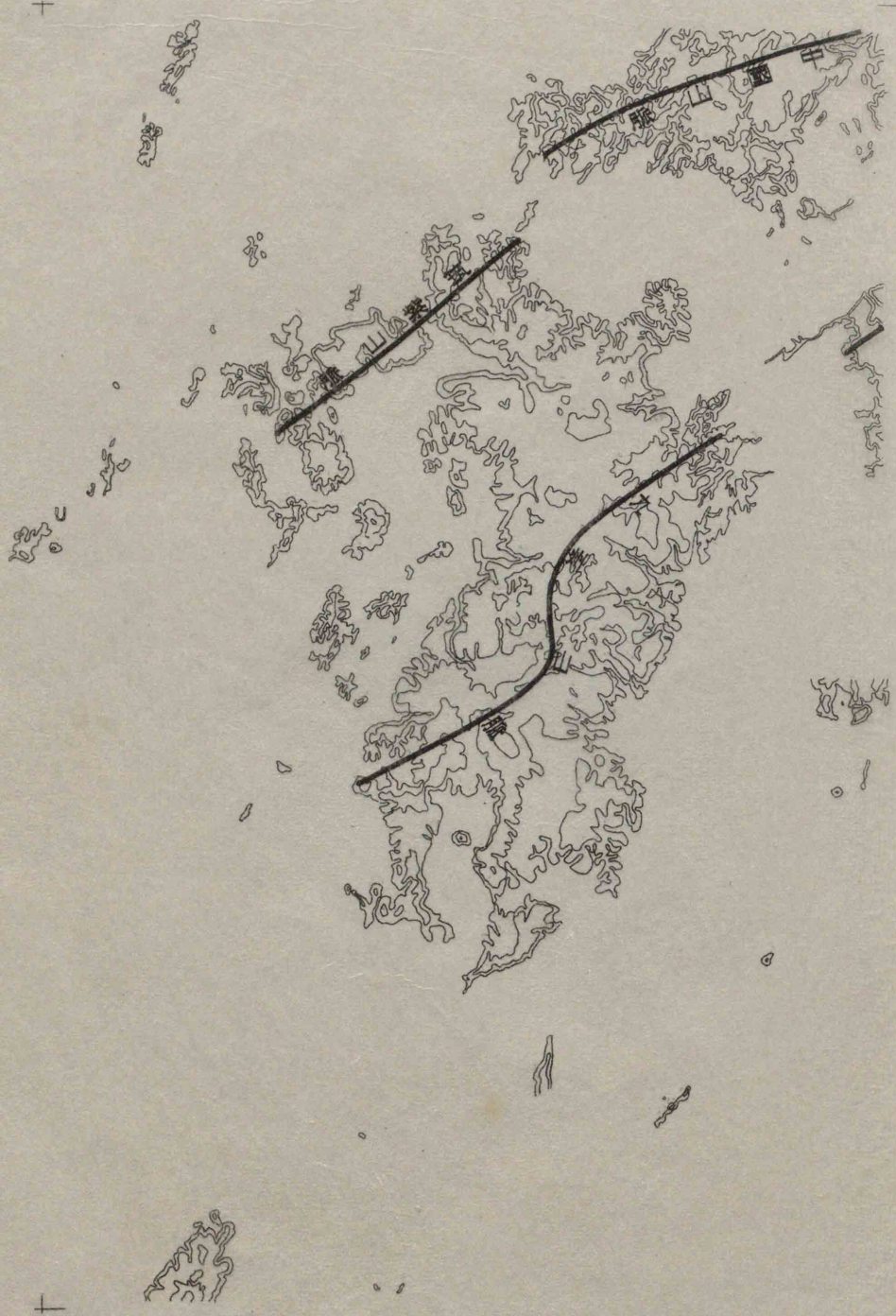
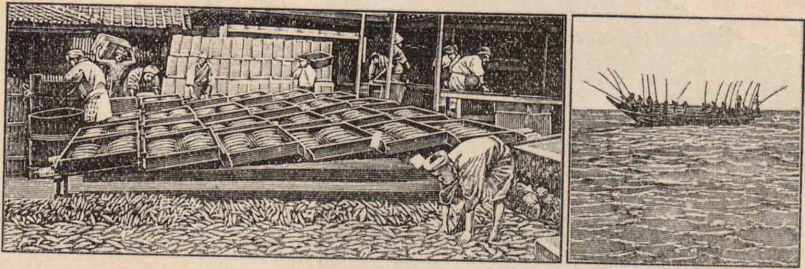


管轄 伊豫



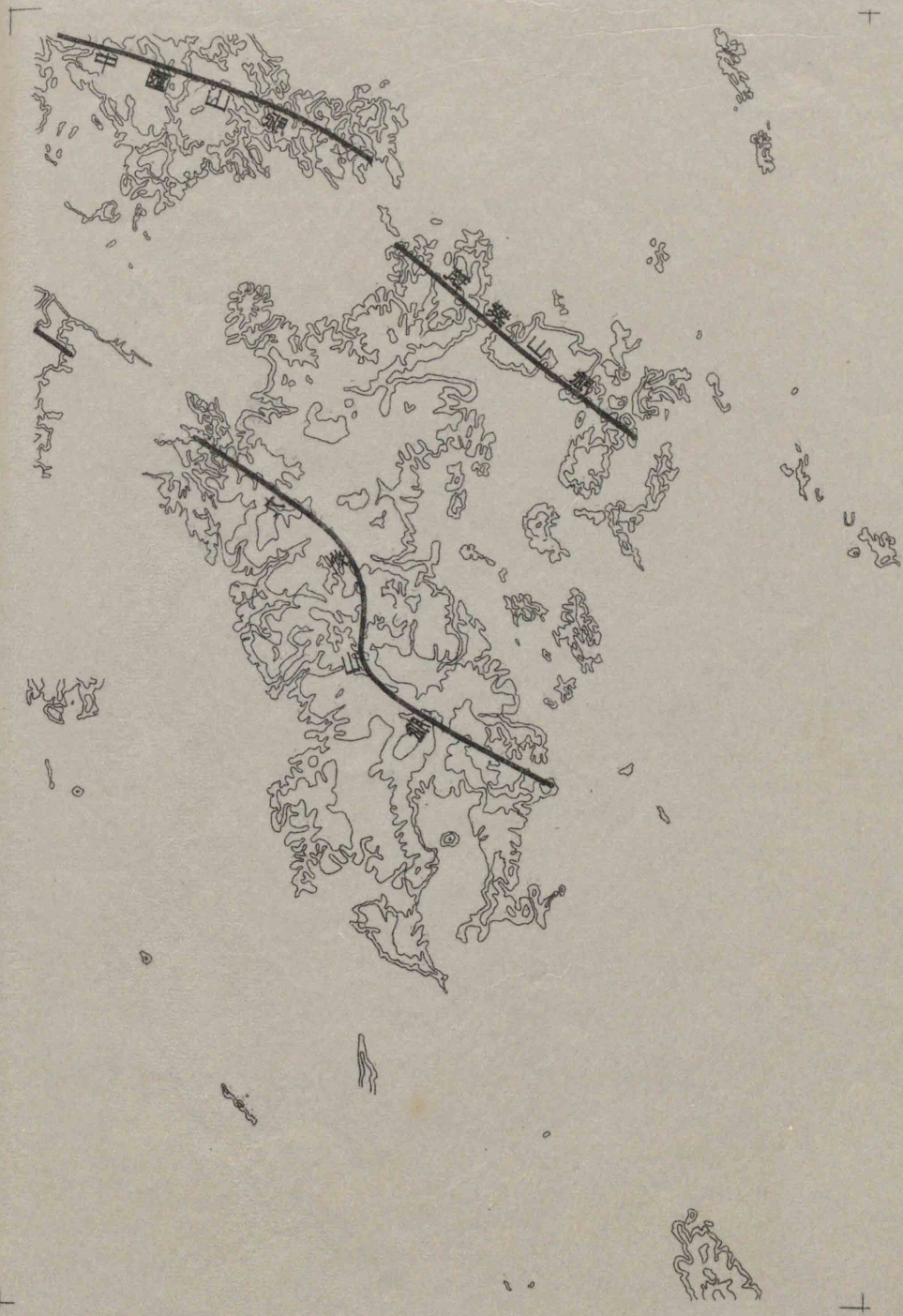
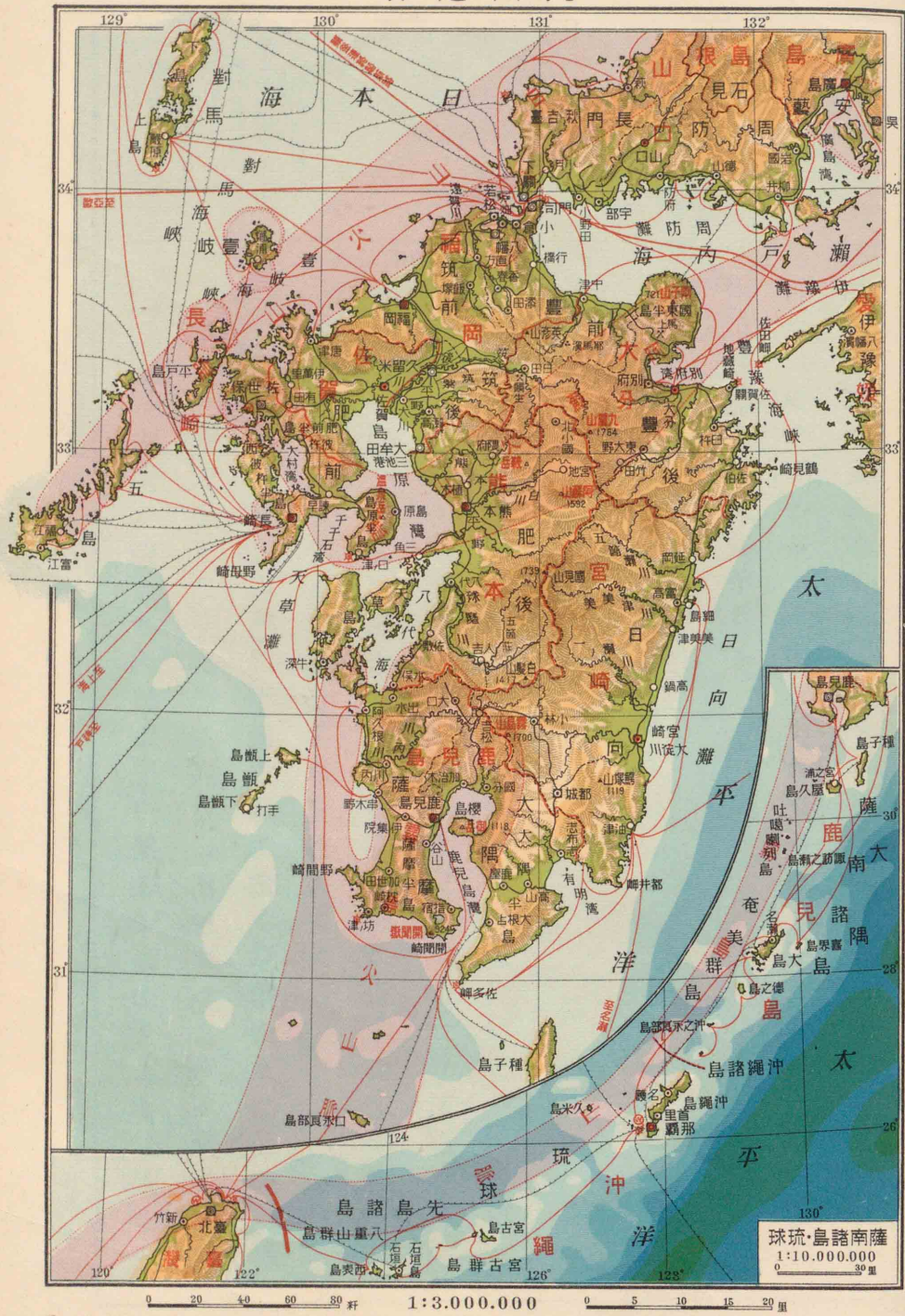
1 縣廳・高校がある  
管轄 土佐  
① (上) 來島海峽(近景の人家は波止濱)  
(下) 高知縣の鯉船と鯉節製造  
② 山内氏の舊城下  
縣廳・高校の所在

前町である。觀音寺は、水産物を集散する。寒霞溪で名高い小豆島は、醬油・石材を出す。愛媛縣 概ね山地で、松山平野の外には、著しい平地がない。來島海峽に近い今治市は、開港で、タオル・綿ネルを産する。松山市は、伊豫絣・綿ネルを産し、鐵道を、高濱・三津濱、溫泉地の道後等に通じ、商業も盛んである。大洲は、肱川流域の中心、和紙・木臘を集散する。宇和島は、南豫の中心、大阪に航路を通じてゐる。高知縣 高知平野以外は、山岳が重疊して、森林が深く、聚落が、相隔つてゐる。海陸共に交通が不便で、従つて産業は、農・林・水産と、和紙製造とが、主に行はれてゐる。高知市は、浦戸を補助港として、商工業が





九州地方





地で生絲・和紙・セメントを産する

一般に丘陵性で最高背振山も約一  
千米に止る溪谷は  
打ち開けてゐる故  
こゝを通ずる鐵道  
は概ね隧道を穿た  
ない



稍榮え、伊野は製紙地、須崎は縣内の要港である。清水は、鯉節の製造、沖島は、紅珊瑚の産で、世に知られてゐる。室戸崎は、眺望が廣濶で、附近に津呂の漁港がある。

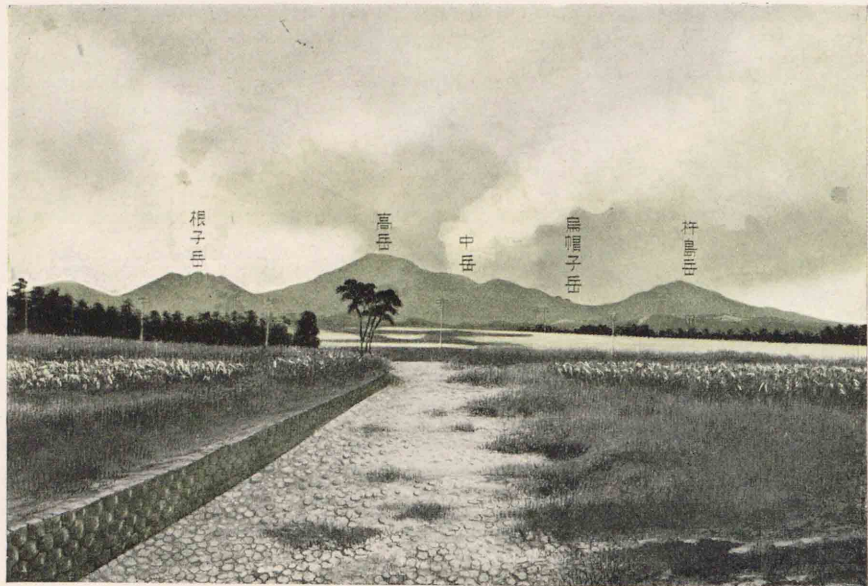
### 第七章 九州地方

#### 第一節 地文誌

**地域** 本地方は、九州島及び琉球列島その他の屬島を含み、福岡・佐賀・長崎・熊本・鹿兒島・宮崎・大分・沖繩の八縣に分れる。海を挾んで、朝鮮・支那に近く、古來、軍事・交通・經濟・文化上、重要な地域を占めてゐる。

**地勢** 【山地】 中國山脈に續く筑紫山脈は、低い數個の山塊となり、北部に連る。南東部の九州山脈は、四國山脈の續きで、祖母市房・白髪等の高山を起し、主要の分

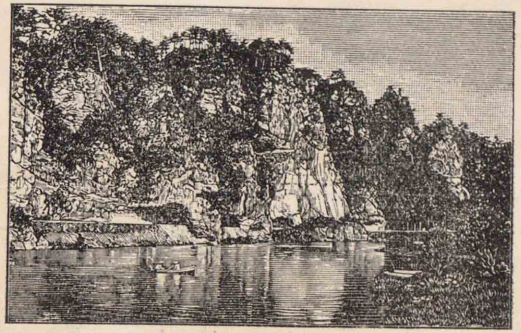




山蘇阿 模規の大なると一第界世といはれは火大原の一部に立つて中央火口丘  
 たる所阿蘇五岳を望むのもだるあての寫眞前景の左右は粟畑であら



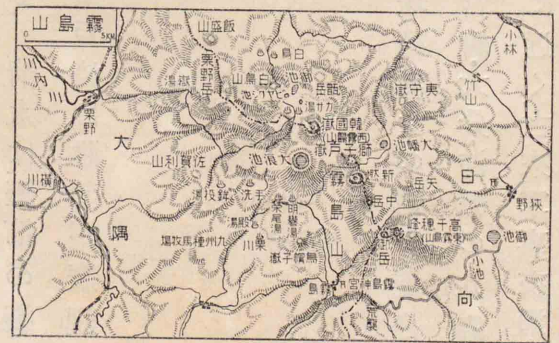
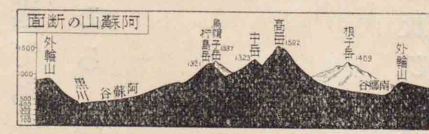
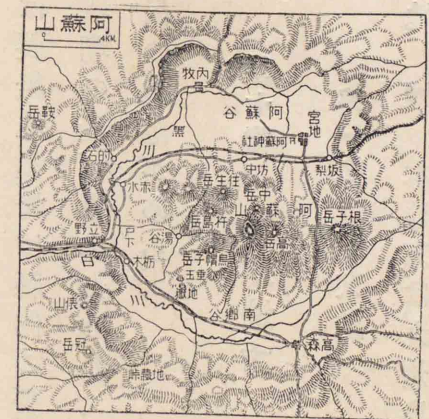
別府市の大観 南方の上りよ眺めのためのもであら 市の内外に所温泉が湧き出  
 して市街宛も湯の上の浮ぶ感あがら 寫眞の汽船は大阪間を往復する客船であら



耶馬溪 (青洞門附近)

十軒に及び、世界最大である。阿蘇五岳根子岳高岳中岳杵杵岳高帽子岳等の中央

水嶺となつてゐる。この兩山脈の間には、東西に阿蘇火山脈が通じて、鶴見九重阿蘇温泉(仙雲)等の火山が聳え、又別府温泉等の温泉地、耶馬溪等の名勝がある。霧島火山脈は、九州島の南部を斜に走つて、霧島火山群、櫻島、開聞岳を起し、更に吐噶喇(實)列島(薩南諸島)に及んでゐる。阿蘇山は、裾野が廣く、外輪山(口)は、東西十六軒、南北二十回、四百二十



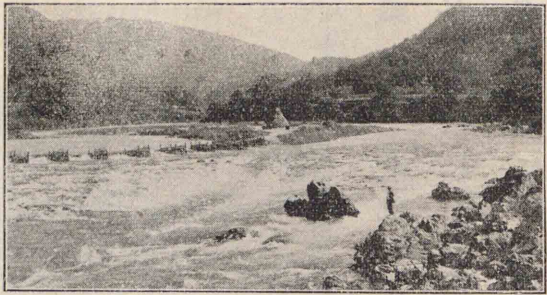


1 噴火口内に第二の中央火口丘が出来之に五箇の新火口があつて何れも活動してゐる

球磨川

遠賀・筑後・球磨・五箇瀬の諸川は何れも水運を助け筑後川・大分川等は發電に利用せられてゐる

東松浦・北松浦・西彼杵・島原  
遠浅で干満の差



火口岳が群がつて、中岳から盛んに噴煙してゐる。外輪山と火口岳との間(火口原)は、廣い平地で、南(南郷谷)北(阿蘇谷)の二つに分れ、各々農牧が行はれ、五萬の住民を有する。白川は、火口丘の西麓で黒川を併せ、外輪山を破つて西に出で、遂に有明海に注いでゐる。

【河湖平地】地形は、四斜面に分れてゐる。瀬戸内海斜面に大野・山國・玄界(海)灘斜面に遠賀、東支那海斜面に筑後・菊池・球磨・川内、太平洋斜面に大淀・五瀬川等があつて、何れも其の流域に、小平野がある。筑後川は、我が國屈指の筑紫平野を開き、

南に、熊本平野がある。湖沼は、南部の池田湖が稍、著しい。

【海岸】東岸は、單調であるが、その他は、概ね複雑で、天然の良港が多い。殊に北西部は、肥前半島が、更に四個の小半島に分れて、唐津灣、伊萬里灣、大村灣、千々岩灣、有明海がある。又宇土半島は、有明海と八



が大きい爲自然の良港がなく三池港には特別の装置がある

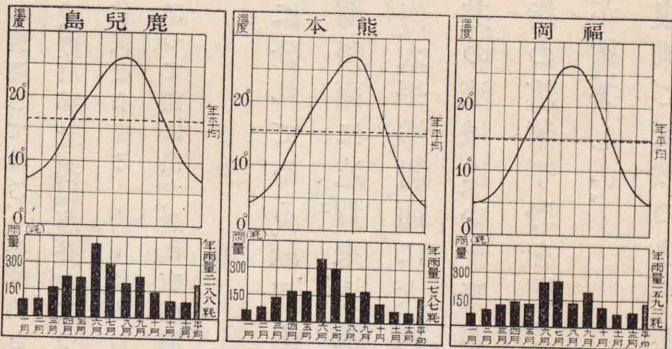
潮 有明海の干



熊本平野の氣候は稍大陸性である

氣候 北部は山陰北陸の氣候に似てゐるが、春暖が早く、冬霜が遅い。南部は、一般に溫暖多雨で、殊に沖繩縣は、亞熱帶性で、殆ど雪霜を

代海とを分つ 南部の大隅半島は薩摩半島との間に、鹿兒島灣を入れ、東に志布志明灣を抱く。豊後水道沿岸は、リアス式海岸を呈し、北に、佐賀關國東二半島が、別府灣を擁し、北部の海中道は、博多灣を劃る。島嶼には、壹岐對馬、薩南諸島、琉球列島、平戸、五島、天草島、甌島等、其の數が甚だ多い。

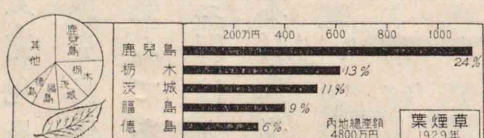
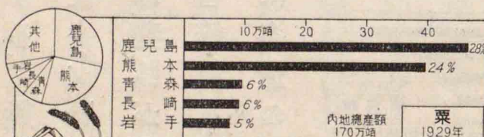
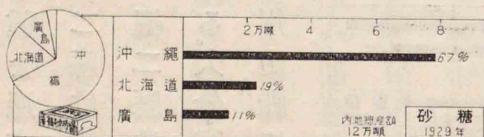
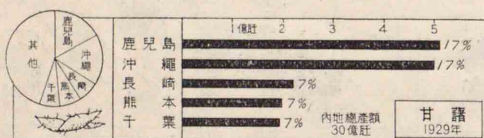
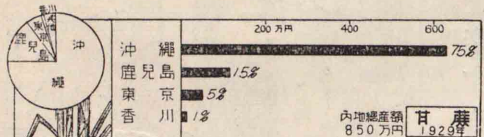
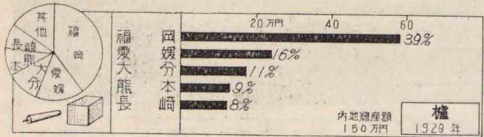
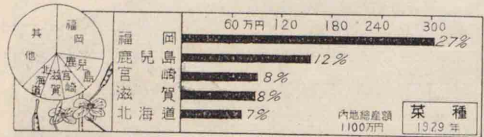


1 耕地の面積に比して米の收穫が多く且つ良質である  
2 二縣の産額は内地の九十六%を占め食料の外焼酎の原料に供する

知らず、終年、農業が行はれてゐる。

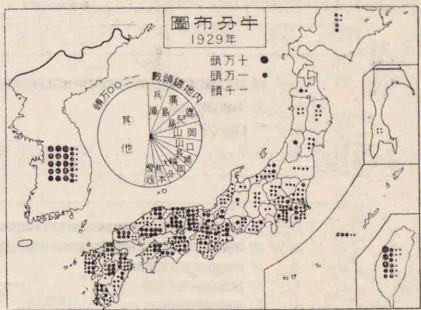
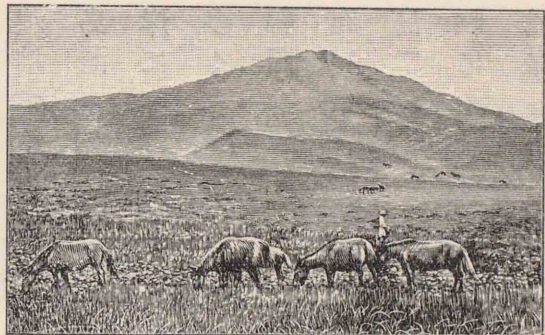
第二節 人文誌

産業 溫暖なる爲農業が盛んで、筑紫平野(福岡縣・佐賀縣)・熊本平野(熊本縣)は、米麥の産が多く、筑後米・肥後米の名が世に高い。又筑紫平野は、榎を栽培する。粟は熊本縣・甘藷・甘藷は鹿兒島・沖繩の二縣に、煙草は鹿兒島灣 岸に 多く、 福岡 鹿兒 島二 縣に は、菜



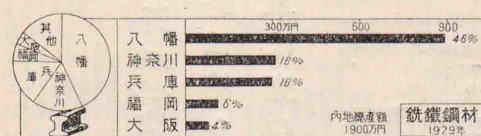
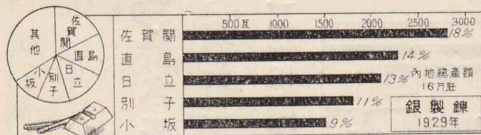
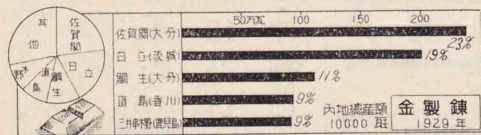


阿蘇火口原の牧馬



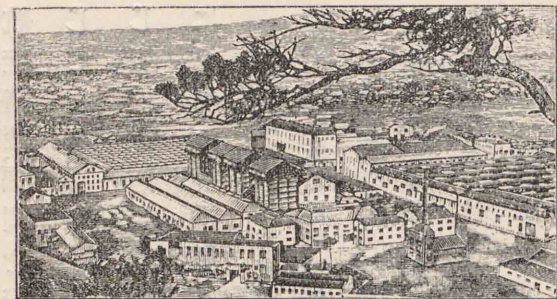
を産する。鑛産は、石炭・金が著し

い。石炭は、主に、福岡・佐賀・長崎の三縣に産し、全國總産額の七割(縣は五福岡)を占め、筑豊・三池の兩炭田が最も著しい。大分・鹿兒島二縣は、金の主産地で、金鑛は鹿



1 各所より鑛石を集めて製鍊し銀・銅の産額も多い。大牟田に亜鉛の精鍊所がある

延岡の肥料工場



産額の約八割を生産し、其の他、大牟田・水俣・延岡

の肥料、有田・薩摩の陶器、福岡縣(部南西)の綿絲、清酒、大分縣の蘭製品は、世に著はれ、織物に、博多織と、久留米・鹿兒島・大島・琉球の緋とがある。開港は、主に、北部(門司・若松・博多)と、西部(長崎・口津)とに多く、南部(鹿兒島・那覇)にもあるが、南東部及び東部にはない。福岡は、熊本・鹿兒島と共に、内地商

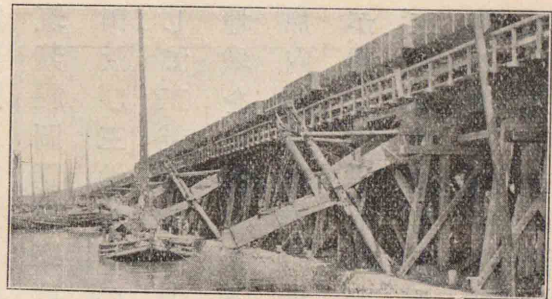






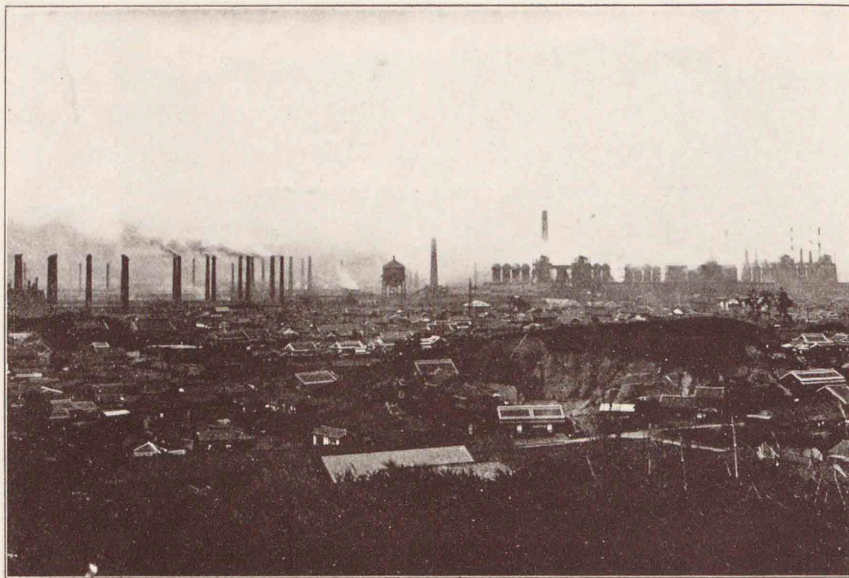
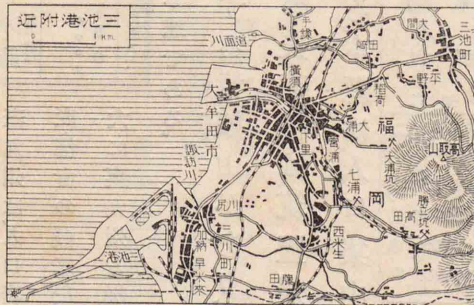
1 曹達灰・精糖・鑄物の工場がある  
 2 製鐵所を始め硝子・釘・コーラス・ナフタリン・耐火煉瓦工場がある  
 3 黒田氏の舊城下町で縣廳・九大・高校あり博多人形・高取焼を産する  
 4 若松港の石炭積出装置(一日に一萬八千噸を積み得る)  
 5 第十二師團司令部があり東北の太刀洗に陸軍飛行隊がある

管轄 肥前半部

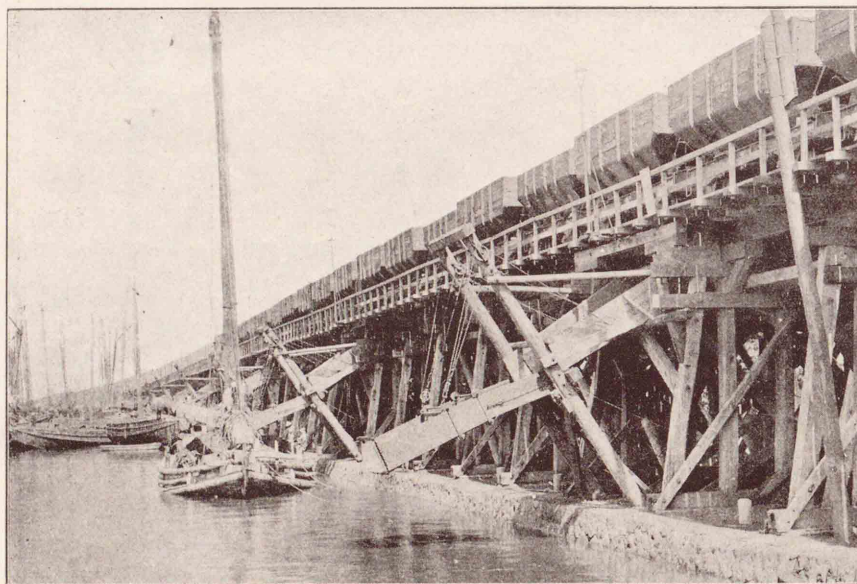


地の戸畑市・八幡市を控へ、鐵鑛の移輸入、石炭の移輸出が多い。直方市飯塚市後藤寺は、筑豊炭田の中心である。福岡市は、開港博多を含み、本地方の經濟學術の中心で、博多織・綿布を産する。附近に、香椎宮・宮崎神宮千代、松原、其他史蹟が多く、太宰府神社太宰府址も、南東二十料の處にある。久留米市は、筑紫平野の商業地で、足袋・久留米緋・木蠟等を産する。大牟田市は、綿紡績電氣工業が行はれ、三池港は、専ら石炭を輸出する。大川・柳川は、共に筑後川下流地方の名邑である。

佐賀縣 南東部は、筑紫平野に屬して、米・麥を産



八幡製鐵所 前方に當つて煙突の林立してのる製鐵所であらう 中央より右方が製鐵所製鐵の心臓部をなす熔鑪で晝夜不休なみ鑛石を熔しかして製鐵するを以て製鐵所



若松の石炭積込場 圖は若松驛の内装設置であらう 高式架橋六十斗漏米十八百六長延 七個へ貨車の底を開いて船に積込一日一萬八千噸の積込量は、七個



東松浦半島に名護屋の史蹟がある  
鍋島氏の舊城下で縣廳・高校がある

製陶工場(上)有田の造船所

管轄 肥前半部・壹岐・對馬  
佐世保附近・長崎地方・平戸地方・壹岐・對馬は要塞地帯である  
佐世保・大村に海軍航空隊がある

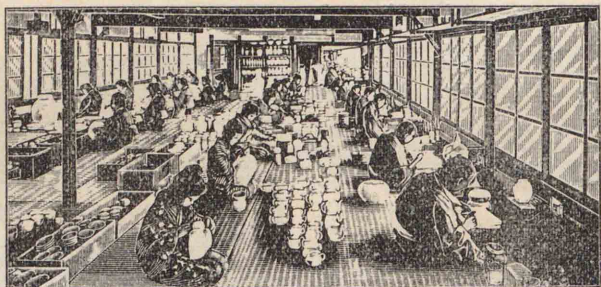
名島福江がある



櫻島根の市場 櫻島の特産は大ききのもい直徑十五重十二斤に近きものもあ  
り肉は甚だ軟く且つ美味であつて 圖は鹿兒島に於ける根大市場の風景であつて

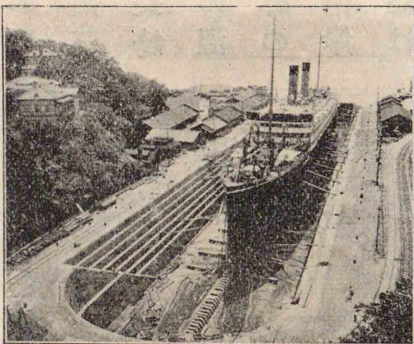


那覇港 沿岸の處處に珊瑚礁が航海が困難な泊碇の難たつた然  
るに近年の港築の一部が完成して圖の如く汽船が自由な碇泊を得るやうになつた



し、有明海に牡蠣・蛭を産する。中央以西には、製陶と採炭(炭唐津)とが行はれる。佐賀市は肥前米綿絲綿織物を集散し、有田は製陶の中心である。北部の海岸は、良港が多い。中にも唐津市は石炭の輸出港として著れ、伊萬里も亦名高い港である。有明海岸の住、江は、石炭を移出する。

長崎縣 大部は、半島・島嶼で、海岸線の發達が著しく、鯨・烏賊・鯨・海鼠の漁獲が多い。又肥前炭田・長崎炭田に、石炭の採掘が行はれる。大村灣口の佐世保市は、軍港・海軍工廠の爲に發達し、平戸島は、五島列島と共に、漁業が盛んで、平戸港がある。





1 縣廳・醫大・高商・控訴院・浦上天主堂がある

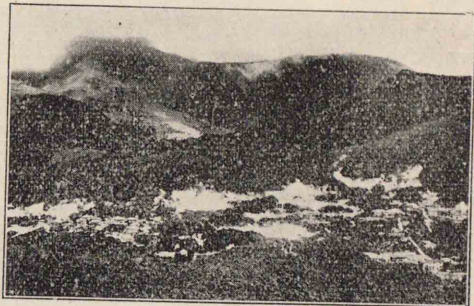
2 夏季は遠く支那等より避暑に来る外國人が多い

3 温泉岳の大観(上)温泉岳本市より阿蘇の噴煙を眺む(左)水前寺公園

壹岐に勝本對馬に嚴原の要港がある

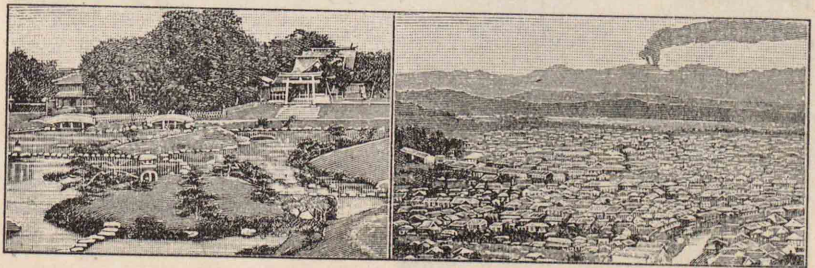
管轄 肥後

3 細川氏の舊城下で縣廳・第六師團司令部・五高・高工・醫大の所在地



長崎市は、古い開港で、昔時の遺蹟が少くない。海産物の輸出、石炭の積出が多く、壯大なる長崎造船所がある。島原半島の温泉(仙雲)岳は、眺望が快濶で、内外の來遊者が多く、東岸に島原、南岸に口津(津)がある。壹岐・對馬は、日本海の西門に横はり、漁業が盛んで、殊に烏賊・鰯が名高い。

熊本縣 山地が甚だ廣く、阿蘇火山地方は、牧牛・牧馬・粟作が行はれ、又熊本平野の米は、重要農産である。熊本市は、九州中部の交通・教育の要地で、多く肥後米を集散し、生絲・醬油を産する。市内に熊本城



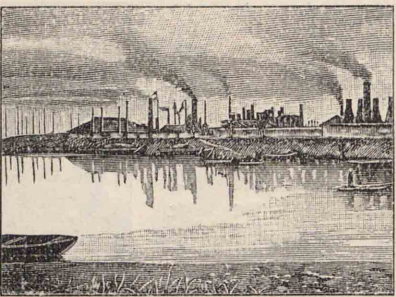
管轄 豊前一部・豊後

3 八代のセメント工場(下)宇佐八幡宮

1 杵築・日出・大分が集散地

2 大阪・神戸を始め瀬戸内諸港と航路を通じてゐる

3 縣廳・高商



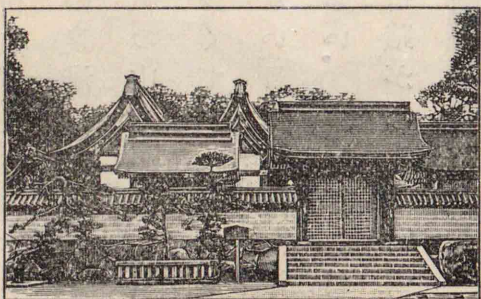
址、郊外に妙本寺・水前寺公園(園)がある。八代は、木材の市場で、セメント・洋紙を産する。三角は、開港で、セメントの輸出地、水俣は、肥料・セメントの工業地で、人吉は、人吉盆地の中心である。天草島は、無煙炭・陶土を産する。

大分縣 大部は、九重山・由布岳・鶴見岳等の山地で、山國川

大分川・大野川の下流に、狭い海岸平地がある。

中津市は、絹綿の紡織地で、耶馬溪と宇佐八幡宮のある宇佐とに近い。國東半島は、七島表を産する。別府灣頭の別府市は、我が國第一の温泉

都市で、泉質多種湯量豊富で、浴客が頗る多い。大分市は、商業・綿紡績が榮え、生絲・綿絲も産する。





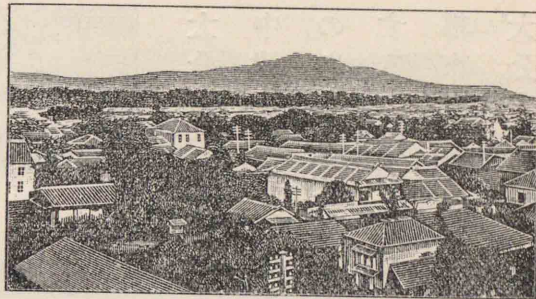
1 海軍航空隊がある

管轄 日向

2 細島・油津の漁港がある

3 縣廳・高等農林の所在地北方の西都原は數多の古墳が存する

五箇瀬川の上流に横峰銅山・高千穂がある



熱帯植物の繁る青島に近い。延岡は、有名な窒素肥料の製造地で、大淀川上流の都城市は、製絲業地である。  
鹿兒島縣 山岳が廣く蟠つて、平地が



佐賀關は、壯大な製鍊所の所在地で、盛んに金・銀・銅を製鍊し、南方に、臼杵・佐伯の良港がある。  
宮崎縣 九州山脈・霧島火山脈の山地が多くて、林産(炭・木材・薪)に富むが、人口が少なくて、狭い海岸平地も、未だ農耕が進歩してゐない。日向灘の海岸は、黒潮に伴ふ鰯・鯉の漁獲が多い。本縣は、皇祖發祥の地で、到る處に、神代の遺蹟がある。宮崎市は、宮崎神宮のある處で、生絲を産し、

管轄 大隅・薩摩

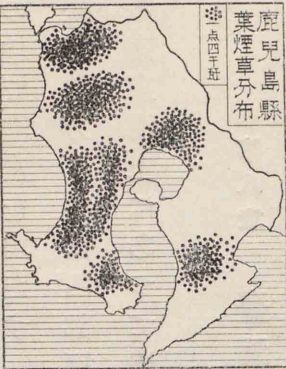
1 温泉地

2 島津氏の舊城下町で縣廳・高校・農の所在地  
阿久根は焼酎を産する

3 鐵砲の初めて傳來した所

鹿兒島市より櫻島を望む

管轄 琉球  
教育が普及して風俗言語が内地と殆んど異なるやうになつた



少く、霧島山麓には、温泉が多い。農・牧業がよく行はれて、甘藷・粟の收穫、牛・馬・豚の頭數が多く、山野・芹野・串木野等の金鑛、近海の鯉(鯉節製)も、著しい。國分・加治木は、南方の揖宿と共に、煙草の中心地である。鹿兒島市は、

城山を負ひ、櫻島を前に望む開港で、薩摩・緋・薩摩・燒・錫器を産する。谷山は、錫山で名高い。薩南諸島(種子島・屋久島・吐噶刺列島・奄美諸島より成る)の種子島は、甘蔗、屋久島は、屋久杉、鯉節の産出で名高い。大島(奄美)は、大島紬・黒砂糖を産して、名瀬より積出す。  
沖繩縣 もとの琉球王國の地で、薩南諸島の南に連る五十有餘の島嶼より成り、沖繩諸島・先島諸島(宮古群島・八重山群島より成る)に分れる。沖繩島は、最大島で、且





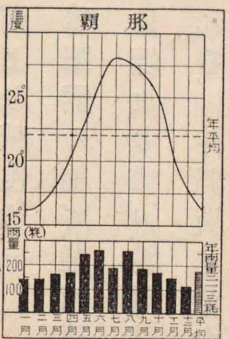
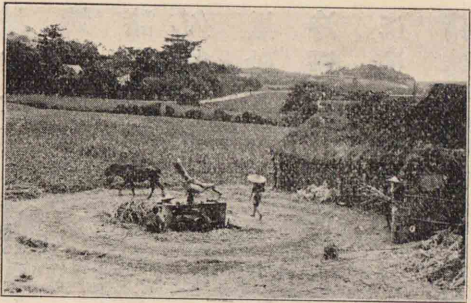
支那の風習に似て墳墓を壮大にする  
石垣島の風力は全國第一といはれる

沖繩島の甘蔗液搾取

1 縣廳所在地  
2 泡盛・阿且轄

3 中央標準時よりも一時間遅い時刻である

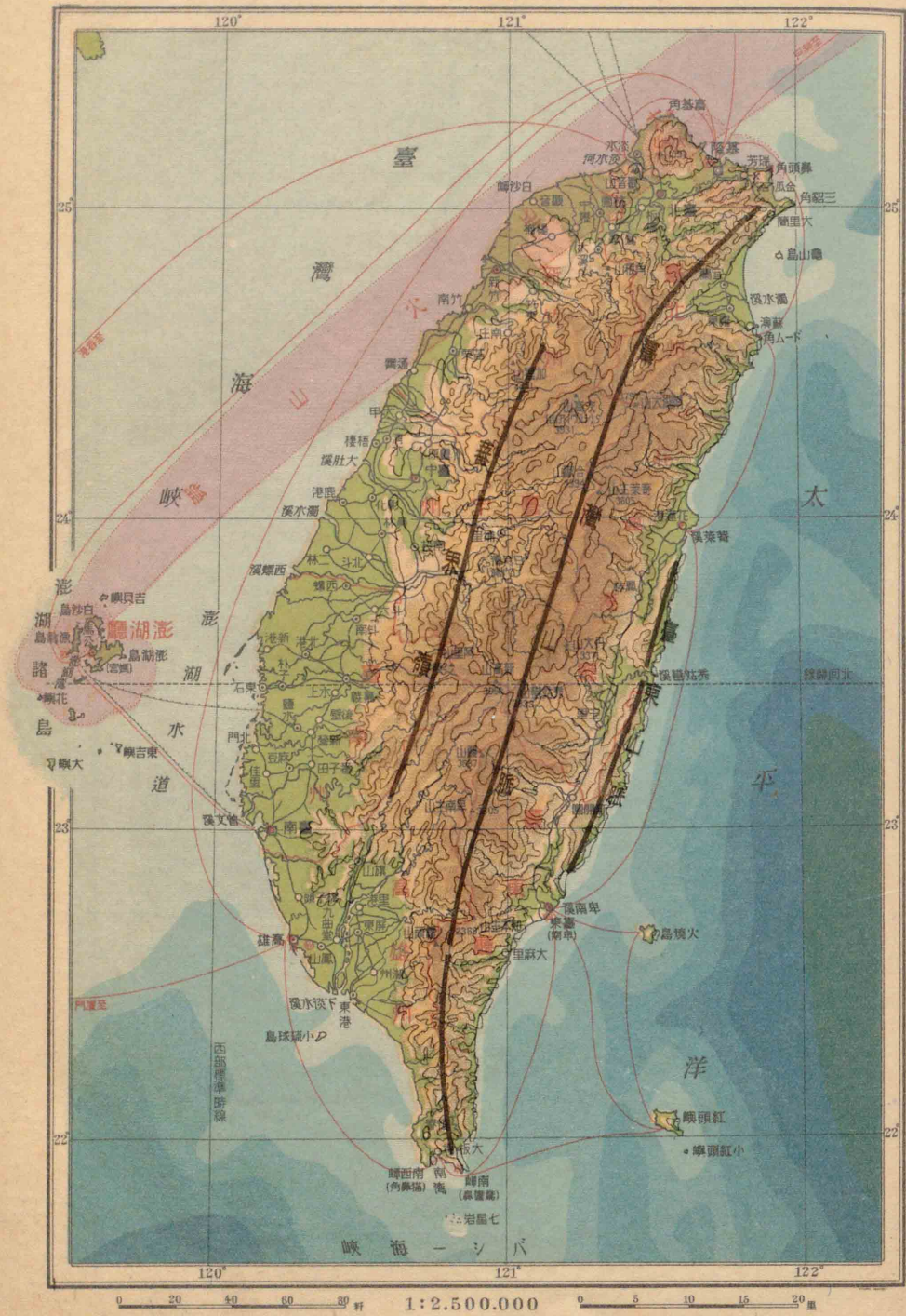
昔我が國は臺灣を高砂島と呼んでゐた



つ最もよく開けてゐる。亞熱帯にある爲、溫暖多雨で、榕樹・阿且・芭蕉が茂り、海岸には、珊瑚礁が多い。甘蔗を栽培して、砂糖の産が多く、甘藷の栽培、豚の飼養も盛んである。夏秋の交屢、暴風に襲はれる故、概ね低い家屋に、高い石塀を繞らしてゐる。那覇市は、開港で、緋芭蕉布等を産し、首里市は、舊王城の地で、泡盛を出だす。先島諸島には、上布を産出する。此の地方は、臺灣地方と共に、西部標準時(東經百二十)を用ひる。ラサ島(沖、大)は、遙なる南東海上にあつて、燐鑛を産し、無線電信局がある。

第八章 臺灣地方

方地灣臺





支那の風習に似て墳墓を壮大にする  
石垣島の風力は全國第一といはれる

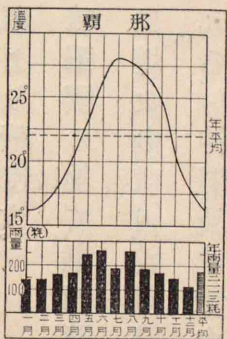
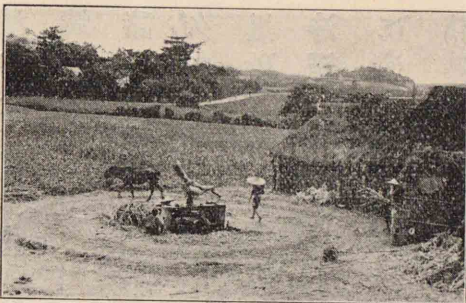
沖繩島の甘蔗液搾取

1 縣廳所在地

2 泡盛・阿且軒

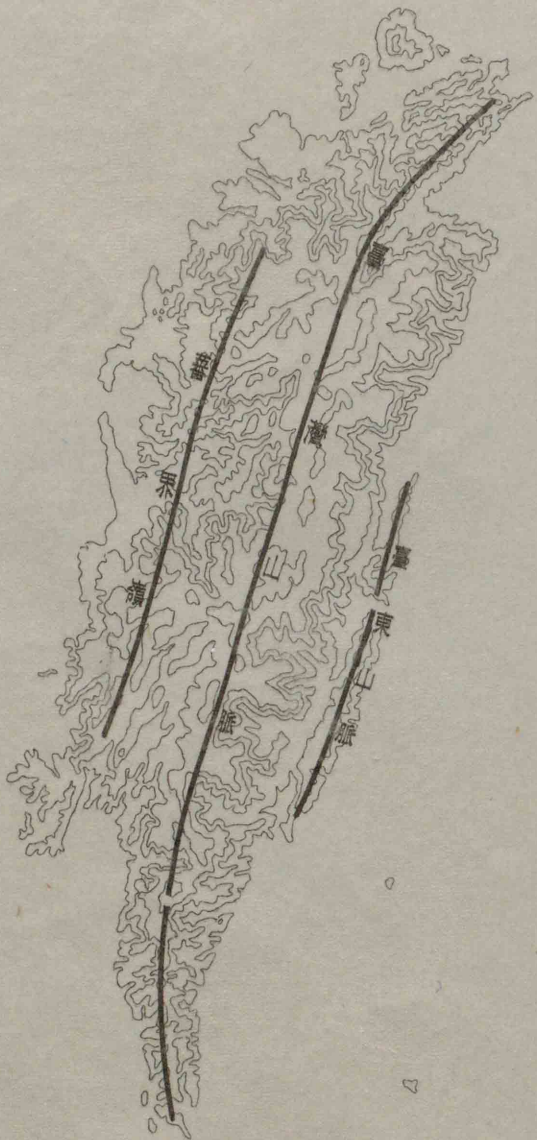
3 中央標準時よりも一時間遅い時刻である

昔我が國は臺灣を高砂島と呼んでゐた



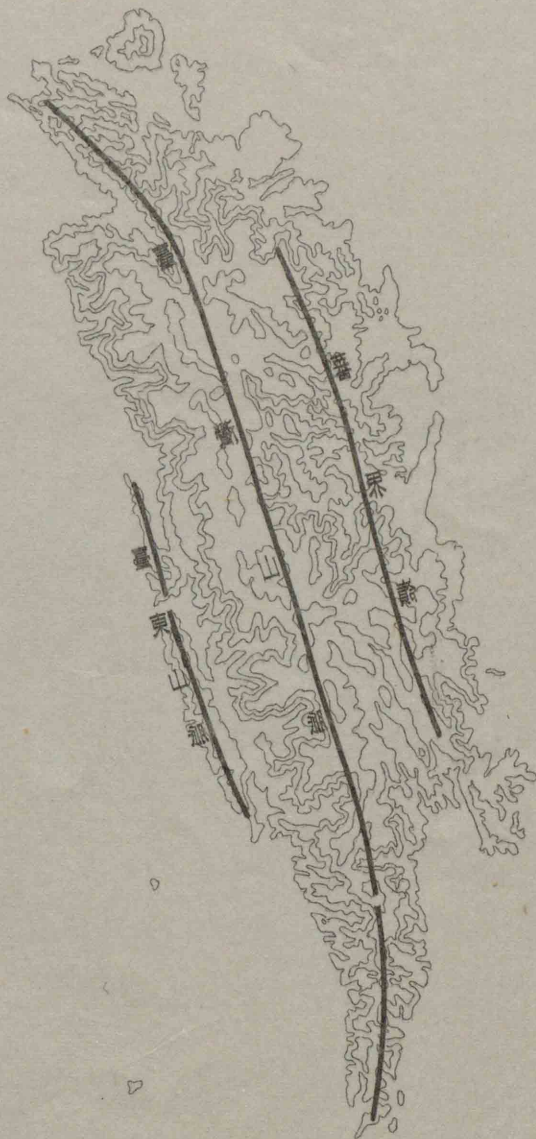
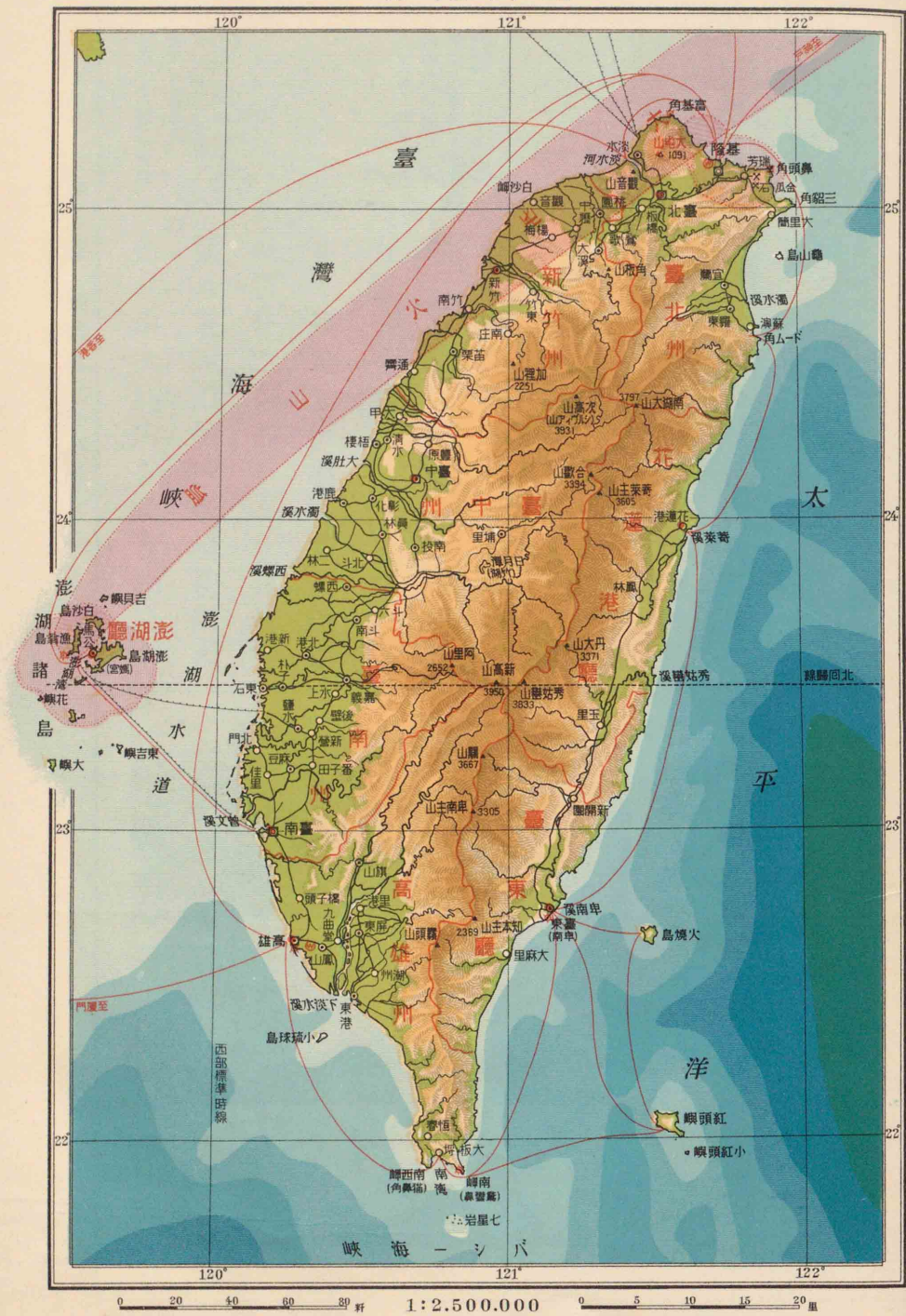
つ最もよく開けてゐる。亞熱帯にある爲溫暖多雨で、榕樹・阿且・芭蕉が茂り、海岸には、珊瑚礁が多い。甘蔗を栽培して、砂糖の産が多く、甘藷の栽培、豚の飼養も盛んである。夏秋の交屢、暴風に襲はれる故概ね低い家屋に、高い石塀を繞らしてゐる。那覇市は、開港で、緋芭蕉布等を産し、首里市は、舊王城の地で、泡盛を出だす。先島諸島には、上布を産出する。此の地方は、臺灣地方と共に、西部標準時(東經百二十度の子午線)を用ひる。ラサ島(沖、大)は、遙なる南東海上にあつて、燐鑛を産し、無線電信局がある。

### 第八章 臺灣地方



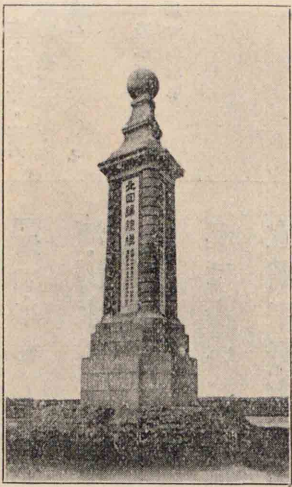


方地灣臺





第一節 地文誌



① (上) 北回帰線標 (嘉義の南方約四料の所にある) (下) 新高山

1 明治天皇の御命名で舊名は玉山・モリソン山  
2 今上天皇の御命

地域 我が國の南西端を占めて、南半は熱帯に入り、支那や米領北律賓群島に近い。帝國の一大寶庫、南方の重鎮で、行政上、臺北

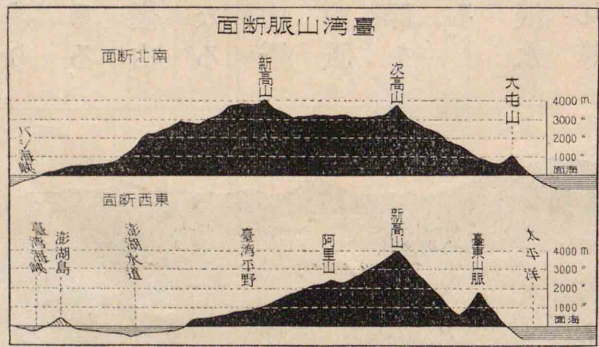
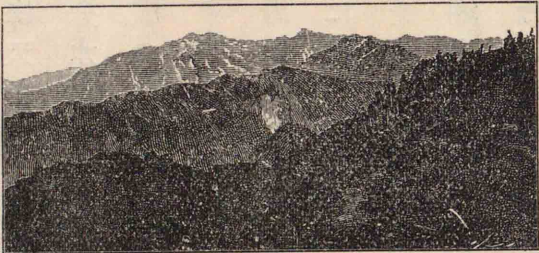
新高山、次高山を始め、約三千

澎湖の三廳とに分れる。地勢【山地】雄大峻峻なる

山脈が、稍、東部に偏して、相並んで縦走し、山地は、本島面積

の三分二を占める。其の主脈の臺灣山脈は、帝國最高の

新高山、次高山を始め、約三千

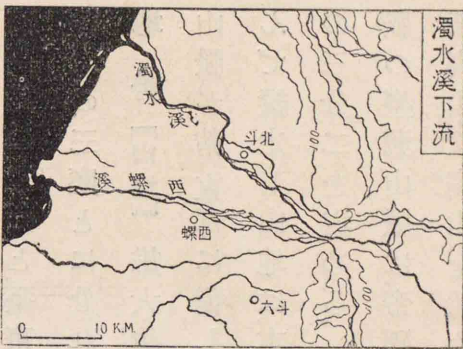




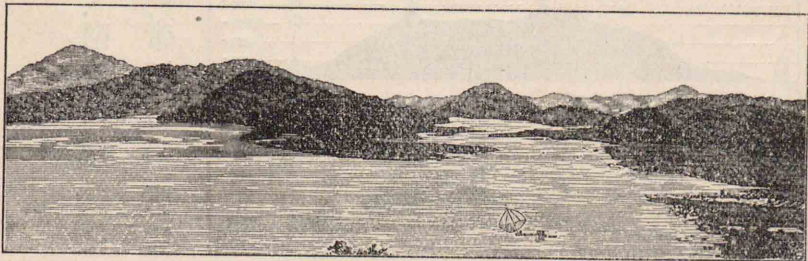
名舊名雪山・シル  
ウイア山

1 霧島火山脈の續  
き  
日月潭

2 臺北平野・臺中  
平野・臺南平野・屏  
東平野等に分れる  
3 淡水河は稍利  
用せられる



【河湖平地】 西部の臺灣平野は、略、一帯をなし、淡水河・濁水溪・下淡水溪等が、之を潤してゐる。之れ等の河川は、上流に峡谷、下流に広い積を置き、舟運の利は少いが、上流は、発電力に富んでゐる。北東部に宜蘭平野、南東部に臺東平野がある。一は濁水溪、一



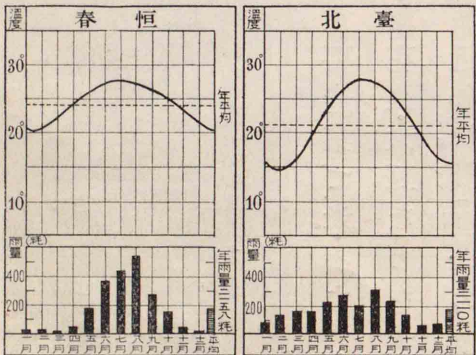
東岸の崖濱  
1 一千米に及ぶ  
2 蘇澳の南約四十  
料  
澎湖諸島中の花嶼  
は我が國の西端に  
あたる

殊に北部に雨量が  
多く基隆附近の火  
燒寮の雨量は年々  
△△耗に及び全國第  
一である

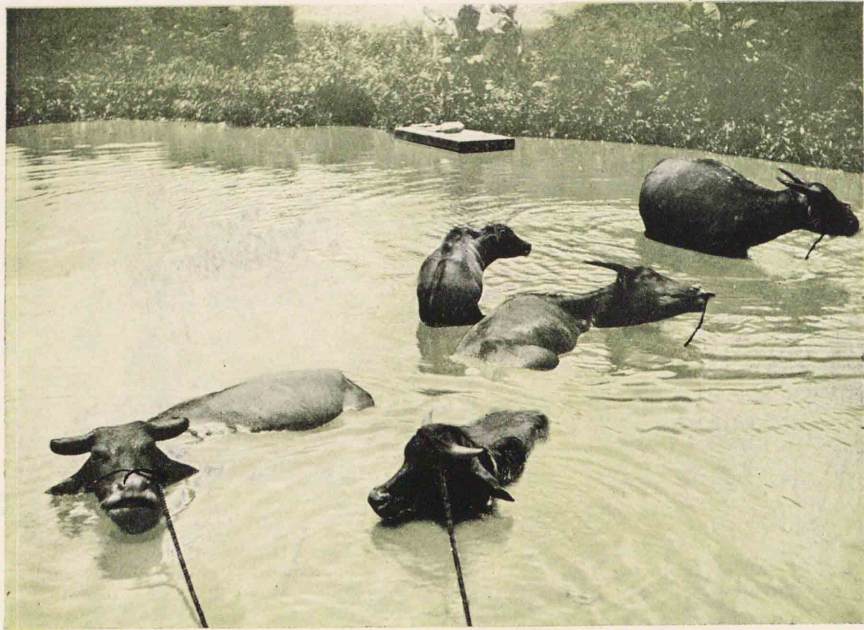


は菁萊溪・秀姑巒溪・臺東溪が流れてゐる。日月潭は、本地方唯一の湖水で、発電に有望である。【海岸】 西海岸は、遠淺で、砂嘴・潟湖が多く、良港が少い。北岸は稍、屈曲がある。東海岸は、大部が絶壁で、世界第一の崖濱といはれる處もある。澎湖諸島は、臺灣海峽中の大小六十餘の低平なる島嶼より成つて、山林・水源に乏しい。従つて耕地が少い。

其の他の屬島には、紅頭嶼・火燒島等がある。  
氣候生物 熱帶性氣候で、溫暖・多雨である。季節の影響により、一年は、乾季と雨季とに分れ、南部と北部とは、乾濕二季が相反する。全島は、





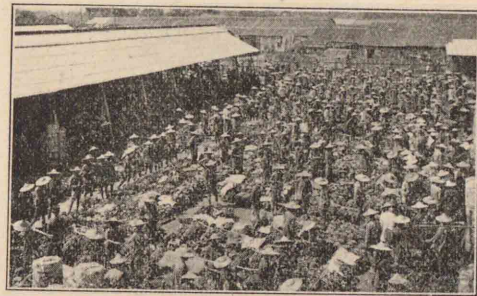


水牛 耐熱性が強く強健順温で臺灣に於ける農耕の他の最上役も重要な畜家  
水牛は耐熱性が強く強健順温で臺灣に於ける農耕の他の最上役も重要な畜家  
水牛は耐熱性が強く強健順温で臺灣に於ける農耕の他の最上役も重要な畜家



檳榔樹林 似熱帶植物であつて材は建築材料となる又土人は好んで其の  
檳榔樹林 似熱帶植物であつて材は建築材料となる又土人は好んで其の  
檳榔樹林 似熱帶植物であつて材は建築材料となる又土人は好んで其の

(下) 林投樹  
(上) 臺中のバナナ市場  
1 近年完成した嘉南大圳は最も大で灌漑面積四萬平方  
龍眼肉・蜜柑の産  
も多し茄子・蕃椒  
等は多年生である  
2 主に粗糖を内地  
精糖を支那に送る



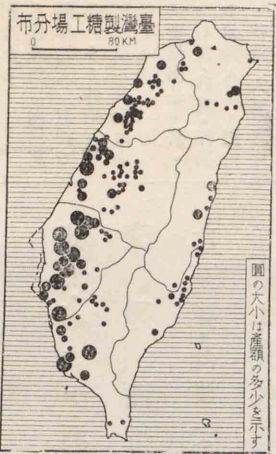
夏秋の交、往々颱風タイフーンに襲はれる。植  
物はよく生育し、榕樹・檳榔樹・杉・檉  
投樹・竹等が茂り、動物には穿山甲・水  
牛等がある。

第二節 人文地理

産 業 農業は本地方の重要産業で、米・バナナ・  
甘蔗・茶・甘藷(以上を五大産物となす)・鳳梨・落花生・大豆などを主  
とし、多く他に移輸出する。近年、埤圳(溜池)の改  
修・増設につれ、農産が増加した。米は、年に二回  
收穫し、臺灣平野の中部に多く、バナナは、臺中州  
に最も多く産する。甘蔗は、臺灣平野の中部以  
南を主産地とし、屏東・嘉義を始め、臺中・斗南・鹽水・  
鳳山等の多數の工場で、粗糖・精糖に製する。茶





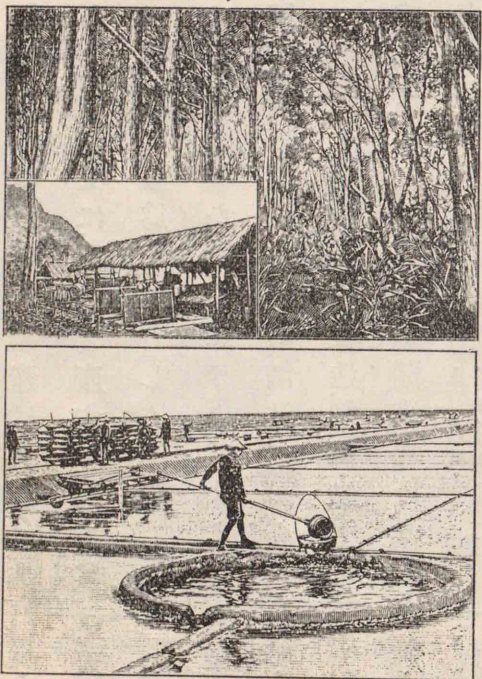


樟樹造林も行ひ世界樟腦需要の大部分を供給してゐたが近年獨逸等の人工樟腦に壓せられる傾向がある。樟腦は阿片・煙草・食鹽と共に總督府の專賣である。

（上）樟樹林と樟腦製場（下）天日製鹽

は、樟腦油と共に、中部・北部の山地より、平地に亘つて茂る樟樹より製せられ、基隆より、内外各地に送られる。近海は、魚族（鯧・鯛）に富み、又沿岸に、水産養殖が發達し、水産業は、前途有望である。又西岸の砂濱では、盛ん

は、主に北部の丘陵地に産して、臺北・桃園で精製せられ、甘藷は、各地に産する。牧畜は、黄牛・水牛・豚・鷺（アヒ）が多く、一般に、農家で飼養してゐる。臺灣山脈の高地（千外内）には、檜・紅檜（ヒノキ）など、巨大な良材が多く、阿里山等で盛んに伐出して、嘉義の製材所に送る。特産の樟腦





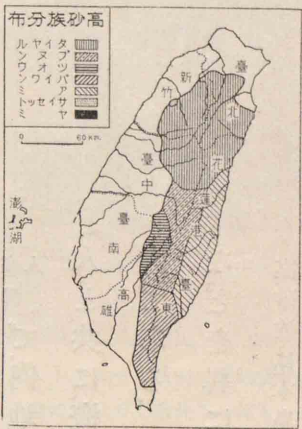








内地人 二十二萬

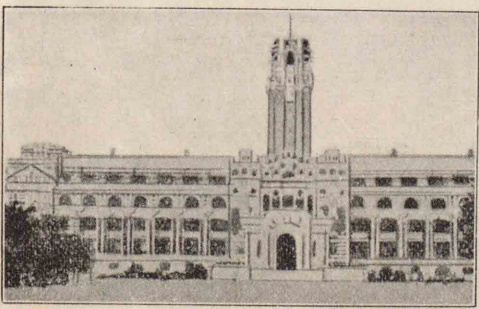


數は、約八萬六千人である。中に漢族に同化せられて、言語風俗を眞似、農耕に従事するものを熟蕃といひ、日本の領臺後も、山地に據つて兇暴を逞うしたものを生蕃といふ。今は、何れも皇室の恩恵に浴して、歸順同化するに至つた。

西部平地は、人口が割合に多く(全人口の九割)、海岸

地方よりも、寧ろ平地・山地の境界附近が密である。従つて、主要都會は、概ね此の地方に多いが、農民が多い爲に、大都會は少い。

**政治** 臺灣總督は、民政長官を補佐として、民政全部を統べ、臺北市の臺灣軍司令官は、守備隊を統率する。地方は、五州三廳に分れ、州に知事、廳に廳長がある。州の下には、市郡があり、廳の下には、支廳がある。

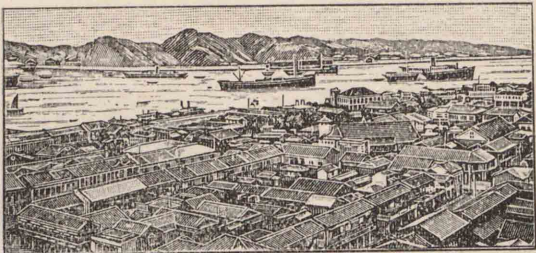


臺灣總督府 (官衙所在)  
 臺北州 新竹  
 臺南州 臺中  
 臺南州 高雄  
 高雄州 高雄  
 臺東廳 臺東  
 花蓮廳 花蓮  
 澎湖廳 澎湖  
 馬公

1 北部水産業の中心である

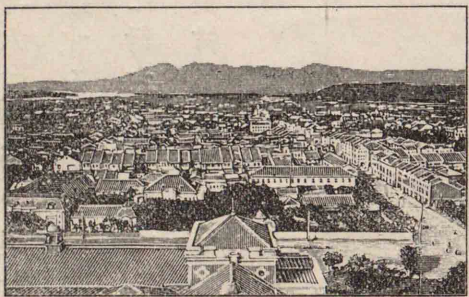
2 總督府・臺北州廳・高等法院・臺灣軍司令部・帝大がある

基隆港 (上) 臺北市街 (下) 臺北市街 (遠い山地は大屯火山脈である)



基隆市は、縦貫鐵道の基點で、臺灣島の北門をなし、港灣の設備もよく整つて、内地との交通・取引が、最も密接である。宜蘭は、濁水溪流域の中心で、蘇澳を外港とする。臺北市は、淡水河流域の中央に位置し、政治・商業・教育の中心で、街路壯麗、建築物宏大で、製茶・製糖が行はれ、郊外に臺灣神社、北方に北投溫泉がある。淡水は、淡水

河口に位する對支貿易地である。桃園は、製茶の中心、新竹市は、林投帽柑橘の集散地である。臺中市は、内地式の市街で、氣候が良く、バナナ其の他の農産物の大市場である。豊



第三節 處誌

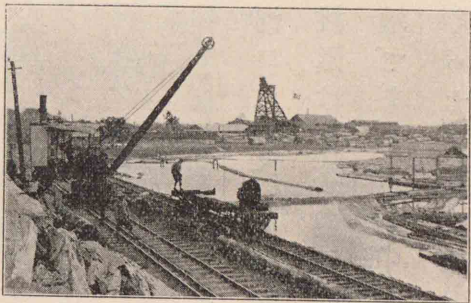


1 大甲帽・林投帽・東洋バナマ帽

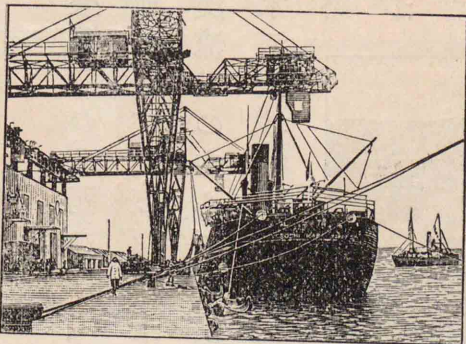
1 南方四籽の地に北回歸線標がある

製材所 下高雄港の岸壁

和蘭人の城址赤嵌樓等 鄭・成功の廟



であつた爲、史蹟が少くない。鳳山は、鳳梨の産が多く、又製糖も盛んである。高雄市は、縦貫鐵道の終點に當り、良港を有して、米、砂糖を移輸出し、セメント、肥料、酒精を産する。屏東は、甘蔗、米の産地の中心で、大製糖地である。



原・彰化は、米産の中心地、苗栗・斗六は、樟腦の集散地で、大甲は、大甲筵・帽子を製造する。埔里は、海拔六百米の盆地に位し、蕃地に對する要地である。嘉義市は、大規模に、製糖製材が行はれる。

臺南市は、本島中、最も早く開けた支那式の都市、南部文化の中心である。安平(市の一部)を港として、商業が榮え、又長く臺灣全島の首府

北方大禮及道海北



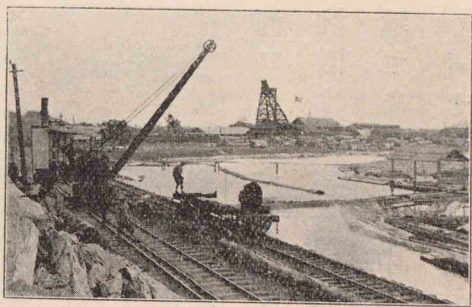


1 大甲帽・林投帽・東洋バナマ帽

1 南方四籽の地に北回歸線標がある

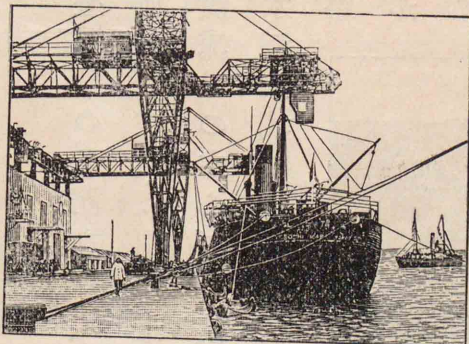
製材所 下高雄港の岸壁

和蘭人の城址赤嵌樓等鄭・成功の廟



であつた爲、史蹟が少くない。鳳山は、鳳梨の産が多く、又製糖も盛んである。高雄市は、縦貫鐵道の終點に當り、良港を有して、米・砂糖を移輸出し、セメント・肥料・酒精を産する。屏東は、甘蔗・米の産地の中心で、大製糖地である。

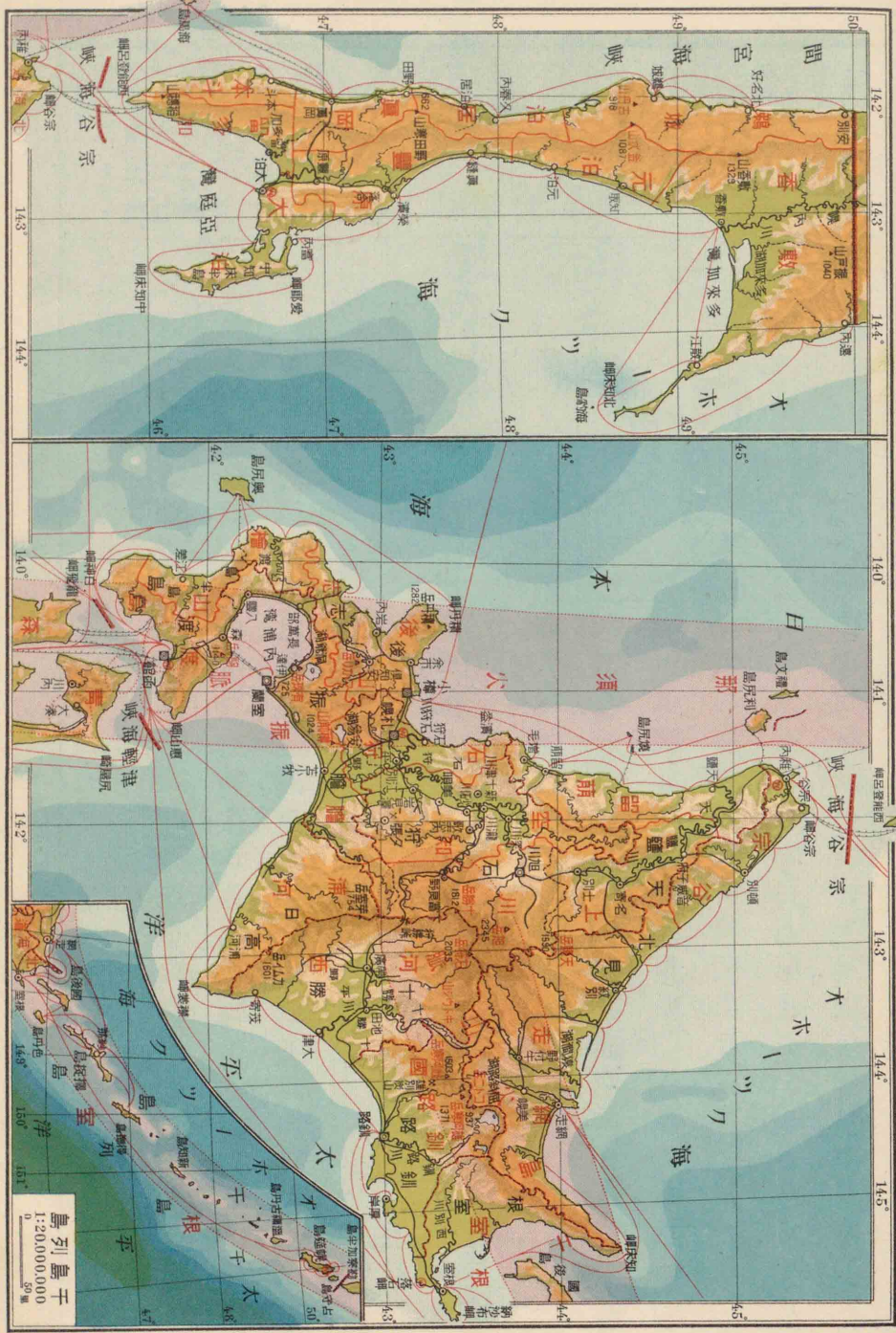
原彰化は、米産の中心地、苗栗・斗六は、樟腦の集散地で、大甲は、大甲筵・帽子を製造する。埔里は、海拔六百米の盆地に位し、蕃地に對する要地である。嘉義市は、大規模に、製糖製材が行はれる。臺南市は、本島中、最も早く開けた支那式の都市、南部文化の中心である。安平(市の一部)を港として、商業が榮え、又長く臺灣全島の首府







北方種及道海北



1:4,500,000

島列島千  
1:20,000,000



1 飛行聯隊の所在地で北方に牡丹社がある  
南方の七星岩は我が國の極南である

(支廳) (在地地)  
渡島支廳 函館  
檜山支廳 江差  
後志支廳 俱知安



澎湖諸島  
培に従事する移住内地人が増加した。

### 第九章 北海道地方

#### 第一節 地文誌

**地域** 北海道地方は、昔の蝦夷の地で、北海道本島と、其の近海の屬島と、千島列島とを含み、札幌にある北海道廳が、これ等を管轄し、其の下に、六市(札幌・函館・小樽・旭川・室蘭・釧路)・十四支廳がある。軍事上・經濟上、重要な位置を占めてゐる。

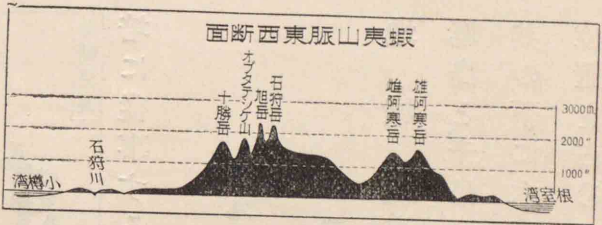
恒春は、最南の都會で、氣候の變化が極めて少い。馬公は澎湖・白沙・漁翁の三島に圍まれた海軍の要港で、又特別開港である。

臺東平野北門の花蓮港、南門の臺東は、鐵道で連絡されてゐる。近年、東海岸地方の甘蔗栽培に従事する移住内地人が増加した。

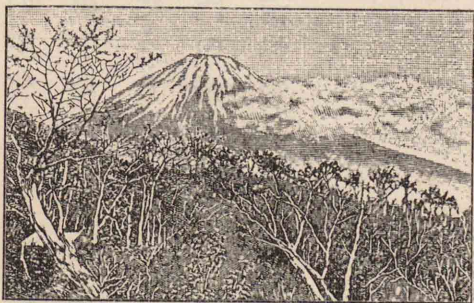


膽振支廳 室蘭  
 石狩支廳 札幌  
 空知支廳 岩見澤  
 浦河支廳 浦河  
 上川支廳 旭川  
 留萌支廳 留萌  
 宗谷支廳 稚内  
 河西支廳 帯広  
 釧路國支廳 釧路  
 根室支廳 網走  
 網走支廳 網走

1 羊蹄山又は蝦夷  
 富士ともいふ  
 2 定山溪・谷別・湯  
 川



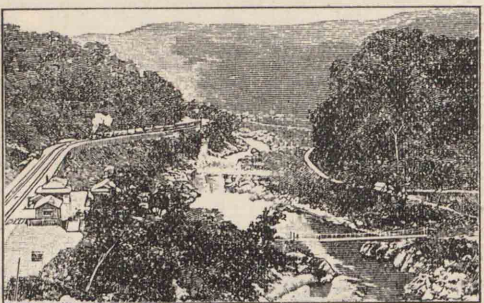
**地勢【山地】** 北海道本島は、赤鱈の形で、其の胸部に石狩岳を最高とする蝦夷山脈（北見・日高・天鹽・夕張等の山脈より成る）が走り、之と十字形に交はる千島火山脈は、雄阿寒岳・雌阿寒岳・大雪山（旭）・オプタテシケ・十勝岳の諸火山を起してゐる。此の兩山脈の會點は、地勢が最も峻峻で、本島の大河は、概ね此處に發する。南部の渡島半島には、那須火山脈が南北に走つて、恵山・駒岳・マカリ岳・有珠岳・樽前岳等を起し、多くの温泉を伴つてゐる。



**【河湖平野】** 蝦夷山脈の間には、名寄・上川・富良野三盆地が並んでゐる。河流は、石狩・天鹽・十勝三川を始め、釧路・西別・常呂・湧別の諸川があり、各中

長さ三〇月寒以下は舟運があり又鮭の産が多い  
 (一) 神居古潭(下)洞爺湖附近の鳥瞰模型圖

1 猿湖・網走湖・風蓮港等



て、養魚・發電に利用される。

**【海岸】** 屈曲が少く、渡島半島以外は概ね弓形の砂濱で、東海岸には、砂嘴や潟が多い。宗谷襟裳兩岬は、赤鱈の兩鱗をなし、頭部の知床・花咲兩半島間に根室灣、尾部に内浦（火噴）



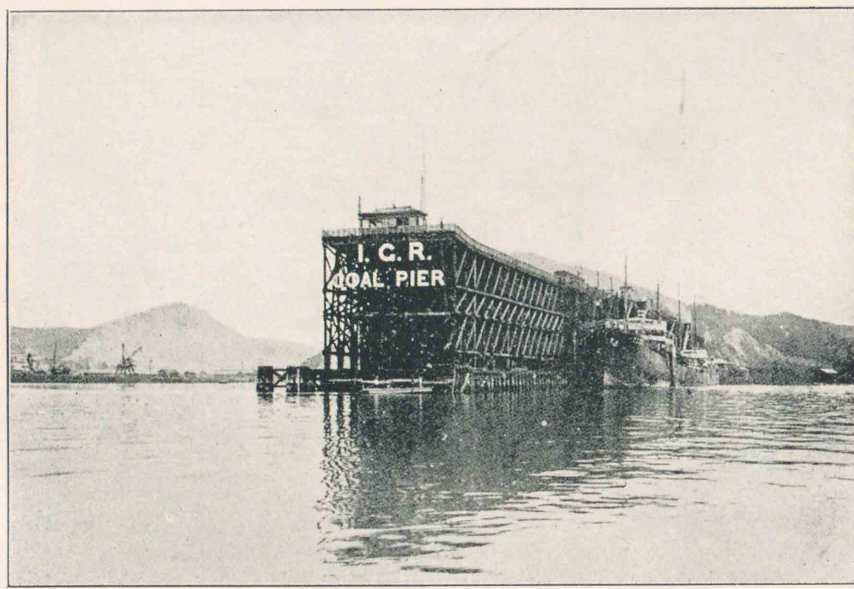
流以下に平地を開き、太平洋・日本海・オホーツク海に注いでゐる。概して、流れが早く屈曲が多い爲、舟運は不便であるが、發電に利用される。

石狩川は、内地第二の長流で、石狩岳に發し、上川盆地を流れ、神居古潭の峽流を作つて、夕張山脈を過ぎ、雨龍・空知等の支流と共に、廣大な石狩平野を蛇行して、日本海に注ぐ。流域の石狩平野は、地味が肥え、開墾が進んで、本島の主要農産地である。湖沼は、火山地方に多く、洞爺湖・支笏湖・屈斜路湖・阿寒湖は、主要なるもの





沼大でめしき堰を水河は發煤大の時舊がぬえ絶が煙も今は岳ヶ駒 沼大と岳ヶ駒  
るあでく如の繪光風でん浮が々島の數無小大はに上湖 たじ生を沼湖の沼小

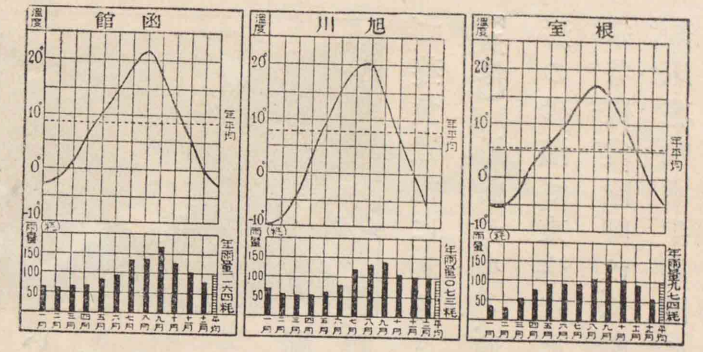


と鋼製・鐵製は出積の炭産の其でのるあてえ控を田炭狩石 頭埠出積炭石の港蘭室  
るあで場出積炭石式架高の用專省道鐵は圖 るあでのるけつ色特も最を蘭室に共

1 動物・機械を  
用する大規模の農  
法

釧路・十勝の海岸  
地方は夏季に濃霧  
が多く北見・根室  
の海岸は冬季氷結  
して航行が絶える  
又春季其の沖合に  
流水が多い

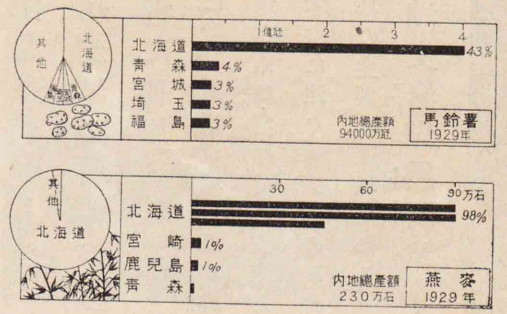
産業 大農法がよく行はれ、農業は、今や從來  
主産業であつた水産業を凌ぐに至つた。主な作



第二節 人文誌

灣・函館灣がある。本島は、天然の良港が稀で、  
函館・小樽・室蘭・釧路は、何れも人工的設備が整  
つてゐる。屬島は、那須火山脈に屬する奥尻  
利尻・禮文島がある。

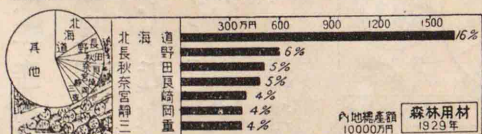
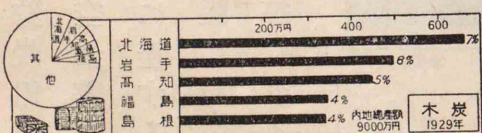
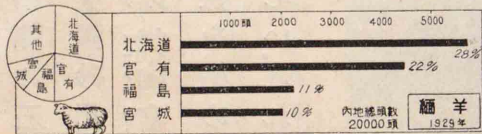
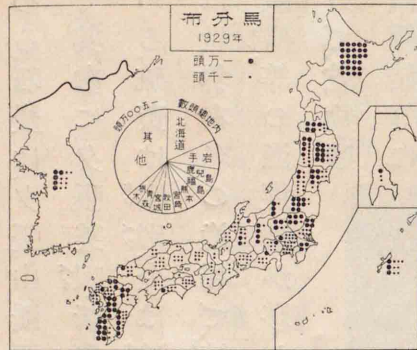
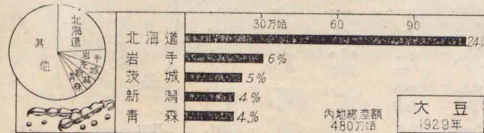
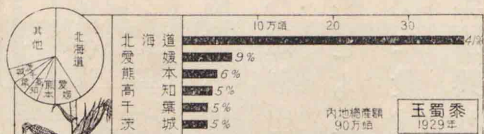
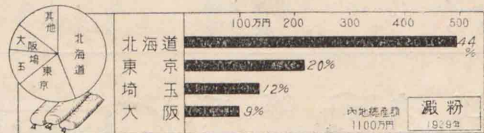
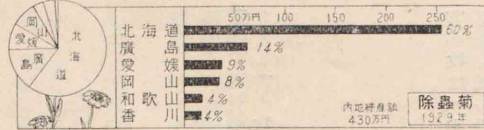
氣候 本州よりも低温で、雨雪量は多くな  
い。北西岸は、暖流の影響で  
割合に暖く、雨量も稍多い。  
中部は、夏は暑く(朝夕は涼しい)、冬は  
上川盆地・十勝平野を始め、  
寒氣が強烈である。



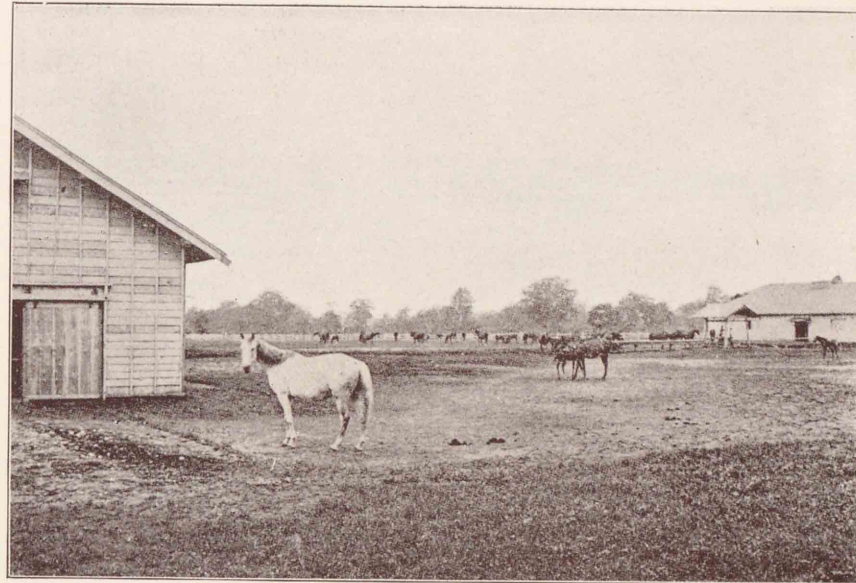


蝦夷松・榎松は製  
紙用パルプに楡は  
鐵道枕木・刺楸は  
器具材となる

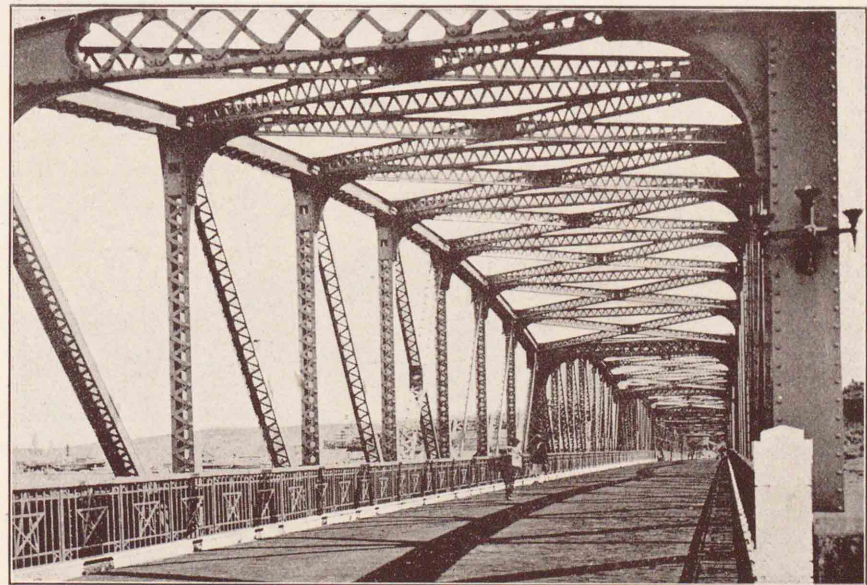
の温帯林蝦夷松・榎  
松等の寒帯林が廣  
く、用材・木炭の産が  
多い。鑛産は、石炭  
が主で、硫黄・金等が



物は、米・麥類・馬鈴薯・玉蜀黍・豆類・菜種・亞麻・薄荷・  
苹果で、主に石狩平野・上川盆地・十勝平野に産  
し、札幌旭川で集散する。石狩十勝二平野と  
日高(主に海)とは、牧畜に適し、殊に牧馬が盛んで、  
豊平・新冠・白糠・浦河・音更・川上等の牧場がある。  
山地には、刺楸など



の軒三十二北南軒五十二西東 るあで場牧の轄管省内宮るあに國高日 場牧の冠新  
るれらせ稱と場牧大の一第國が我し有を頭餘百九馬駿てめ占を積面い廣



道鐵はに側左 るあで部一の(軒一約長延)堤突大たし成完年二和昭 港築の港泊大  
たし新一を目面の輸運絡連陸海れか除も便不の役荷上水の季冬てつよに之し通が

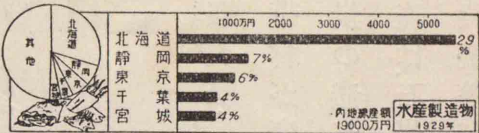
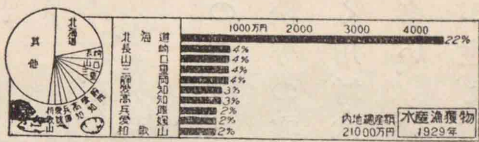


1 將來は筑豊炭田より有望といはれる

ヨイチ マシケ  
余市・増毛・高島・積丹・留萌と利尻・禮文島の近海に多い  
石狩川・西別川の鮭は美味である

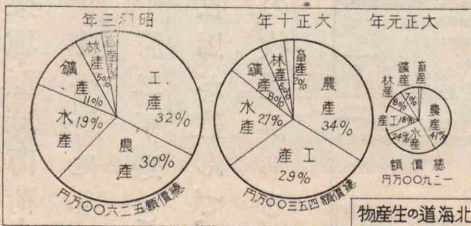
飛行機より見たる苦小牧製紙工場

苦小牧はバルブの製造も盛んである



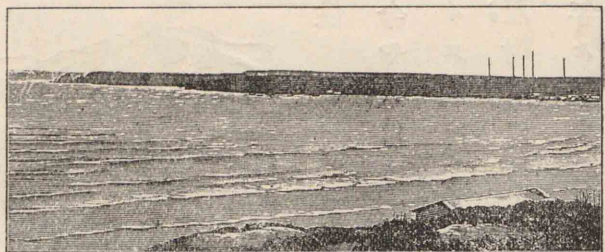
て、函館小樽より、内地支那米國等へ送り出される。原料動力(水力)ともに豊富で、且つ交通も次第に發達した爲、近時、新式の工業が興り、苦小牧江別に製紙

ある。石炭は、夕張山脈西側の石狩炭田が、主産地で、其處に、夕張美唄新夕張砂川空知等の炭坑がある。硫黄は幌別、金は鴻舞、國富に産する。近海は、世界有名の漁場で、鯨を始め、鱈、昆布、鮭、鱒、鰯、魚、鰯等の漁獲高が夥しい。之れ等は、多く漁港地方で、乾物、鹽漬、罐詰等に製造せられ



落石無線電信局

道路は開拓の初めより好く開けて主要都會を連絡し、馬の制が行はれてゐる。函館にも放送局が設けられた



送局が設けられてゐる。

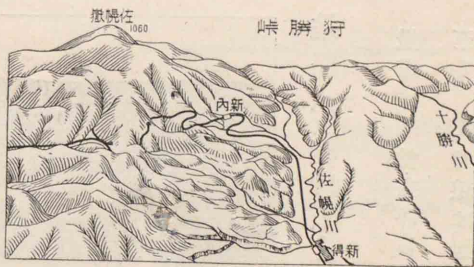
鐵道は、函館宗谷根室三線を幹線とする。函館線は、函館に起り、小樽札幌を経て、旭川に至る。宗谷線は、旭川より天鹽川の谷を通つて稚内に至り、根室線は、函館線の瀧川に起

札幌に麥酒醸造、製麻紡績、乳製品罐詰製造、旭川に清酒醸造、室蘭に製鋼、製鐵、八雲に澱粉製造が行はれる。内地商業は、小樽、函館を中心とし、主として、東京、大阪との取引が多く、外國貿易も、亦小樽、函館を主とし、室蘭、釧路、根室が之に次ぐ。  
交通 本島は、開拓の進歩、産業の發達につれて、鐵道が著しく延長した。海運は、函館、小樽、室蘭を中心として、稍、發達し、樺太、西比利亞東岸にも、航路を通じてゐる。海底電線は、本州、樺太に通じ、函館、札幌、稚内、落石、幌筵に無線電信局、札幌にラヂオ放送局が設けられた



青函連絡船は一航路に四時半稚内・大泊連絡船は八時間要する

アイヌ人と平取に於ける其の部落



り、有名な狩勝峠を越えて、帯廣釧路を經、根室に至る。鐵道連絡線は、南は函館青森間を、北は稚内大泊(太樺)間を連絡してゐる。北見線は、音威子府(宗谷)より分岐し、宗谷線に平行して、オホーツク海岸を稚内に達する。室蘭線は、長萬部(函館)より、海岸を辿つて室蘭苦小牧を經て、岩見澤に達する。網走線は、池田(根室)に起り、網走を經て、札鶴に至り、湧別線(湧別牛下)名寄線(名寄下)によつて、宗谷線に連る。この外、石狩炭田地方海岸地方に、各、數條の鐵道がある。

住民 明治初年以來、政府は、開拓移民を獎勵し、今や人口は、二百八十萬人に達した。舊土人のアイヌ人は、二萬に満たず、日高の平取附近に、最も多く住んでゐるが、年々減少の傾がある。

人口	●	全國
人口	●●●●●	内地
人口	●	樺太 豊原
面積	●	



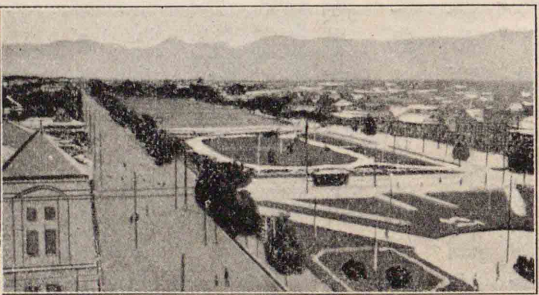
(上)小樽港 (下)札幌市の大通函館に要塞が置かれてある 福山・江差・釧路・余市は漁港である 余市は又苹果的産地、倶知安附近は農業が發達してゐる



アイヌ人は、性質溫和で、漁獲を好み、稀に耕作を營む。政府保護の下に、教育を受け、又内地人の感化によつて、漸次、生活状態を改め、アイヌの特質を維持するは、少數の老人に過ぎない。

第三節 處 誌

開發が十分でないので、未だ府縣を設けなから、植民開拓が進んで、殷賑な農村、漁村、鑛業地が起り、都邑は、特に西半に多い。 函館市は、本島最大の都會、南門の開港で、水産物の輸出多く、電球、罐詰用空罐を産する。大沼は、駒岳を負ひて、風光美しく、史上に名高い五稜廓の外濠と共に、採氷が行はれる。小樽市は、石狩平野の門戶、本道第一の開港で、近年、築港が完成し、農水産物の取引が





1 道廳・北大・控訴院の所在地

2 日本製鋼所  
3 輪西製鐵所

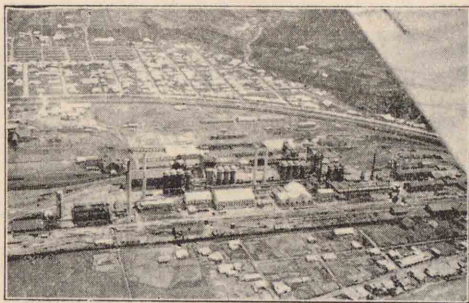
4 第七師團司令部  
がある

5 酒精・醬油・菓子  
・材木工業

増毛・留萌は西岸の漁港

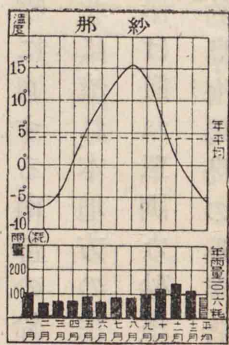
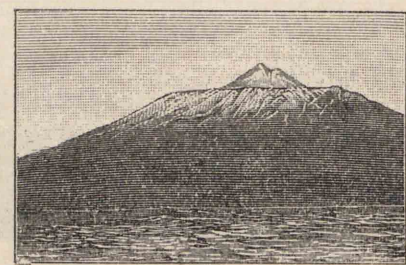
飛行機より見たる空蘭製鐵所

オホーツク海岸には下湧別・紋別・興部・頓別等の漁港がある



多い。札幌市は、石狩平野の西部、豊平川の畔に位し、本地方の政治拓殖・學術・工業の中心で、街區が正しく、市街が清潔である。其の東方の江別は製紙地、北東方の岩見澤は、交通の要地で、農産物を集散する。苫小牧は、交通の要路に當つて、工業が榮え、登別温泉に近い。開港室蘭市は、石炭・洋紙・木材を積出し、大規模の製鋼製鐵所がある。旭川市は、交通の要地、米産多き上川盆地の中心で、商工業が稍盛んである。稚内は、宗谷・天鹽兩線の會點で、樺太に渡る要津、我が國交通幹線の中繼地である。野付牛は、新興の都會で、交通の要衝に當る。池田は、大農場開墾の爲發達し、製革工場がある。帯廣は、十勝平野の中心、大豆・甜菜糖の大産地で、釧路市は、林産物・水産物の市場である。厚岸は、東海岸の避難港で、

1 航空路としての價値を認められ、列島中に九座の活火山がある  
住民は穴居の千島アイヌで、本島及び樺太のアイヌと風習が異なる



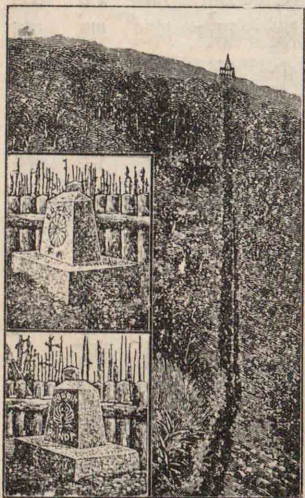
牡蠣・昆布を集散する。開港根室は、花咲を補助港とし、水産物の製造・取引が多く、千島に對する要地である。

千島列島は、樺太以下三十有餘の島嶼より成り、土地險峻で、地味が瘠せ、且つ位置寒流の關係上、住民が少い。併し火山地の硫黄の外、鮭・鱒が多い故、夏季は、漁獵に來る内地人が少くない。樺太島に、漁港紗那がある。

### 第十章 樺太地方

#### 第一節 地文誌

地域 樺太地方は、樺太島の北緯五十度以南の地で、露領北樺太と境

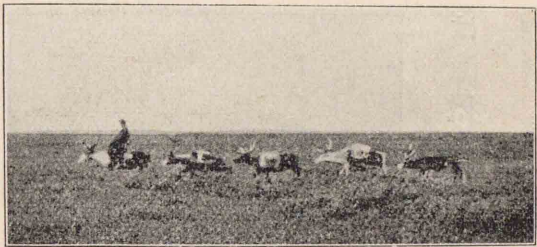


國境二三軒の間に幅九米の林空を開き、境界標石が二十箇所に於てある

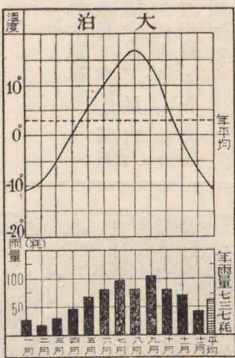
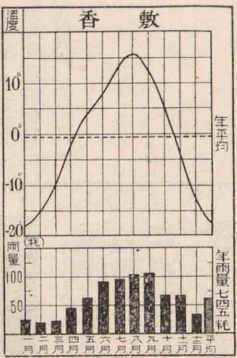


1 大泊・豊原・元泊・敷香・泊居・眞岡・本斗(支廳名と廳所在地名は何れも同じい) 西海岸に鶴城火山群がある

湖沼は概ね湯で著名なものは多来加湖・富内湖・遠淵湖で何れも鮭を産する 幌内川附近の凍土帯



し、西は、間宮海峡を隔てて、又露領西比利亞に對してゐる。天産の多い有望の地で、行政上、七支廳に分れ、豊原の樺太廳が統轄する。地勢 南北に細長くて、北部に、北知床半島多来加灣の出入がある。南部には、西能登呂中知床兩半島が、亞庭灣を抱いてゐる。西樺太山脈は、西に偏して縦走し、本島の大分水嶺となつてゐる。其の東方には、北部に東樺太山脈、南部に鈴谷山脈があつて、西樺太山脈との間に、細長い二平野がある。北部の幌内平野は、北樺太より、幌内川が來り、荒涼たる凍土帯をなし、夏季のみ馴鹿の放牧に適する。南部の鈴谷平野は、内淵川、鈴谷川が、南北に流れ、本地方の主要産業地をなしてゐる。海岸は、概ね單調な砂濱で、良港がない。島嶼は、唯、海豹島、海馬島のみが著しい。

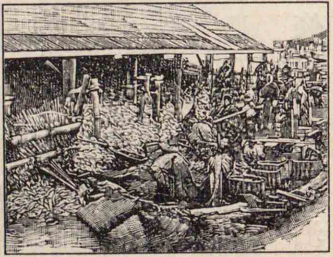
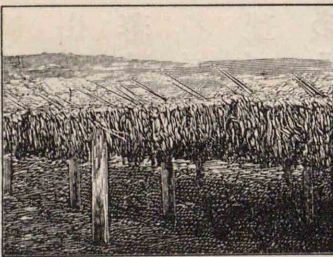
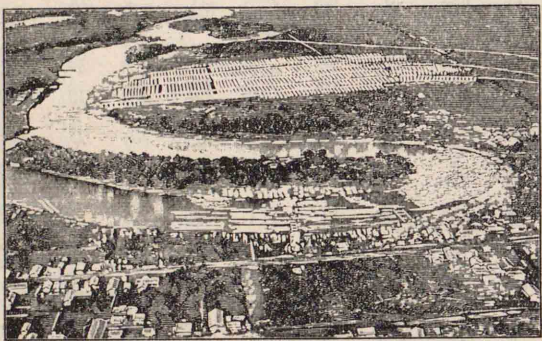


1 豆・麥類・馬鈴薯(上)木材(河を埋めてゐる)の運輸(下)鱈の大漁と身缺の乾燥

氣候 冬が長く、寒氣が強くて、東岸南岸は、概ね氷結し、碎氷船を使用する。又春は、流水が多く、夏に近けば、濃霧が多い。夏は、短い、日照時間が長くて、稍、氣温が高く、且つ降水量が稍多い。

第二節 人文誌

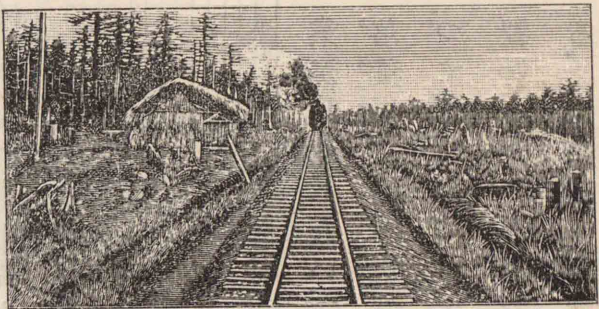
産業 地味は肥沃であるが、氣候の關係上、鈴谷平野の外は、農業が発達しない。椴松、蝦夷松、落葉松、白樺の自然林(全土の約八割)があつて、木材の産が多い爲各地に、製材・パルプ・洋紙製造が行はれる。水産業は、本地方第一の産





鈴谷平野を走る鐵道

樺太鐵道  
本線 大泊・榮濱間  
支線 小泊・川上炭山間  
西岸線 (本斗・泊居間)  
豊原・手井間  
樺太鐵道會社線  
(落合・南新間)



業で、西海岸に鯨、亞庭灣東海岸に鯨、鮭、近海に鱈、蟹貝類、昆布の産が多く、漁期に出漁する内地人が多い。又海豹島は、臘、獸の蕃殖保護地、海馬島は、海驢の棲息地として有名である。鑛産物は、石炭(川上、野田、寒泊、泊居、大榮、東白浦、登帆)、石油が有望である。眞岡、大泊(開港)豊原は、商業の中心である。

**交通** 鐵道は、鈴谷平野と東西兩岸とに延長し、又近年、横斷線(豊眞)も完成した。道路は、各都邑を連ね、土人は、橈(大、馴)を使用する。大泊、眞岡より、稚内、小樽、函館等に、航路を通じてゐるが、海運は、未だ十分に發達しない。海底電線は、内地へ二條を通じ、大泊には、無線電信局がある。

**沿革** 樺太は、昔、日本と露西亞との共屬地であつたが、明治八年

一人口	一人口	一人口	一人口
ノ方	ノ方	ノ方	ノ方
ノ度	ノ度	ノ度	ノ度
面積	面積	面積	面積
公積	公積	公積	公積
三〇七四	三〇七四	三〇七四	三〇七四
八五六	八五六	八五六	八五六
北海道	北海道	北海道	北海道
(札幌)	(札幌)	(札幌)	(札幌)

我が國は、千島の大部を得て、本島全部を抛棄したが、明治三十八年再び南半を領有し、今は北樺太にも、種々の權益を有してゐる。

土人は從順で文化が極めて低く特殊の制度を設けて之を保護してゐる。最も多く人口約二五〇人。夏は内地よりの出漁者が多いが冬は激減する。

大泊港

樺太廳・樺太神社がある

第三節 處誌

亞庭灣北岸の大泊は、樺太南門の開港で、近年、大規模の築港が完成し、水産物の取引が多い。鈴谷川上流の豊原は、鈴谷平野の中心、本島の政治、文化、交通の中樞で、市街が整備してゐる。西海岸の眞岡

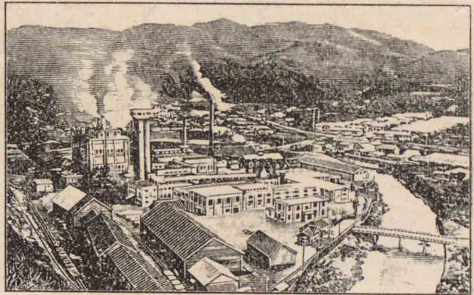




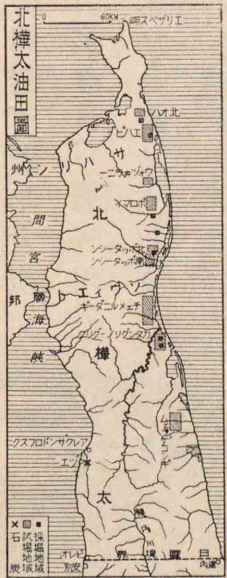
朝鮮地方



1 不凍港  
東岸に榮濱・知取  
西岸に泊居・久春  
内の要津がある  
泊居のバル  
プ工場



は、不凍の開  
港漁業の根  
拠地で本斗  
は、水産物の  
集散地である。野田・泊居には、最新式のパルプ工  
場がある。敷香は、幌内川口にあつて、毛皮・鮭を  
集散し、帝國の最寒地である。  
北樺太 露西亞の領土にして、面積は、南樺太と大差がない。

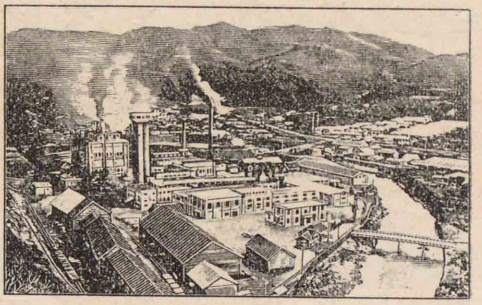


氣候寒冷で、人口が少ないが近海は、水産が豊富で陸上には、森林毛皮獸が多い。我が國に  
ては大正十四年一月、日露條約成立の結果、石炭石油の採掘權を得並にこれ等企业に要  
する木材を採伐し、且つ物貨生産物の運輸を容易ならしむる爲諸般の設備をなし得る  
ことゝなつた。オハの石油ヅエの石炭は既に事業を開始した。

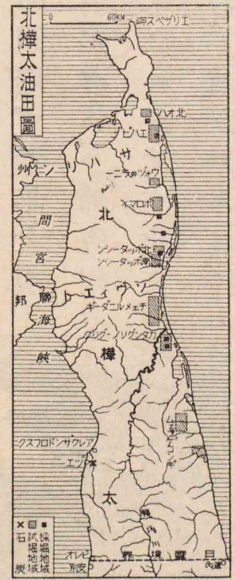
第十一章 朝鮮地方



1 不凍港  
東岸に榮濱・知取  
西岸に泊居・久春  
内の要津がある  
泊居のバル  
ブ工場

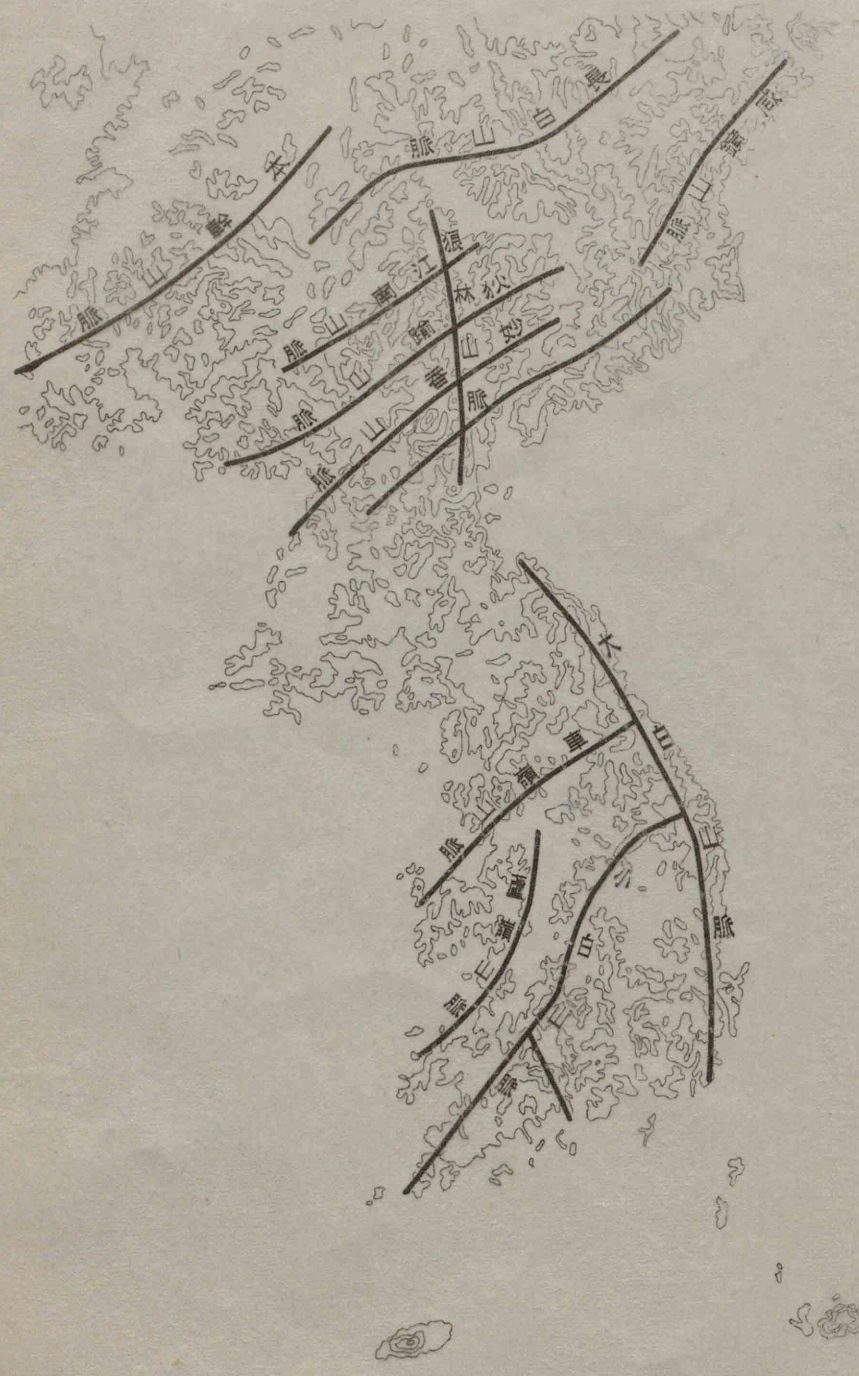


は、不凍の開  
港、漁業の根  
拠地で、本斗  
は、水産物の  
集散地である。野田・泊居には、最新式のパルプ工  
場がある。敷香は、幌内川口にあつて、毛皮・鮭を  
集散し、帝國の最寒地である。  
北樺太 露西亞の領土にして、面積は、南樺太と大差がない。



氣候寒冷で、人口が少いが、近海は、水産が豊富で、陸上には、森林、毛皮獸が多い。我が國に  
ては、大正十四年一月、日露條約成立の結果、石炭、石油の採掘權を得、並にこれ等企業に要  
する木材を採伐し、且つ物貨生産物の運輸を容易ならしむる爲、諸般の設備をなし得る  
ことゝなつた。オハの石油、ツエの石炭は、既に事業を開始した。

### 第十一章 朝鮮地方











に流清の江同大 るあが名の此でのる似に丹牡が容山りあに端北の府壤平 臺丹牡  
るゐてれら知く普てしと地戦苦の軍が我て於に役清日又つ且て佳絶豁開望眺でん臨

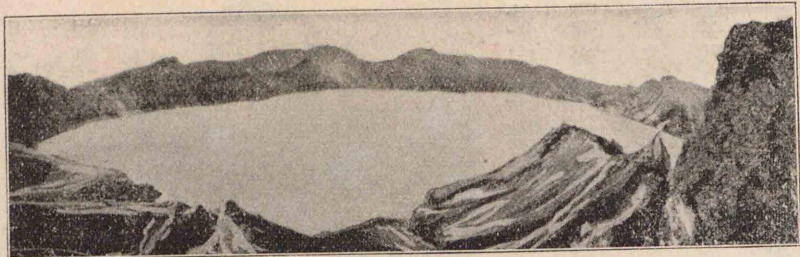


海が石怪岩奇果結の用作蝕海たれは行てふ沿に(目れ割)理節狀柱の岩崗花 剛金海  
るあが味壯豪な殊特中勝奇の剛金爲るゐてしと景背を海本日 るゐてし列羅に岸



北部と南部とは地勢の趣が大に異なる。海抜三〇四米で頂上に火口湖天池がある。長白・咸鏡・妙香等

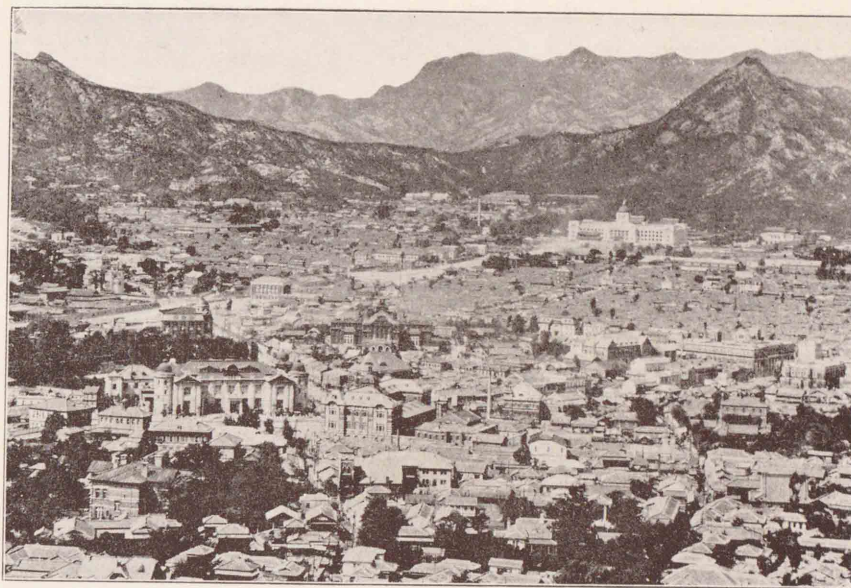
白頭山頂の天池(一名龍王潭)



第二節 地文誌

地域 亞細亞大陸東部の一大半島で、北は鴨綠江、白頭山、豆満(圖)江によつて、西比利亞、滿洲に境し、南は朝鮮海峽を隔てて、内地の本州、九州と相望む。半島の歴史は、概ね此の地理的位置に支配されたが、今や我が國と併合して、政治、經濟、交通、軍事上、頗る重要な地方となつた。

地勢 【山地】 全土、概ね山勝ちで、地形が錯雜してゐる。北部は、本地方最高の白頭山を中心とする蓋馬高臺で、數條の山脈が斜走し、平安(嶺)山脈のみは、中部を南北に走る。南部は、大白山脈が、南北に走つて、東西の大分水嶺をなし、其の北端に近く、東洋一の偉觀たる金剛山がある。大分水嶺の東側



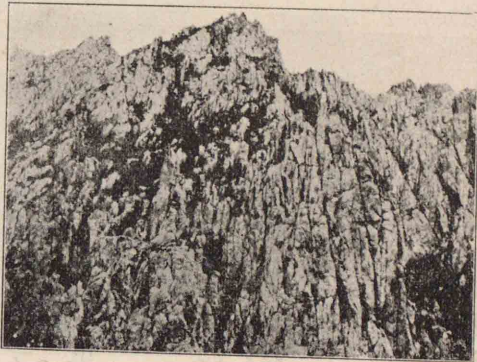
京城の大觀 遠く紫に煙はる北漢山の一部の前の峰尖は白岳白岳の麓の堂々たるるあて府督總は築建聖白



新義州の製材所 新義州の地ともは一砂洲に過ぎなかつた鴨綠江鐵橋の架設と共に

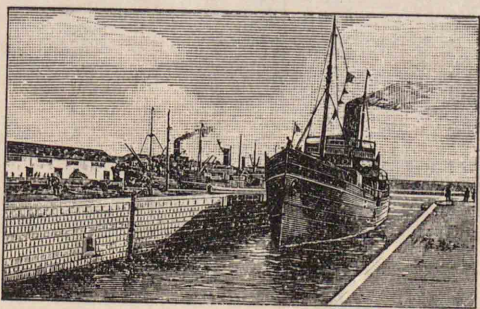


圖解 (上)金剛山  
(萬物相)(下)仁川  
港の開門を通過す  
る汽船



1 數百の火口を有  
する火山島で氣候

は急斜してゐるが、西側は、小白山脈等があつて、緩傾斜をなし、丘陵が多い。  
【河湖平地】 日本海斜面には、豆満江の外、河流が少い。 黄海斜面には、鴨綠(帝國)清川、大同漢、錦榮山の諸江、朝鮮海峽には、洛東江があつて、共に舟運の便を有し、概ね豊沃な平野を開いて、重要な生産地をなしてゐる

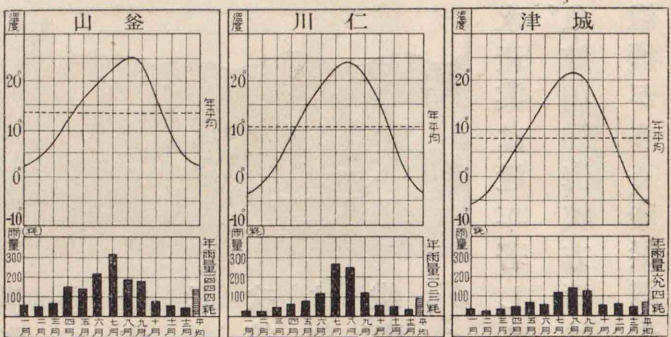


就中平壤平野と湖南平野とは、最も著しい。  
【海岸】 東部は、單調で、永興、迎日、二灣と鬱陵島とがあるのみである。西部、南部は、屈曲に富んで、良港灣が多い。南西海上には、漢拏(漢羅)火山の聳える濟州島の外、一千餘の島嶼が散在して、朝鮮

温暖柑橘栽培・牧畜が行はれ近海は漁利多く又航海者の好目標となる

七八月には大雨があつて往々洪水の害がある

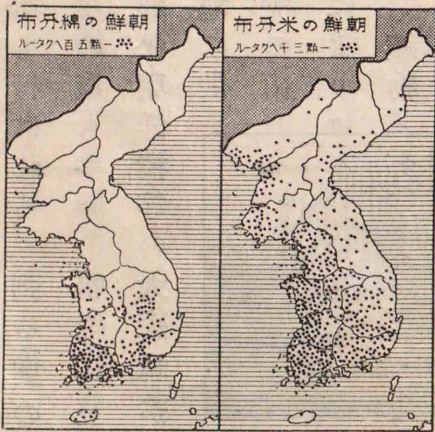
北東部は甜菜を栽培し近年各地に養蠶が行はれる



多島海の名がある。日本海方面は、潮汐干満の差が甚だ少いが、黄海方面は、頗る多く、殊に仁川附近は、其の差が十米に及ぶ。  
氣候 一般に、雨量が少くて、寒暑が甚だし。北半は、冬季に河湖が氷結する。併し、南半は、稍、溫和である。

第二節 人文誌

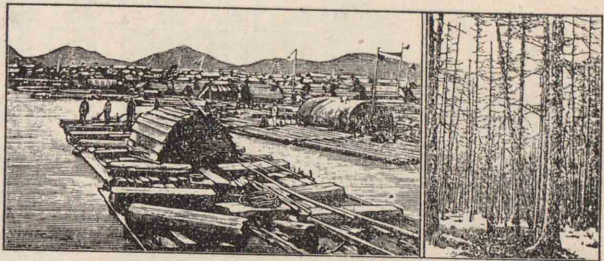
産業 農業は、古來の主産業で、總督府の諸施設(水源涵養)は、移住内地人の努力(耕地開拓・經營法改良)と相俟つて、今や米、麥、大豆、綿、煙草(以上中)・粟(北)・人蔘(開城附近)など農の産額



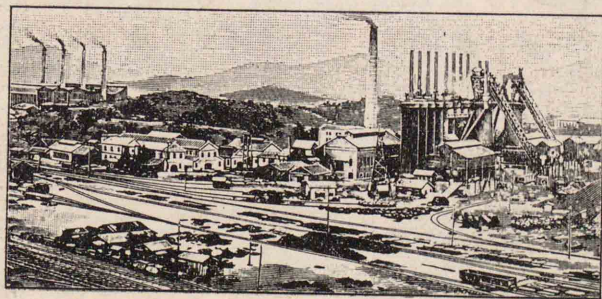


1 頭数は内地以上で生牛・牛皮・牛骨を多く内地に移出し永登浦に製革工場がある

2 (上)鴨綠江上流の森林と江上を下る筏(下)兼二浦の製鐵所



水産業は、近年著しく發達し、日本海方面は明太魚、鯨、朝鮮海峽方面は鯛、鱈、黄海方面は石首魚の漁獲が多く、廣梁灣、朱安附近では、天日製鹽が行

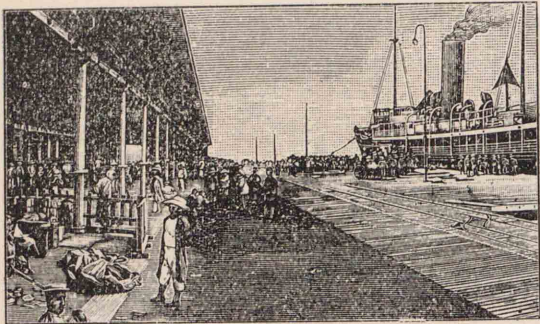


が急増し、果樹、甜菜の栽培も行はれる。到る處の原野で、牧牛が行はれ、牛皮の産も多い。鴨綠江、豆滿江の流域に、落葉松、朝鮮松、朝鮮樅等の大森林があつて、良材を、鮮滿の各地に供給する。中部以南の赭禿の山地は、總督府の施設經營により、次第に林相が改まつた。礦物は朝鮮の一大富源で、金(雲山、昌城、三威、遂安)、鐵(利原、載寧、下聖、平壤附近、會安、殷東、安岳、价川)、石炭(平壤附近、咸興)、黒鉛(興長)を産し、銅の産も少くない。

近年ゴム靴工業が榮え製品を滿洲へも多量に輸出する  
1 内地商業は發達が遅れ主に定期市場で行はれる  
2 釜山、木浦、群山、仁川、鎮南浦、龍巖浦、新義州、元山、城津、清津、雄基、鴨綠、大同、漢、洛東の四江の下流は水運の便が稍大である

釜山埠頭

3 釜山、下關間、元山、島根半島間



はれる。在來の工業(器具製造、製陶、製紙、醸造業、金屬品細工)は、近年稍發達し、移住内地人の工業(紡績、製糖、製陶、セメント)は、概ね大規模である。京城、大邱、平壤の開市は、日用品を供給し、十一箇の開港は、主に内地との取引を行ひ、取引額は、年々増してゐる。主要移輸出品は米、大豆、生絲、魚類である。

交通 道路は、不備な所が多いが、鐵道は發達し、概ね廣軌(幅四呎、八呎半)である。近海は、春夏の濃霧、冬季の風波の爲、交通が稍困難であるが、主要諸港は、沿岸航路の外、大阪浦鹽、斯德、大連等に航路を通じ、釜山、仁川は、外國汽船も出入する。東京、大連間の定期航空機は、蔚山、京城、平壤に着陸して、旅客郵便物を輸送してゐる。海底電線は、内地に二條を通じ、無線電信局は、京城、鎮南浦、木浦、濟州、釜山、蔚山、清津に、ラヂオ放送局は、京城にある。

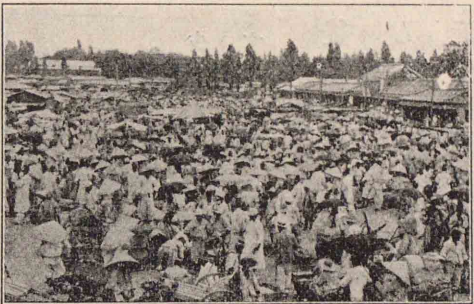






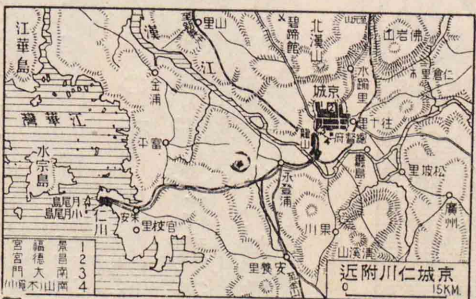
統營は漁業の中心  
麗水は交通の要地  
1 覆審法院がある  
2 佛國寺等の史蹟がある

大邱の都市



發達した開港で、開門船渠式の築港が完成し、米人蔘牛皮の取引が行はれる。京城府は、半島の中央にある最大都市、朝鮮の政治、學術、經濟、交通の中心で、文化的の設備が、内地に劣らない。

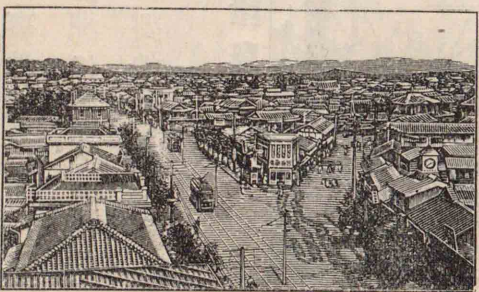
京城府は漢江に沿ひ、白岳南岳の間の盆地にあつて、韓國時代



(上)開城に於ける人蔘の乾燥  
(下)平壤市街  
1 覆審法院がある  
2 製鐵所がある  
3 鐵・石炭・亞鉛を輸出する  
4 營林署・製紙工場がある  
元山・清津・城津は大阪・敦賀に又雄基は大阪に航路を通じてある



兼二浦、大同江口に開港、鎮南浦を控へて、商工業の要地となつた。開港、新義州府は、鴨綠江上流の木材を集散し、大規模に、製材が行はれる。元山府は、永興灣内にある北朝鮮第一の開港で、明太魚、牛の取引が多く、咸興府の附近に、大規模の



の首府である。従つて李王宮を始め、名勝史蹟が多く、又總督府、朝鮮神宮、高等法院、帝國大學等の所在地である。府内の龍山は、交通の要地で、第二十師團司令部がある。

水原は、農事試験場、高等農林學校の所在地、開城府は、高麗の舊都、人蔘産地の大中心で、沙里院は、農産物の集散地である。大

同江畔の平壤府は、繁華が京城に次ぎ、東方に炭田、西方に



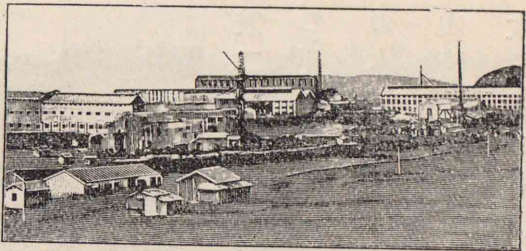
1 第十九師團司令部の所在地

面積三〇方浬(三九方里)

附近の製肥工場(下)大連埠頭の大豆・豆糟の集積

屬島は南東海上に長山列島・海洋島がある

1 ヒシクワ 2 魏子窩・雙島灣等の天日製鹽



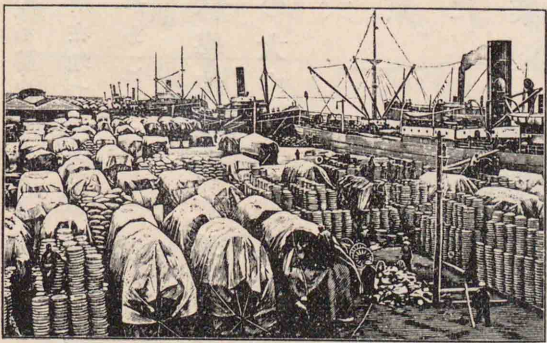
窒素肥料工場がある。羅南は軍事地、城津、清津府雄基は何れも開港で、西比利亞滿洲に對する門戶、會寧は、國境の軍事交通貿易上の要地である。

### 第十二章 關東州南洋諸島

關東州 遼東半島の南西端

を占め、日露戦争後、帝國が露西亞に代つて、支那より租借してゐる小地域である。概

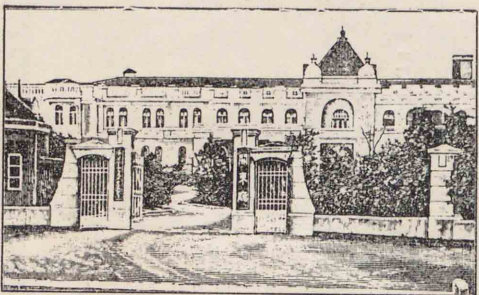
ね丘陵地で、海岸は、屈曲に富み、南端に、旅順の良港がある。氣候は、寒暑が甚しく、一般に、雨が少いので、農産物は少い。併し、製鹽業、漁業が行はれ、近年大連に、大規模の工業が興つた。



1 附近に爾靈山・東雞冠山等日露の戦蹟が多い  
2 東京間に定期航空路が開け、又無線電信局・ラヂオ放送局(JQAR)があり、芝罘・長崎に海底電線を通ずる

關東廳

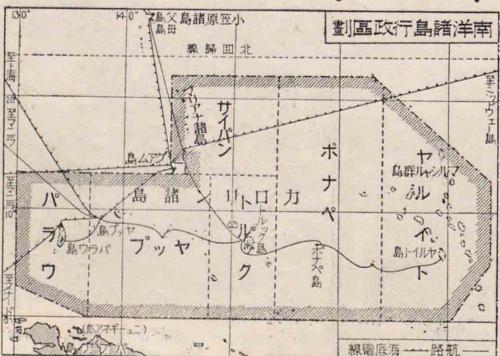
3 東西約四〇浬、南北約三〇浬に亘るが面積は三〇方浬に過ぎない  
ヤルイトは我が海軍が最初に占領した環礁島である



豆油・石炭を輸出する。

南洋諸島 小笠原諸島の南方に、廣く散在する數多の小島で、ミクロネシアの大部を占め、マリアナ・カロリン・パラウ・マルシャルの四諸島に分れる。もと獨逸領であつたが、世界戦後、

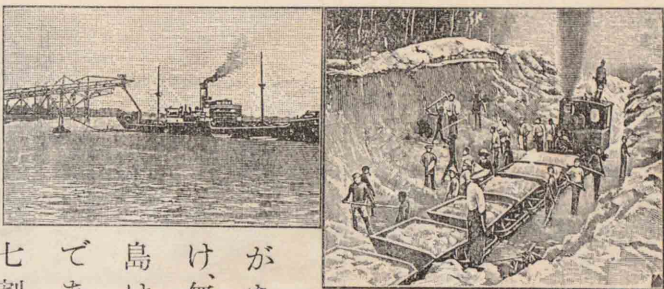
住民は、總數約百萬、大部は、支那人で、日本人は、十萬に過ぎない。旅順市は、關東廳の所在地で、自然の要塞地をなして附近には戦蹟が多く、港は開港となつてゐる。大連市は、南滿洲鐵道の起點、滿洲の南門をなす開港である。市街は、近代式で、宏壯な建築物が多く、港灣の諸設備が整つて、自由貿易が行はれ、大豆・豆糟





マリアナ諸島の最大島グアムは米領である

(上) アンガウル島燐礦の採取と積出し(下) コロール島日本人街  
一 横濱・大阪・神戸・二見  
二 サイパン・ヤップ  
三 アンガウル・トルック・ホナベ・ヤルイト

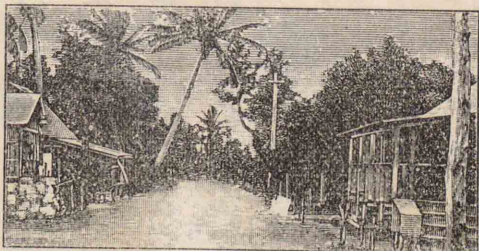


般に文化が低い。南洋廳は、バラウ諸島のコロール島にあつて、全諸島を管理し、土人を保護する。

帝國の委任統治地となつた。各島とも、一般に低く、珊瑚島が多いが、富士火山脈が通じて、火山島も少くない。全部が熱帯にあるが、海風の影響を受けて、氣候は、凌ぎ易く、雨量が多い。

地味不良で、農産物が少く、産物は、燐礦(アンガウル島)を主とし、砂糖(サイパン島)・コブラ貝殻(各島)

がある。各島間及び内地に、航路が開け、無線電信局は、六箇所にある。ヤップ島は、海底電線の仲繼所として重要である。人口は、七萬に近く、其の内七割は、土人のミクロネシア族で、一



は圖 るみてれら知を名にの界世と殆でとこな麗秀の容山 士富るた見りよ機行飛  
い難へ例もに物何に實はさ高崇の其で姿るゆ聳に表雲てい戴を雪白に空の曉



るれらせ用利に上業産等力水・灌溉へ堪に地低の地盆津會は湖 山梯磐と湖代苗猪  
るあで一の水湖的表代の國が我く良亦も光風てし映を影の々山の等梯磐又く多とこ



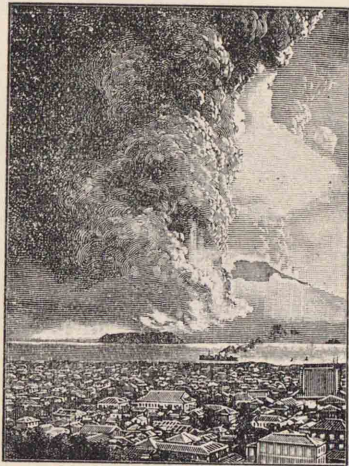




人文地理學上東日本・西日本と稱することあり

日本とに分つてゐる。日本列島は、略、一弓形を呈し、其の太平洋方面を表日本、日本海方面を裏日本と呼ぶことがある。北日本と南日本、又裏日本と表日本とは、地文上、人文上、異なることが多い。北東派山系は、樺太に起つて、北海道本島、奥羽地方を過ぎ、本州中部地方の略、中央に達する。南西派山系は、南北の二列に分れて、北列は、九州の北西部に、又南列は、南東部に起り、二者、概ね並走して、北東派山系に接近してゐる。

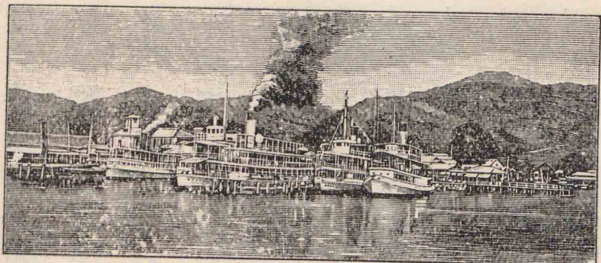
櫻島の噴火 (大年三年)



朝鮮は、北部は高臺で、長白、妙香等の數山脈が、南西より北東に並走し、又南部には、略、南北に走る大白山脈がある。火山脈 列島には、多くの火山脈があつて、一般に、普通の山脈に沿ふて走るものが多い。火山數は、約二百(活火山約五十)を算

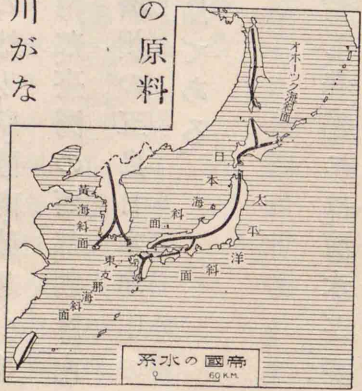
我が國の大河は朝鮮半島に多い

琵琶湖の水運(大津に於ける湖上汽船)



し、世界に稀なる火山國をなしてゐる。朝鮮は、内地に比して、火山が、甚だ少い。温泉 概して火山地方に多く、或は健康の保持に適し、或は清涼水の原料を供するものがある。

河川 地勢上、大なる河川がなく、且つ舟運灌漑の利の大なるものも少いが、其の數、其の水量が、割合に多く、又流れが急で、動力を供給するものが甚だ多い。河川は、太平洋、オホーツク海、日本海、朝鮮海峡、黄海、東支那海、臺灣海峡、瀬戸内海等の斜面に分流する。



湖沼 大なるものは少いが、概ね風光が麗しくて、遊覽地として知られ、或は舟運灌漑に、或は工業



動力養魚に利用せられるものが多い。

平野 山岳が多い爲、僅に海岸又は川筋に開け、大陸にあるが如き、廣大なるものは見ない。併しよく利用されて、大なる生産力を有し、國家活動の中堅地を作つてゐる。

海岸 六大島は、概ね海岸線がよく發達してゐる。九州は、第一位で、本州・四國・北海道が、之に次ぐ。朝鮮半島は、西岸・南岸が、最も出入に富み、海岸發達の割合は、九州に次いでゐる。

島嶼 我が國には、六箇の大島がある。此の外、千島・薩南・琉球・小笠原の四列島がある。また瀬戸内海は、九州の南部、臺灣の西部、朝鮮南部には、島嶼が集團し、淡路・沖繩・壹岐・對馬・濟州の五島、日本海中の佐渡・隱岐(稍、集團をなす)二島は、何れも稍、大きい屬島である。

### 第二節 海洋

航海の適否 我が北邊の海上は、冬季に氷結し、春季には、流水が漂

千島列島中にも國後・擇捉・得撫等の大島がある。南洋にも集團的のものがある。

臺灣の東西海上も風浪が荒い。

日本海は最深二千六百米。  
樺太近海に於て流水と闊ふ特務艦大泊

内地では有明海の約六米が最も大きい。



膠州堆、能登半島の北方海底に大和堆がある。

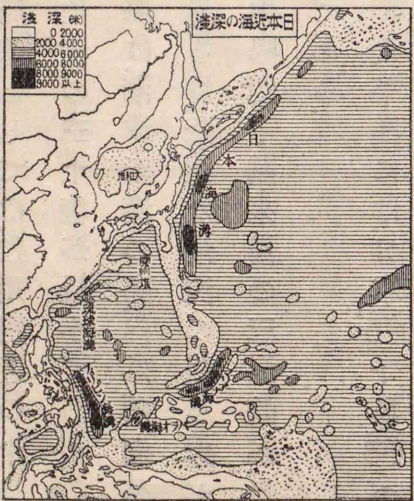
潮汐 潮汐干満の差は、太平洋岸黄海岸有明海岸が大で、日本海では

ひ、又日本海面は、冬季に波が高く、瀬戸内海には、潮流の早い處が多い。されば、我が近海は、世界に於ても、水難の多い處の一である。

深淺 列島に沿ふて、北東部に長く連る日本海溝(最深九四、三五米)、南西部の琉球海溝(最深七四、八一米)を始め、太平洋には、深海が處々にあるが、オホーツク海・日本海・黄

海・東支那海・瀬戸内海は、一般に浅い。

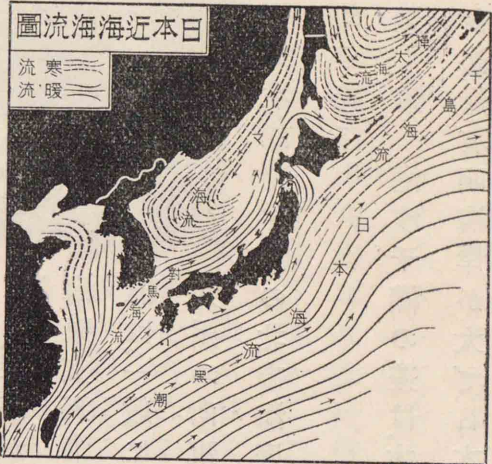
九州の南東海底に





1 二見灣

1 濃藍色を呈する故に此の名がある



小さい。一局部としては、仁川附近の十米が最大、佐渡の三十糎が最小である。瀬戸内海は、潮汐干満の際、内外兩側の水準が異なる爲、急激な潮流の起る處が多く、就中鳴門・下關來島の三海峡が、最も有名である。

海流 太平洋には、日本(潮黒)千島(潮親)の二海流がある。日本海流は、暖流であつて、赤道附近より來て、略北東に向つて流れ、以て關東地方以南の我が太平洋岸の雨量を多からしめる。千島海流は、寒流で、北東方より來り、略南西方に進む。之がため、北海道・奥羽の太平洋岸は低温少雨となつてゐる。日本海流の分派である對馬海流は、琉球より東支那海に入り、對馬海峡を経て、日本海を流れ、爲に九州より、樺太

に至る列島の西岸北岸は、割合に高温多雨である。樺太の東を樺太海流西をリマン海流が南下し、共に寒流である。かくて之れ等の海流は、氣候の外、水産舟運等に影響を及ぼすことが大である。

### 第三節 氣候生物

氣温 我が國は、緯度三十五度間に亙つてゐる故、南北寒暖の差が激しく、臺灣は高熱、奥羽以北は低温である。又亞細亞大陸の極寒極熱や、土地の高低、寒暖二海流等の影響があるが、國土の大部は、北温帶に位し、且つ四面、殆んど海を環して、氣候の温和なることは、風光の明媚なること、共に、普く世界に知られてゐる。

風・雨 列島は、夏季に南東季節風、冬季に北東季節風が多い。これ實に、表日本と裏日本とが、多雨期を異にする主なる原因である。此の兩季節風の交代期は、概ね風雨が多くて、殊に八九月の頃は、暴風豪雨が襲來し、屢洪水を起して、稲作を害する。又奥羽以南には、初

東京に中央氣象臺  
神戸に海洋氣象臺  
全國百餘ヶ所に測  
候所數箇所が高層  
氣象觀測所がある

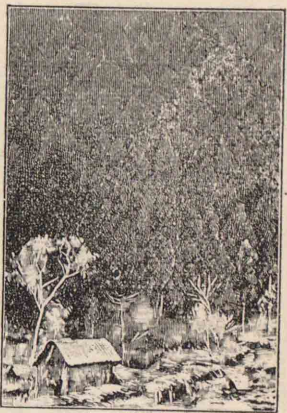
臺灣では夏季に  
南西季節風、冬季に  
北東季節風が多い

雨量は風向と山脈  
の方向とに影響せ  
られることが多い



秋田縣に於ける杉の美林

樺太の馴鹿 千島の鰻 北海道の鰻 本州の鮭 魚本州・四國・九州の猿 小笠原の海龜 琉球の飯匙 情臺灣の黄牛 水中朝鮮の虎を特有動物とする



夏に、陰鬱な梅雨の現象がある。朝鮮半島は、夏季に南西季節風が發達し、冬季に北又は西の季節風が多いが、概して少雨である。

して、其の種類が多い。南部に、榕樹、檳榔樹、水牛、北部に蝦夷松、椴松、馴鹿等が分布し、中部は、松、杉、檜の良材に富み、牛、馬等の家畜が多い。暖流は、鰻、鯉、鮪等を誘ひ、寒流は、鯨、昆布、海獸を生育せしめる。

### 第二章 人文地理

#### 第一節 産業

農業 農業は、我が國産業の大宗であつて、國民の大半は、これに従事してゐる。内地の耕地は、全面積の一割五分を占めるに過ぎ

圖 布分産生繭

1927年

石万百

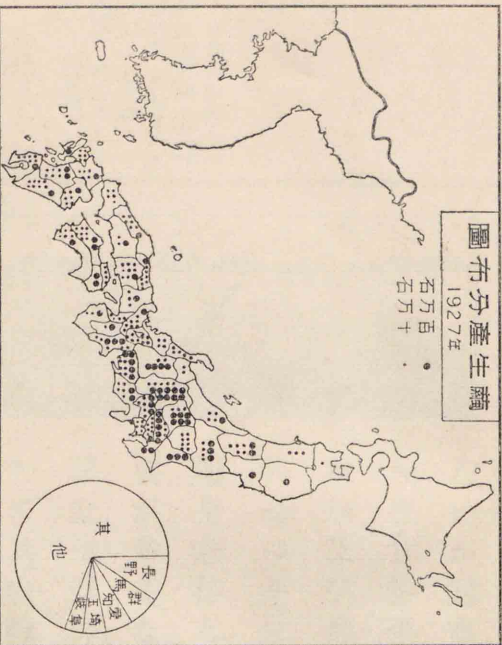


圖 布分産米

1927年

石万百

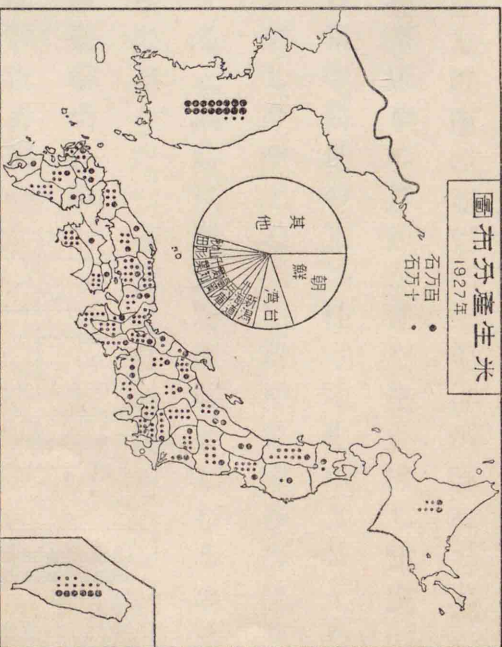


圖 布分類産絲主

1927年

巴万億一

巴万千一

巴万百一

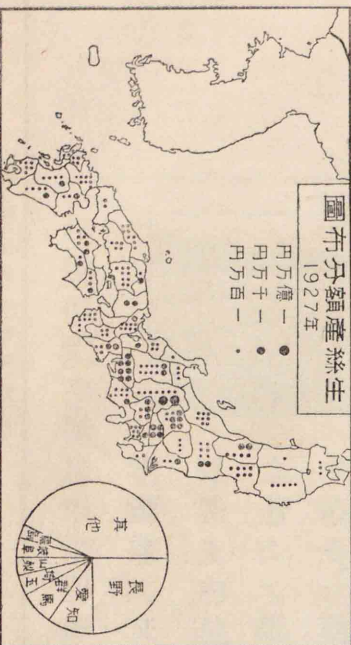
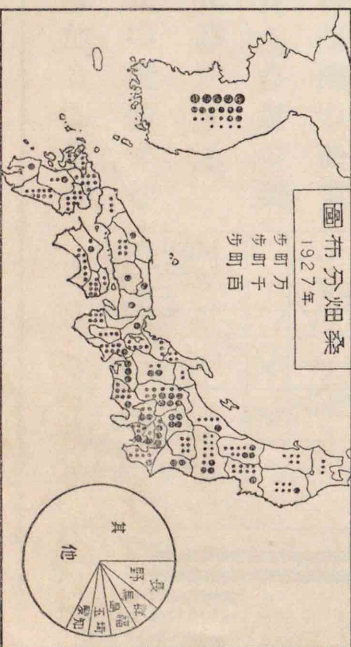


圖 布分畑桑

1927年

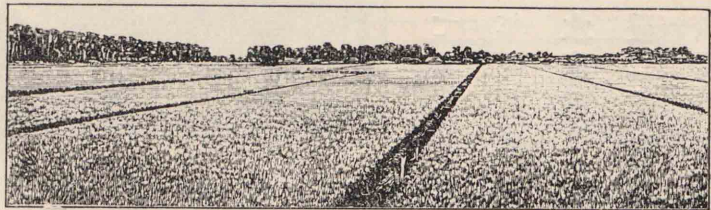
步町千

步町百





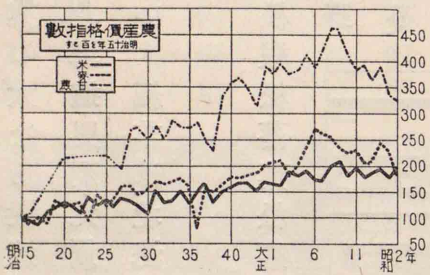
自作農創設・大  
集團地開墾・農村  
振興策 農村電化・  
土地改良獎勵  
北海道の水  
田(上川盆地)



ひ、獸肉・獸毛・獸皮の需要が増加したが、氣

ないが、關東地方以南の地では、二毛作が盛んで、米・麥・大豆・甘藷・茶種・茶煙草の産額が甚だ多い。併し住民の増加及び都會集中、耕地の工場住宅地化によつて、食料品の不足を來し、今や土地開拓、耕地整理、移植民獎勵を急務とすると同時に、農産を振興せしむるの必要が、益々大なるに至つた。養蠶は益々盛況を呈し、生絲は、重要輸出品にして、其の輸出額、世界第一である。朝鮮・臺灣の農業も、著しく進歩し、多量の農産物を、内地に移出する。

**牧畜業** 文化の發達に伴



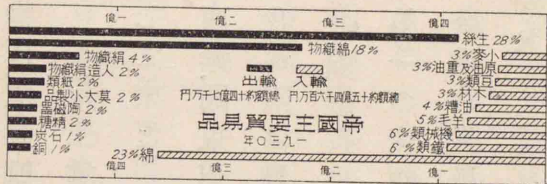
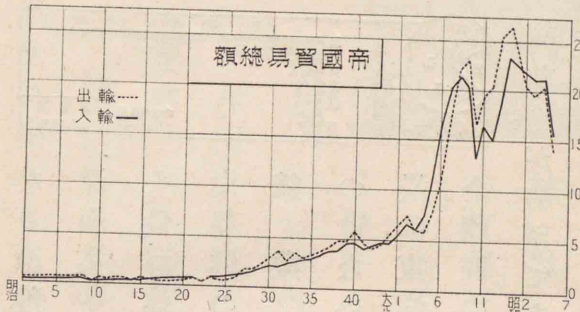
馬	50万頭	150	43%
牛	100	43%	43%
豚	11%		
山	2%		
麩	0.1%		
羊			
家畜總數 (内地)		350万頭	1929年







化學品工業・機械製造・金屬工業等が之に次ぐ。  
**商業** 東京は商業が最も盛んにして、古來の大商業地たる大阪と共に、兩々相俟ち、内國商業の二大中心をなしてゐる。其の他、各地の大小の都會は、多く其の地方的中心市場をなつてゐる。取引の最も多いのは米で、麥・清酒・綿絲・綿織物・肥料・木材などが、之に次ぐ。外國貿易は、世界大戰中、大躍進をなしたが、其の後は稍不振で、年々減少の傾がある。併し尙現今、内地の輸出額は、十四億七千圓、輸入額は十五億五千圓に上り、世界の商業國の一に伍してゐる。而して輸出品には、加工せざるもの、手先仕事になるもの、

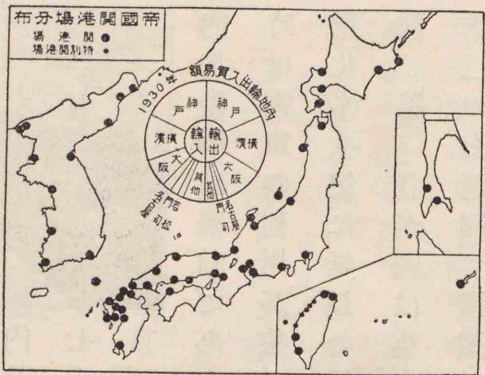


の最も多いのは米で、麥・清酒・綿絲・綿織物・肥料・木材などが、之に次ぐ。外國貿易は、世界大戰中、大躍進をなしたが、其の後は稍不振で、年々減少の傾がある。併し尙現今、内地の輸出額は、十四億七千圓、輸入額は十五億五千圓に上り、世界の商業國の一に伍してゐる。而して輸出品には、加工せざるもの、手先仕事になるもの、

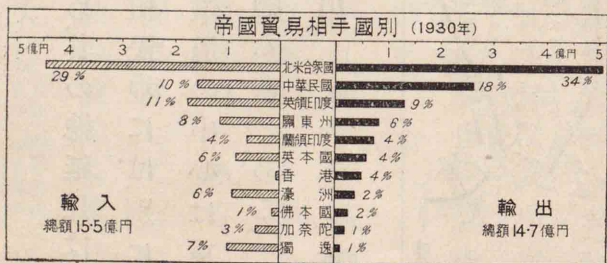
第二節 交通

て神戸は輸入、横濱は輸出が多い。我が貿易品の重要仕向地は、米國・支那・印度・關東州・蘭領印度・英國の順であつて、重要仕入地は、米國・印度・支那・關東州・獨逸である。

**道路** 國道は、東京・宇治・山田を中心として四通し、其の延長は、八

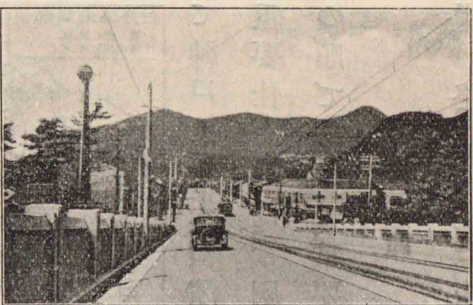


奢侈に關すのものが多く、輸入品には、原料品・生活資料及び文化の發達に缺くべからざる材料が多い。四十二箇(朝鮮・臺灣・關東州・南洋以外)の開港中、神戸・横濱の貿易額は、總額の七割餘を占め、大阪・名古屋・門司が、之に次ぐ。而して





鋪裝道路 (神戸西郊の山陽道の一部) 明治五年初めて東京・横濱間に鐵道の開設された當時に比すれば雲泥の差である



千料に及ぶ。道路は、汽車電車汽船の發達につれて、必要の度が減少するが、最近、自動車の増加が著しく、爲に年々、改修によつて、完全な鋪裝道路が延長しつゝある。

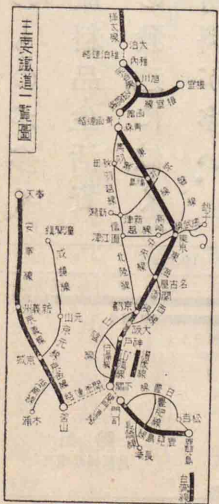
鐵道 國有鐵道が、大部を占め、其の總延長は、内地のみで、二萬一千料を超え、植民地には、別に七千料の鐵道がある。内地幹線鐵道の中心は東京で、關東近畿北九州には、鐵道網が密である。

内地臺灣は、狹軌であるが、朝鮮關東州は、廣軌を採用してゐる。近

時は、電車の利用が益進んで、鐵道の電化も、次第に延長の傾向にある。

航路 我が國は、英米に次ぐ世界

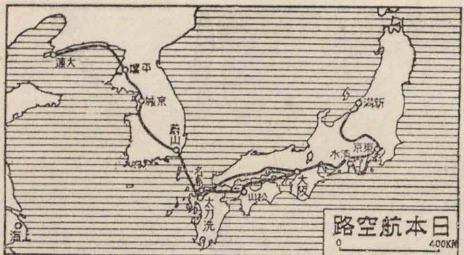
第三の海運國で、横濱神戸上海香港



を基點として、内外の航路が頗る多く、汽船の總噸數も、三百八十萬噸(三千三百噸)に達する。之を明治初年の一萬五千噸に比すれば、實に異常の發達と言はねばならぬ。汽船會社の大なるものは、世界屈指の日本郵船及び大阪商船國際汽船朝鮮郵船等である。

郵便 郵便は、明治四年、初めて東京横濱間に開かれ、同十年、萬國郵便聯合に加はり、今や山間僻地に至るも、郵便の達せざる所なく、世界の郵便發達國の一である。

航空 我が國の航空事業は、列強に比して劣つてゐるが、近年、次第に發達して、諸般の設備も整つて來た。今や東京を起點として、大連(大阪・福岡・神戶)に至る長距離旅客郵便物の航空輸送が行はれ、其の他東京大阪間、大阪福岡間、大阪松山間、東京清水間、東京新潟間にも、定期航空路が開かれた。

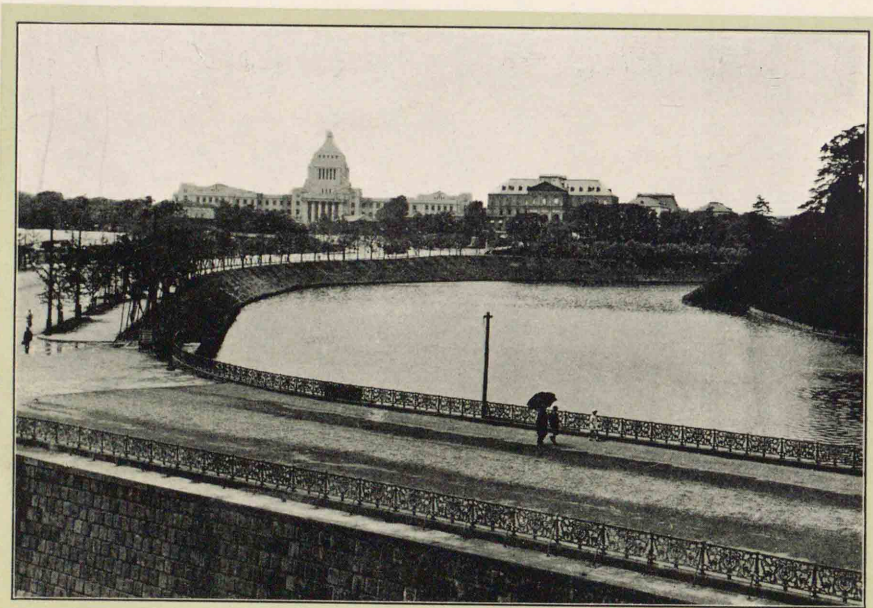


郵便物のみで且つ冬季は休航



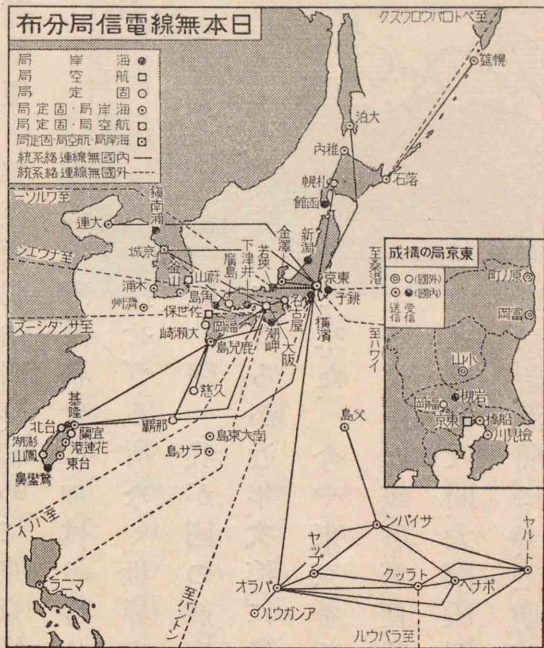


達發の路空航の國が我 るあで機空航期定の中翔快を空上野平大の尾濃 空航期定  
るあてし増が者用に第次てしと關機通交速快最がいながのもきべる見だまは



でのもだん望を區衙官の方西南りよ外門田櫻の部南城宮 望展の堂事議と部本謀參  
るあで部本謀參るた部腦首の軍陸は方左堂事議新會議國帝はるえ聳の塔高に方左

1  
丁抹國の所有で  
ある



は歐洲線に連なつて、最もよく利用されてゐる。近年、無線電信も頗る發達し、内地はもとより、植民地近海航行中の船舶を始め、歐米との通信も行はれてゐる。

電話 電話は、明治二十三年に創始せられ、爾來發達して、長距離

電信 明治二年始めて東京横濱間に通じ、明治十二年萬國電信聯合に加盟した。其の後の發が達目覺ましく、今や國內、汎く其の開通を見るに至つた。海底電線も、大に發達し、殊に東京小笠原島間のもものは米國線長崎上海間のもの



ラヂオ放送局既設  
地 東京・大阪・名古屋・廣島・熊本・仙臺・札幌・金澤・福岡・岡山・長野・静岡・臺北・京城・大連  
1 神戸・門司附近  
の主要地の電話局より有線で此の二個所の電話局に接続し此處より無線となる

我が國の種族  
右から大和族・朝鮮族・漢族・高砂族・アイヌ族・ギリアイク族・オロッコ族・ポリネシア族

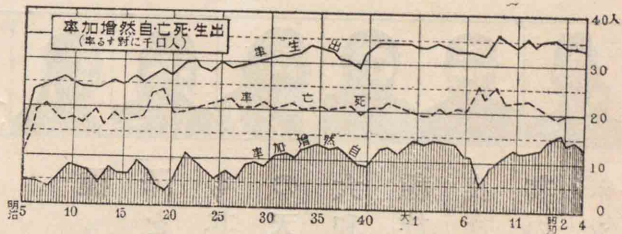


電話も、亦漸次擴張せられた。近年、主要都市のラヂオ放送が隆盛となり、廣く教育報道娛樂用に供せられ、無線電話も、神戸・門司より、船舶との間に、應用せられてゐる。

### 第三節 住民

**種族** 大和族は、國民の大部(約八割)を占め、歴代天皇の恩澤を蒙つて、忠君愛國の念が強く、又團結が頗る固い。而かも其の性情溫雅にして、學術を好み、工藝に長じ、發展進歩の天稟を有して、優に世界の大國民たるの素質がある。大和族の外に、多くの朝鮮族がある。夙に文化の發達した種族であるが、一時沈滞して、昔日の面影がない。併し近年、良き統治の下に、漸次、其の面目を一新せんとしてゐる。其の他、漢族、高砂族、アイヌ族、ギリアイク族、オロッコ族、ポリネシア族がある。漢族は、臺灣に多數居住してゐるが、其の





他は、甚だ少い。何れの種族も、漸次、大和族に同化せられて、よく國內が統一されてゐる。

人口 人口は、内地に約六千四百萬人、新領土に二千六百萬人、即ち總計約九千萬人を有し、内地の密度は、一方料に付約百六十九人に及び、世界第四の人口稠密國である。人口が、既に稠密なる上に、年々の増加率が、甚だ大(一千に付十人の割合)である故、今や人口問題、食糧問題を考慮すると共に、移民、植民の急を要する時が到來してゐる。既に滿洲、南米、南洋に赴く者が、漸く増加し、多く支那、布哇、米國、西岸、伯刺、西爾等に在留してゐるが、其の總數は、七十萬に過ぎない状態である。従つて最近の伯刺西爾植民は、各府縣とも、組織的に獎勵してゐる。

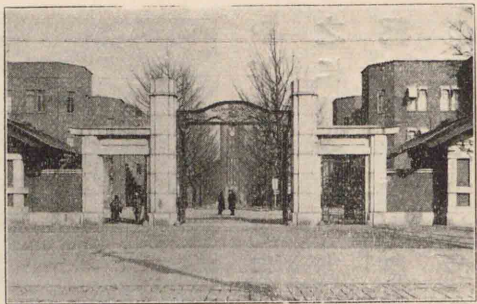
教育 教育は、世界稀に見る盛觀を呈し、國勢進暢(シンチャウ)の基をなして

中等學校數二千二百校  
生徒數八十八萬人

東京帝國大學

宮内省の直轄に學習院がある

神社數十一萬  
寺院數十一萬  
神道・黑住教・修成派・大社教等十餘派  
眞言・天台・淨土・眞・臨濟・曹洞・日蓮宗等五十餘派



ある。小學校は、其の數二萬五千に及び、學齡兒童の不就學者數は、僅に百八十分一に過ぎない。中學校、高等女學校各種實業學校も、其の數、年々増加してゐる。又高等教育には、各種の大學を始め、高等學校及び數多の各種專門學校があり、陸海軍には、各、軍人養成の爲、陸軍大學校、陸軍士官學校、海軍大學校、海軍兵學校等がある。臺灣、朝鮮、關東州には、各、其の土地に適する教育制度を設け、文化の進歩普及に努めてゐる。

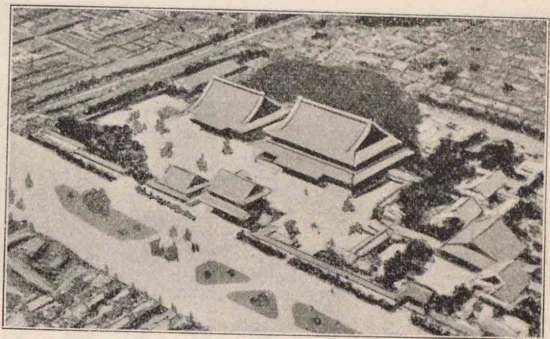
神社 我が國民は、皇祖、皇宗を始め、忠臣、賢士の靈を神社として祭祀する美風がある。神社には、神宮の外、官幣社、別格官幣社、國幣社、府縣社、郷社、村社等の別がある。

宗教 神道は、帝國固有の宗教であつて、傳來した佛教と共に、長



一 二十三派に分れてゐる

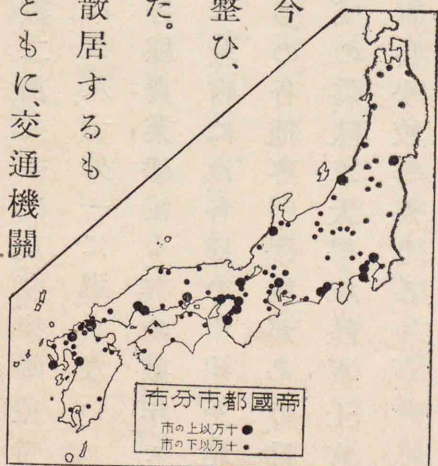
飛行機より見たる東本願寺



産業が発達すれば人口の稠密を來し人口稠密となれば又産業の發達を促がす

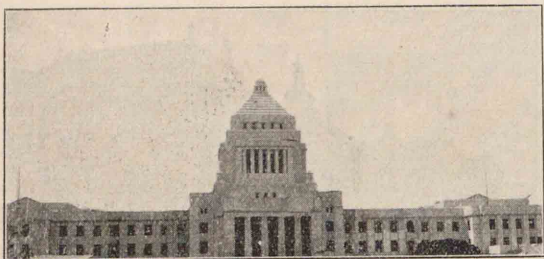
や年々衛生思想が発達し、其の設備も整ひ、之に關する學術も、著しく進歩して來た。都會 古來、農業本位の我が國民は、散居するものが多かつたが、今や商工業の發達とともに、交通機關

く民心を支配してゐる。又基督教も、漸次普及し、都會及び開港場に、信徒が多い。衛生 我が國は、氣候溫和、地味肥沃であるが、尙ほ脚氣、呼吸器病等の患者の多いのは、其の風土の多濕によることが多い。我が國民の死亡率が、列強に比して、尙ほ高率なること、體格が稍不良なること、は、誠に遺憾であるが、今



1 他に臺灣に七市朝鮮に十二府關東州に二市がある  
2 此の外臺灣に一朝鮮に二關東州に

建築中の帝國議會事堂(東京市麹町區霞ヶ關にある)



の進歩につれて、歐米諸國に於ける如く、都會に集中する傾向を生じ、市の總數は約百で、人口十萬以上を有するもの二十八を數へ、關東近畿濃尾越後北九州平野瀬戸内海沿岸に、都會の數が多い。

#### 第四節 政治

國體 我が國は、建國の體制實に尊く、天津日嗣は、萬世一系、天壤と共に窮りなく、君臣の關係は、眞に親子の如くである。これ我が國體の精華にして、世界列國に比類なき處である。

政體 我が國は、立憲政體であつて、立法、司法、行政の統治機關が、分立して存在する。

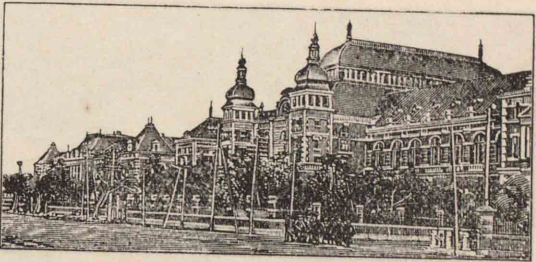
1、立法機關 帝國議會で、貴族院、衆議院より成り、法律の制定に協賛し、又豫算の議決等に當る。

2、行政機關 中央に、内閣十二省(内務・外務・大藏・陸軍・海軍・鐵道・司法・文部・農林・商工)



府縣には支廳を有するものあり

大審院・東京控訴院（東京市麹町區日比谷にある）



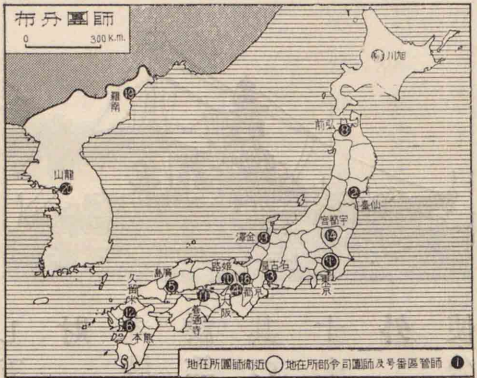
（逓信）がある。内閣總理大臣と各省大臣とは、國務大臣と稱せられて、國務大臣は、内閣を組織してゐる。地方の統治者は、内地に、北海道長官、警視總監、三府四十三縣の知事、植民地に、朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官、關東長官、南洋廳長官がある。朝鮮には、朝鮮總督の下に、政務總監と十三道の知事があり、臺灣には、臺灣總督の下に、總務長官と五州の知事、三廳の廳長とがある。

3、司法機關 司法機關の中、大審院は東京に、控訴院は東京、仙臺、札幌、名古屋、大阪、廣島、長崎にある。地方裁判所は、北海道に四箇、各府縣及び樺太廳に各一箇所あつて、其の下に、區裁判所がある。而して朝鮮、臺灣、關東州等には、特別の司法制度が布かれてゐる。

陸・海軍の首腦部は參謀本部・海軍軍令部で夫々國防用兵の事を司つてゐる

全國の各要害地に要塞がある

ワシントン華盛頓會議により我が國の主力艦隊



以上三大統治機關の外、皇室に關する一切の事務を處理すべき宮内省と、天皇の最高諮詢機關たる樞密院とがある。

國防 帝國の陸海軍は、天皇の統帥し給ふ所で、國民は、十七歳より四十歳に至るまで、兵役に服すべき義務がある。其の兵役には、常備（現役・豫備役）後備補充國民の四種がある。

1、陸軍 内地を十四師管區に分ち、各區に師團を置き、要地に、其の司令部がある。外に、東京に近衛師團、朝鮮に二箇師團、臺灣、關東州に守備隊が置かれてゐる。兵員は、約二十萬で、列強に比しては多くないが、軍人の忠勇義烈は、吾等祖先の遺風で、これ實に、清露獨を破つた主因である。

2、海軍 全國の海岸海面を三海軍區に分ち、各區にある軍港（横須賀、野、佐世）



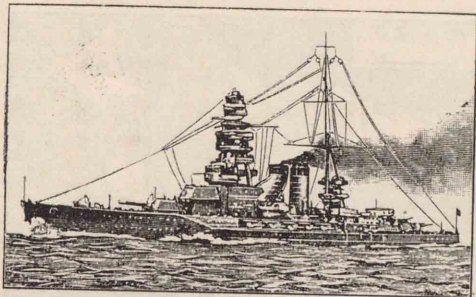
は三五、〇〇〇噸に限  
定せられたが現在  
は戦艦六隻巡洋戰  
艦四隻計一五、〇〇〇  
噸である

各務原(二箇聯  
隊)・八日市・太刀  
洗・立川・平壤・濱松  
屏東に飛行聯隊千  
葉に氣球隊がある  
阿見(霞浦)・追  
濱(横須賀)・佐世  
保・大村・館山・佐伯

内外合計五十八  
億圓一人當九十二  
圓に及ぶ

戰艦陸奥  
(排水量五三、〇〇〇噸  
大正十一年横須賀  
工廠で竣工した世  
界の優秀艦であ  
る)  
我が修好國は約四  
十ある

保)の鎮守府が之を管轄してゐる。又要害地に要港がある。艦艇一  
百十萬噸、兵員七萬五千を算して、實に世界屈指の海軍國である。  
3、空軍 今や航空機は、國防上に、必要缺くべからざるものとなり、  
陸軍の航空部隊は、陸軍航空本部陸軍飛行學校及び航空諸隊によ  
つて構成せられてゐる。海軍は、海軍省に於て、其の行政教育を直轄



し、五箇の航空隊を配置してゐる。

財政 明治二十七八年頃は、歳計總額一億圓  
未滿であつたが、其の後、軍備の擴張新事業の施  
設等によつて、年々増加し、又國債額も激増して、  
其の元利の償却をも計上する故、今や歳計は、約  
十七億圓に上るに至つた。

外交 世界列國との交際、年に親密を加へ、大  
使公使を遣り、國交を修め、又要地には、總領事領

事を派して、通商などを圓滑ならしめてゐる。今や太平洋に關して  
日米英佛の四國協商が成立し、又我が國は、國際聯盟に加はつて、其  
の常任理事國となり、優に列強の間に立つて、世界の平和を維持す  
るの地位を占めるに至つた。吾等は、之を喜ぶと共に、責任の益重  
きを自覺しなければならぬ。



結論

我が國の位置は、正しく極東に僻在してゐる。これが爲に國際的風波に逢ふことが少なかつた。併し今や太平洋時代が、日一日と近づき來つて、層一層、我が國の活躍すべき時が來た。

我が國は、到る處、殆ど氣候が良好で、吾人の生息活躍するに、極めて好適である。又秀麗なる山嶽が多く、清澄なる河海も、そこゝにあつて、世界の公園との美稱さへある。殊に地味肥沃、産物豊富で、商工業の勃興にもよいのが、即ち我が國土である。

今や人口九千萬、朝鮮に多い朝鮮族、臺灣に多い漢族を始め、何れも大和族を中堅として、互に相倚り相助けて、統一融和の實があがり、加ふるに萬世一系の皇室、儼然として之を導き、撫然として之を愛

しみ給ひ、以て千戴萬古、聊かも國礎に動きがない。

我が國土が、かくの如く天の時と、地の利と、人の和とを併せ得てゐることは、世界に土地が廣しといへど、又國の數が多しといへど、他に比類なしと謂はねばならぬ。吾等は、之を喜び、之を祝ふと同時に、我が國の地理を學んで、いやが上にも、我が國の隆盛發達に盡さねばならぬ。



人口一覽

昭和五年十月一日國勢調査統計  
(市町八二萬人以上村八二萬人以上)  
(單位、千人)

關東地方 三、七三	東京府 五、四〇三	東京市 四、九七一	八王子市 五	武藏野町 七	立川町 四	青梅町 二	神奈川縣 一、六二〇	橫濱市 六〇	橫須賀市 二〇	川崎市 一〇四	平塚市 三	田浦町 七	鎌倉町 七	
小田原町 二	藤澤町 三	茅ヶ崎町 三	浦賀町 二	逗子町 五	三崎町 三	秦野町 三	埼玉縣 一、四九	川越市 三	熊谷町 三	大宮町 元	浦和町 三	川口町 三	秩父町 元	本庄町 六
深谷町 四	忍町 二	所澤町 二	飯能町 二	千葉縣 一、四七〇	千葉市 四	船橋町 三	市川町 三	本銚子町 三	野田町 元	佐原町 七	津田沼町 三	八街町 三	銚子町 三	松戸町 二
浦安町 二	木更津町 〇	群馬縣 一、一八六	前橋市 五	高崎市 六	桐生市 五	伊勢崎町 三	館林町 七	澁川町 三	沼田町 三	富岡町 三	栃木縣 一、二四三	宇都宮市 八	足利市 四	栃木町 三
足尾町 二	鹿沼町 三	日光町 二〇	佐野町 七	小山町 四	田沼町 三	今市町 三	大田原町 二	茨城縣 一、四七	水戸市 五	日立町 六	古河町 六	土浦町 六	石岡町 六	結城町 五

附錄

一



助川町	四	喜多方町	三	一關町	〇	大曲町	二	濱松市	一〇九
湊町	四	原町	三	青森縣	八〇	山形縣	一〇〇	清水市	五
下館町	三	內郷村	七	八戸市	五	山形市	三	沼津市	四
磯濱町	三	宮城縣	一、二、四	弘前市	五	山形市	三	大宮町	四
松原町	二	仙臺市	九〇	野邊地町	三	米澤市	五	三島町	三
磯原町	〇	石卷町	三	田名部町	二	鶴岡市	四	島田町	三
<b>奥羽地方 六、七、四</b>		鹽釜町	三	三本木町	二	酒田町	三	燒津町	〇
<b>福島縣 一、五、八</b>		氣仙沼町	五	秋田縣	九八	新庄町	〇	小山町	七
那山市	五	白石町	三	秋田市	五	谷地町	三	伊東町	六
福島市	四	古川町	三	能代港町	二	寒河江町	三	熱海町	三
若松市	四	<b>岩手縣 九、五</b>		橫手町	六	上山町	三	中泉町	三
平町	五	盛岡市	三	土崎港町	七	長井町	二	川崎町	三
白河町	三	釜石町	三	大館町	六	宮内町	〇	相良町	三
須賀川町	六	宮古町	六	小坂町	四	東根町	〇	掛川町	三
湯本町	五	花卷町	六	本莊町	三	<b>中部地方 二、九、九</b>		藤枝町	二
中村町	五	水澤町	三	湯澤町	三	靜岡縣	一、五、八	由比町	二
		大槌町	二			靜岡市	三	富士町	〇

山梨縣	三	古知野町	五	新川町	〇	下諏訪町	三	直江津町	四
甲府市	九	蒲郡町	五	鳴海町	〇	須坂町	〇	五泉町	四
鹽山町	二	舉母町	四	八幡町	〇	飯田町	九	龜田町	四
<b>愛知縣 二、五、七</b>		稻澤町	四	大府町	〇	伊那町	六	燕田町	三
名古屋市	九〇七	高濱町	四	岐阜縣	二、六	小諸町	五	小千谷町	二
豐橋市	九	田原町	三	岐阜市	〇	丸子町	三	寺泊町	二
岡崎市	九	成岩町	三	大垣市	九	上飯田町	二	見附町	二
一宮市	四	犬山町	三	高山町	九	平野村	五	堀之内町	〇
瀨戶市	五	小牧町	三	中津町	六	<b>新潟縣 一、九、三</b>		富山縣	五
安城市	三	祖父江町	三	加納町	七	新潟市	三	富山市	五
津島町	六	矢作町	三	多治見町	三	長岡市	九	高岡市	五
西尾町	七	福江町	三	關町	二	高田市	三	新湊町	三
一色町	七	木曾川町	二	<b>長野縣 一、七、七</b>		三條町	三	氷見町	四
半田町	七	二川町	二	長野市	五	柏崎町	四	伏木町	三
起崎町	五	守山町	二	松本市	三	新發田町	三	魚津町	三
龜崎町	五	蟹江町	二	上田市	五	加茂町	三	滑川町	〇
刈谷町	五	常滑町	〇	上諏訪町	三	新津町	〇	石川縣	五



京都府 一、五三三	膳所町 一五	長濱町 一六	彦根町 一三	大津市 一四	滋賀縣 六九三	近畿地方 二、一〇〇	大野町 一三	武生町 一三	敦賀町 一三	福井市 一六	福井縣 六八	七尾町 一三	輪島町 一四	小松町 一七	金澤市 一五
松阪町 一六	宇治山田市 一五	四日市町 一五	津市 一五	三重縣 一、二五七	丹波市町 一四	高田町 一五	郡山町 一七	奈良市 一五	奈良縣 五九六	中舞鶴町 一三	舞鶴町 一三	宮津町 一三	綾部町 一四	新舞鶴町 一五	京都府 一、五三三
岸和田市 一五	堺市 二〇	大阪市 二、四四〇	大阪府 三、四〇〇	湯淺町 二	黑江町 二	御坊町 一三	箕島町 一四	田邊町 一四	新宮町 一五	和歌山市 一七	和歌山縣 八三	富洲原町 二	龜山町 一三	尾鷲町 一五	桑名町 一三
洲本町 一四	明石市 一六	西宮市 一六	尼崎市 一五	姫路市 一三	神戸市 一六	兵庫縣 二、四八	高石町 二	八尾町 二	大津町 一三	春木町 一三	濱寺町 一五	佐野町 一五	池田町 一五	豐中町 一六	吹田町 一四
倉吉町 一六	米子市 一四	鳥取市 一四	鳥取縣 一、九	中國地方 三、一三三	精道村 一六	小田村 一四	高砂町 二	川西町 二	豐岡町 一三	飾磨町 一三	垂水町 一四	伊丹町 一四	加古川町 一四	今津町 一六	御影町 一六

島根縣 一、〇	松江市 一四	濱田町 一五	今市町 一三	岡山縣 一、二六四	岡山市 一三	津山市 一四	倉敷市 一五	玉島町 一三	笠岡町 一五	琴浦町 一三	日比町 一三	連島町 一〇	廣島縣 一、六九二	廣島市 一七	吳市 一八	福山市 一六
尾道市 一六	三原町 一三	音戶町 一三	府中町 一三	鞆町 一〇	山口縣 一、二八	下關市 一六	宇部市 一六	山口市 一三	萩市 一三	防府町 一四	徳山町 一三	彦島町 一三	小野田町 一七	柳井町 一六	麻里布町 一三	岩國町 一三
厚狹町 一三	長府町 一三	中關町 一三	下松町 一〇	深川町 一〇	四國地方 三、三〇〇	徳島市 一七	徳島縣 一、七	撫養町 一六	小松島町 一六	加茂名町 一三	香川縣 一、七	高松市 一〇	丸龜市 一〇	坂出町 一〇	普通寺町 一七	
觀音寺町 一七	愛媛縣 一、四三	松山市 一三	宇和島市 一四	今治市 一四	八幡濱町 一六	西條町 一六	三津濱町 一四	新居濱町 一〇	高知縣 一、七	高知市 一六	清水町 一〇	九州地方 九、六八	福岡縣 二、五七	福岡市 一六	八幡市 一六	
門司市 一〇	大牟田市 一四	小倉市 一六	久留米市 一三	若松市 一三	戸畑市 一三	直方市 一四	飯塚市 一四	宮田町 一三	後藤寺町 一四	伊田町 一三	山田町 一三	中間町 一六	企救町 一七	瀬高町 一六	添田町 一五	大川町 一四



姪濱町	四	島原町	三	中津市	元	川内町	三	隼人町	四
宇美町	三	諫早町	六	白杵町	〇	谷山町	六	財部町	三
小竹町	三	相浦町	三	佐賀關町	四	枕崎町	七	大口町	三
箱崎町	三	平戸町	三	日田町	三	阿久根町	三	蒲生町	三
幸袋町	〇	富江町	三	佐伯町	三	鹿屋町	三	伊集院町	二
行橋町	〇	西有家町	二	大野町	二	末吉町	三	山川町	二
穗波村	七	茂木町	二	高田町	二	垂水町	三	萬世町	二
稻築村	六	福江町	二	宮崎縣	七	西之表町	三	山川町	二
二瀬村	三	熊本縣	一、三四	宮崎市	五	名瀬町	〇	穎娃村	三
佐賀市	六二	熊本市	一、四	都城市	六	川邊町	六	申木野村	三
佐賀市	〇	水俣町	六	延岡町	三	志布志町	六	指宿村	〇
唐津市	〇	荒尾町	〇	小林町	六	加世田町	六	沖繩縣	五、六
鳥栖町	三	八代町	四	高岡町	三	出水町	六	那霸市	六
相知村	〇	牛深町	三	富高町	三	加治木町	五	首里市	〇
長崎縣	一、三三	大分縣	九、五	都濃町	〇	米ノ津町	五	平良町	四
長崎市	一、五	大分市	五	鹿兒島縣	一、五七	伊作町	五	石垣町	五
佐世保市	一、三	別府市	三	鹿兒島市	一、七	宮之城町	四	名護町	三

北海道地方 二、八三

函館市	一、七	稚內町	元	美深町	三	堤川面	三	扶寧面	三
札幌市	一、九	根室町	元	増毛町	二	陰城面	三	茂朱面	二
小樽市	一、四	名寄町	六	紋別町	〇	鎮川面	三	長水面	〇
旭川市	一、五	留萌町	六	厚岸町	〇	報恩面	二	木浦府	五
室蘭市	一、五	士別町	五	三笠山村	三	忠清南道	一、三三	濟洲面	四
釧路市	一、五	八雲町	五	朝鮮地方	三、〇六	大田面	三	光州面	三
夕張町	五	伊達町	四	京畿道	二、二五	公州面	三	二老面	三
美唄町	五	富良野町	四	京城府	三、四	天安面	三	麗水面	三
岩見澤町	元	俱知安町	四	仁川府	六	舒川面	二	順天面	六
帶廣町	六	上磯町	四	開城府	五	扶餘面	三	光陽面	六
野付牛町	六	池田町	四	水原面	三	全羅北道	一、五〇	羅州面	五
網走町	七	瀧川町	四	忠清北道	九、〇	群山府	六	咸平面	三
砂川町	三	岩内町	三	忠州面	三	全州面	元	長城面	三
苫小牧町	三	森町	三	清州面	三	益山面	六	康津面	二
江別町	〇	美幌町	三	永同面	三	南京面	三	靈巖面	二



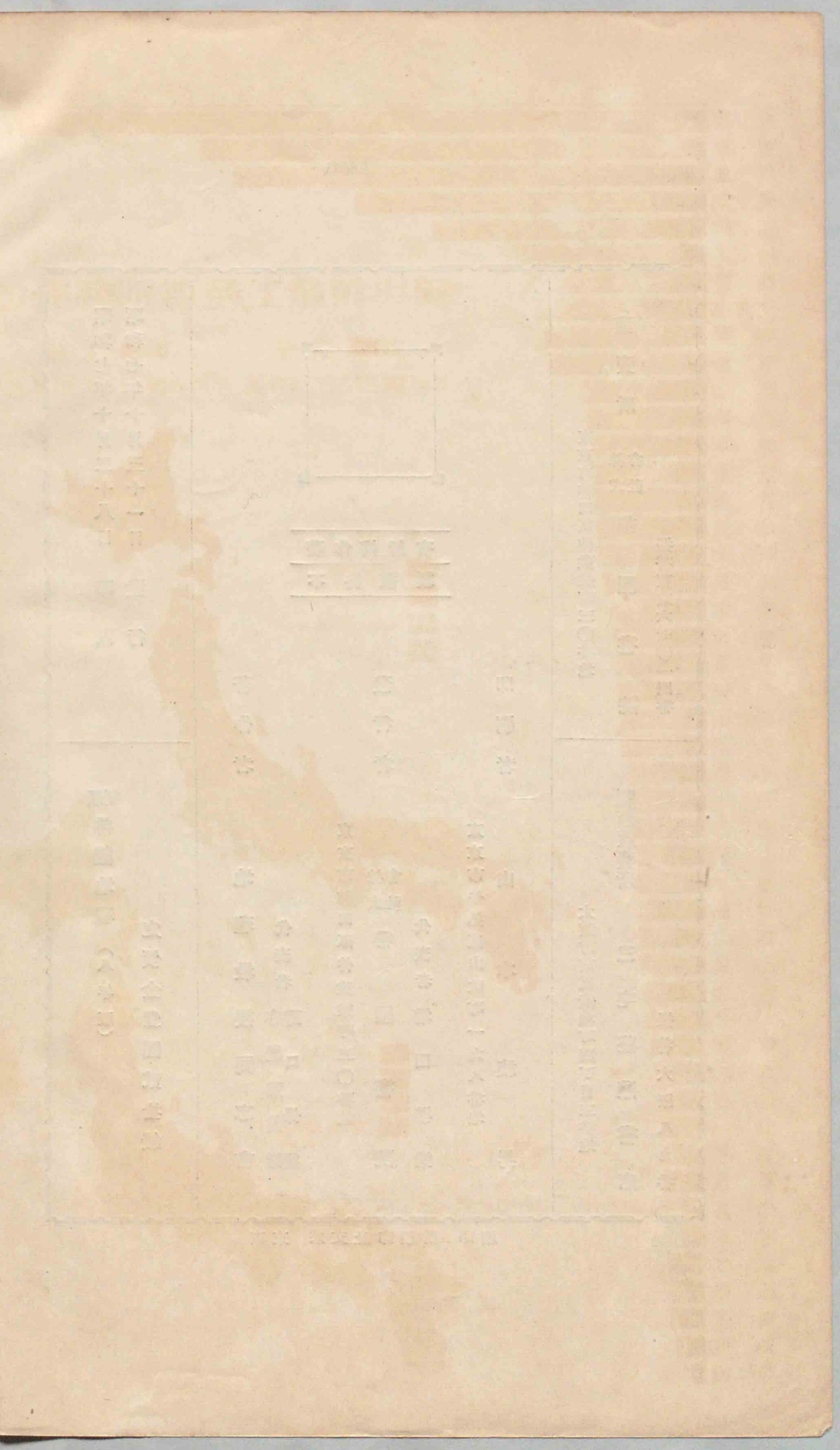
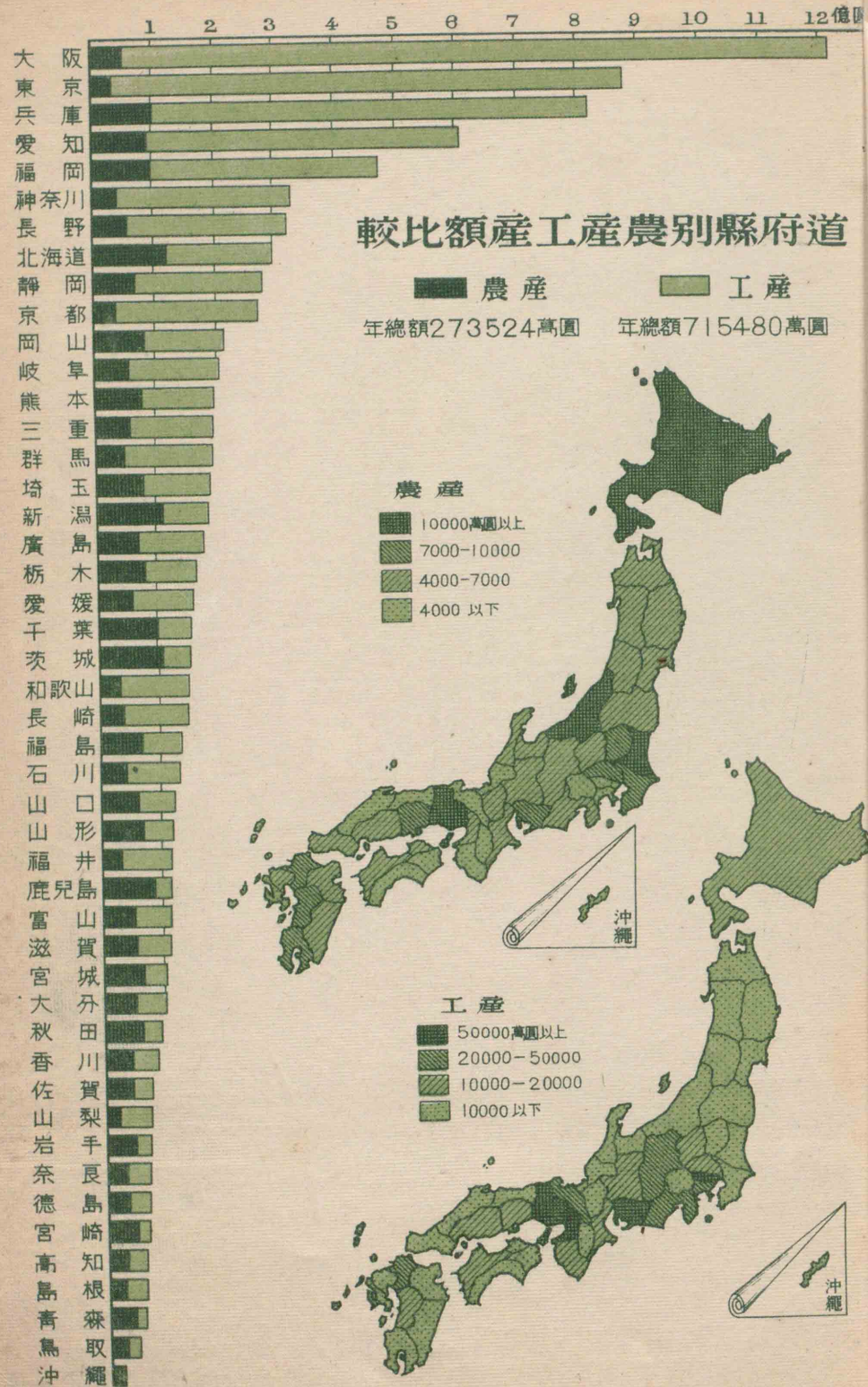
慶尚北道 二,四六	大邱府 三	尙州面 元	慶州面 元	金泉面 六	安東面 五	醴泉面 四	永川面 三	盈德面 三	浦項面 三	義城面 三	善山面 二	榮州面 二	慶尚南道 二,二八	釜山府 一,一	馬山府 六	晉州面 二五
統營面 三	金海面 三	東萊面 元	鎮海面 元	三千浦面 七	密陽面 七	蔚山面 五	三浪津面 四	河東面 三	居昌面 二	黃海道 一,五	沙里院面 二	海州面 二	安岳面 六	載寧面 六	信川面 三	黃州面 二
延安面 二	平安南道 一,三	平壤府 四	鎮南浦府 六	安州面 七	大同江面 七	順川面 二	价川面 二	寧遠面 二	永柔面 〇	平安北道 一,五	新義州府 四	龍川面 四	宜川面 三	博川面 三	楚山面 三	昌城面 二
厚昌面 二	鐵山面 〇	義州面 〇	江原道 一,四九	鐵原面 五	江陵面 五	平昌面 四	麟蹄面 四	蔚珍面 三	淮陽面 二	華川面 二	平康面 二	旌善面 〇	春川面 〇	咸鏡南道 一,五	咸興府 四	元山府 四
北青面 八	州翼面 七	波道面 四	府內面(定平郡) 三	咸鏡北道 七	清津府 三	雄基面 三	會寧面 元	梧村面 八	城津面 四	臺灣地方 四,五	臺北州 九	臺北市 三〇	基隆市 七	宜蘭街 三	淡水街 三	

沙止街 六	板橋街 六	新莊街 七	羅東街 四	新竹州 六	新竹市 盟	大溪街 七	中壢街 四	桃園街 三	苗栗街 元	臺中州 一,〇	臺中市 五	鹿港街 三	清水街 元	員林街 元	豐原街 七	埔里街 七
南投街 六	彰化街 三	大甲街 三	梧棲街 三	北斗街 二	臺南州 一,〇	臺南市 四	嘉義市 八	斗六街 三	麻東街 七	北港街 三	西螺街 三	鹽水街 〇	朴子街 元	新化街 四	高雄市 三	高雄市 三
屏東街 三	旗山街 元	東港街 五	鳳山街 五	臺東廳 八	臺東廳 〇	花蓮港街 三	澎湖廳 三	馬公街 三	樺太地方 二,九	大泊町 三	豐原町 三	知取町 元	惠須取町 六	真岡町 六		
落合町 五	敷香町 三	泊居町 三	留多加町 二	關東州 九	關東州 九	大連市 二,九	旅順市 一,三	帝國人口總計 九〇,三六,〇四三	內地 四,四五,〇〇五	朝鮮 三,〇六,三〇五	臺灣 四,九二,五七	樺太 二,九五,一九六	關東州 九,五五,七四一	南洋諸島 六,六七		
北青面 八	州翼面 七	波道面 四	府內面(定平郡) 三	咸鏡北道 七	清津府 三	雄基面 三	會寧面 元	梧村面 八	城津面 四	臺灣地方 四,五	臺北州 九	臺北市 三〇	基隆市 七	宜蘭街 三	淡水街 三	











庫  
2  
92

広島大学図書

2000051692

